

令和4年度第2回蓮田市総合振興計画審議会資料

令和4年7月28日時点

蓮田市市民意識調査 報告書

令和4年7月

蓮田市

目次

1 調査概要

1-1 調査の目的.....	2
1-2 調査の方法.....	2
1-3 留意事項.....	3

2 調査結果

2-1 調査結果の概要.....	6
2-2 あなた自身やご家族、お住まいについて.....	10
2-2 住みごこちについて.....	14
2-3 暮らしをとりまく身近な環境について.....	23
2-5 蓮田市のイメージやまちの魅力について.....	55
2-6 これからのまちづくりについて.....	63
2-7 市政への市民参加や関わり方について.....	86
2-8 防災対策について.....	111
2-9 市の広報（シティセールス）について.....	129
2-10 自由意見.....	135

1 調査概要

1-1 調査の目的

「蓮田市第5次総合振興計画」の中間見直しを進めるにあたり、計画の進捗状況に対する市民の皆様のご意見を把握することを目的とします。

1-2 調査の方法

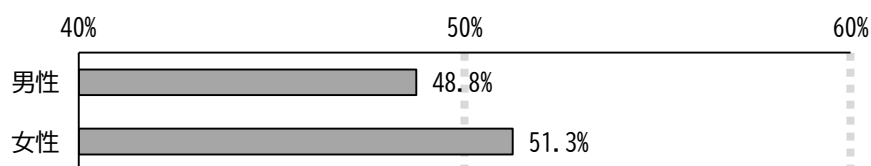
(1) 調査地域

- 蓮田市全域

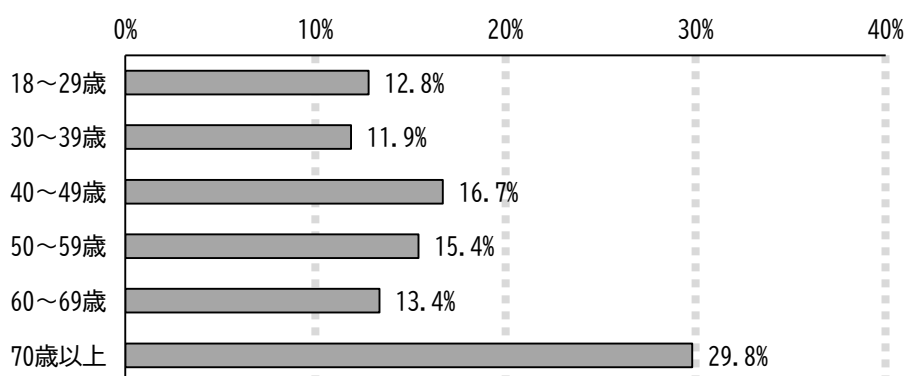
(2) 調査対象

- 市内にお住まいの18歳以上の方4,000人（住民基本台帳による無作為抽出）

■ 調査対象の性別構成（住民基本台帳による）



■ 調査対象の年齢構成（住民基本台帳による）



(3) 調査期間

- 令和4年6月9日（木）～6月21日（火）

(4) 調査方法

- 郵送による配布・回収

■ 回収状況（7月4日現在）

配布数	回収数	回収率
4,000 票	1,478 票	37.0%

1-3 留意事項

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答（2 つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- 性別・年齢別集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- グラフ及び文章中で、選択肢を一部省略しています。
- 満足度を問う設問では、「満足である」に+2 点、「まあ満足」に+1 点、「やや不満」に-1 点、「不満である」に-2 点、「わからない」に 0 点の得点を付け回答構成から加重平均による評価点を算出しています。

《計算式》

$$\frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「まあ満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times -1 + \text{「不満」} \times -2 + \text{「わからない」} \times 0}{\text{回答総数から無回答を除いた数}}$$

- 一部の設問で、経年変化をみるために、前回調査(平成 17 年)の数値を掲載しています。
- 地区別では、30 の地域を 6 つの地区に分けて集計しています。(詳しくは、13 頁を参照してください。)

2 調查結果

2-1 調査結果の概要

(1) 住みごちについて

問9 住みよさ意識

半数以上が数年前と比較して「変わらない」と感じている。

問10 定住の意向

市民の4割以上が「同じ場所にずっと住みたい」と思っている。

定住理由は「家や土地があるから」が7割超を占めている。

転居意向理由は「市に将来性・発展性がないから」、「買い物など日常生活が不便だから」、「電車やバス等の交通の便が良くないから」がそれぞれ2割以上を占めている。

転居希望する地域は「蓮田市周辺の県内」が半数以上を占めている。

(2) 暮らしをとりまく身近な環境について

問11～問22 行政施策の満足度

行政施策の満足度は「地元商店街の整備」や「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」など産業振興分野で低くなっている。

評価が高い行政施策は「駅周辺の市街地の整備」、「健康診断や健康相談などの保健サービス」、「文化会館や公民館など文化施設の整備」などである。

要望が高い行政施策は「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」、「市道など近所の生活道路」、「病院など医療機関の整備」などである。

(3) 蓮田市のイメージやまちの魅力について

問23 蓮田市のまちのイメージ

「ゆったりしたまち」とイメージを持っている市民の割合が高くなっている。

問24 蓮田市のまちの魅力

「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」・「災害の少ない暮らしやすい土地柄」・「都心に近く便利な交通アクセス」をまちの魅力だと感じている市民の割合が高くなっている。

(4) これからのまちづくりについて

問 25 市の行動力を高めるために重要なこと

市民の4割以上が「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」ことが重要だと感じている。

問 26 将来像を表すキーワード

「安心・安全」・「自然・環境」を将来像にふさわしいキーワードとした回答の割合が高くなっている。

問 27 重点的に取り組むべき施策

市民の6割以上が重点的に取り組むべき施策として「保健・福祉・医療の充実」を回答している。

問 28 子育てしやすいまちへの効果的な取組

「学費や保育料などの助成」や「多様な保育サービスの充実」などを効果的と回答した割合が高くなっている。

問 29 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

「多様な移動手段の確保」や「運動不足・ストレス解消のための身近な緑・オープンスペースの確保」などを効果的と回答した割合が高くなっている。

問 30 計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」や「市民ニーズに対応した行政サービスの向上」などを効果的と回答した割合が高くなっている。

(5) 市政への市民参加や関わり方について

問 31 近所付き合いの程度

「顔をあわせたときに、あいさつをする」程度の近所付き合いをしている市民が多い。

問 32 近所付き合いや地域活動の必要性

9割近い市民が、「必要だと思う」または「どちらかといえば必要」と考えている。近所付き合いが希薄なほど、必要と考える割合が低くなっている。

問 33 地域活動の参加の有無

6割以上の市民が地域活動への参加経験がある。近所付き合いが親密な程、地域活動への参加割合が高くなる傾向がある。

問 34 市政情報の入手の手段

9割の市民が「広報はすだ」から市政情報を得ている。

問 35 意見・要望の伝達方法

市への意見や要望は「担当部署へ電話する」や「市役所の窓口に行く」と回答している。

問 36 市政への参加意向

6割以上の市民が「参加していきたい」または「参加したいが、何らかの理由があり、参加できない」と回答している。

問 37 市民生活に関わるサービスと負担のあり方

サービスの必要性については、「ごみの収集」や「救急活動」、「健康診断や予防接種」がなくてはならないとする回答の割合が高くなっている。

サービスの実施主体については、「健康診断や予防接種」や「ごみの収集」、「救急活動」などのなくてはならないとする回答の割合が高いサービスでは「行政」、「商店街の活性化支援」や「農業後継者の確保・育成」などは「行政、住民・NPO・民間企業両方で行う」とする回答の割合が高くなっている。

サービスの費用負担については、「救急活動」や「防災活動」などでは、行政（税金）が負担すべきとする回答の割合が、「商店街の活性化支援」や「農業後継者の確保・育成」などは行政（税金）、利用者の両方で負担すべきとする回答の割合が高くなっている。

（6）防災対策について

問 38 居住地域の安全性

居住地域が『安全』だと思っている市民は7割を超えている。

問 39 災害への備えに必要なこと

6割以上の市民が災害への備えには「食料・飲料水の備蓄」や「避難所施設の整備・充実」が必要と回答している。

問 40 避難場所の認知度

7割以上の市民は避難場所の位置を知っている。

問 41 災害に備え行っている準備

災害に備え「非常用の食料や飲料水の用意」や「避難場所の確認」を行っている。

問 42 地域防災対策の担い先

8割以上の市民が、地域防災対策は「行政」が担うべきと考えている。

問 43 家族に手助けが必要な人がいる場合の避難

「自宅に支障が無ければ避難はしない」と「近くの避難所へ避難する」に回答が分かれている。

問 44 手助けが必要な人への避難時の協力

手助けが必要な人へは「大丈夫ですか」などの声かけや「避難の手助け」などの協力ができそうだと考えている市民の割合が高くなっている。

問 45 ペットの避難

「ペットを飼っていないのでわからない」を除くと、ペットと一緒に行動すると考えている市民の割合が高くなっている。

(7) 市の広報（シティセールス）について

問 46 市の PR のために充実させたらよい情報

広報はすだや市のホームページ、ツイッターなどで充実させたらよい情報は「高齢者支援情報」と回答した市民の割合が最も高くなっている。

問 47 蓮田ブランドにふさわしい地域資源

「蓮田サービスエリア」、「都心に近く、交通利便性が高い」、「梨」などの項目で回答の割合が高くなっている。

問 48 市の PR のために必要なイベント

市の PR のために必要なイベントは「蓮田サービスエリアを活用したイベント」と回答した市民の割合が最も高くなっており、前回調査と比較しても、9.0 ポイント増加している。

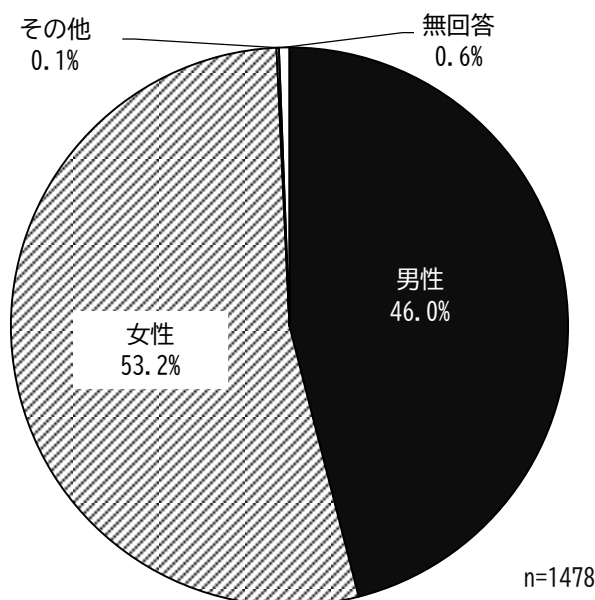
(8) 自由意見〔暫定〕

自由意見として、全回答者 1,478 人のうち、623 人 (42.2%) からご意見をいただいた。

2-2 あなた自身やご家族、お住まいについて

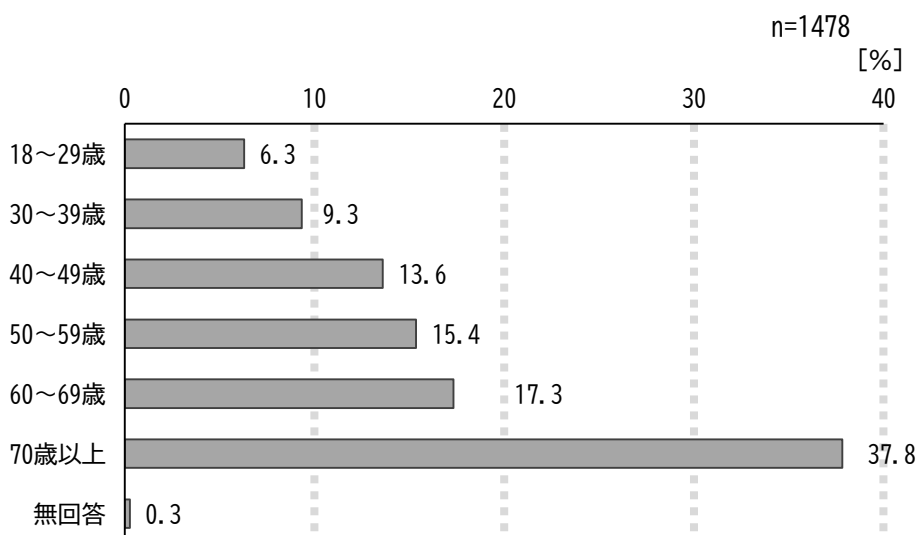
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「男性」が46.0%、「女性」が53.2%、「その他」が0.1%となっています。



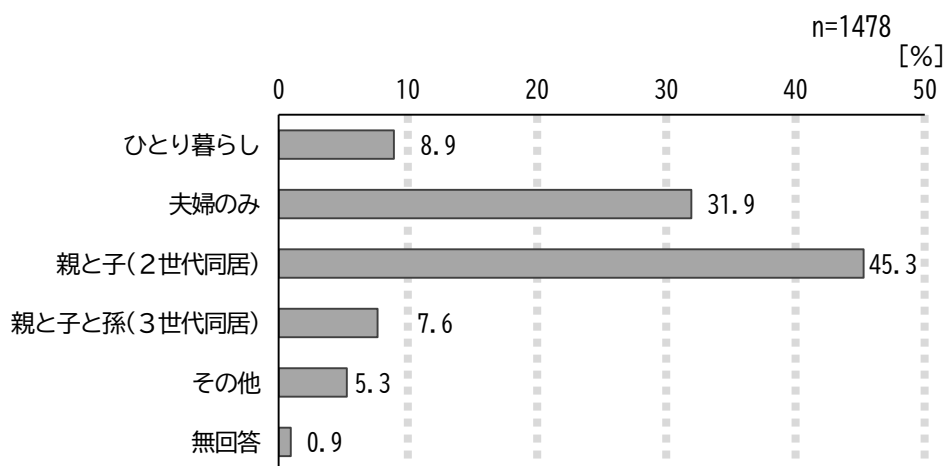
問2 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

「70歳以上」が37.8%で最も多く、次いで「60～69歳」が17.3%、「50～59歳」が15.4%となっています。



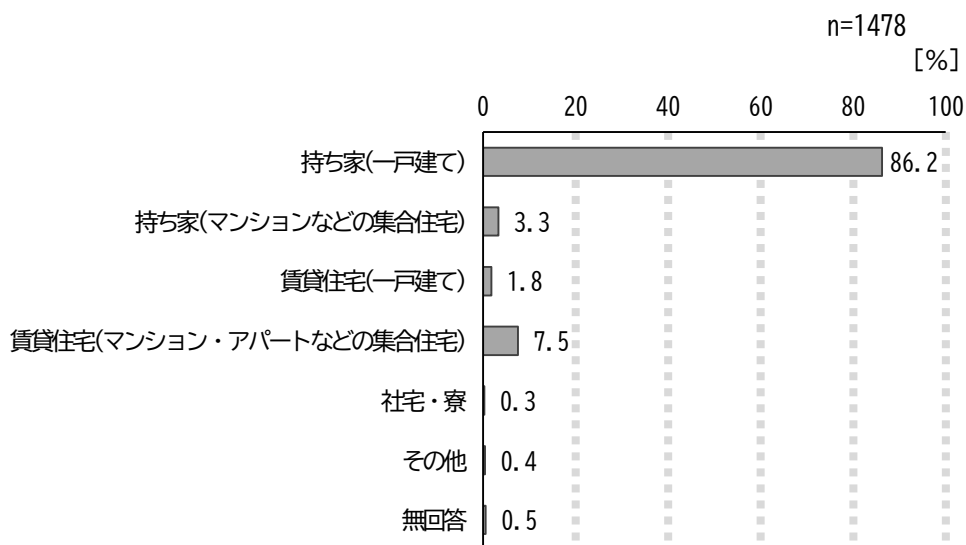
問3 現在一緒に住んでいる家族の構成はどちらですか。(1つに○)

「親と子(2世代同居)」が45.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が31.9%、「親と子と孫(3世代同居)」が7.6%となっています。



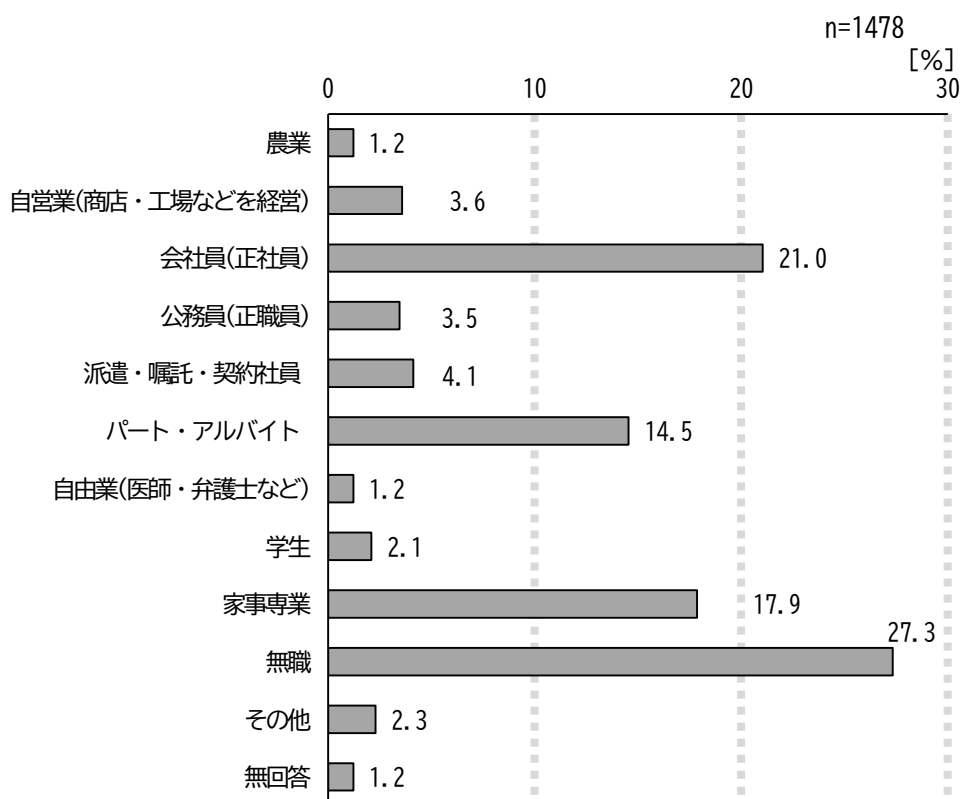
問4 あなたが現在お住まいの住宅の種類はどちらですか。(1つに○)

「持ち家(一戸建て)」が86.2%で最も多く、次いで「賃貸住宅(マンション・アパートなどの集合住宅)」が7.5%、「持ち家(マンションなどの集合住宅)」が3.3%となっています。



問5 あなたの現在のお勤め（学生・家事専業を含む）はどちらですか。（1つに○）

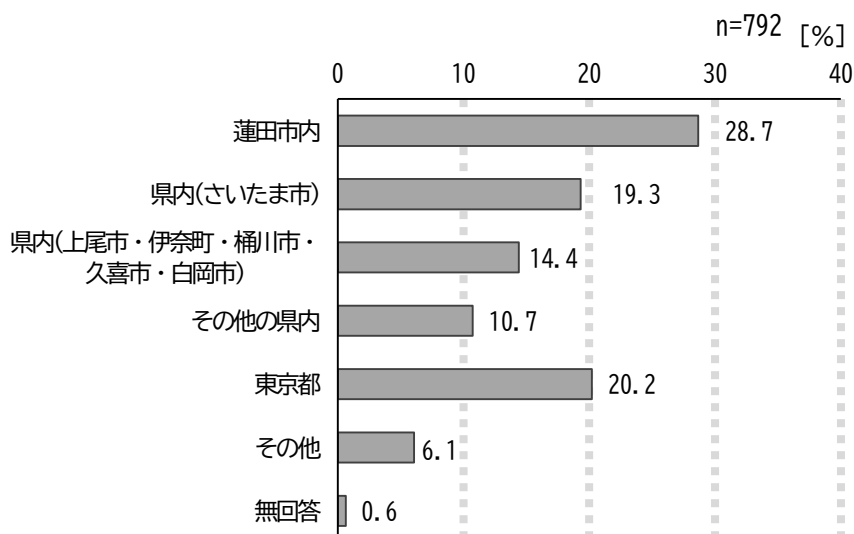
「無職」が27.3%で最も多く、次いで「会社員（正社員）」が21.0%、「家事専業」が17.9%となっています。



【※ 問5で『家事専業』、『無職』以外でお答えいただいた方】

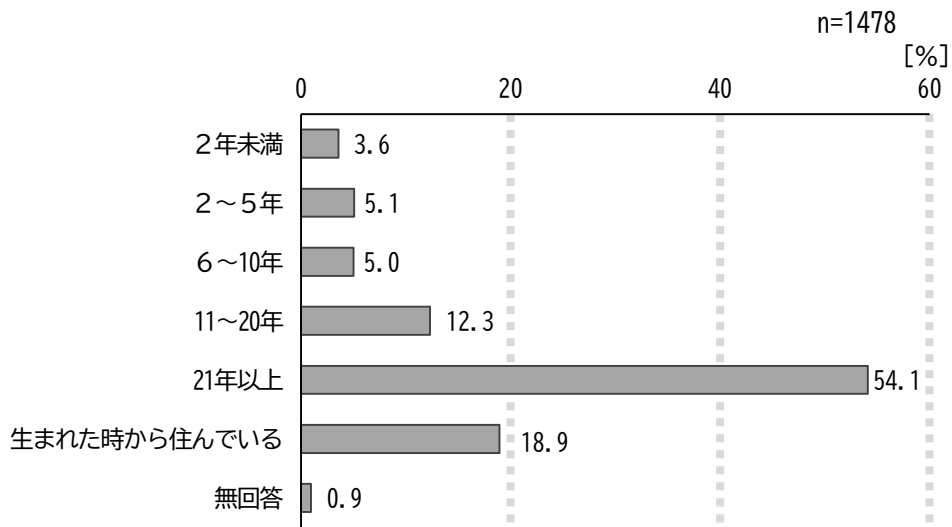
問6 あなたのお勤めしている所・通学先はどちらですか。（1つに○）

「蓮田市内」が28.7%で最も多く、次いで「東京都」が20.2%、「県内（さいたま市）」が19.3%となっています。



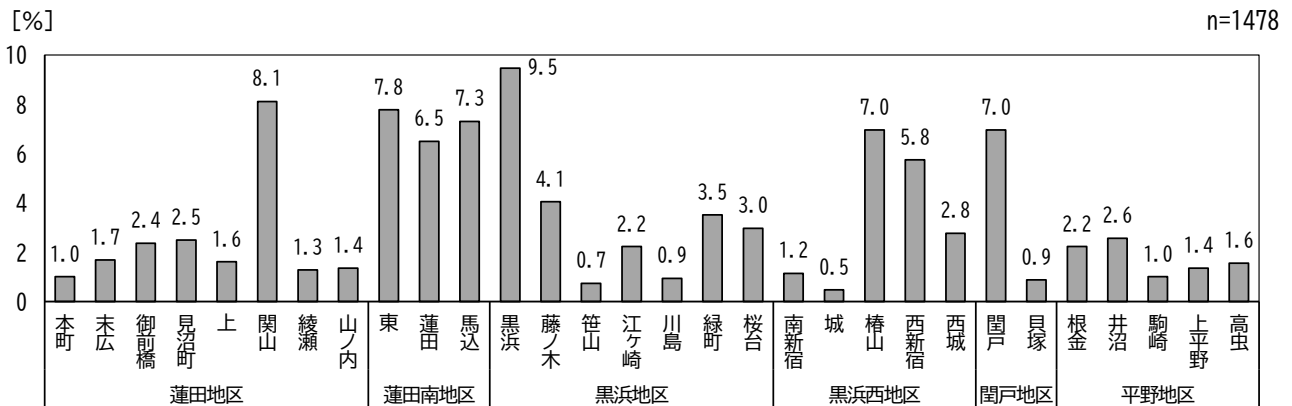
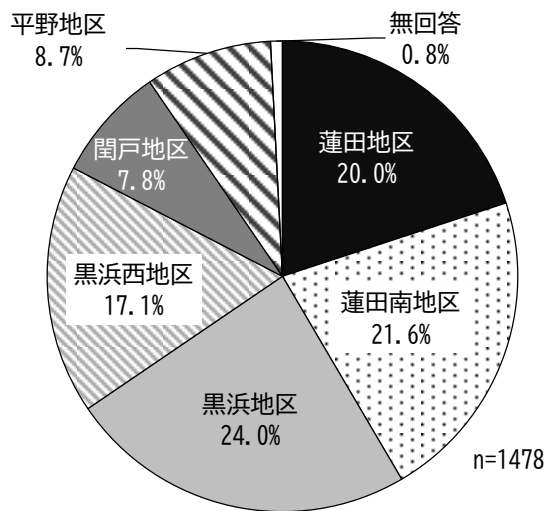
問7 あなたは蓮田市に住んでどのくらいになりますか。(1つに○)

「21年以上」が54.1%で最も多く、次いで「生まれた時から住んでいる」が18.9%、「11～20年」が12.3%となっています。



問8 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

「黒浜地区」が24.0%で最も多く、次いで「蓮田南地区」が21.6%、「蓮田地区」が20.0%となっています。



2-2 住みごころについて

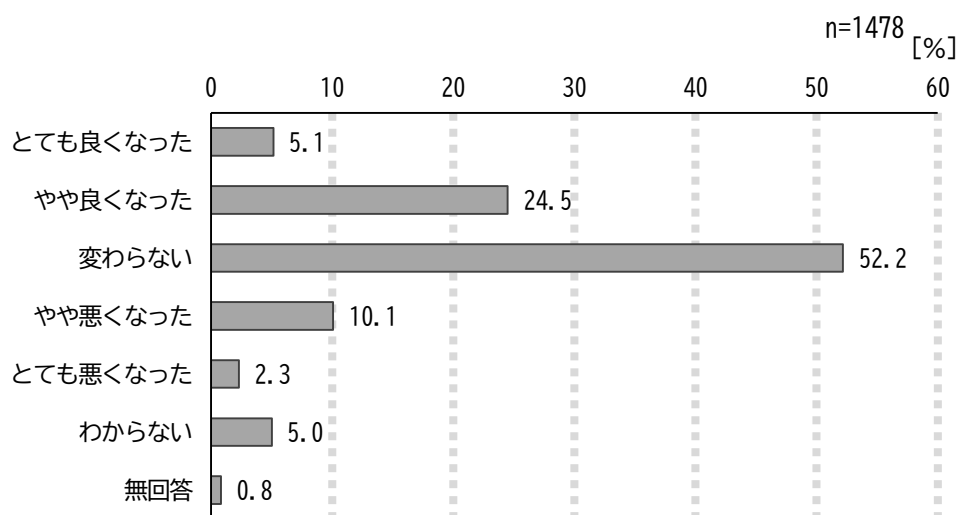
問9 蓮田市の生活環境は、数年前と比較して、どのようになったと感じますか。
(1つに〇)

生活環境の変化は、「変わらない」が52.2%で最も多く、次いで「やや良くなった」が24.5%、「やや悪くなった」が10.1%となっています。

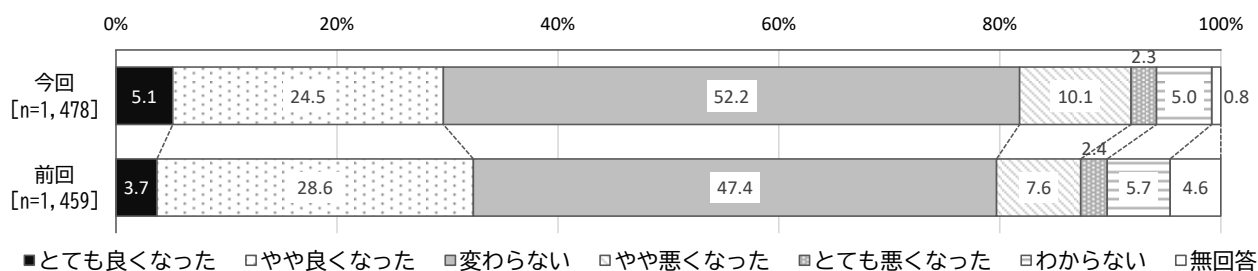
前回調査と比較すると、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた“良くなった”が2.7ポイント減少し、「やや悪くなった」と「悪くなった」を合わせた“悪くなった”が2.4ポイント増加しています。また、「変わらない」は4.8ポイントの増加となっています。

生活環境の変化

【全体】



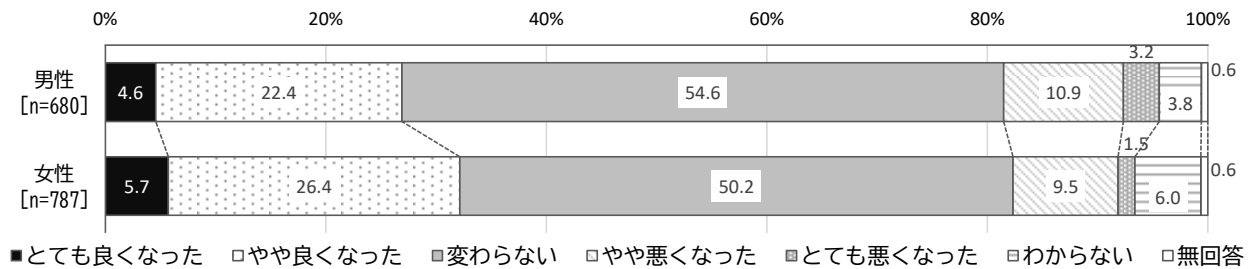
【前回比較】



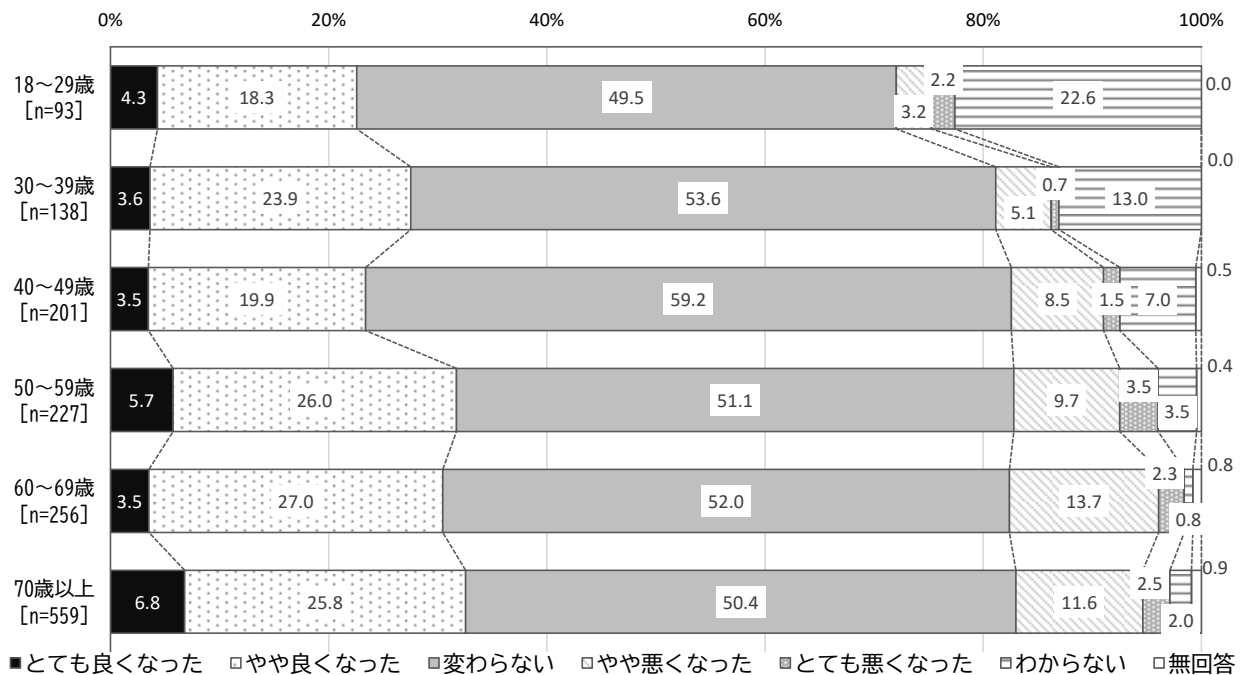
生活環境の変化を性別で見ると、“良くなった”と回答した割合は女性の方が高くなっています。年齢別では、全ての年代で“良くなった”と回答した割合が、“悪くなった”と回答した割合を上回っています。特に、50歳代以上の方の“良くなった”と回答した割合は3割を超えています。また、“悪くなった”と回答した割合は、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向にあります。

生活環境の変化

【性別】



【年齢別】



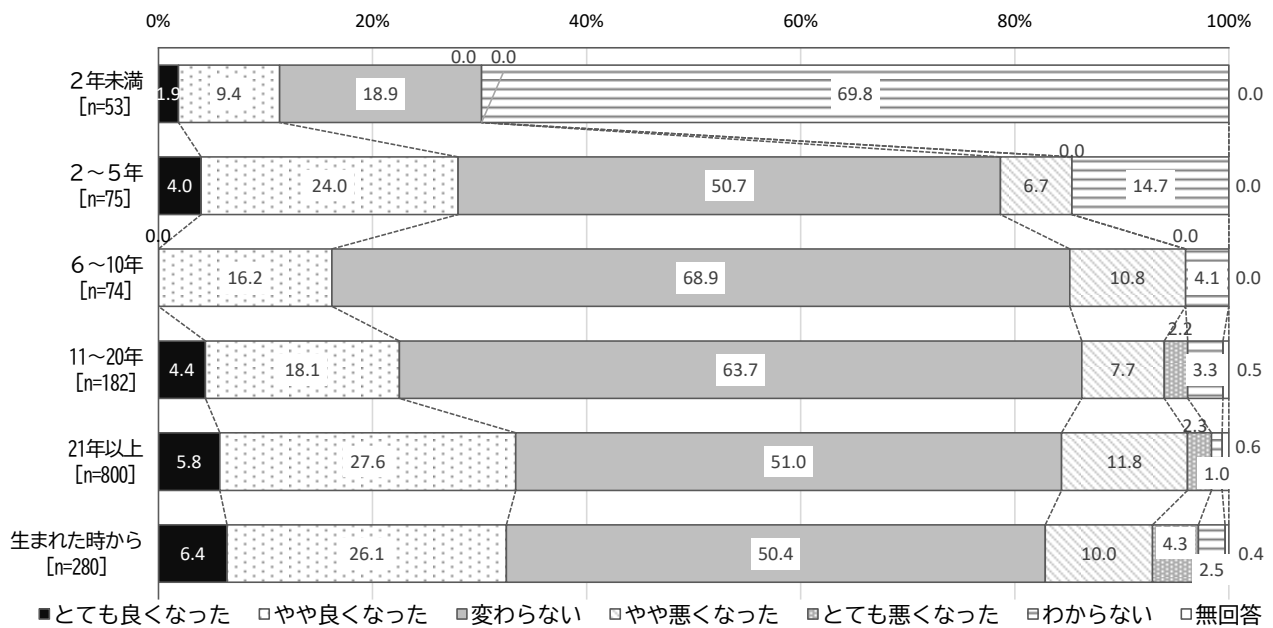
生活環境の変化を居住年数別で見ると、居住年数が『21年以上』、『生まれた時から』の方の“良くなった”と回答した割合が3割を超えています。

地区別では、『平野地区』を除いた5地区において“良くなった”と回答した割合が“悪くなった”と回答した割合を上回っています。

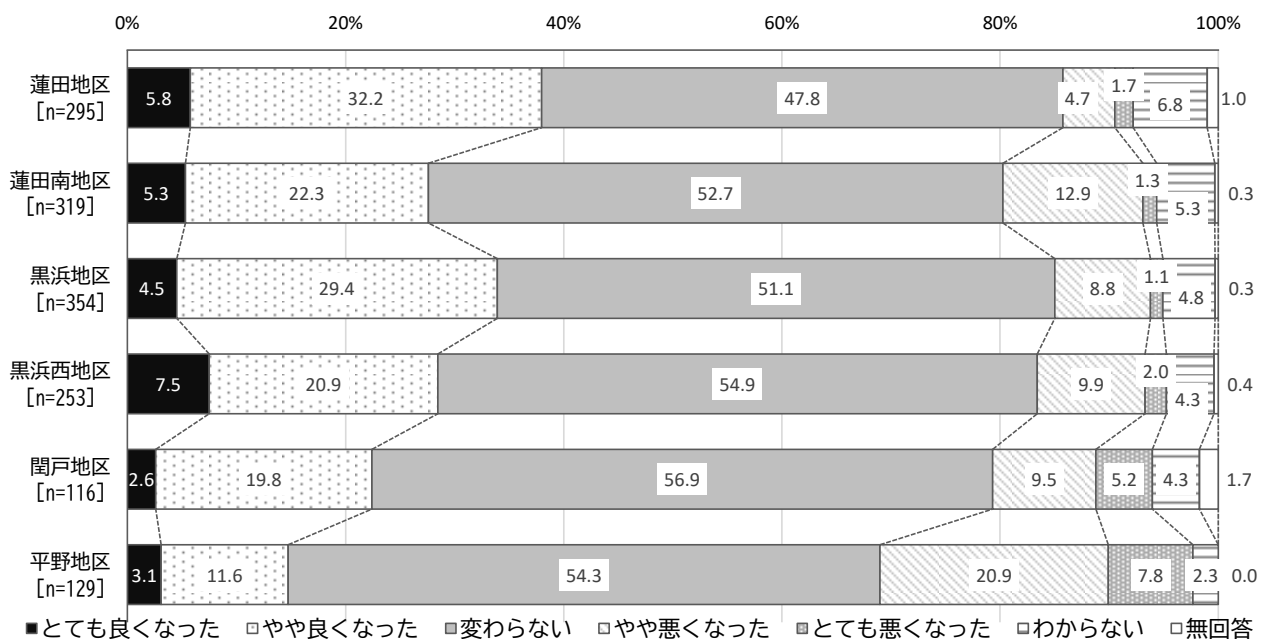
“良くなった”とする割合は『蓮田地区』が38.0%で最も高く、次いで『黒浜地区』が33.9%、『黒浜西地区』が28.4%となっています。

生活環境の変化

【居住年数別】



【地区別】



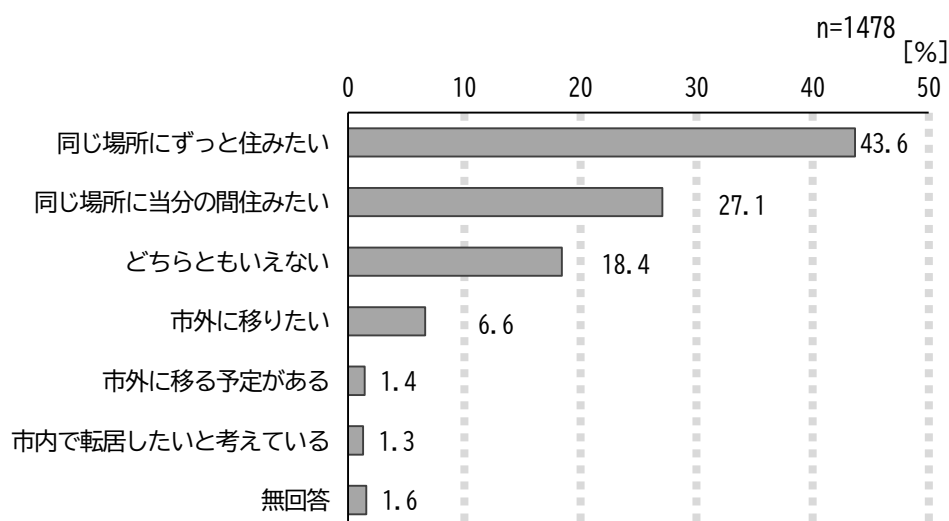
問10 あなたは、これからも蓮田市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

定住の意向は、「同じ場所にずっと住みたい」が43.6%で最も多く、次いで「同じ場所に当分の間住みたい」が27.1%、「どちらともいえない」が18.4%となっています。

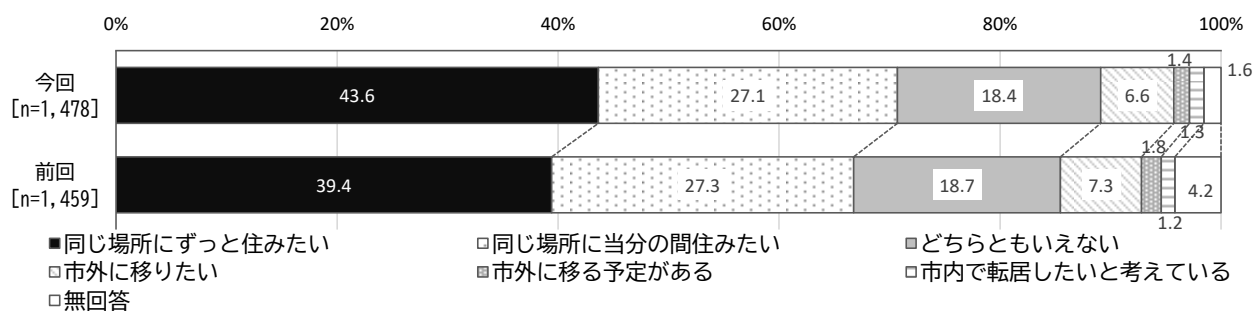
前回調査と比較すると、「同じ場所にずっと住みたい」と「同じ場所に当分の間住みたい」を合わせた“住み続けたい”と回答した割合は4.0ポイント増加となっています。また、「市外に移りたい」が0.7ポイント、「市外に移る予定がある」が0.4ポイントそれぞれ減少しています。

定住の意向

【全体】



【前回比較】

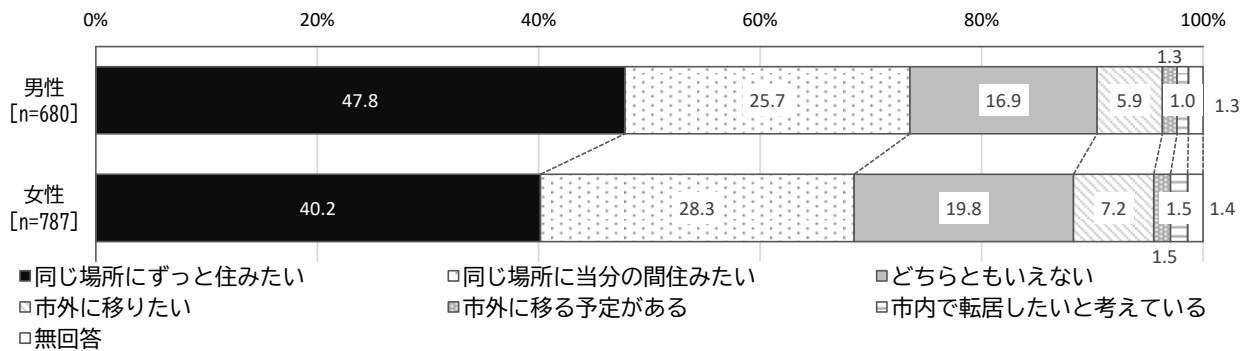


定住の意向を性別でみると、“住み続けたい”と回答した割合は、男女ともに高いですが、『男性』が『女性』より5.0ポイント高い73.5%となっています。

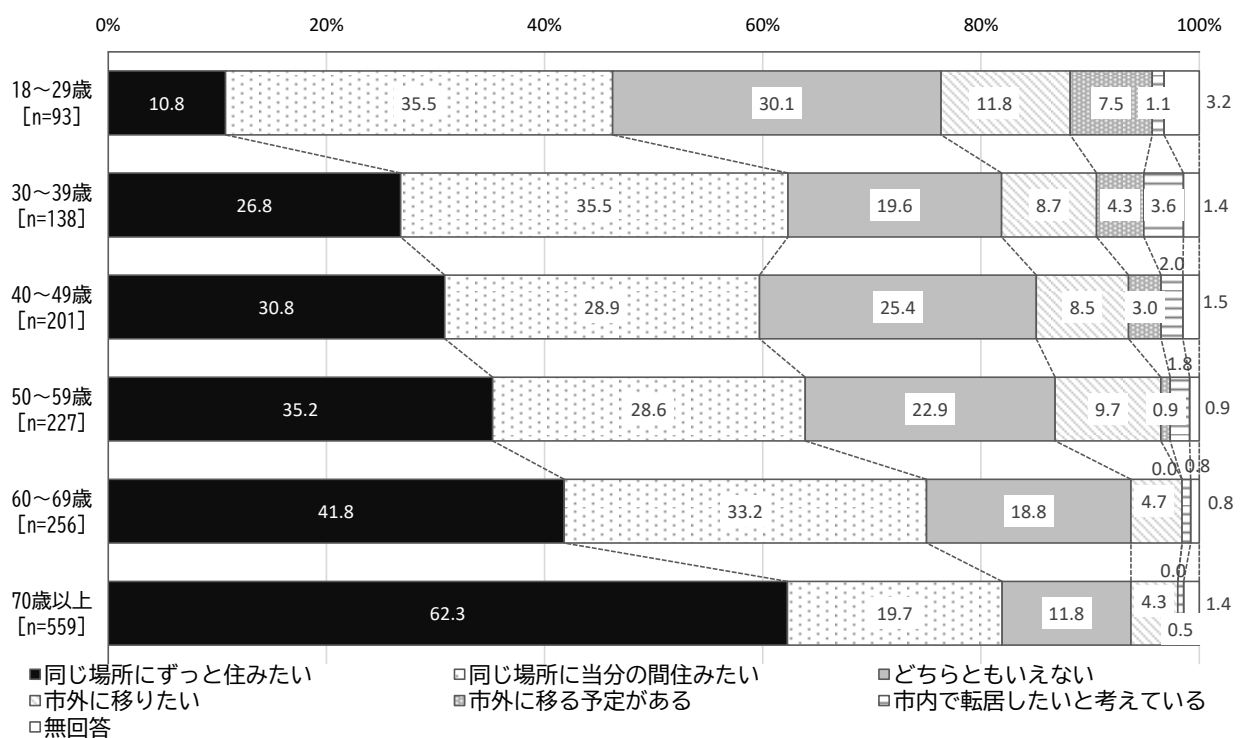
年齢別では、おおむね年代が上がるにつれて“住み続けたい”とする定住の意向が高く、転居の意向が低くなっています。特に『70歳以上』の方は“住み続けたい”と回答した割合が、8割を超えています。

定住の意向

【性別】



【年齢別】

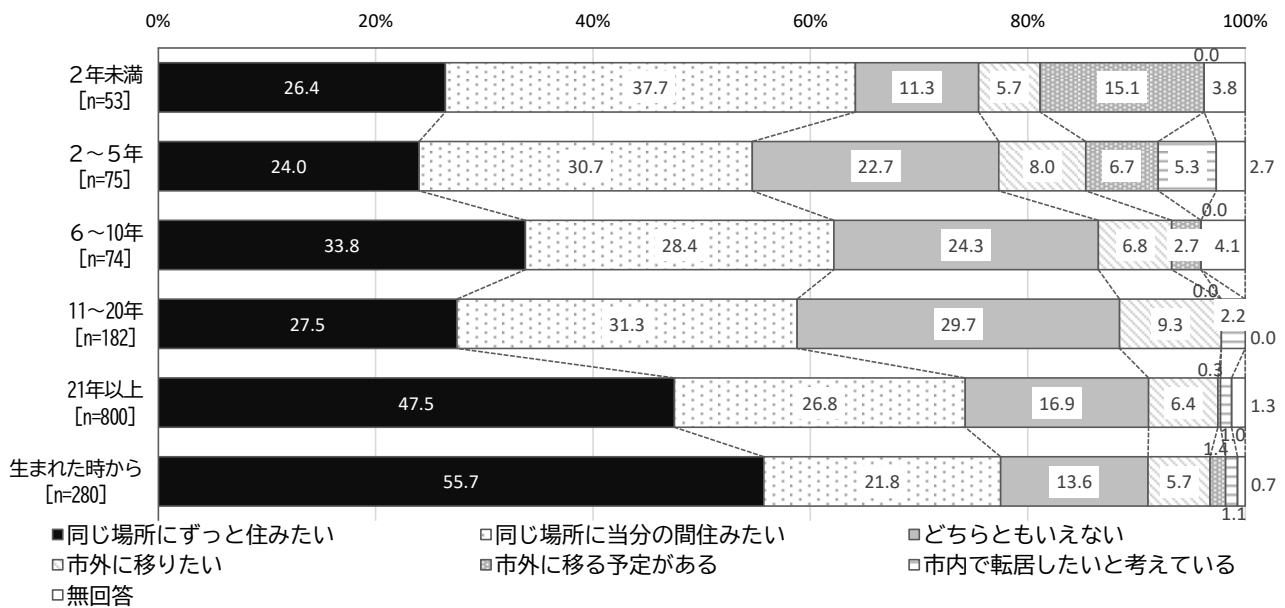


定住の意向を居住年数別で見ると、おおむね居住年数が長くなるにつれて定住意向が高くなる傾向にあります。また、「市外に移りたい」「市外に移る予定がある」を合わせた“市外に移りたい”の転居の意向は、『2年未満』で20.8%と高くなっています。

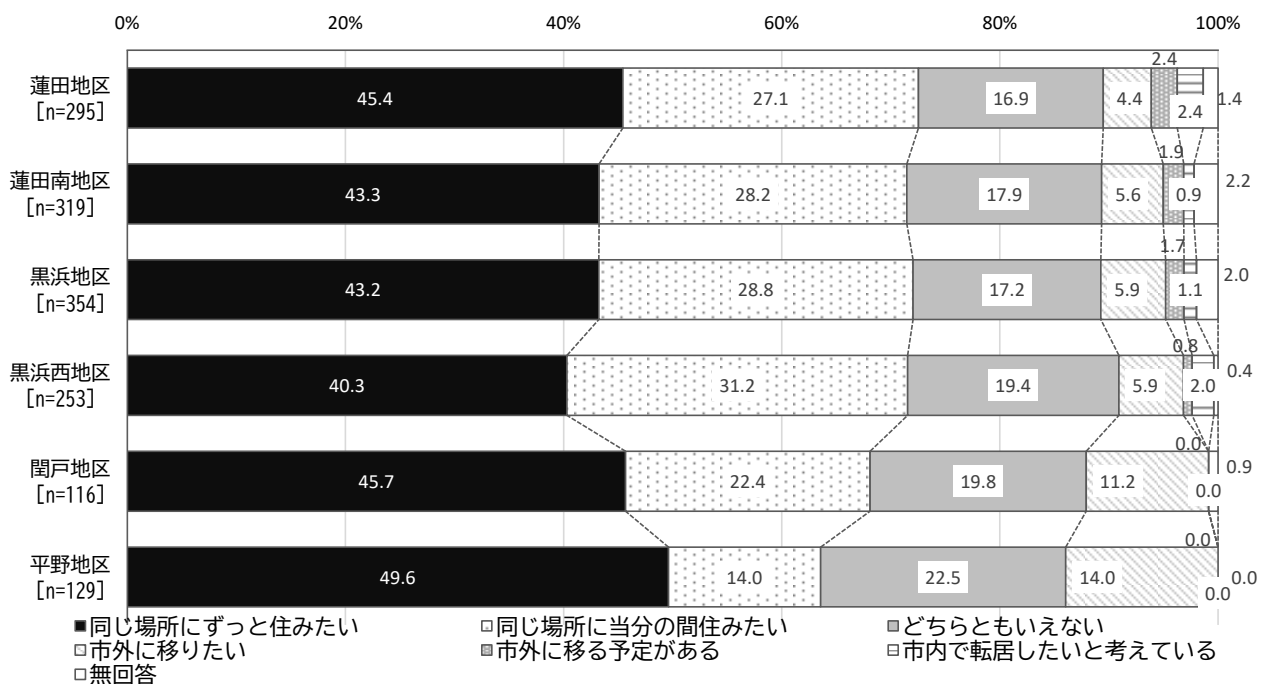
地区別では、“住み続けたい”と回答した割合は、『蓮田地区』、『蓮田南地区』、『黒浜地区』、『黒浜西地区』で7割を超えています。また、“市外に移りたい”という転出の意向が高いのは、『平野地区』の14.0%、『閩戸地区』の11.2%となっています。

定住の意向

【居住年数別】



【地区別】



【※ 問10で『同じ場所にずっと住みたい』、『同じ場所に当分の間住みたい』とお答えいただいた方】

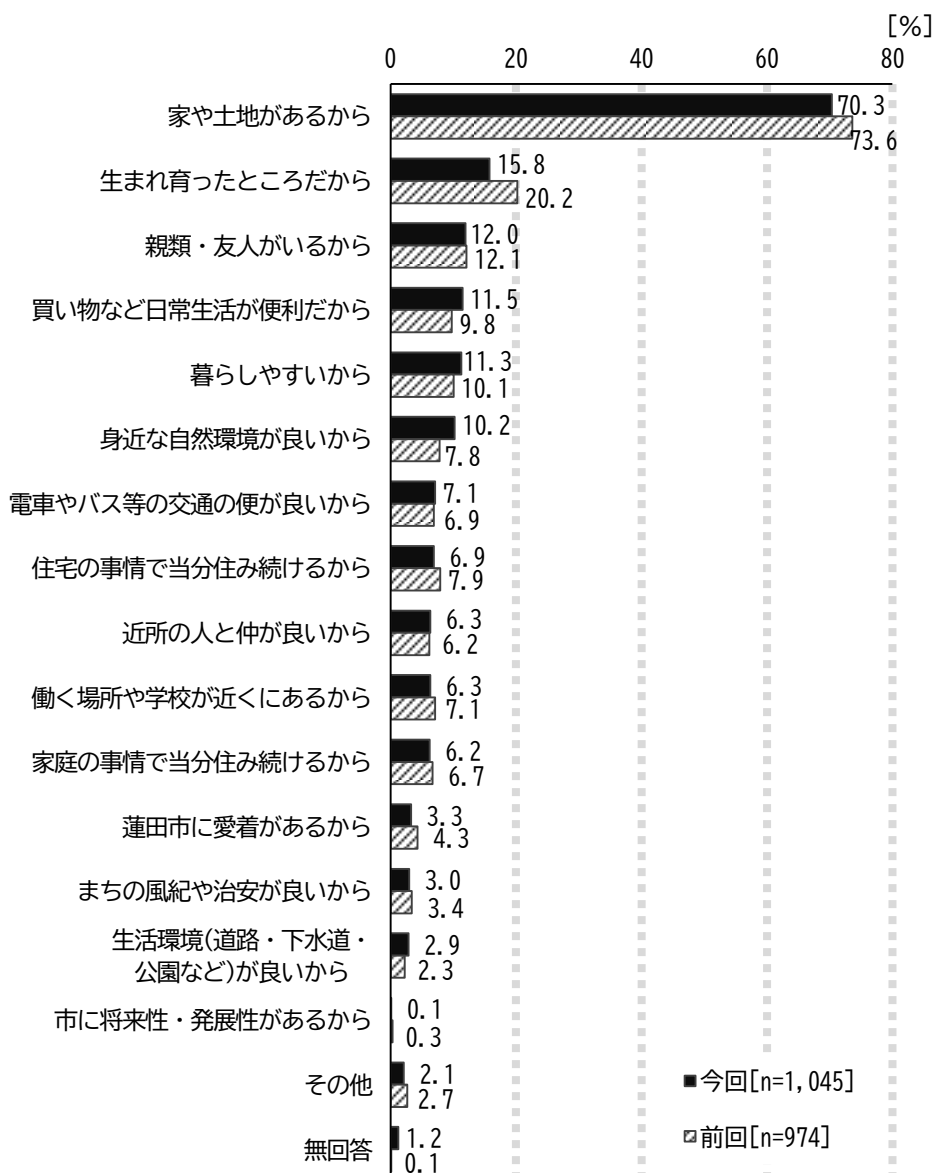
問 10-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(2つまでに○)

「家や土地があるから」が70.3%で最も高く、次いで「生まれ育ったところだから」が15.8%、「親類・友人がいるから」が12.0%となっています。

前回調査と比較すると、「家や土地があるから」が3.3ポイント、「生まれ育ったところだから」が4.4ポイントそれぞれ減少しており、「身近な自然環境が良いから」が2.4ポイント、「買い物など日常生活が便利だから」が1.7ポイントそれぞれ増加しています。

定住理由

【全体・前回比較】



【※ 問10で『市外に移りたい』『市外に移る予定がある』『市内で転居したいと考えている』とお答えいただいた方】

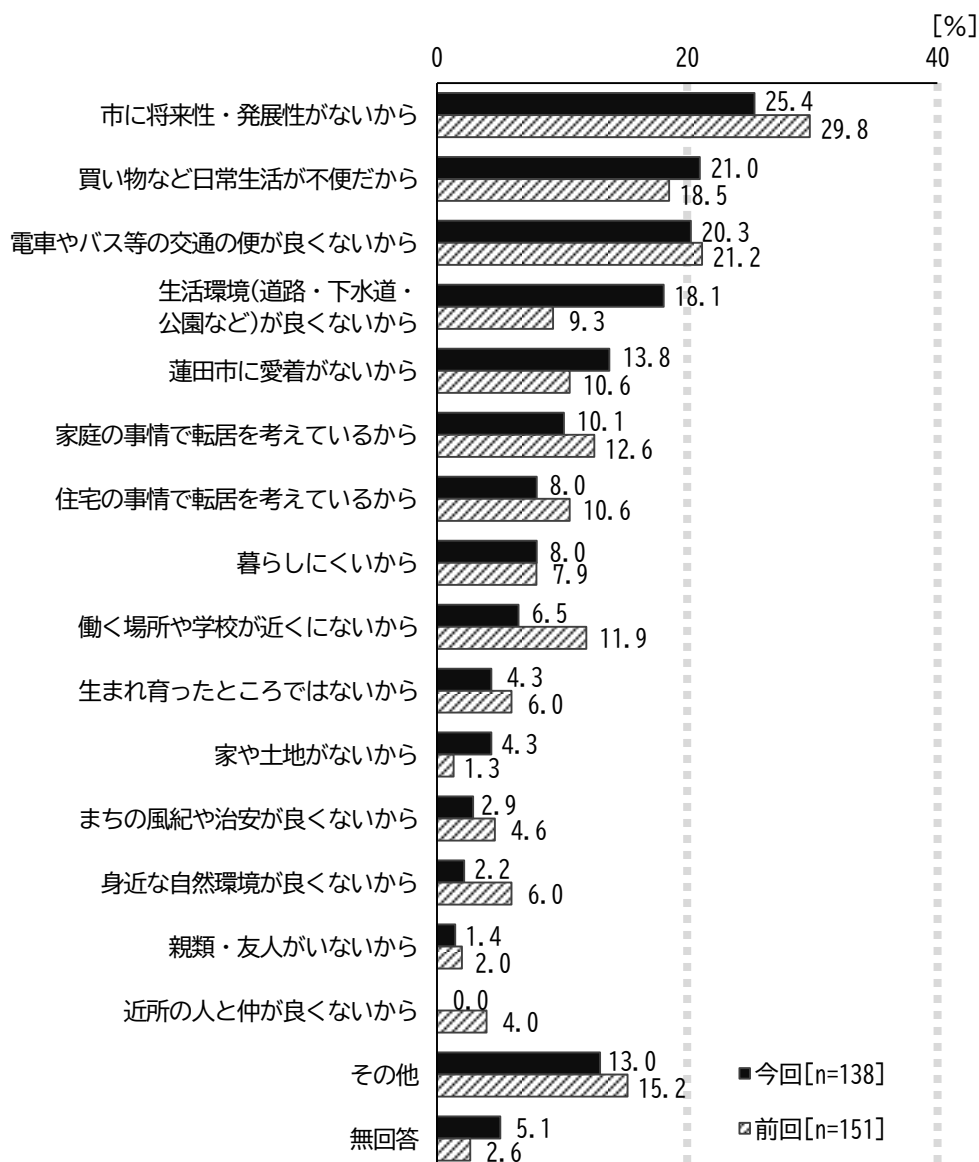
問 10-2 転居したいと思う主な理由は何ですか。(2つまでに○)

「市に将来性・発展性がないから」が25.4%で最も高く、次いで「買い物など日常生活が不便だから」が21.0%、「電車やバス等の交通の便が良くないから」が20.3%となっています。

前回調査と比較すると、「働く場所や学校が近くにないから」や「市に将来性・発展性がないから」、「近所の人と仲が良くないから」の回答が減少しているのに対し、「生活環境(道路・下水道・公園など)が良くないから」や「蓮田市に愛着がないから」、「家や土地がないから」の回答が増加しています。

転居意向理由

【全体・前回比較】



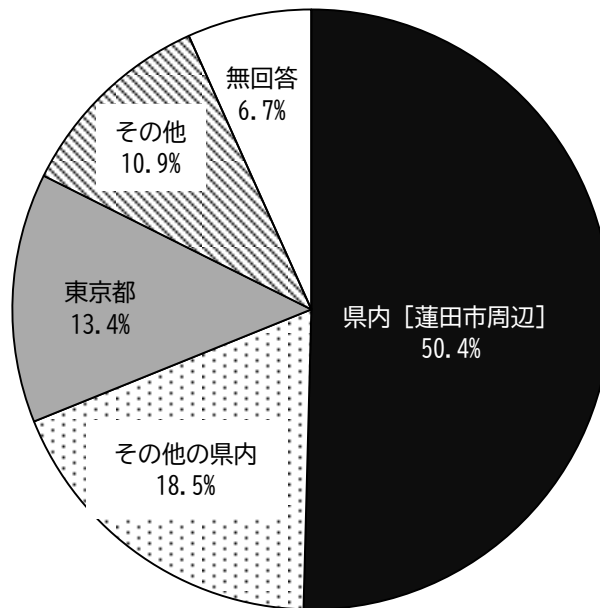
【※ 問10で、『市外に移りたい』『市外に移る予定がある』とお答えいただいた方】

問 10-3 市外へ移りたいと思う場所はどこのお考えですか。(1つに○)

「県内 [蓮田市周辺] (さいたま市・上尾市・伊奈町・桶川市・久喜市・白岡市)」が 50.4%で最も多く、次いで「その他の県内」が 18.5%、「東京都」が 13.4%となっています。

転居希望地域

【全体】



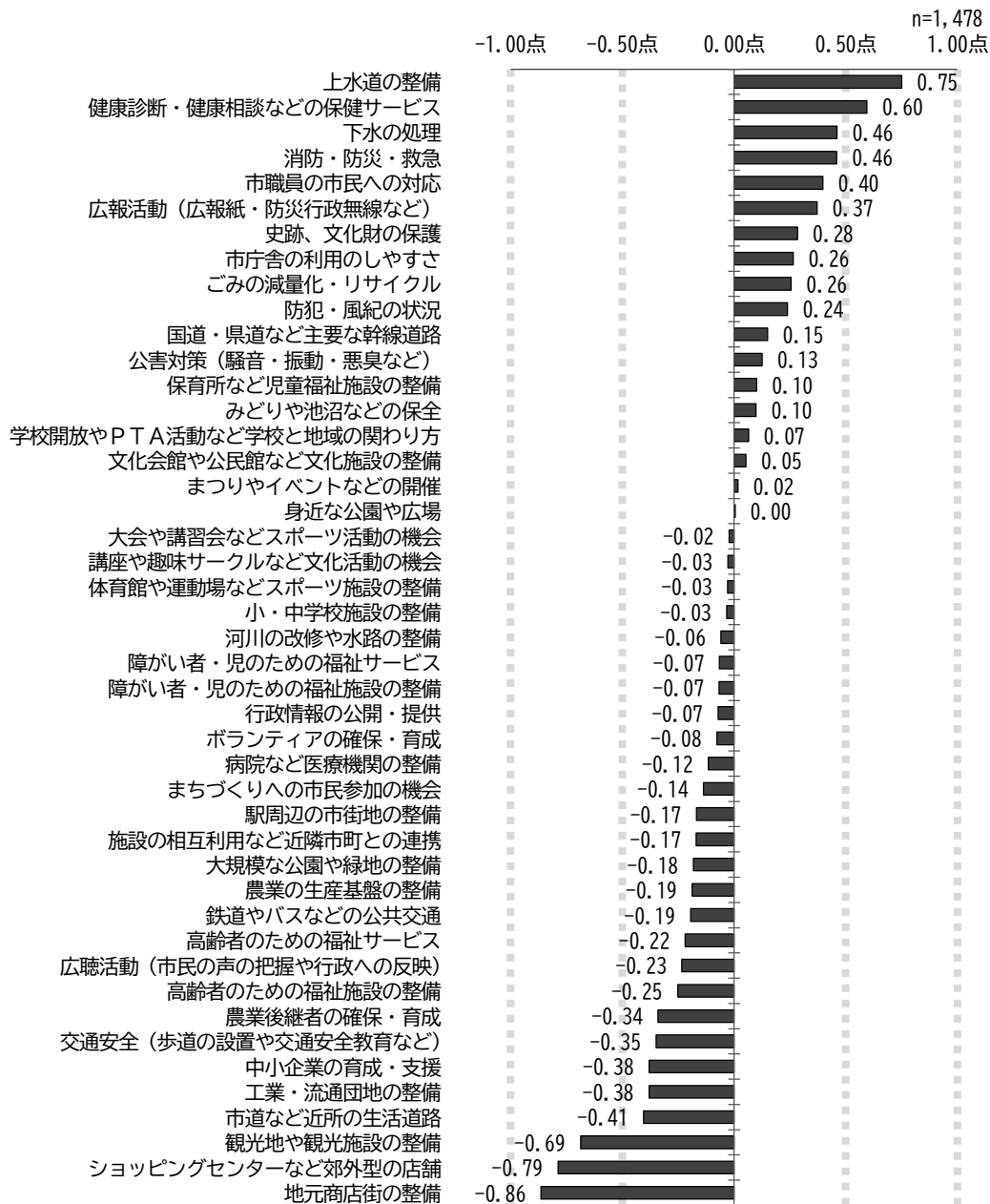
2-3 暮らしをとりまく身近な環境について

45の行政施策のうち満足度が高い施策は順に、「上水道の整備」、「健康診断・健康相談などの保健サービス」、「下水の処理」などで、主に『生活環境の状況』の施策があげられています。

一方、不満度が高い施策は「地元商店街の整備」や「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」などで、『産業振興』の施策が多くなっています。

行政施策の満足度

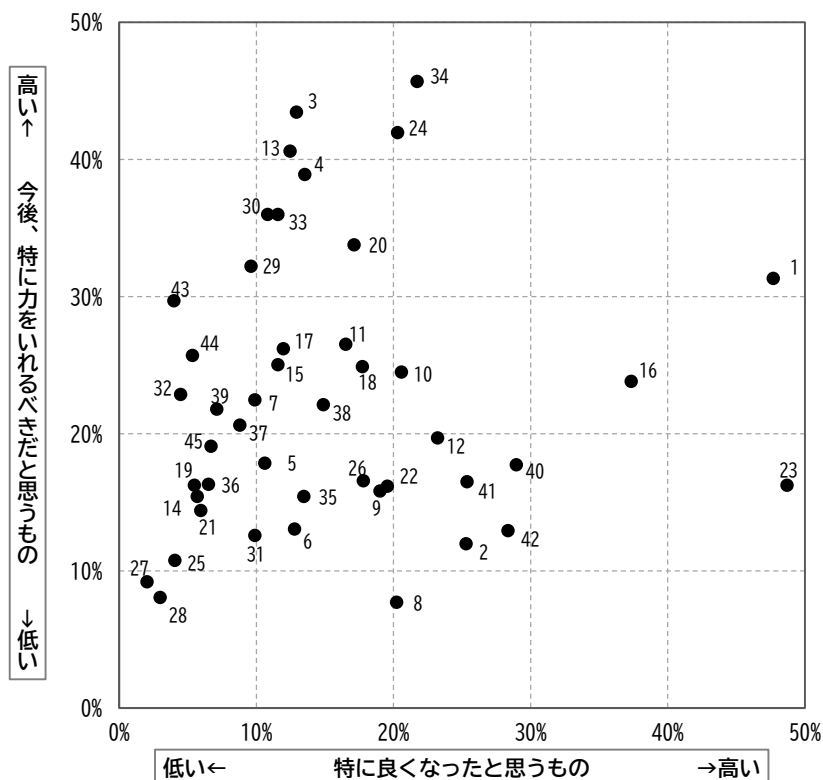
【全体・加重平均】



施策全体では、「健康診断・健康相談などの保健サービス」や「駅周辺の市街地の整備」などで評価が高くなっており、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」や「市道など近所の生活道路」などで要望が高くなっています。

行政施策の評価と要望

【全体】



★：評価が高い施策 ☆：要望が高い施策

分野	NO.	施策	分野	NO.	施策
都市基盤の状況	1	★駅周辺の市街地の整備	保健・福祉・医療サービス	23	★健康診断・健康相談などの保健サービス
	2	国道・県道など主要な幹線道路		24	病院など医療機関の整備
	3	☆市道など近所の生活道路		25	ボランティアの確保・育成
	4	鉄道やバスなどの公共交通		26	保育所など児童福祉施設の整備
	5	河川の改修や水路の整備		27	障がい者・児のための福祉施設の整備
	6	みどりや池沼などの保全		28	障がい者・児のための福祉サービス
	7	大規模な公園や緑地の整備		29	高齢者のための福祉施設の整備
生活環境の状況	8	上水道の整備	30	高齢者のための福祉サービス	
	9	下水の処理	31	農業の生産基盤の整備	
	10	身近な公園や広場	32	農業後継者の確保・育成	
	11	消防・防災・救急	33	地元商店街の整備	
	12	ごみの減量化・リサイクル	34	☆ショッピングセンターなど郊外型の店舗	
	13	交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）	35	工業・流通団地の整備	
	14	公害対策（騒音・振動・悪臭など）	36	中小企業の育成・支援	
	15	防犯・風紀の状況	37	観光地や観光施設の整備	
教育・文化行政	16	文化会館や公民館など文化施設の整備	コミュニティづくり	38	まつりやイベントなどの開催
	17	講座や趣味サークルなど文化活動の機会		39	まちづくりへの市民参加の機会
	18	体育館や運動場などスポーツ施設の整備		40	市庁舎の利用のしやすさ
	19	大会や講習会などスポーツ活動の機会		41	市職員の市民への対応
	20	小・中学校施設の整備		42	広報活動（広報紙・防災行政無線など）
	21	学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方		43	広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）
	22	史跡、文化財の保護		44	施設の相互利用など近隣市町との連携
				45	行政情報の公開・提供

問 11 蓮田市の都市基盤の状況についてどのように感じていますか。(1つに○)

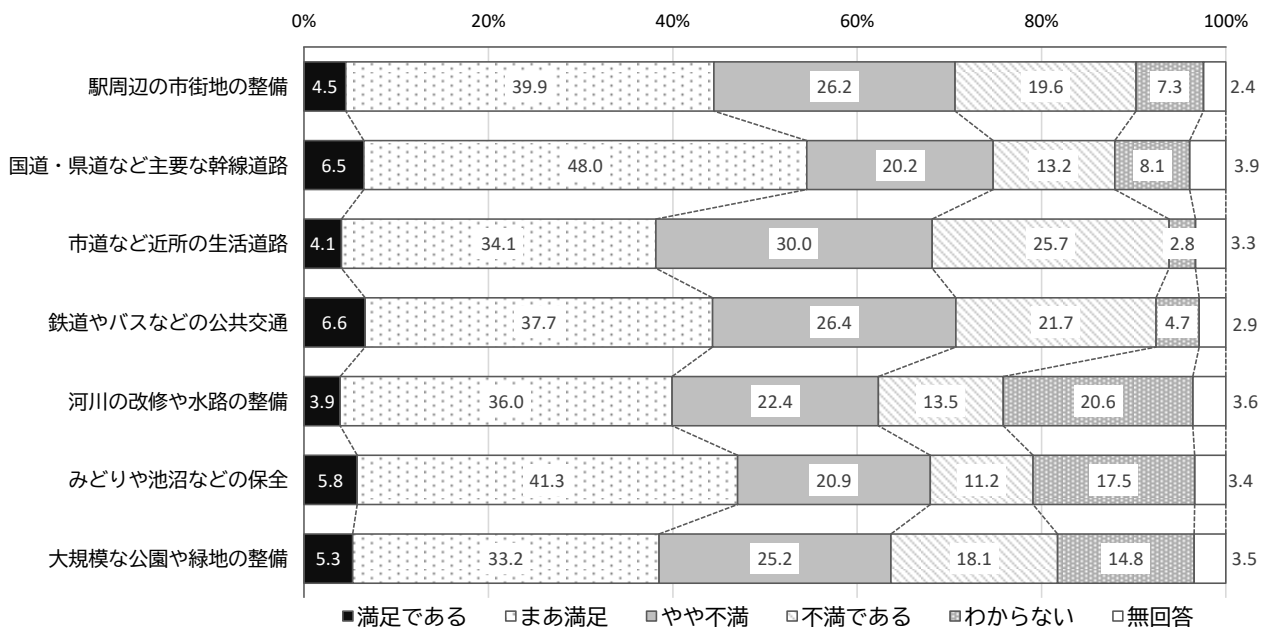
都市基盤の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『国道・県道など主要な幹線道路』や『みどりや池沼などの保全』となっています。

満足度は、「国道・県道など主要な幹線道路」と「みどりや池沼などの保全」が満足傾向にあります。

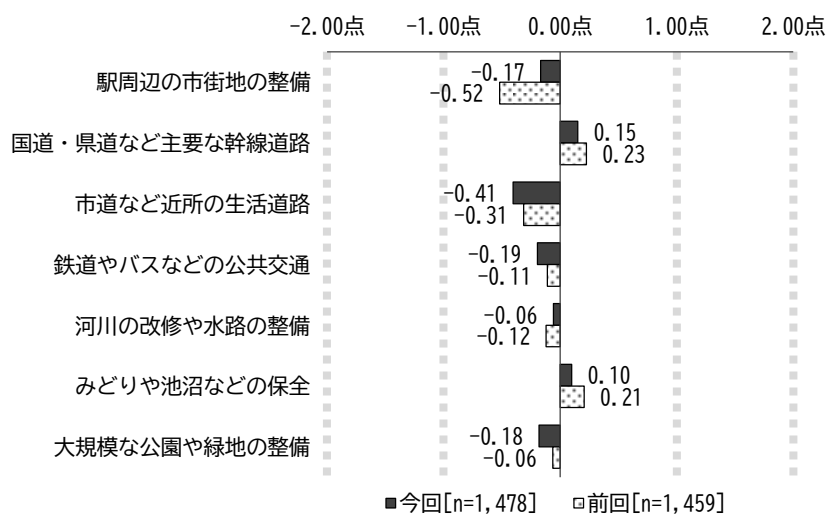
前回調査との比較では、『駅周辺の市街地の整備』が 0.35 ポイント増加しており、『大規模な公園や緑地の整備』が 0.12 ポイント減少しています。

都市基盤の状況

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 12 都市基盤の状況の項目で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(それぞれ2つに○)

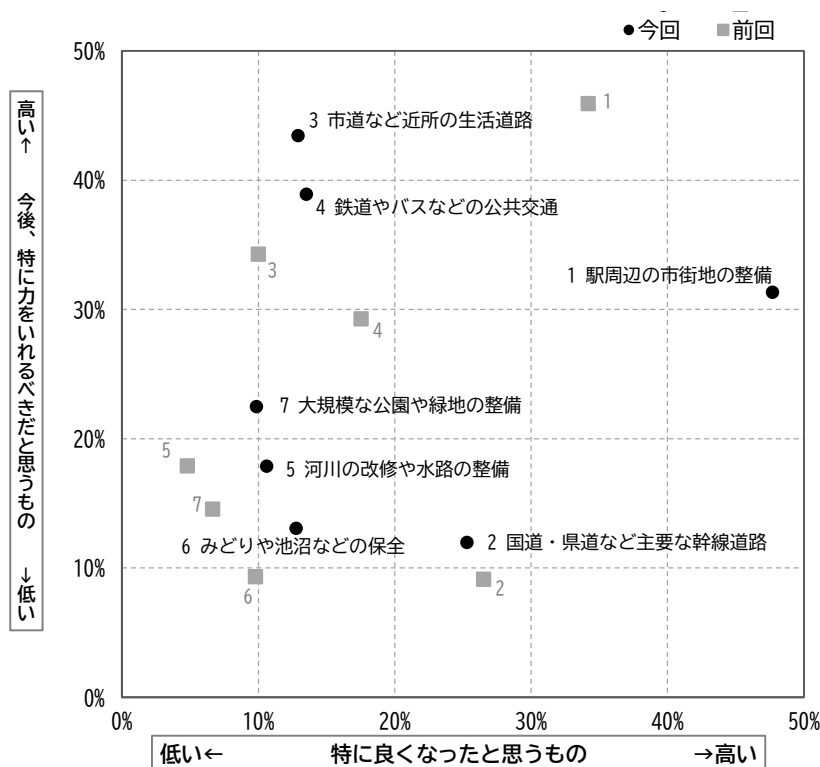
■ 評 価

「駅周辺の市街地の整備」が 47.7%で最も高く、次いで「国道・県道など主要な幹線道路」が 25.3%、「鉄道やバスなどの公共交通」が 13.5%となっています。

■ 要 望

「市道など近所の生活道路」が 43.4%で最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通」が 38.9%、「駅周辺の市街地の整備」が 31.3%となっています。

都市基盤の状況の評価と要望



施 策	評 価	要 望
駅周辺の市街地の整備	47.7%	31.3%
国道・県道など主要な幹線道路	25.3%	12.0%
市道など近所の生活道路	12.9%	43.4%
鉄道やバスなどの公共交通	13.5%	38.9%
河川の改修や水路の整備	10.6%	17.9%
みどりや池沼などの保全	12.8%	13.1%
大規模な公園や緑地の整備	9.9%	22.5%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「駅周辺の市街地の整備」が47.7%で前回より13.5ポイント増加している一方、「鉄道やバスなどの公共交通」は13.5%で前回より4.0ポイント減少しています。

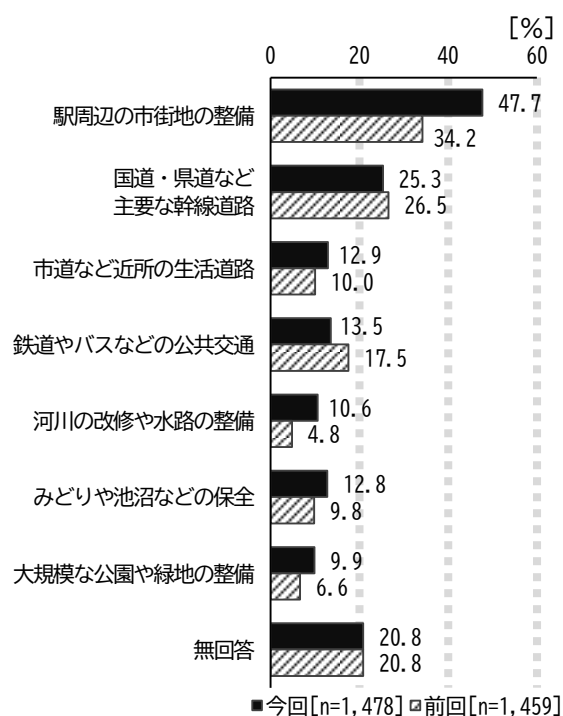
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「鉄道やバスなどの公共交通」が38.9%で前回より9.6ポイント増加している一方、「駅周辺の市街地の整備」が31.3%と前回より14.6ポイント減少しています。

都市基盤の状況の評価と要望

【前回比較】

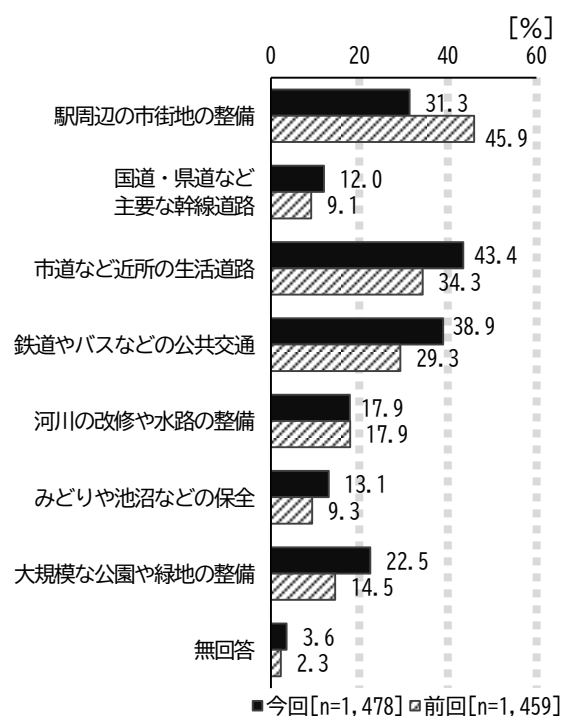
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「駅周辺の市街地の整備」施策の20歳代以下が63.4%で最も高くなっています。

要望については、「市道など近所の生活道路」施策の50歳代が49.8%で最も高くなっています。

都市基盤の状況の評価と要望

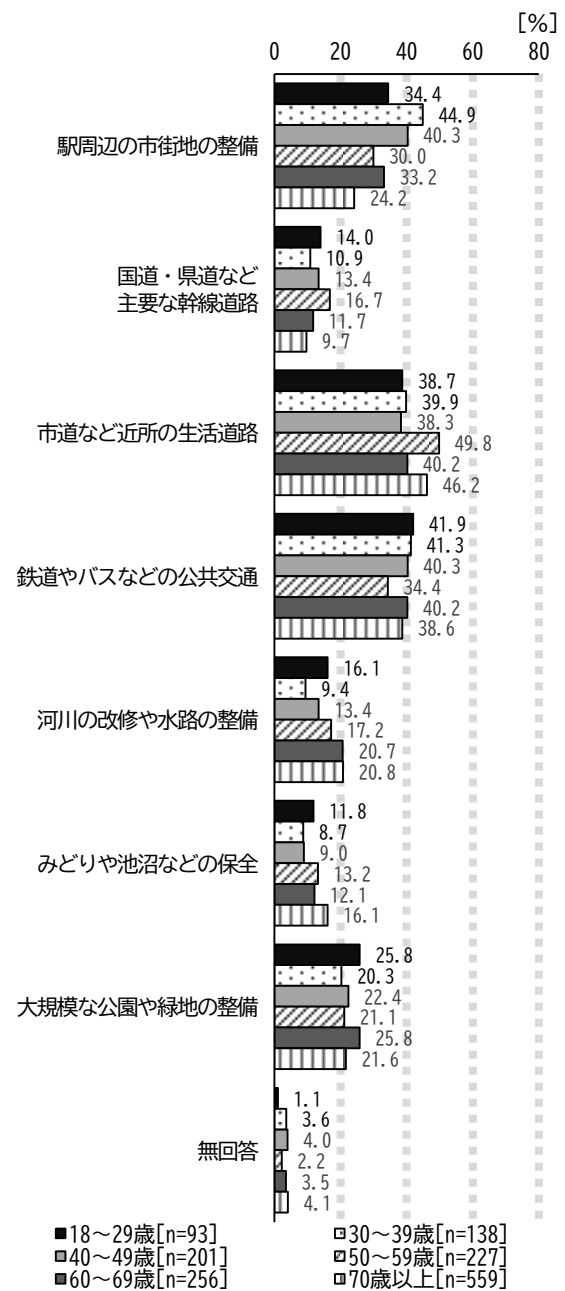
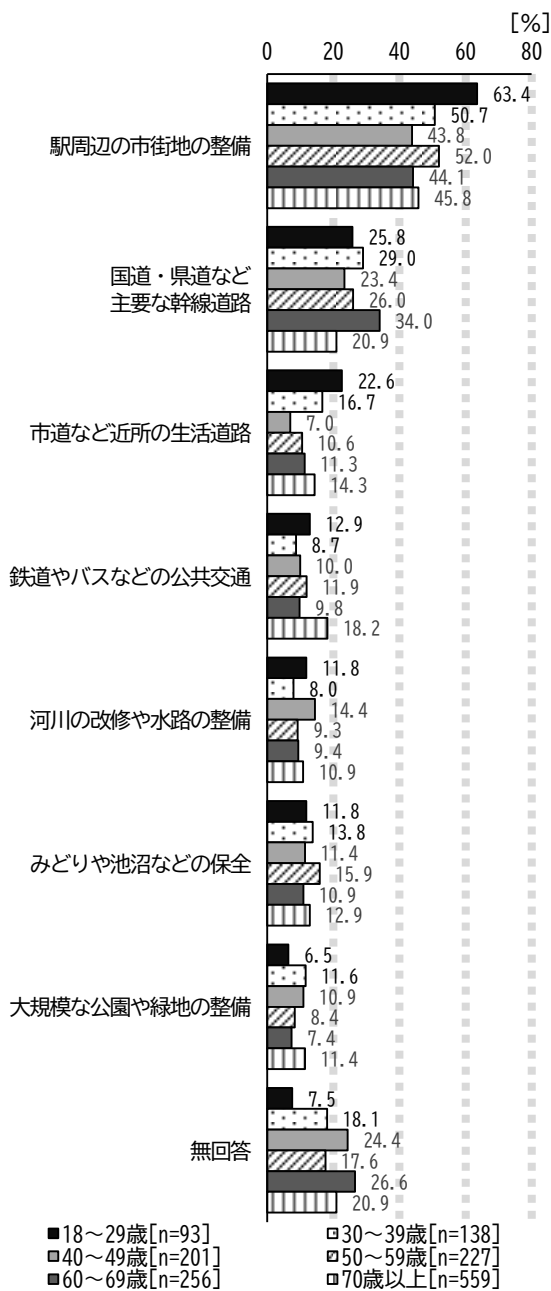
【年齢別】

評価

(A. 特に良くなったと思うもの)

要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「駅周辺の市街地の整備」施策の蓮田地区が 59.3%で最も高くなっています。

要望については、「市道など近所の生活道路」施策の平野地区が 58.1%で最も高くなっています。

都市基盤の状況の評価と要望

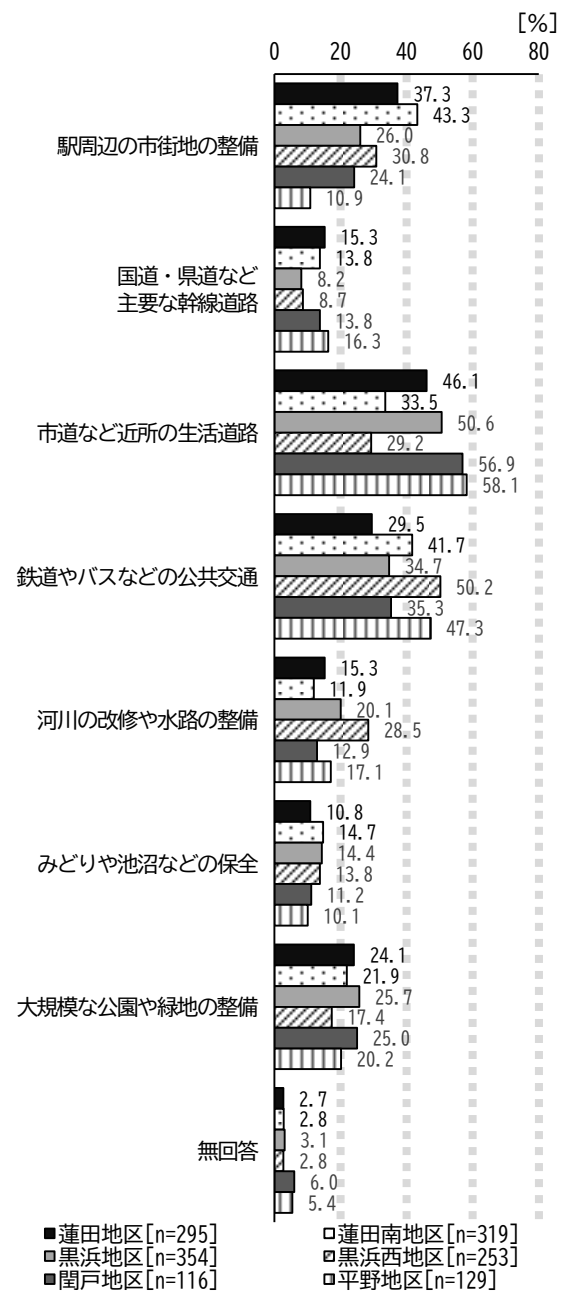
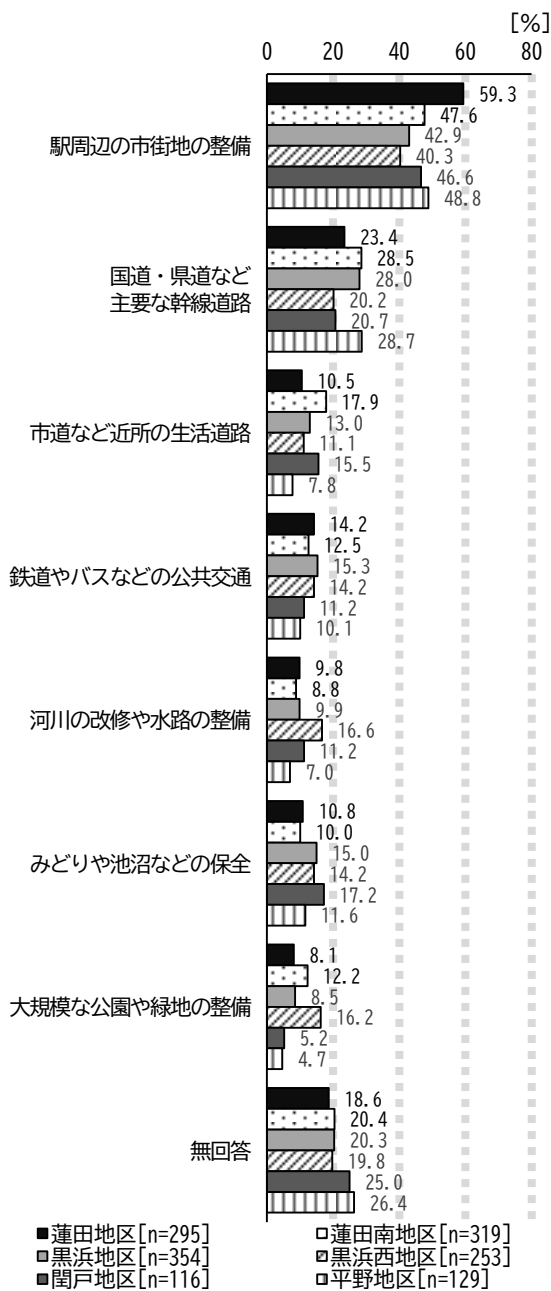
【地区別】

評価

(A. 特に良くなったと思うもの)

要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



問 13 蓮田市の生活環境の状況についてどのように感じていますか。(1つに○)

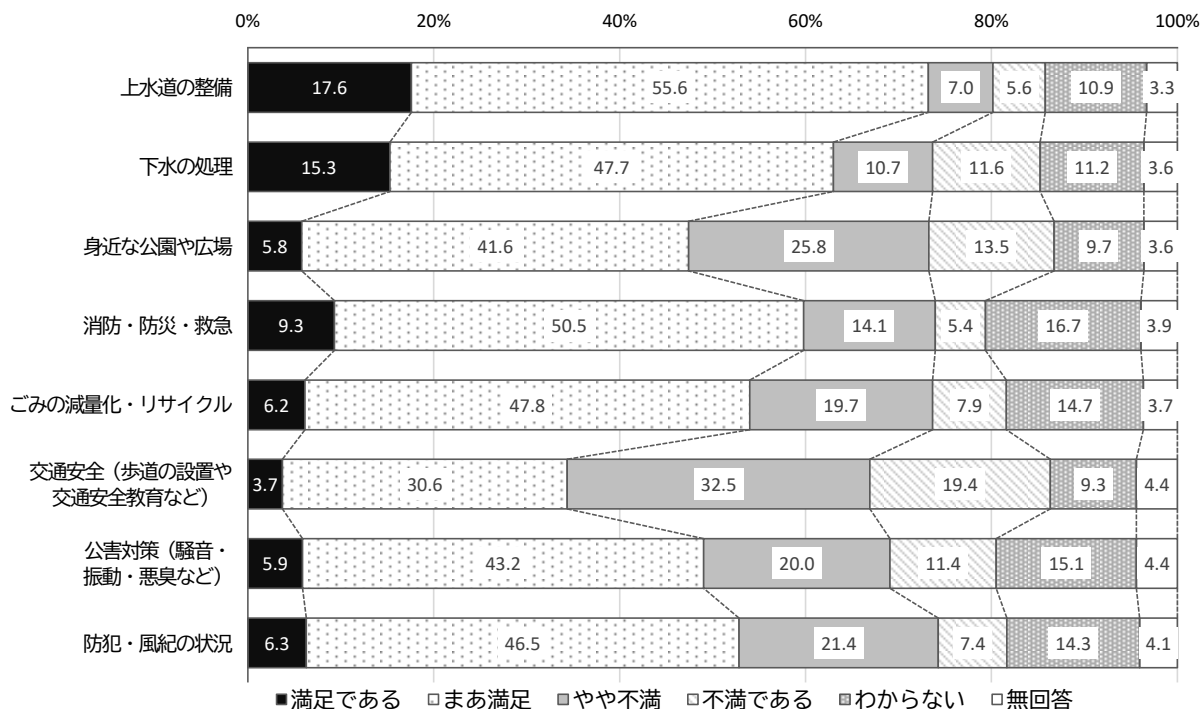
生活環境の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『上水道の整備』や『下水の処理』となっています。

満足度は、「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」が不満傾向にあります。

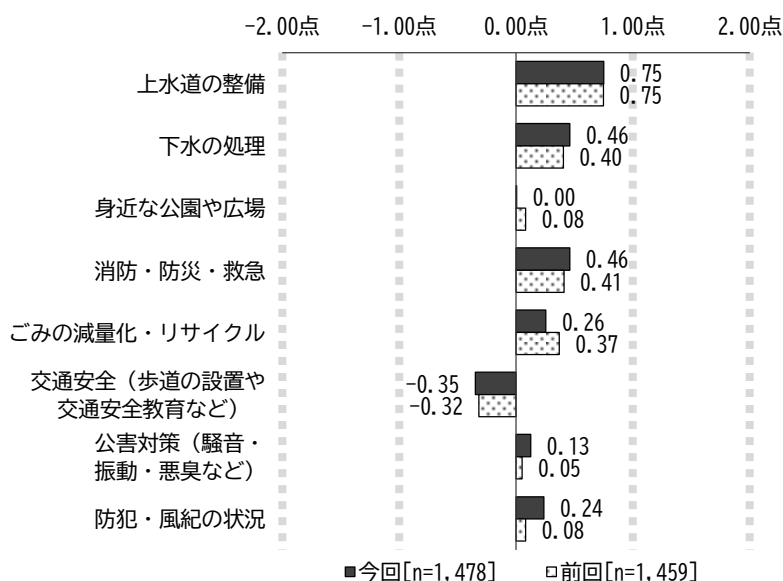
前回調査との比較では、「防犯・風紀の状況」が0.16ポイント増加しており、「ごみの減量化・リサイクル」が0.11ポイント減少しています。

生活環境の状況

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 14 生活環境の状況の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(それぞれ2つに○)

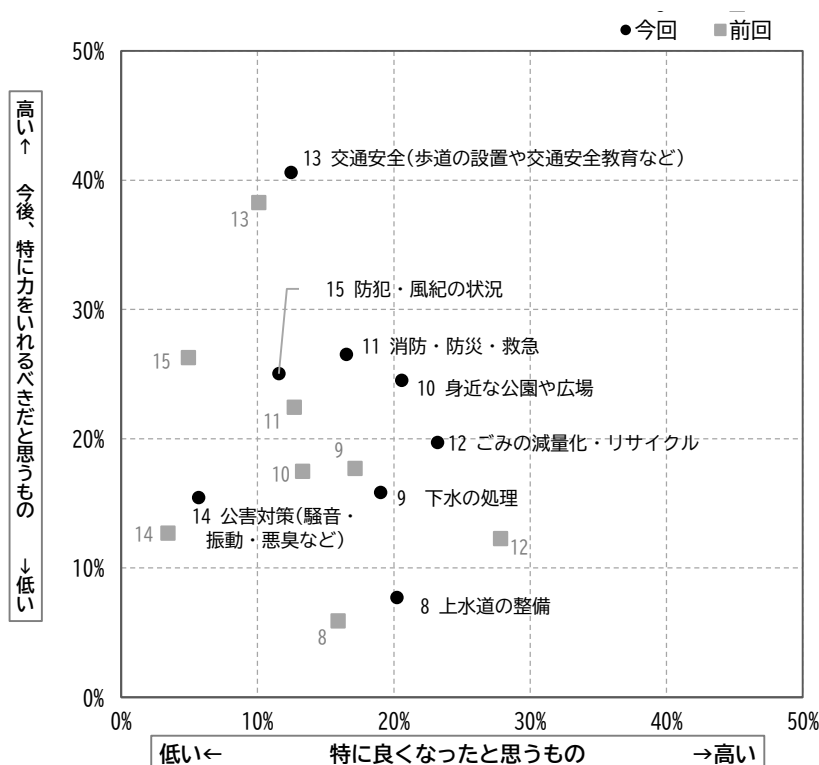
■ 評 価

「ごみの減量化・リサイクル」が 23.2%で最も高く、次いで「身近な公園や広場」が 20.6%、「上水道の整備」が 20.2%となっています。

■ 要 望

「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」が 40.6%で最も高く、次いで「消防・防災・救急」が 26.5%、「防犯・風紀の状況」が 25.0%となっています。

生活環境の状況の評価と要望



施 策	評 価	要 望
上水道の整備	20.2%	7.7%
下水の処理	19.0%	15.8%
身近な公園や広場	20.6%	24.5%
消防・防災・救急	16.5%	26.5%
ごみの減量化・リサイクル	23.2%	19.7%
交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）	12.4%	40.6%
公害対策（騒音・振動・悪臭など）	5.7%	15.4%
防犯・風紀の状況	11.6%	25.0%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「身近な公園や広場」が20.6%で前回より7.3ポイント増加している一方、「ごみの減量化・リサイクル」は23.2%で前回より4.6ポイント減少しています。

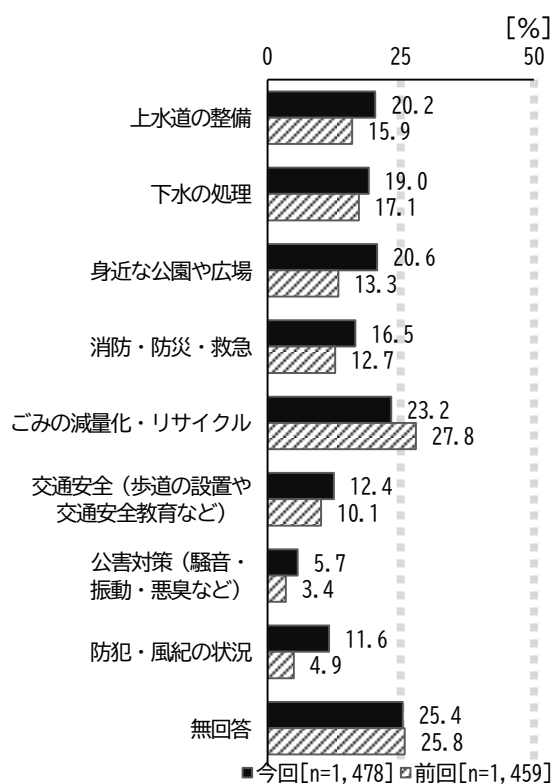
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「ごみの減量化・リサイクル」が19.7%で前回より7.4ポイント増加している一方、「下水の処理」が15.8%と前回より1.9ポイント減少しています。

生活環境の状況の評価と要望

【前回比較】

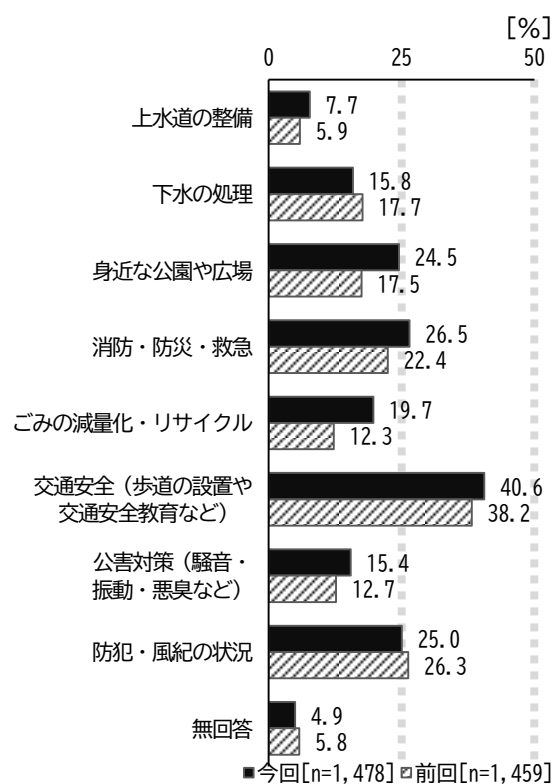
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「ごみの減量化・リサイクル」施策の70歳以上が27.2%で最も高くなっています。

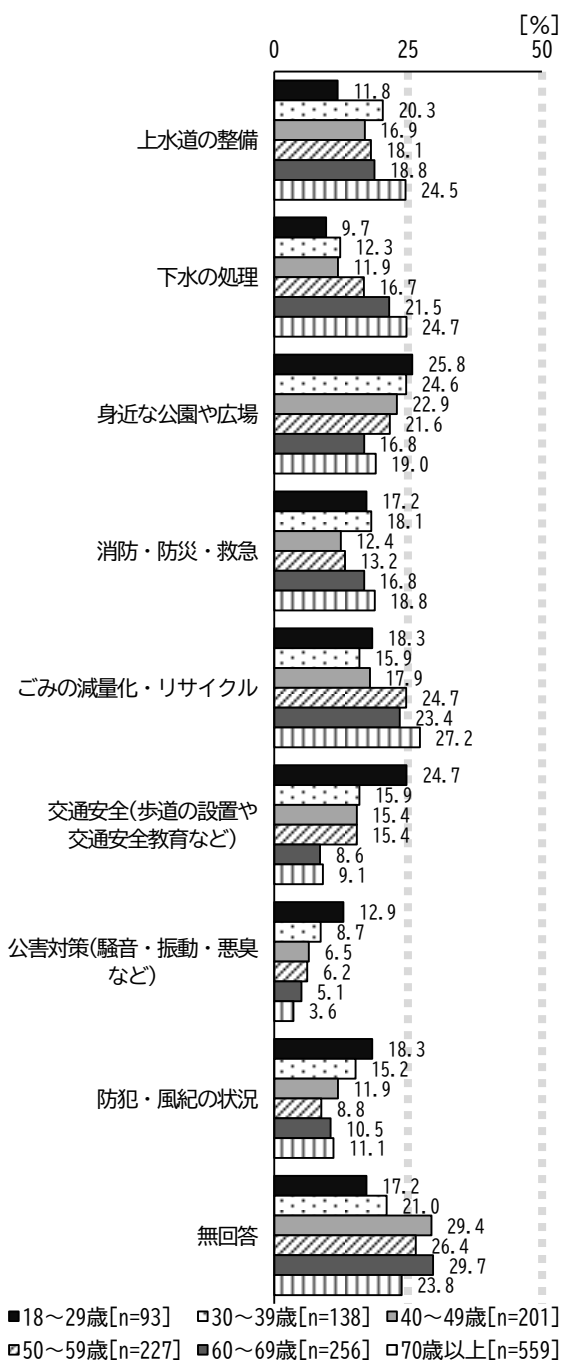
要望については、「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」施策の30歳代が43.5%で最も高くなっています。

生活環境の状況の評価と要望

【年齢別】

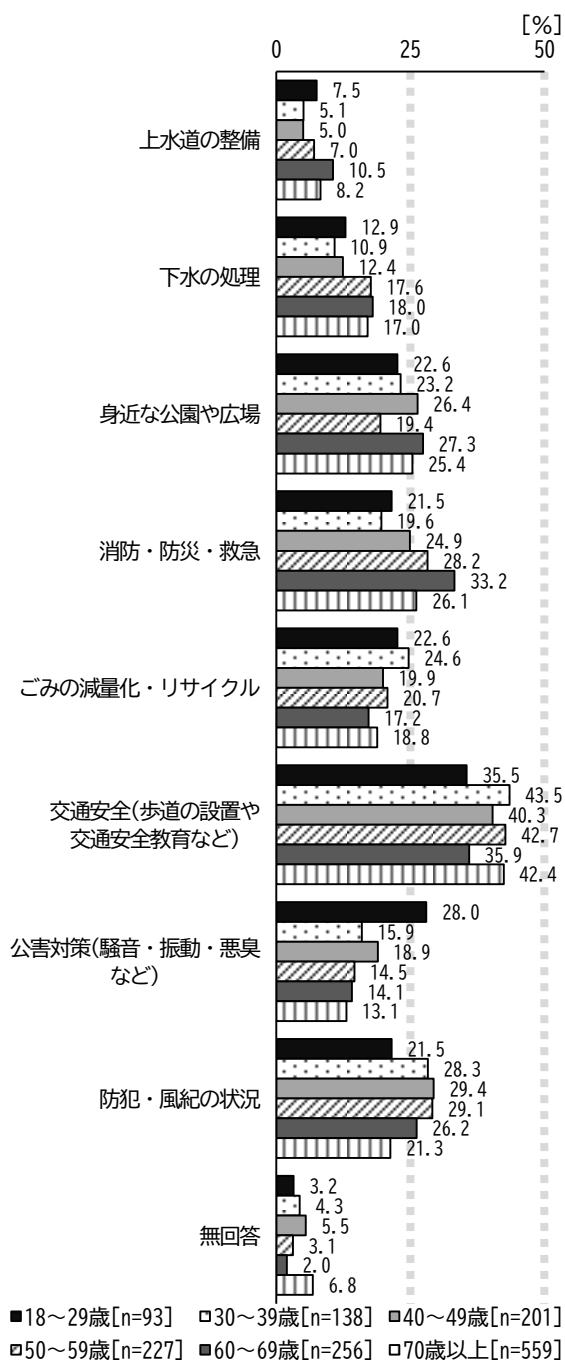
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「ごみの減量化・リサイクル」施策の関戸地区が 33.6%で最も高くなっています。

要望については、「下水の処理」施策の関戸地区が 61.2%で最も高くなっています。

生活環境の状況の評価と要望

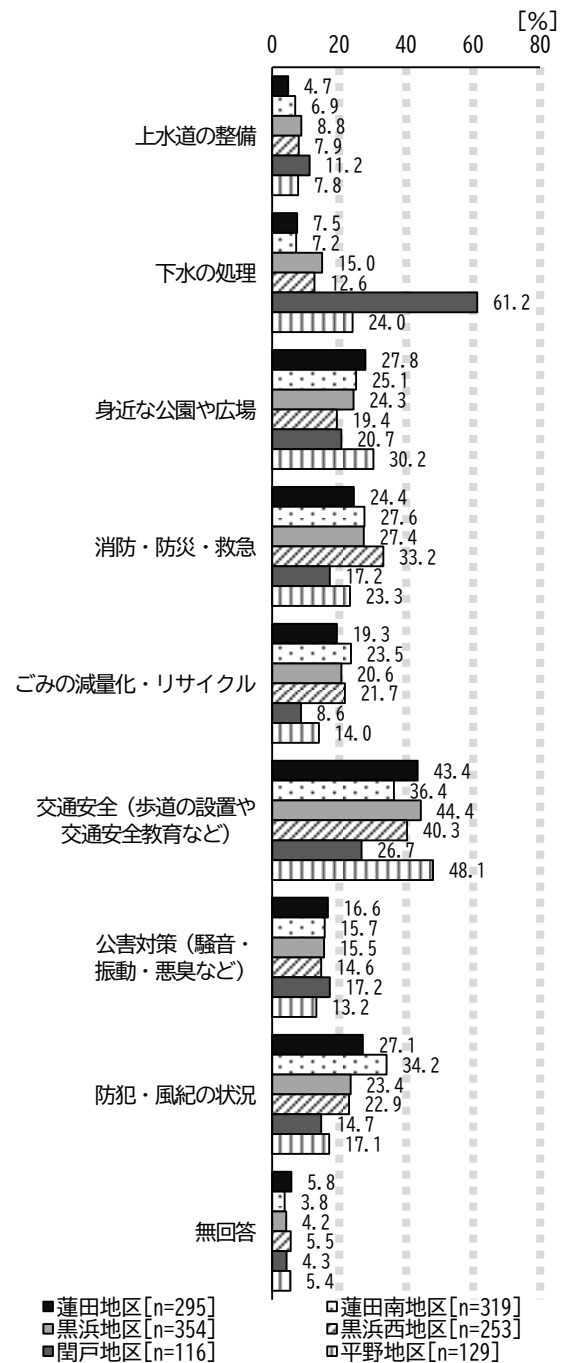
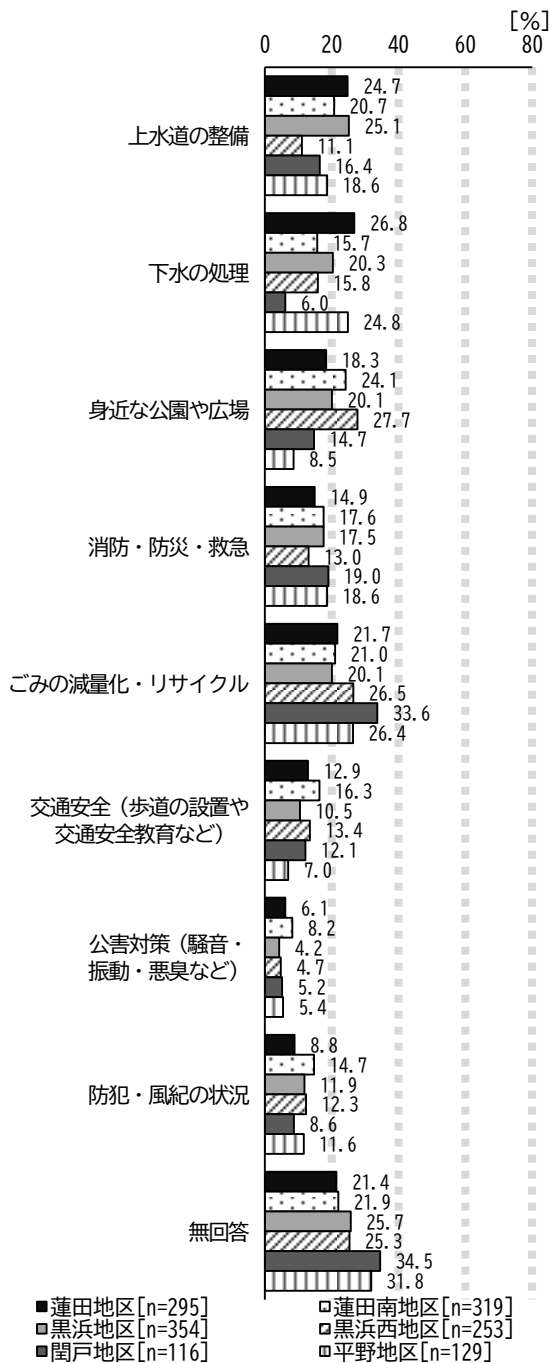
【地区別】

評価

(A. 特に良くなったと思うもの)

要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



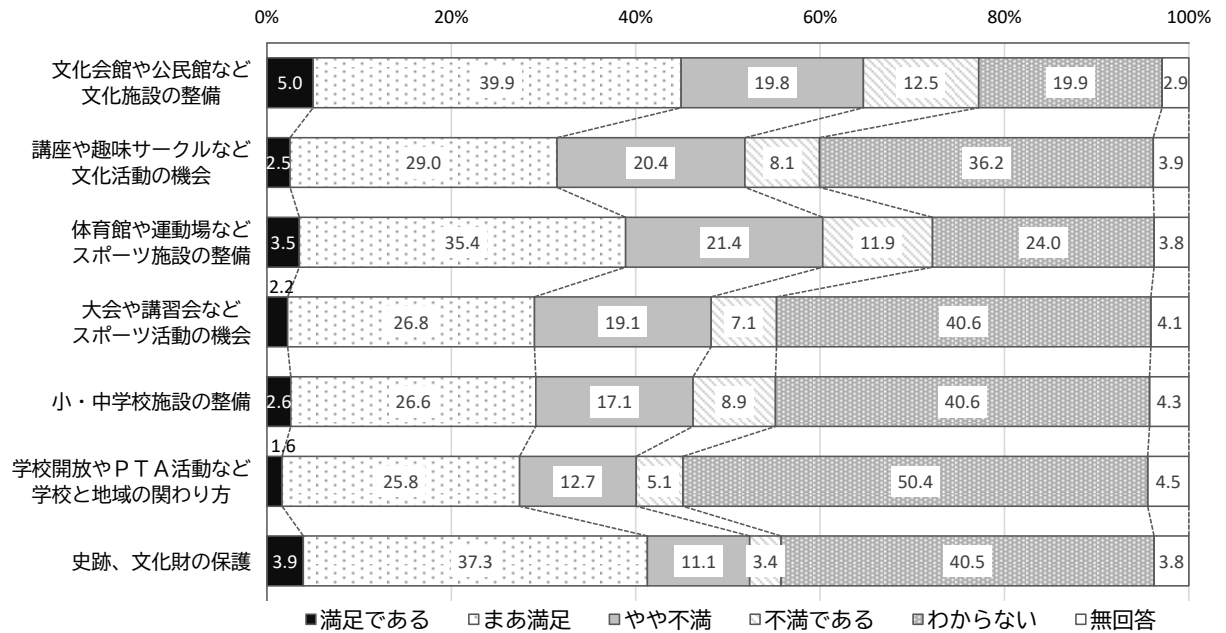
問 15 蓮田市の教育・文化行政についてどのように感じていますか。(1つに○)

教育・文化行政の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『文化会館や公民館など文化施設の整備』や『史跡、文化財の保護』で、いずれも4割を超えています。

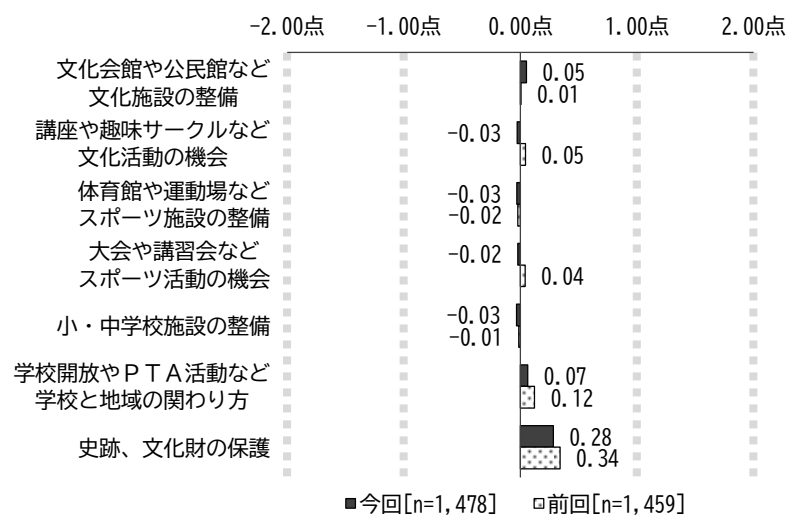
前回調査と比較すると、満足度が大きく変化した施策はありません。

教育・文化行政

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 16 教育・文化行政の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(それぞれ2つに○)

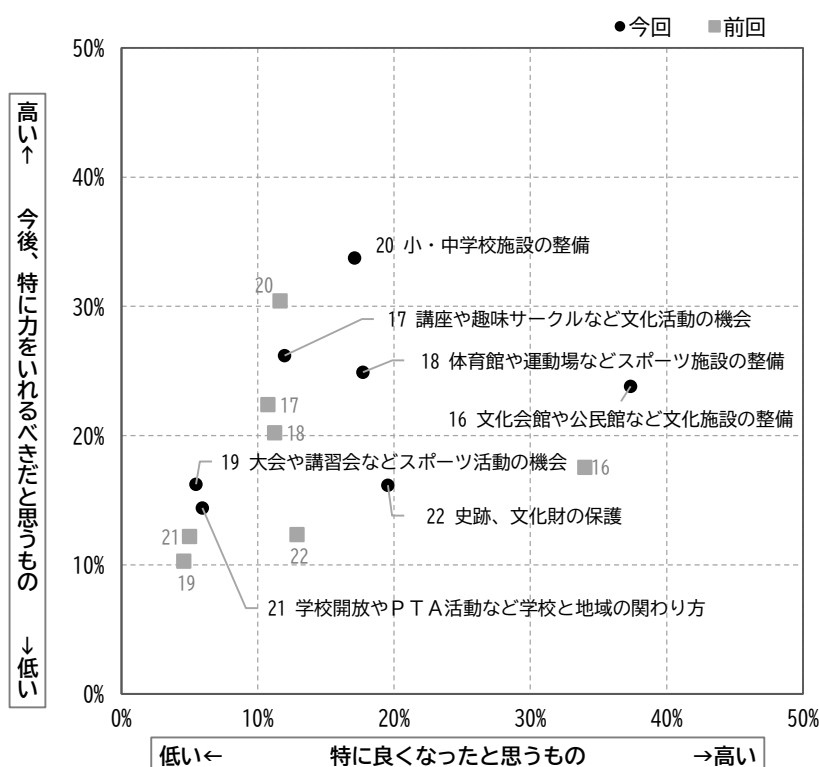
■ 評 価

「文化会館や公民館など文化施設の整備」が 37.3%で最も高く、次いで「史跡、文化財の保護」が 19.6%、「体育館や運動場などスポーツ施設の整備」が 17.7%となっています。

■ 要 望

「小・中学校施設の整備」が 33.8%で最も高く、次いで「講座や趣味サークルなど文化活動の機会」が 26.2%、「体育館や運動場などスポーツ施設の整備」が 24.9%となっています。

教育・文化行政の評価と要望



施 策	評 価	要 望
文化会館や公民館など文化施設の整備	37.3%	23.8%
講座や趣味サークルなど文化活動の機会	12.0%	26.2%
体育館や運動場などスポーツ施設の整備	17.7%	24.9%
大会や講習会などスポーツ活動の機会	5.5%	16.2%
小・中学校施設の整備	17.1%	33.8%
学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	6.0%	14.4%
史跡、文化財の保護	19.6%	16.2%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「史跡、文化財の保護」が37.3%で前回より6.7ポイント増加しています。また、前回調査と比較して減少している施策はありません。

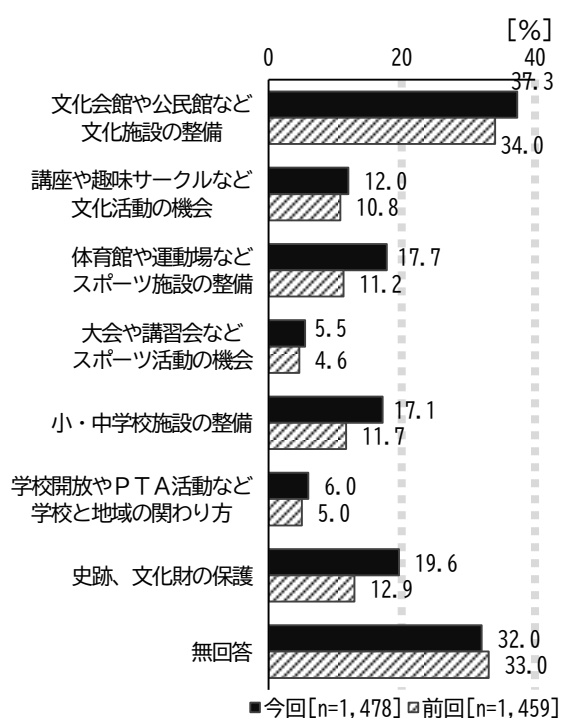
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」が23.8%で前回より6.3ポイント増加しています。また、前回調査と比較して減少している施策はありません。

教育・文化行政の評価と要望

【前回比較】

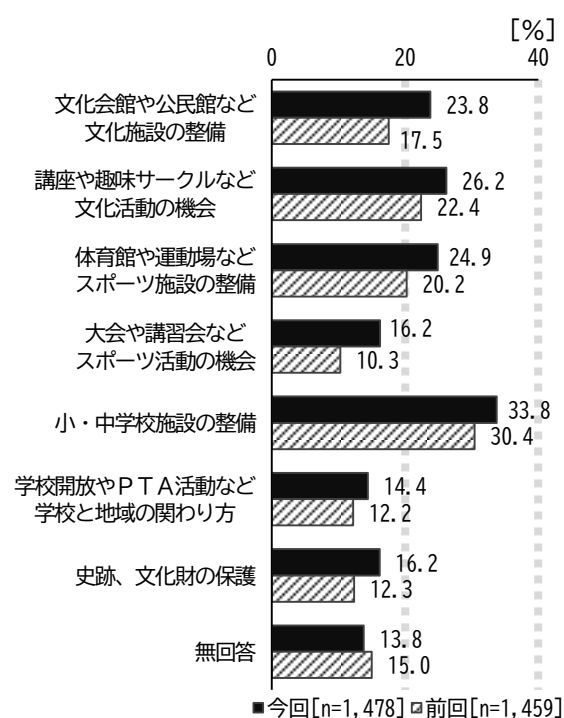
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」施策の 70 歳以上が 42.0%で最も高くなっています。

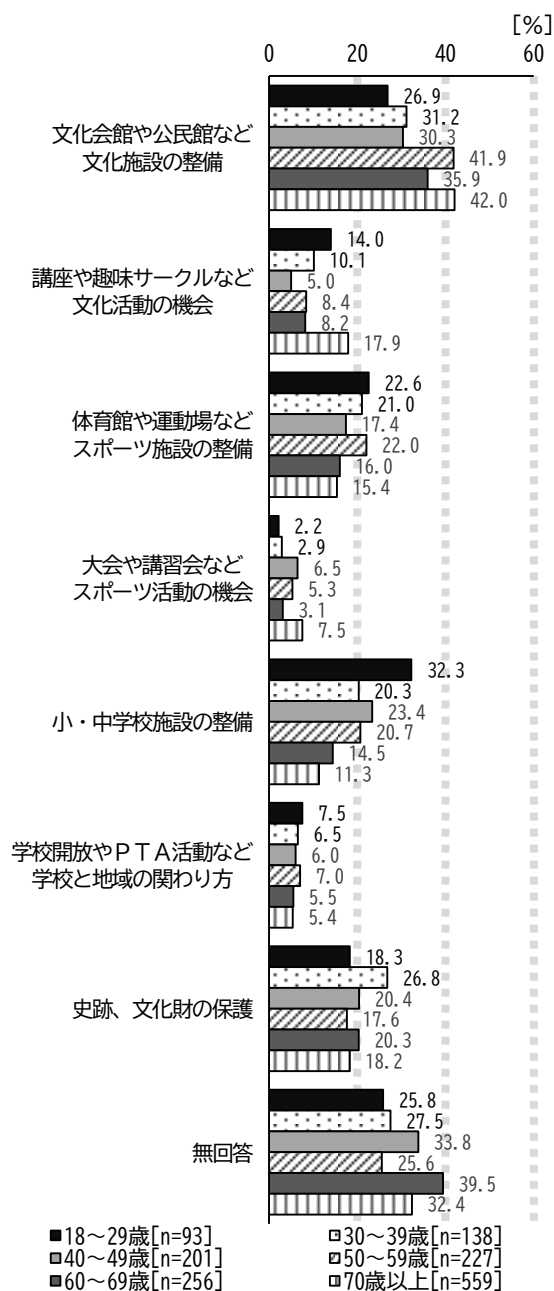
要望については、「小・中学校施設の整備」施策の 30 歳代が 48.6%で最も高くなっています。

教育・文化行政の評価と要望

【年齢別】

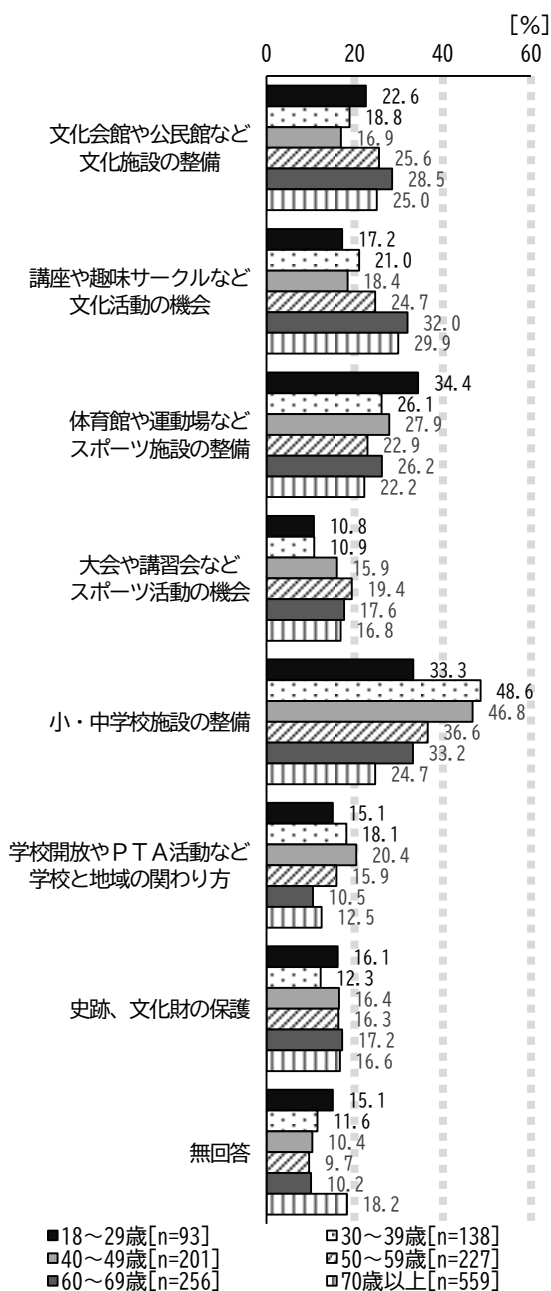
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」施策の平野地区が46.5%で最も高くなっています。

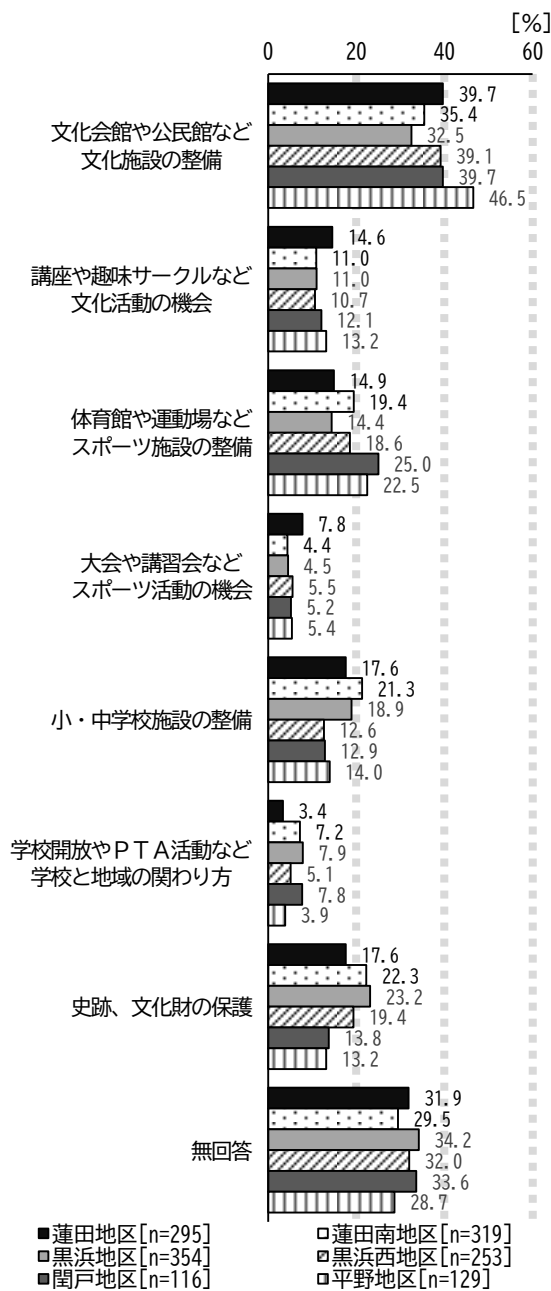
要望については、「小・中学校施設の整備」施策の黒浜西地区が38.3%で最も高くなっています。

教育・文化行政の評価と要望

【地区別】

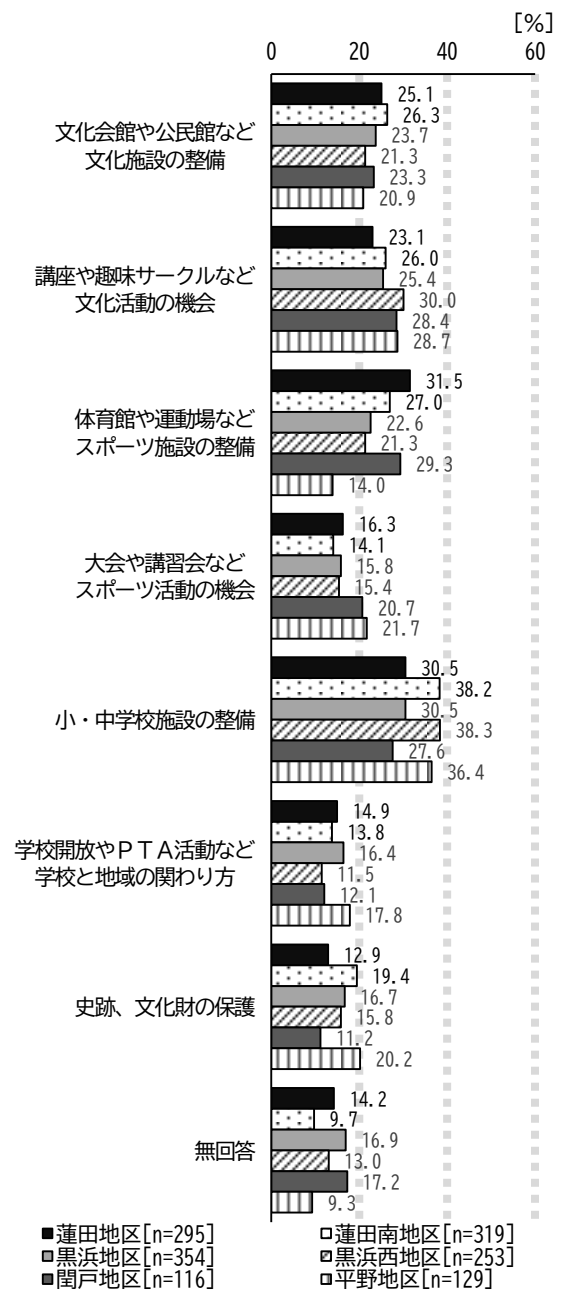
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



問 17 蓮田市の保健・福祉・医療サービスについてどのように感じていますか。
(1つに○)

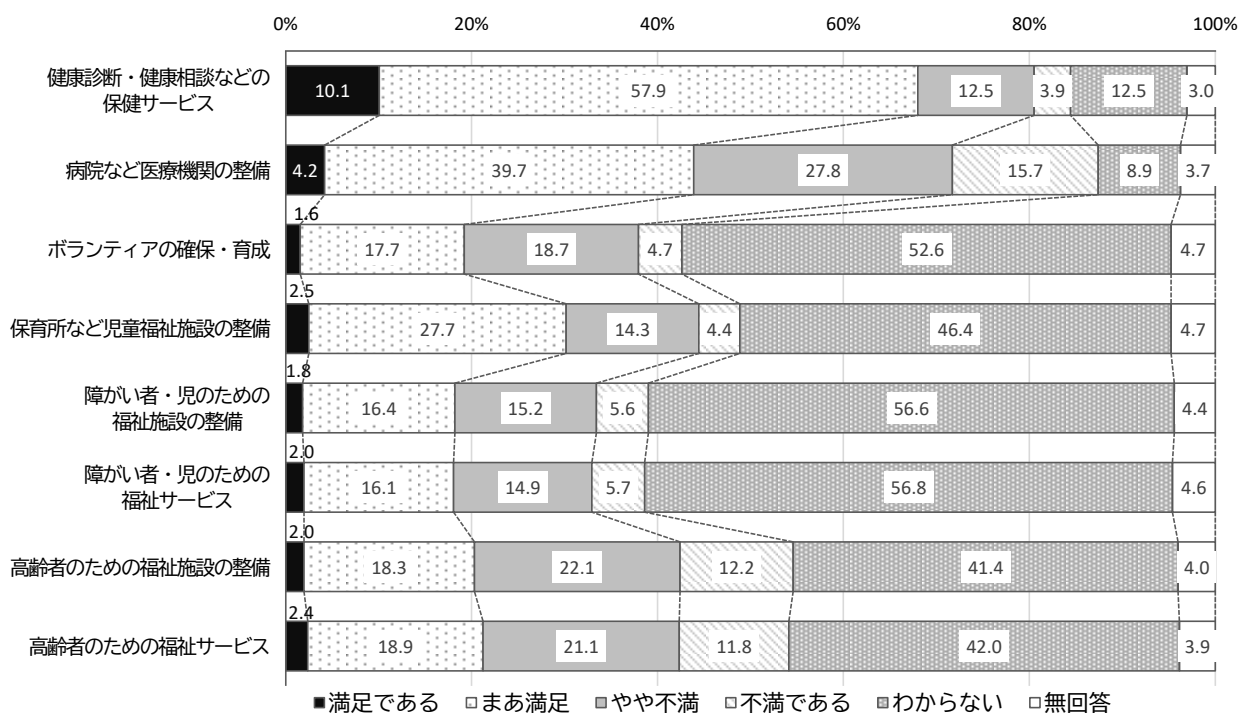
生活環境の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは『健康診断・健康相談などの保健サービス』で7割近くとなっています。

満足度は、「健康診断・健康相談などの保健サービス」と「保育所など児童福祉施設の整備」で満足傾向にあります。

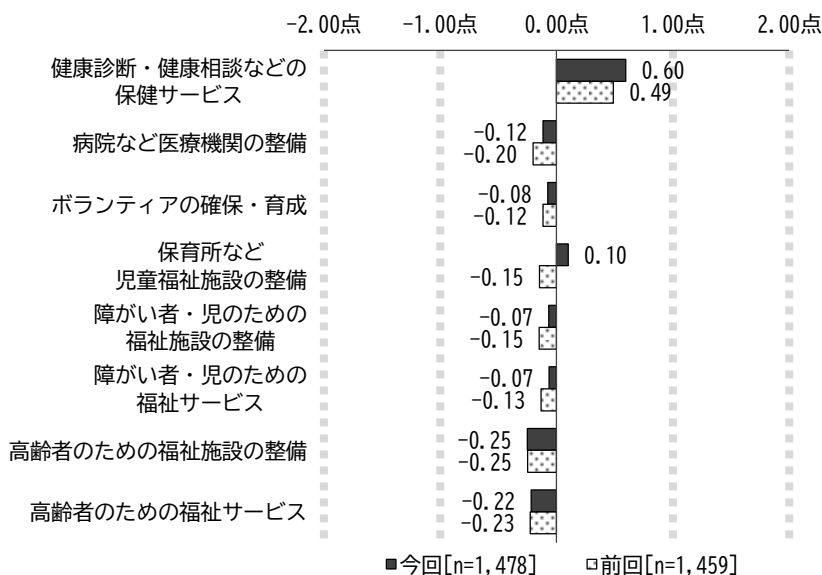
前回調査との比較では、「保育所など児童福祉施設の整備」が0.25ポイント増加しています。また、満足度が減少している施策はありません。

保健・福祉・医療サービス

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 18 保健・福祉・医療サービスの項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。
(それぞれ2つに○)

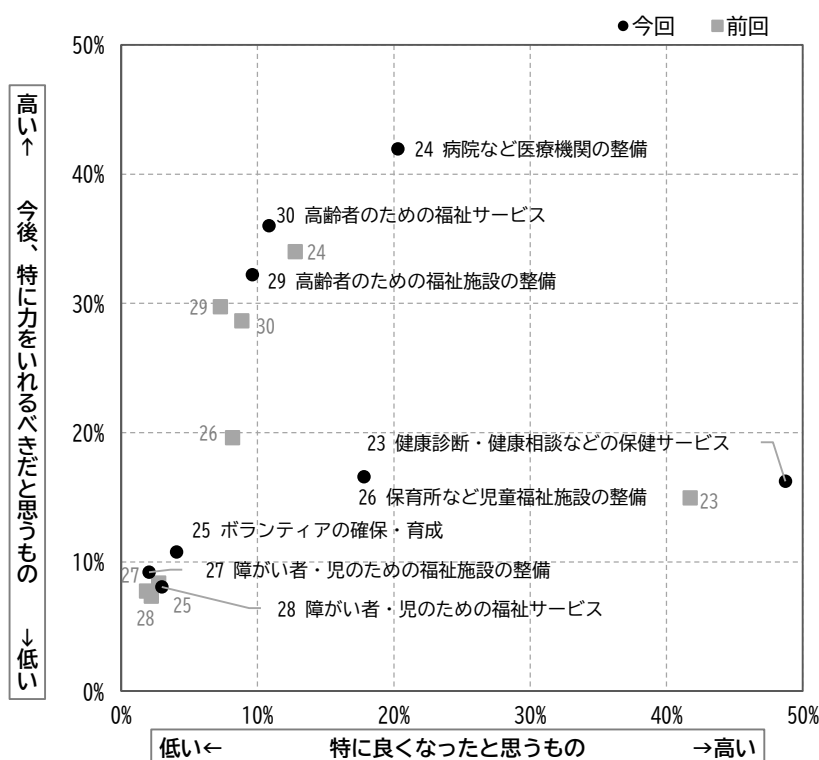
■ 評 価

「健康診断・健康相談などの保健サービス」が48.7%で最も高く、次いで「病院など医療機関の整備」が20.3%、「保育所など児童福祉施設の整備」が17.8%となっています。

■ 要 望

「病院など医療機関の整備」が41.9%で最も高く、次いで「高齢者のための福祉サービス」が36.0%、「高齢者のための福祉施設の整備」が32.2%となっています。

保健・福祉・医療サービスの評価と要望



施 策	評 価	要 望
健康診断・健康相談などの保健サービス	48.7%	16.2%
病院など医療機関の整備	20.3%	41.9%
ボランティアの確保・育成	4.1%	10.8%
保育所など児童福祉施設の整備	17.8%	16.6%
障がい者・児のための福祉施設の整備	2.0%	9.2%
障がい者・児のための福祉サービス	3.0%	8.1%
高齢者のための福祉施設の整備	9.6%	32.2%
高齢者のための福祉サービス	10.8%	36.0%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「保育所など児童福祉施設の整備」が17.8%で前回より9.6ポイント増加しています。また、前回調査と比較して、減少した施策はありません。

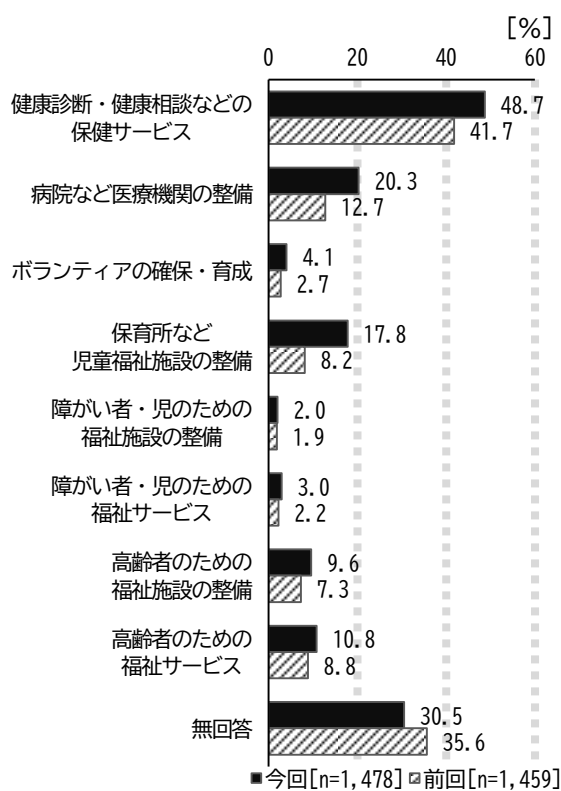
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「病院など医療機関の整備」が41.9%で前回より7.9ポイント増加している一方、「保育所など児童福祉施設の整備」は16.6%で前回より3.0ポイント減少しています。

保健・福祉・医療サービスの評価と要望

【前回比較】

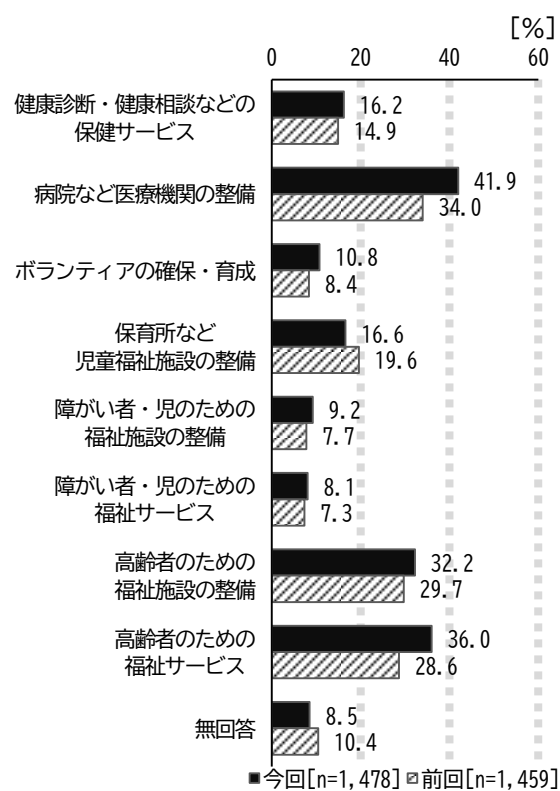
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「健康診断・健康相談などの保健サービス」施策の70歳以上が58.3%で最も高くなっています。

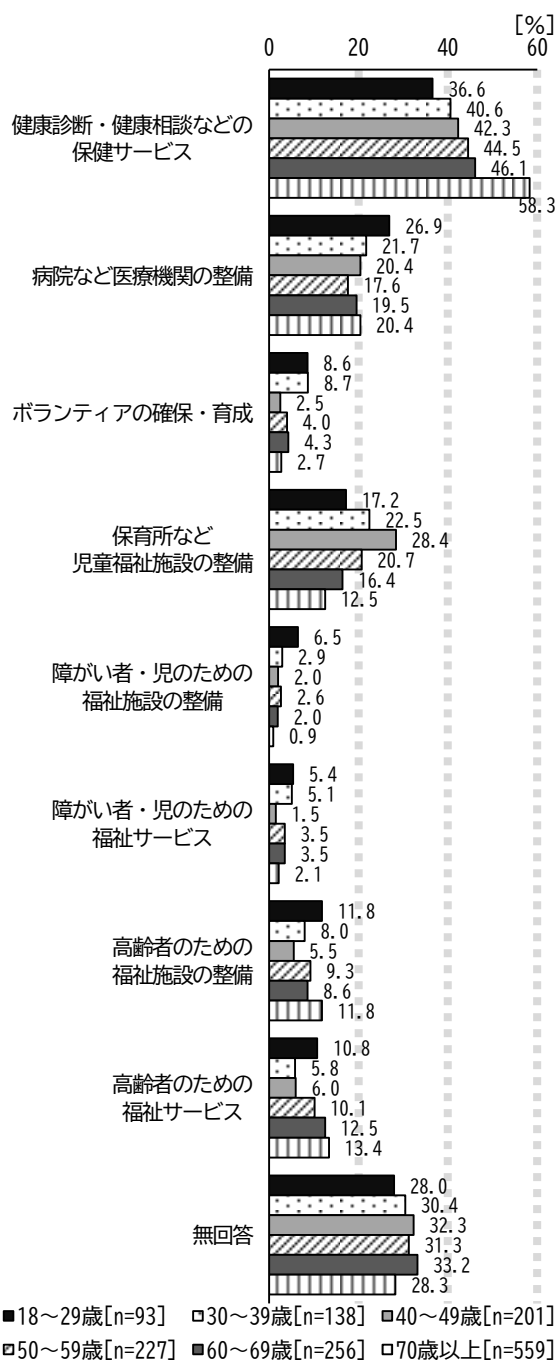
要望については、「病院など医療機関の整備」施策の30歳代が56.5%で最も高くなっています。

保健・福祉・医療サービスの評価と要望

【年齢別】

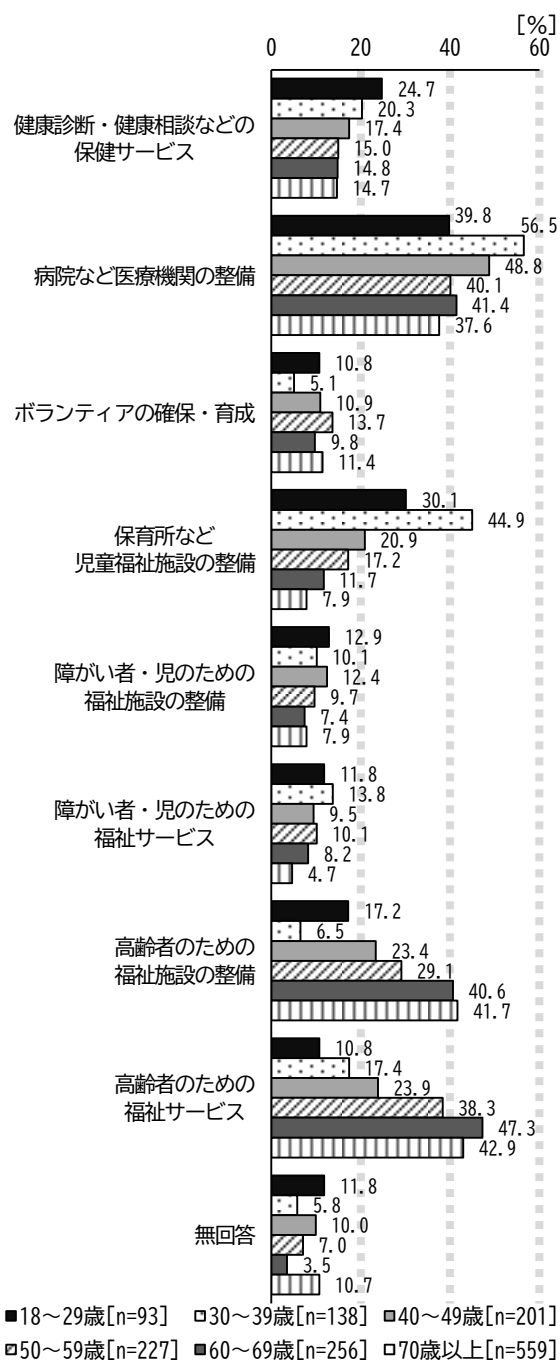
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、いずれの地区も「健康診断・健康相談などの保健サービス」施策が高くなっています。

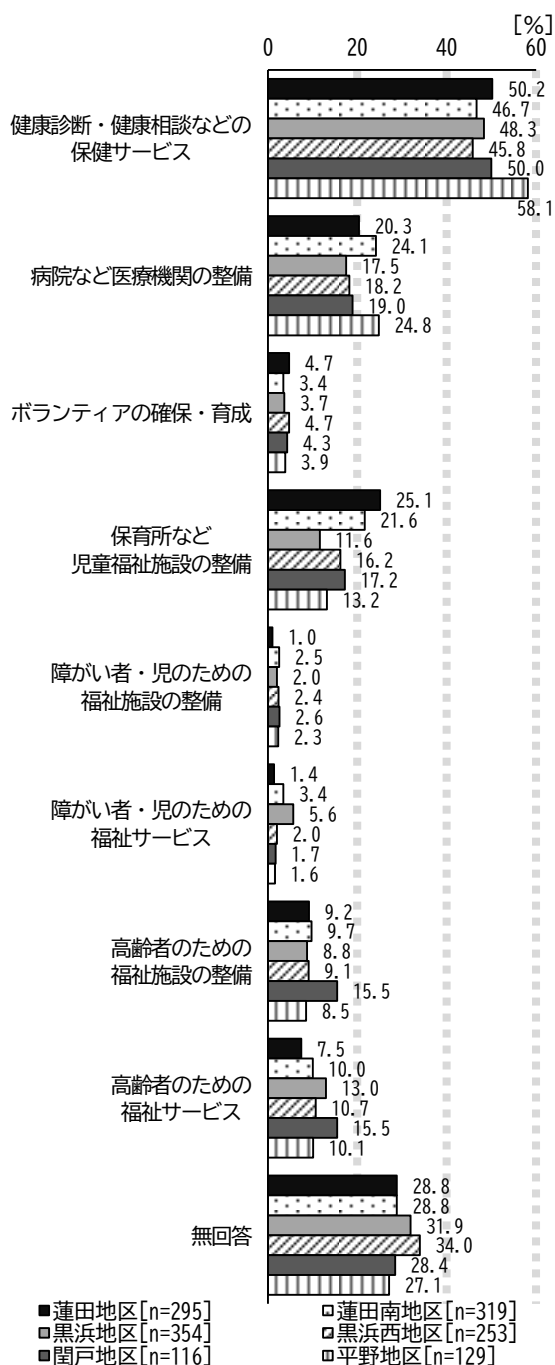
要望については、いずれの地区も「病院など医療機関の整備」や「高齢者のための福祉施設の整備」、「高齢者のための福祉サービス」の施策が高くなっています。

保健・福祉・医療サービスの評価と要望

【地区別】

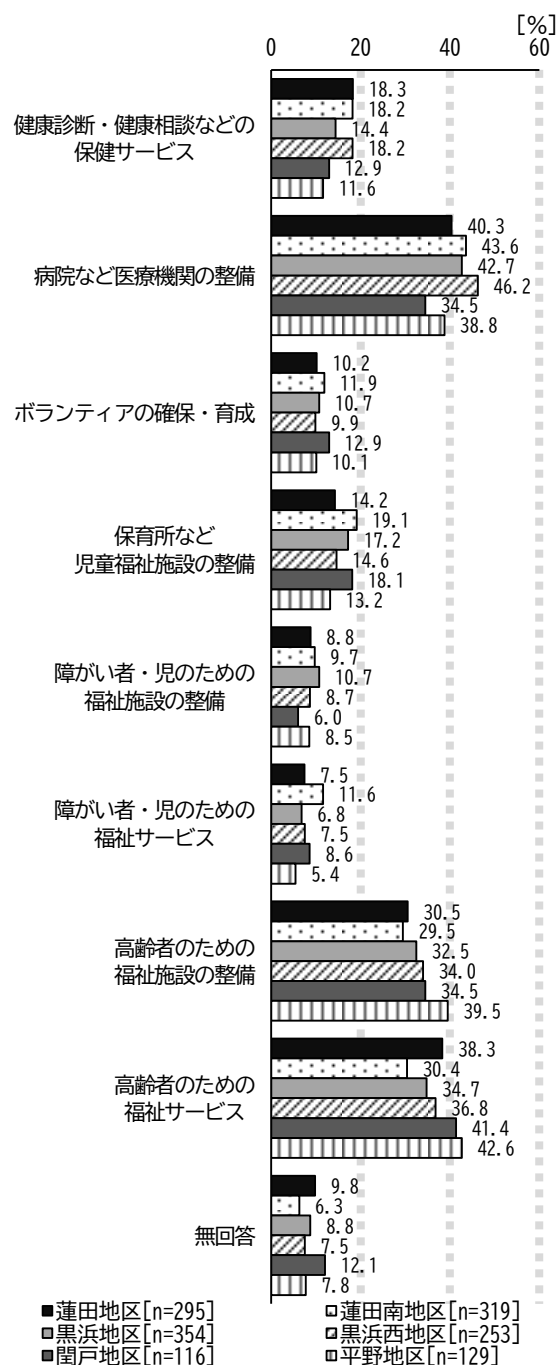
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



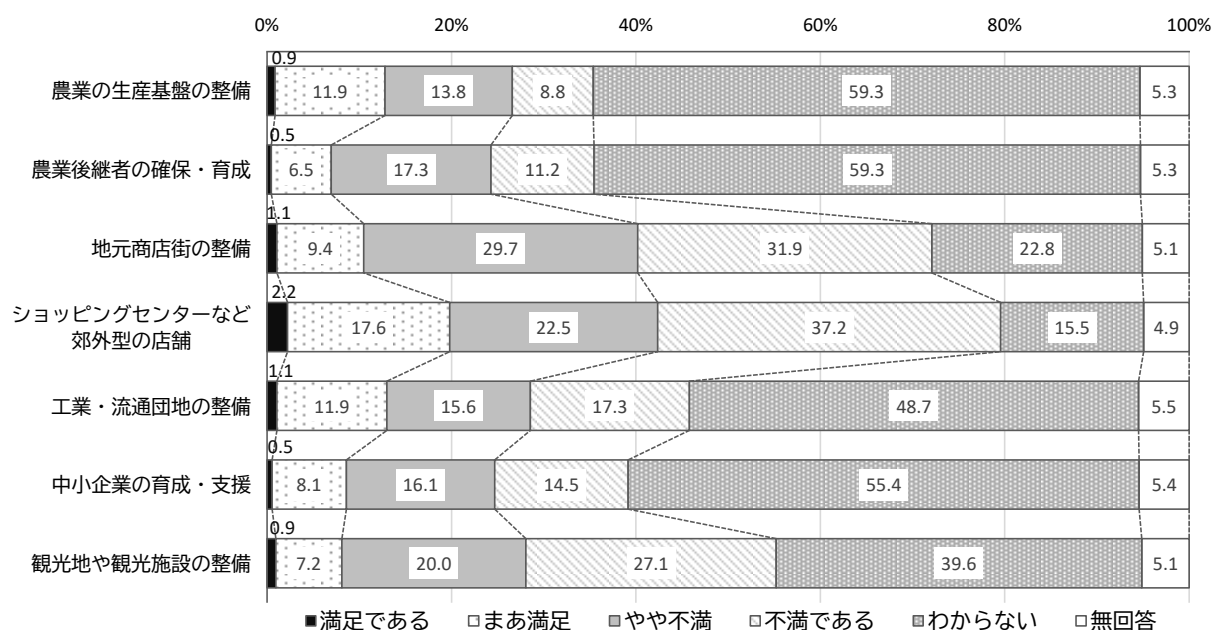
問 19 蓮田市の産業振興についてどのように感じていますか。(1つに〇)

産業振興の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合はいずれも2割未満となっている一方、「やや不満」と「不満である」を合わせた“不満”は『地元商店街の整備』で61.6%、『ショッピングセンターなど郊外型の店舗』で59.7%となっています。

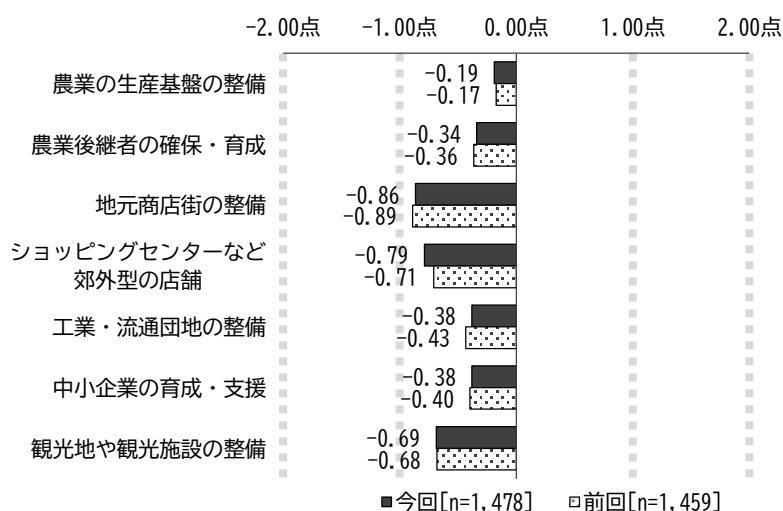
満足度は、全ての施策で不満傾向にあります。また、前回調査と比較すると、満足度が大きく変化した施策はありません。

産業振興

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 20 産業振興の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(それぞれ2つに○)

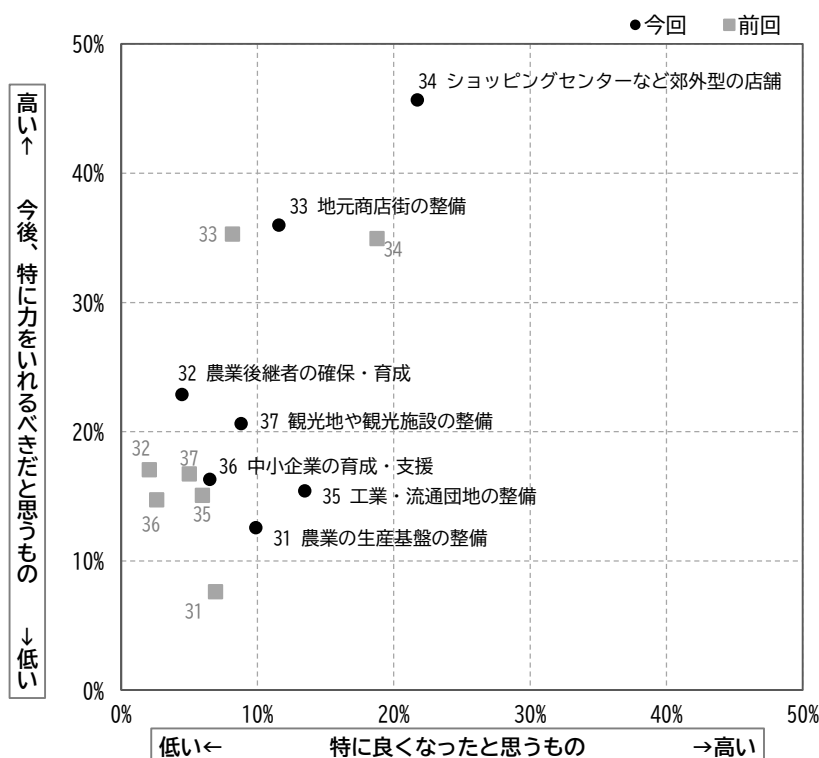
■ 評 価

「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が21.7%で最も高く、次いで「工業・流通団地の整備」が13.5%、「地元商店街の整備」が11.6%となっています。

■ 要 望

「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が45.7%で最も高く、次いで「地元商店街の整備」が36.0%、「農業後継者の確保・育成」が22.9%となっています。

産業振興の評価と要望



施 策	評 価	要 望
農業の生産基盤の整備	9.9%	12.6%
農業後継者の確保・育成	4.5%	22.9%
地元商店街の整備	11.6%	36.0%
ショッピングセンターなど郊外型の店舗	21.7%	45.7%
工業・流通団地の整備	13.5%	15.4%
中小企業の育成・支援	6.5%	16.3%
観光地や観光施設の整備	8.8%	20.6%

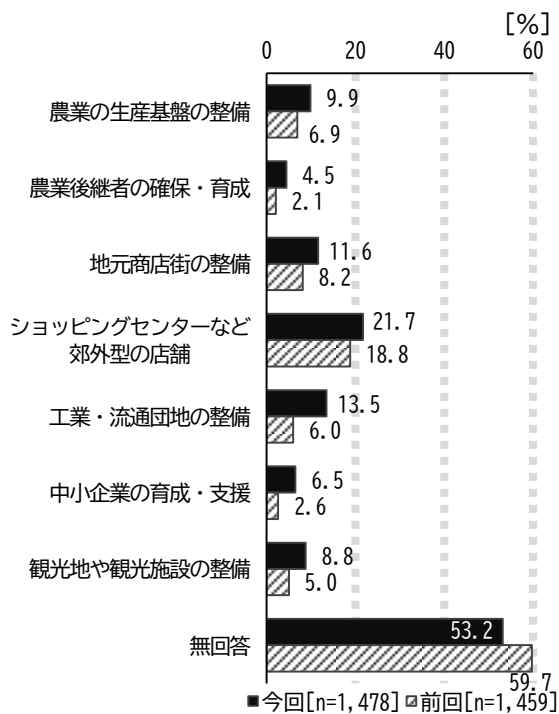
評価について、前回調査と比較すると、「工業・流通団地の整備」が13.5%で前回より7.5ポイント増加しております。また、前回調査と比較して、減少した施策はありません。

要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が45.7%で前回より10.7ポイント増加しております。また、前回調査と比較して、減少した施策はありません。

産業振興の評価と要望

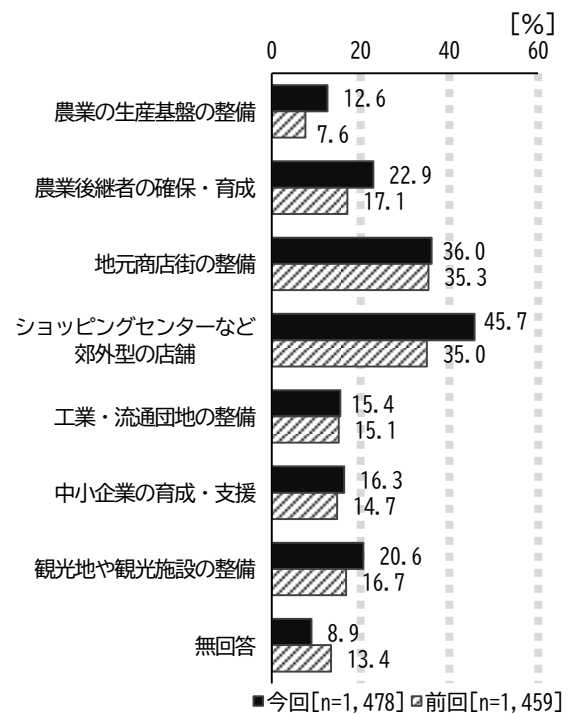
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」施策の70歳以上が25.6%で最も高くなっています。

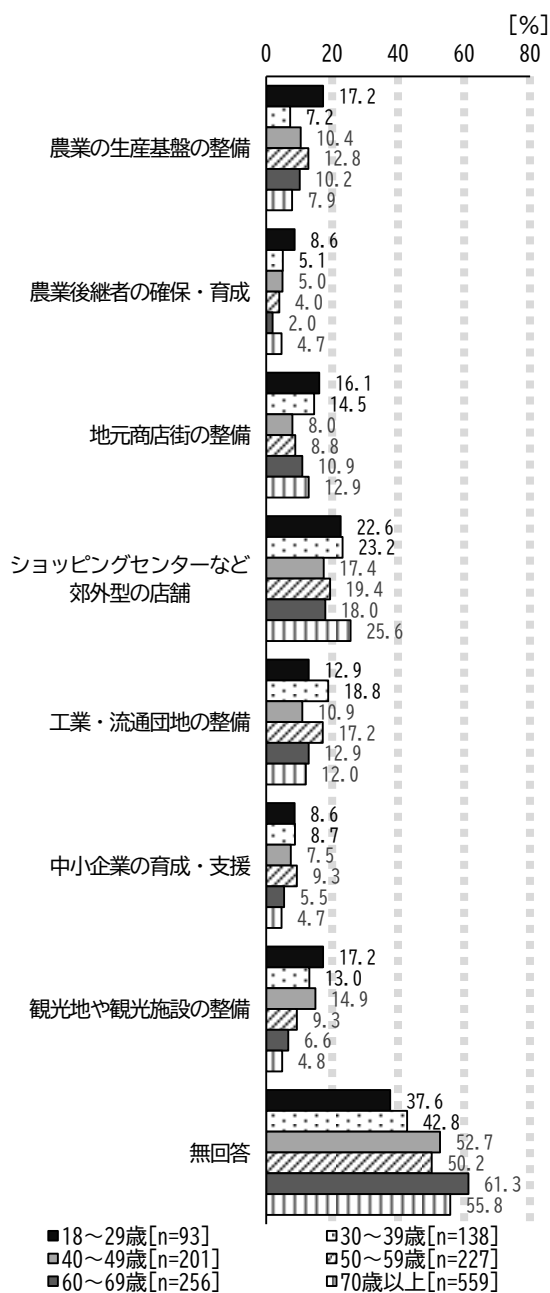
要望については、すべての年代で「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が高く、40歳代以下の全ての年代で5割を超えており、中でも30歳代が62.3%で最も高くなっています。

産業振興の評価と要望

【年齢別】

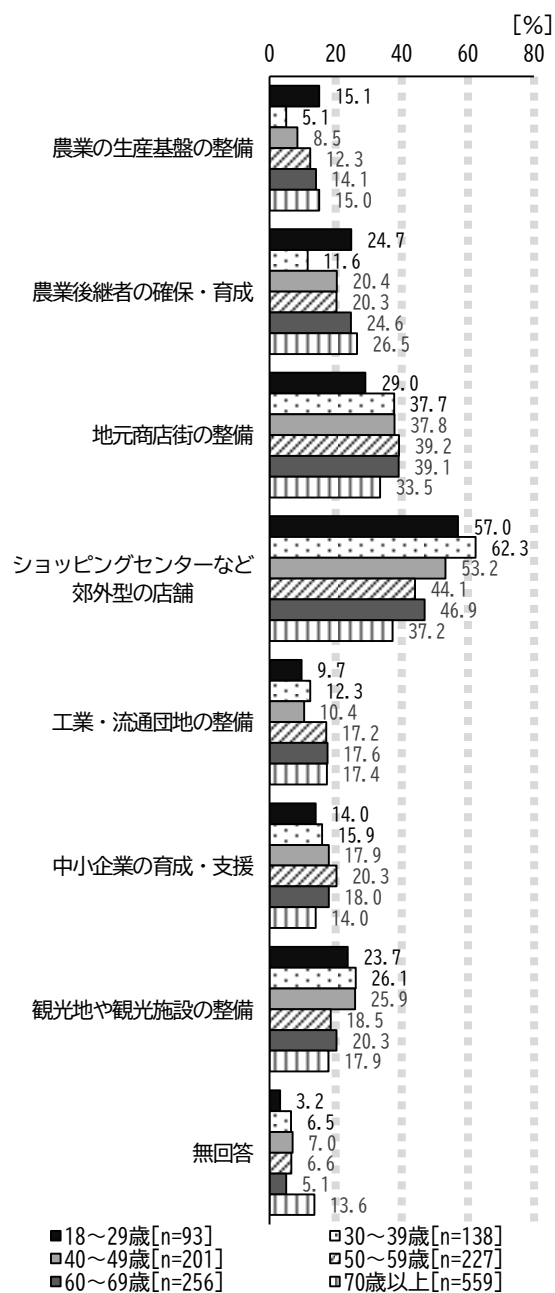
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「工業・流通団地の整備」施策の平野地区が27.9%で最も高くなっています。

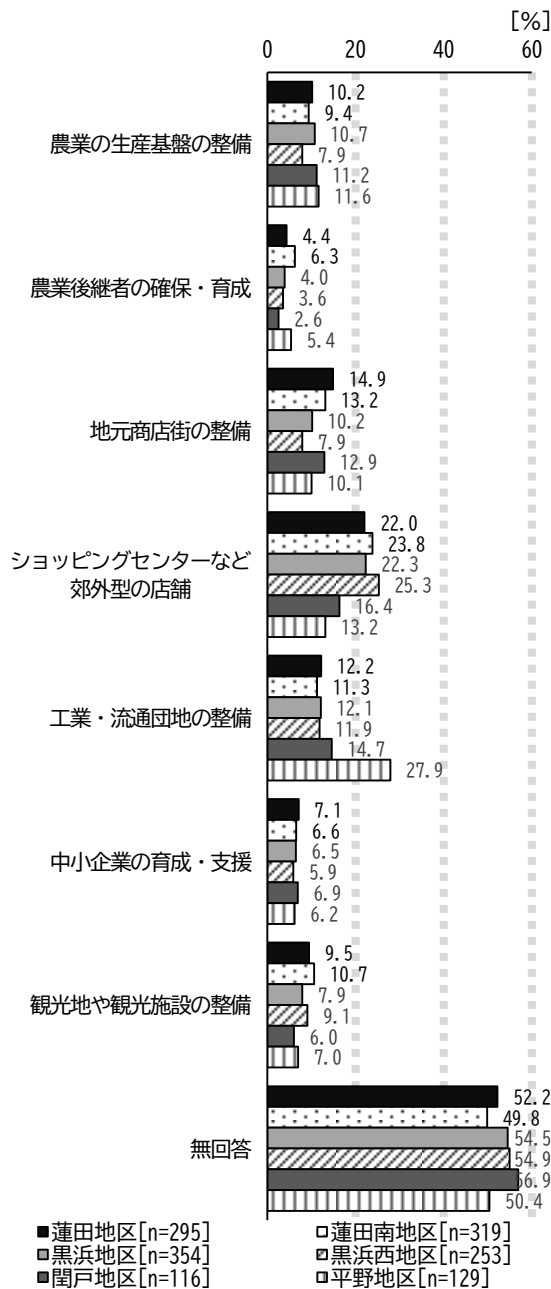
要望については、すべての地区で「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が高く、中でも関戸地区が52.6%で最も高くなっています。

産業振興の評価と要望

【地区別】

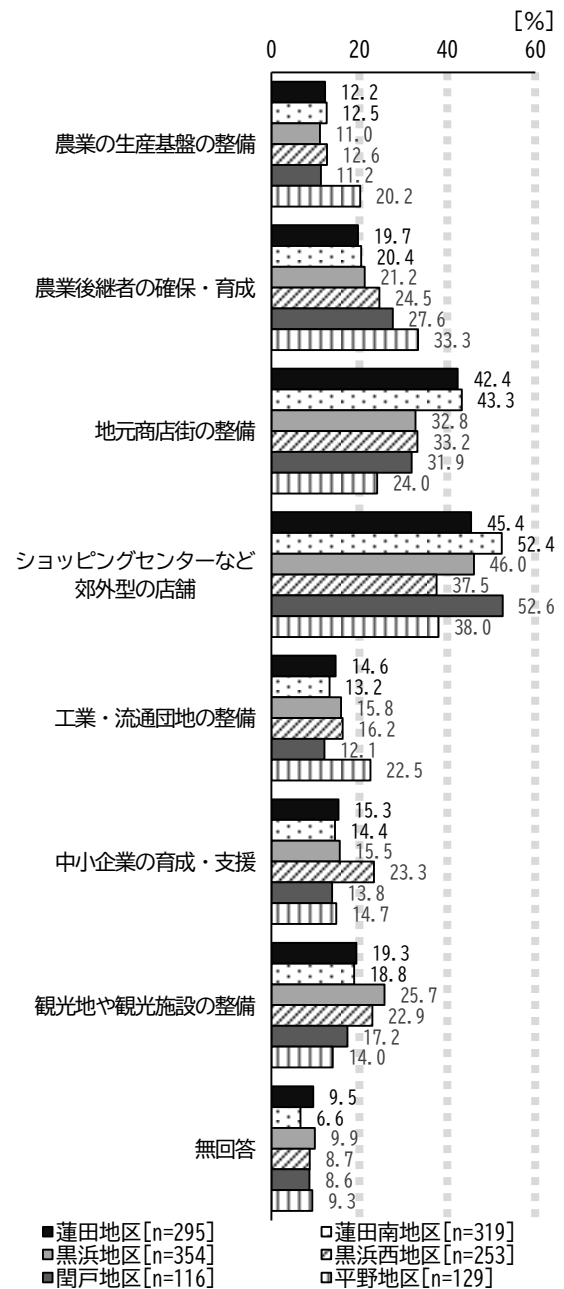
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



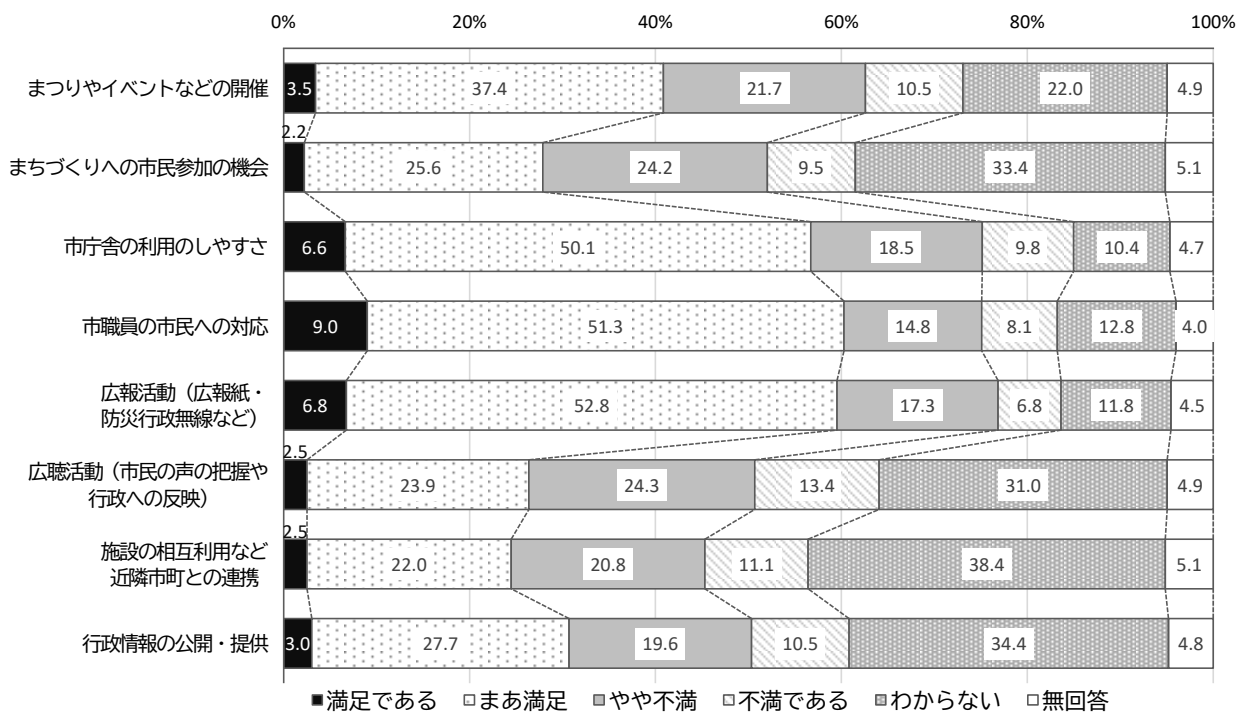
問21 蓮田市のコミュニティづくりや広報・広聴活動についてどのように感じていますか。
(1つに○)

コミュニティ・広報・広聴の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『市職員の市民への対応』や『広報活動（広報紙・防災行政無線など）』、『市庁舎の利用のしやすさ』となっています。

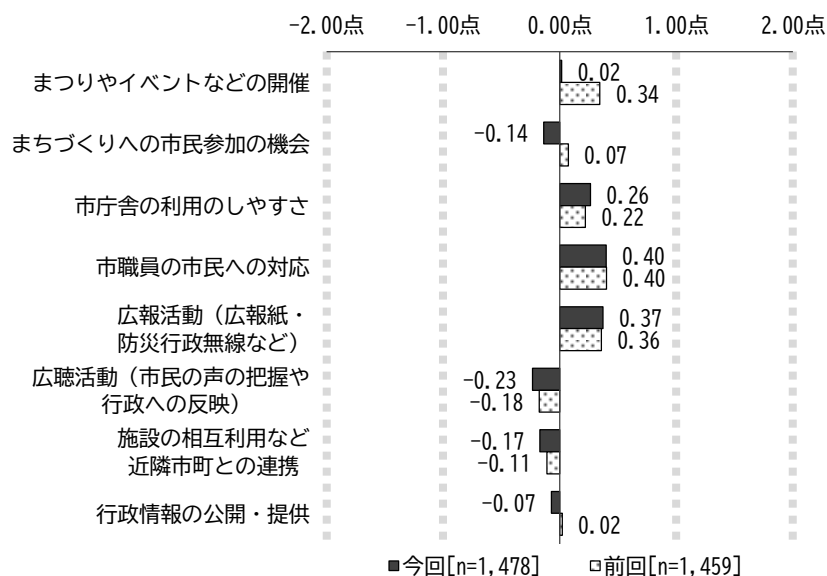
前回調査と比較すると、「まつりやイベントなどの開催」は0.32ポイント減少しております。

コミュニティ・広報・広聴

【満足度】



【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 22 コミュニティ・広報・広聴の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。
(それぞれ2つに○)

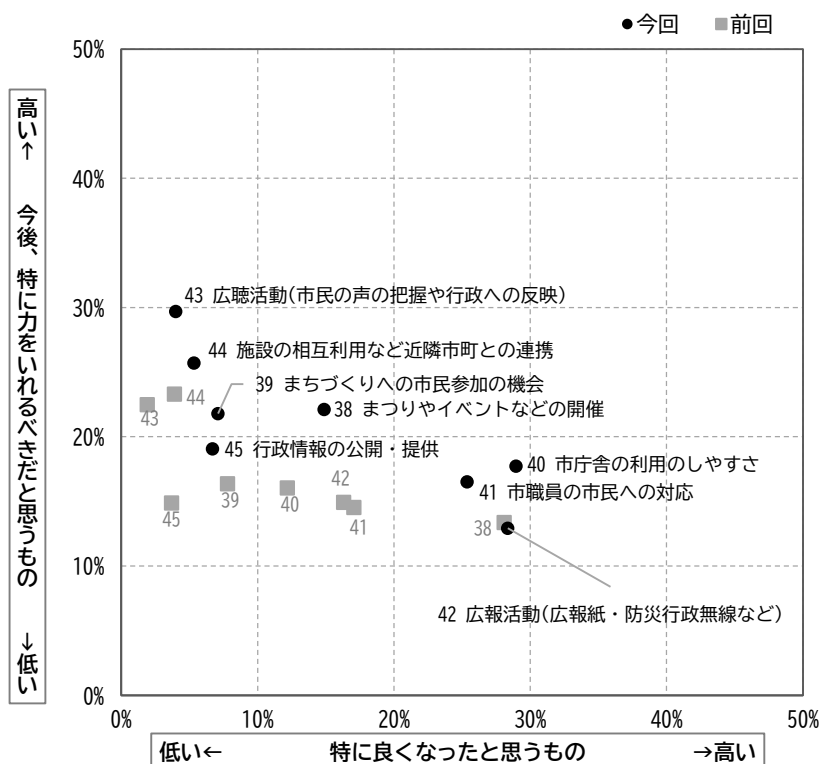
■ 評 価

「市庁舎の利用のしやすさ」が 29.0%で最も高く、次いで「広報活動（広報紙・防災行政無線など）」が 28.3%、「市職員の市民への対応」が 25.4%となっています。

■ 要 望

「広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）」が 29.7%で最も高く、次いで「施設の相互利用など近隣市町との連携」が 25.7%、「まつりやイベントなどの開催」が 22.1%となっています。

コミュニティ・広報・広聴の評価と要望



施 策	評価	要望
まつりやイベントなどの開催	14.9%	<u>22.1%</u>
まちづくりへの市民参加の機会	7.1%	21.8%
市庁舎の利用のしやすさ	<u>29.0%</u>	17.7%
市職員の市民への対応	<u>25.4%</u>	16.5%
広報活動（広報紙・防災行政無線など）	<u>28.3%</u>	12.9%
広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）	4.0%	<u>29.7%</u>
施設の相互利用など近隣市町との連携	5.3%	<u>25.7%</u>
行政情報の公開・提供	6.7%	19.1%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「市庁舎の利用のしやすさ」が29.0%で前回より16.8ポイント増加している一方、「まつりやイベントなどの開催」は14.9%と前回より13.2ポイント減少しています。

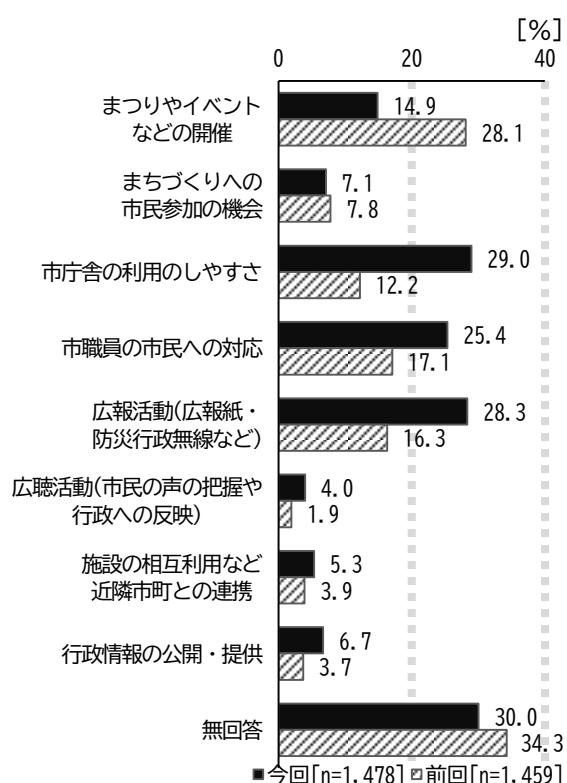
要望については、「まつりやイベントなどの開催」が22.1%で前回より8.3ポイント、「広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)」が29.7%で前回より7.2ポイントそれぞれ増加しています。

コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

【前回比較】

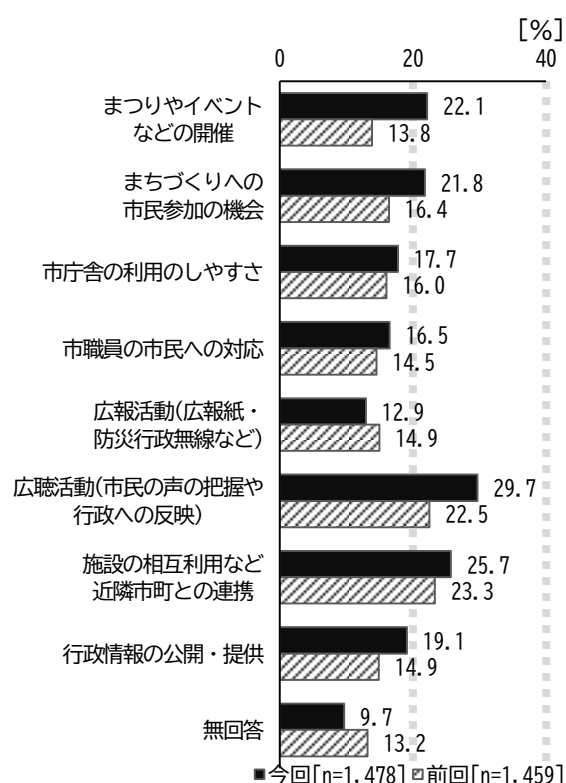
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「市庁舎の利用のしやすさ」施策の60歳代が32.4%で最も高くなっています。

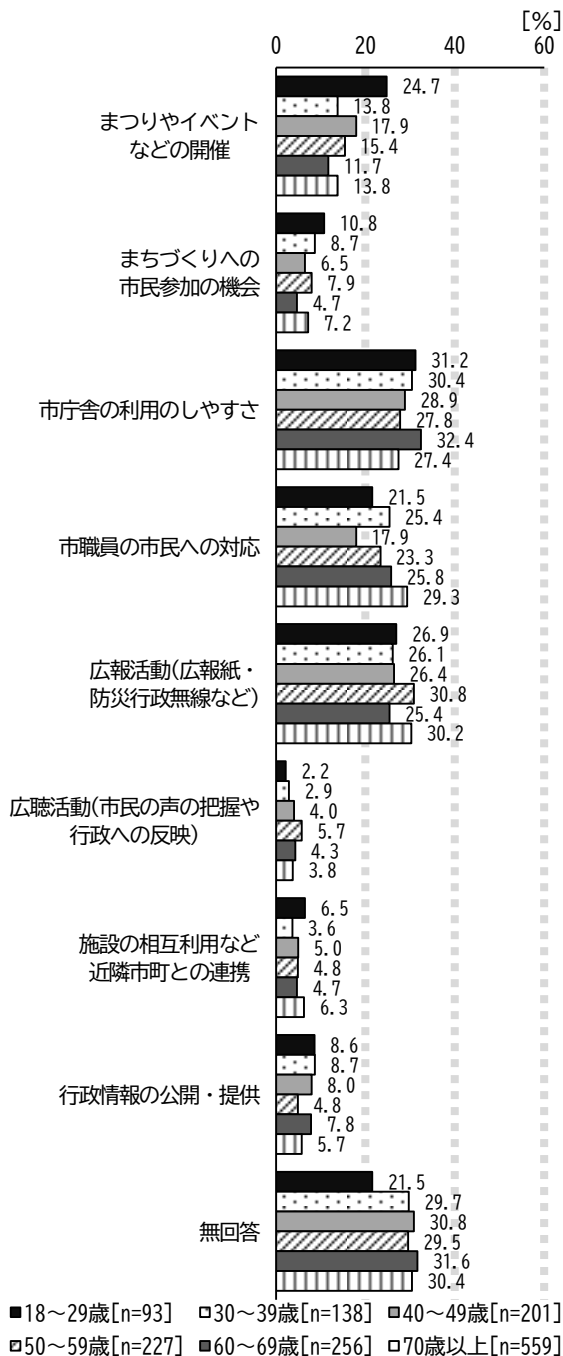
要望については、「まつりやイベントなどの開催」施策の30歳代が41.3%で最も高くなっています。

コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

【年齢別】

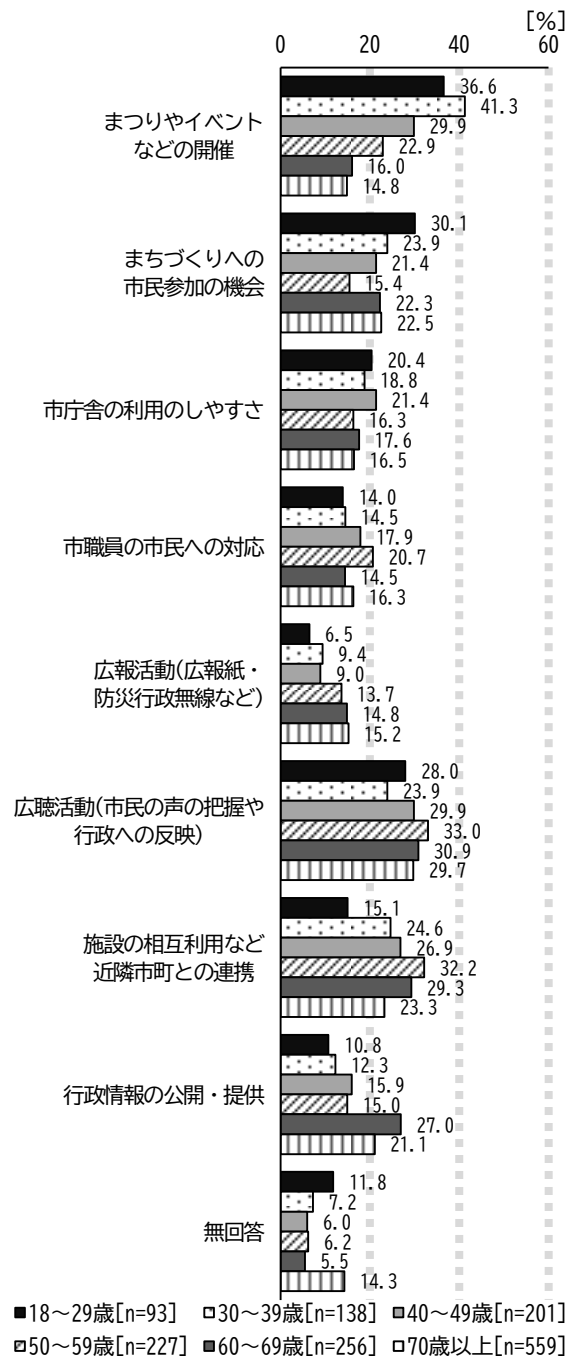
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別に見ると、「広報活動(広報紙・防災行政無線など)」施策の平野地区が35.7%で最も高くなっています。

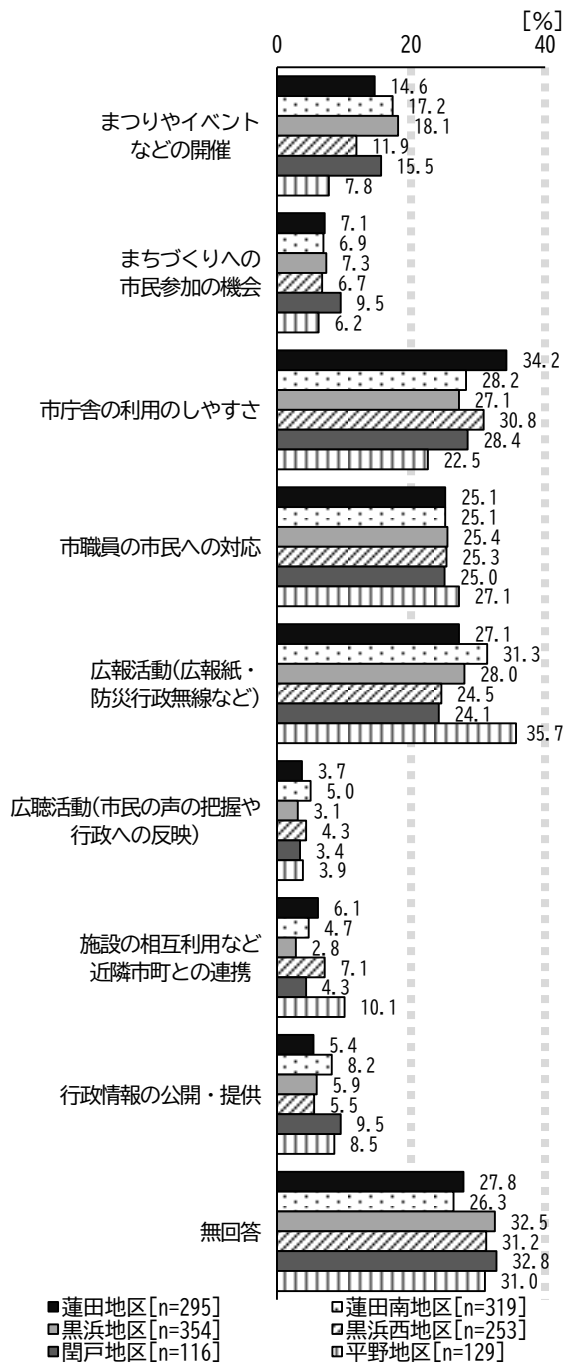
要望については、「広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)」施策の黒沼地区が33.1%で最も高くなっています。

コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

【地区別】

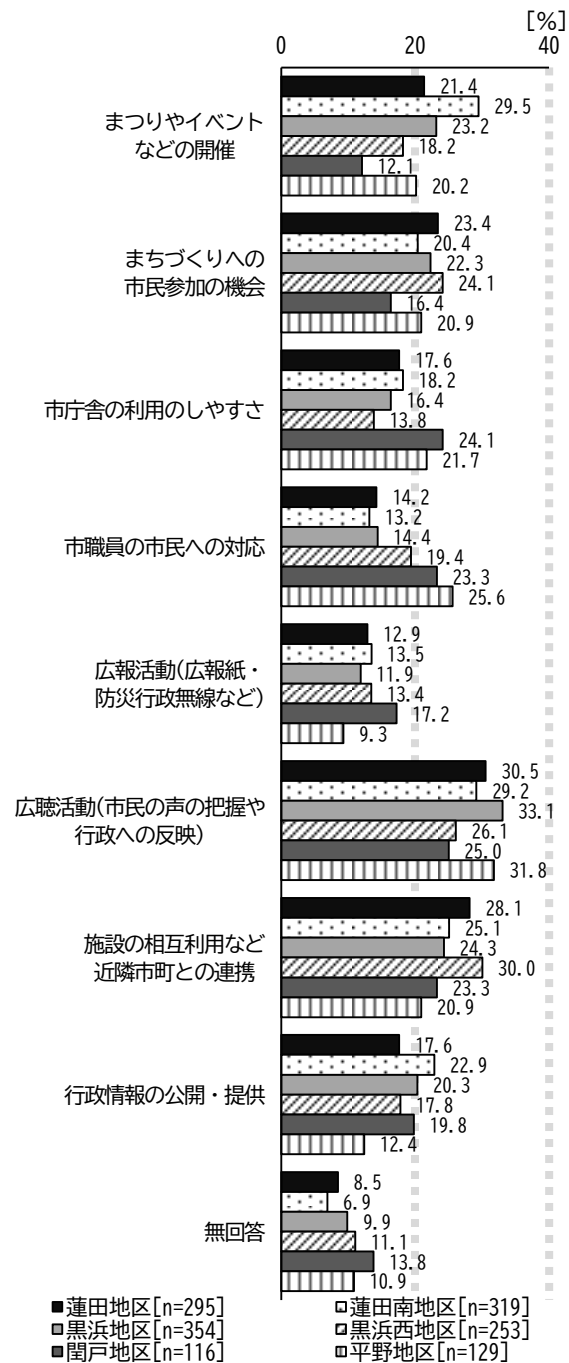
評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



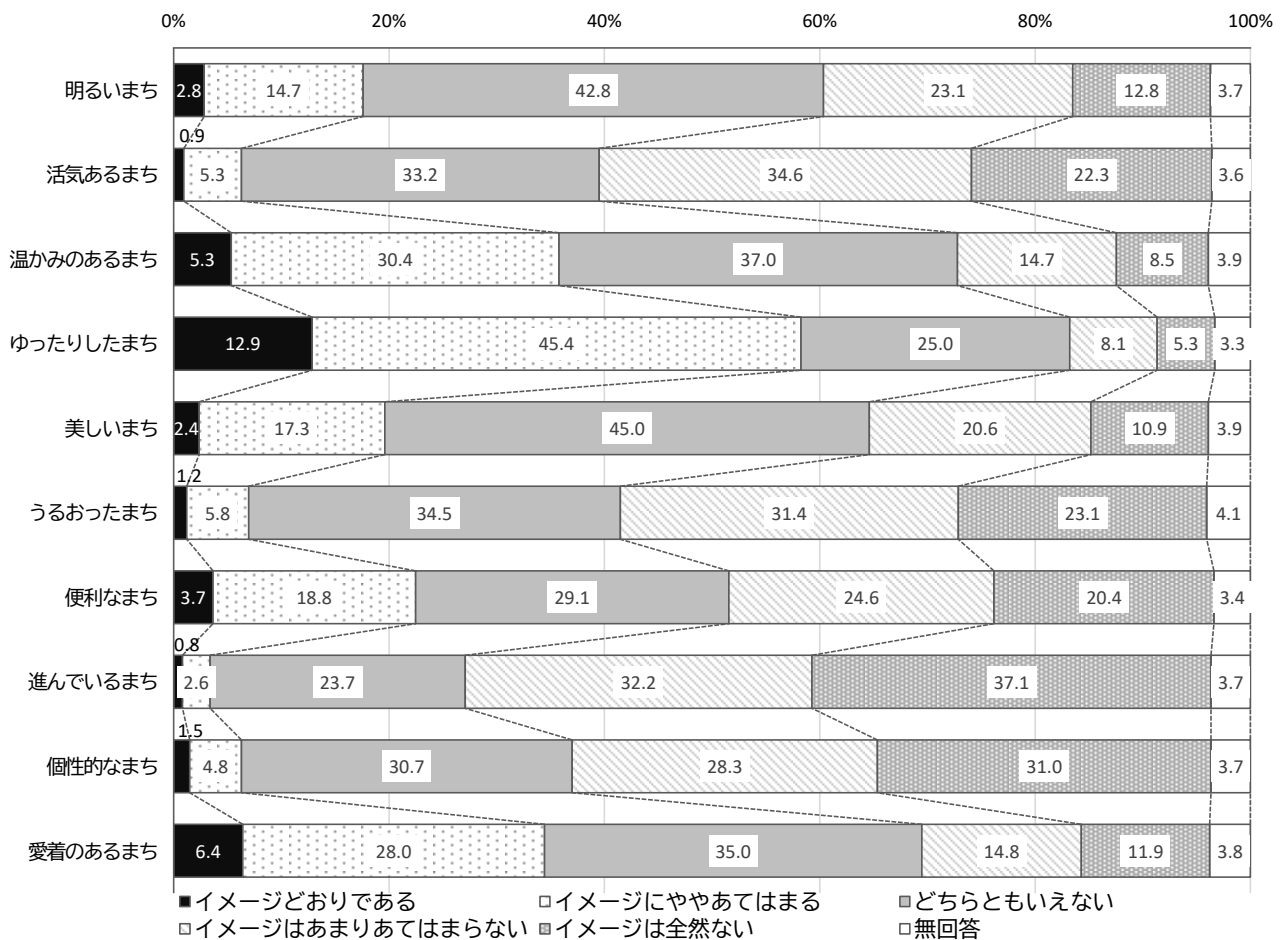
2-5 蓮田市のイメージやまちの魅力について

問 23 蓮田市に対してどのようなまちのイメージを思い浮かべますか。(1つに○)

まちのイメージについては、「ゆったりしたまち」が最も高く『イメージどおりである』、『イメージにややあてはまる』を合わせると 58.3% となっています。一方で「進んでいるまち」や「個性的なまち」、「活気あるまち」のイメージは低くなっています。

まちのイメージ

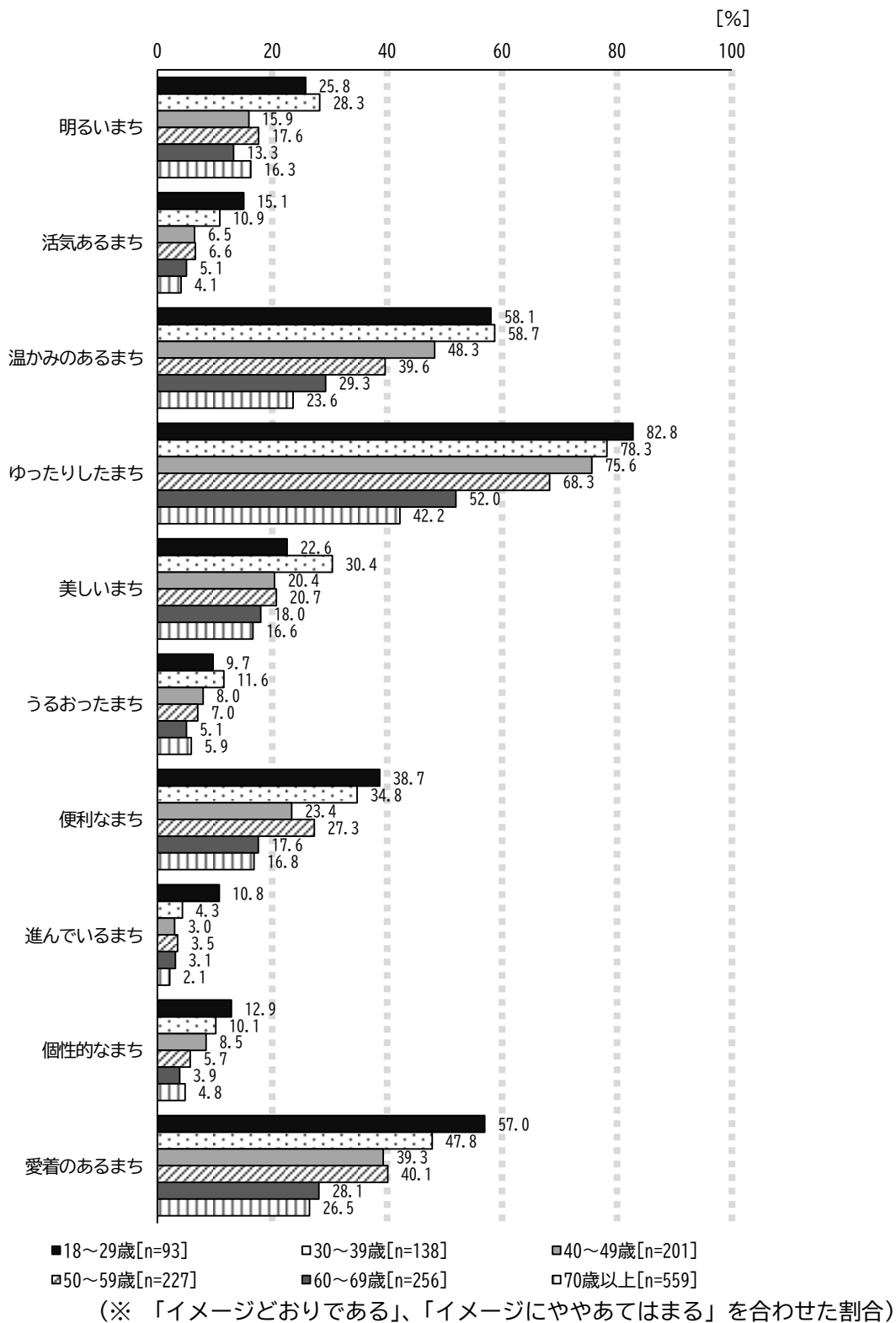
【全体】



まちのイメージを年齢別にみると、「イメージどおりすべての年代において「ゆったりしたまち」が最も高くなっています。また、年代が下がるにつれてイメージに共感する傾向にあります。

まちのイメージ

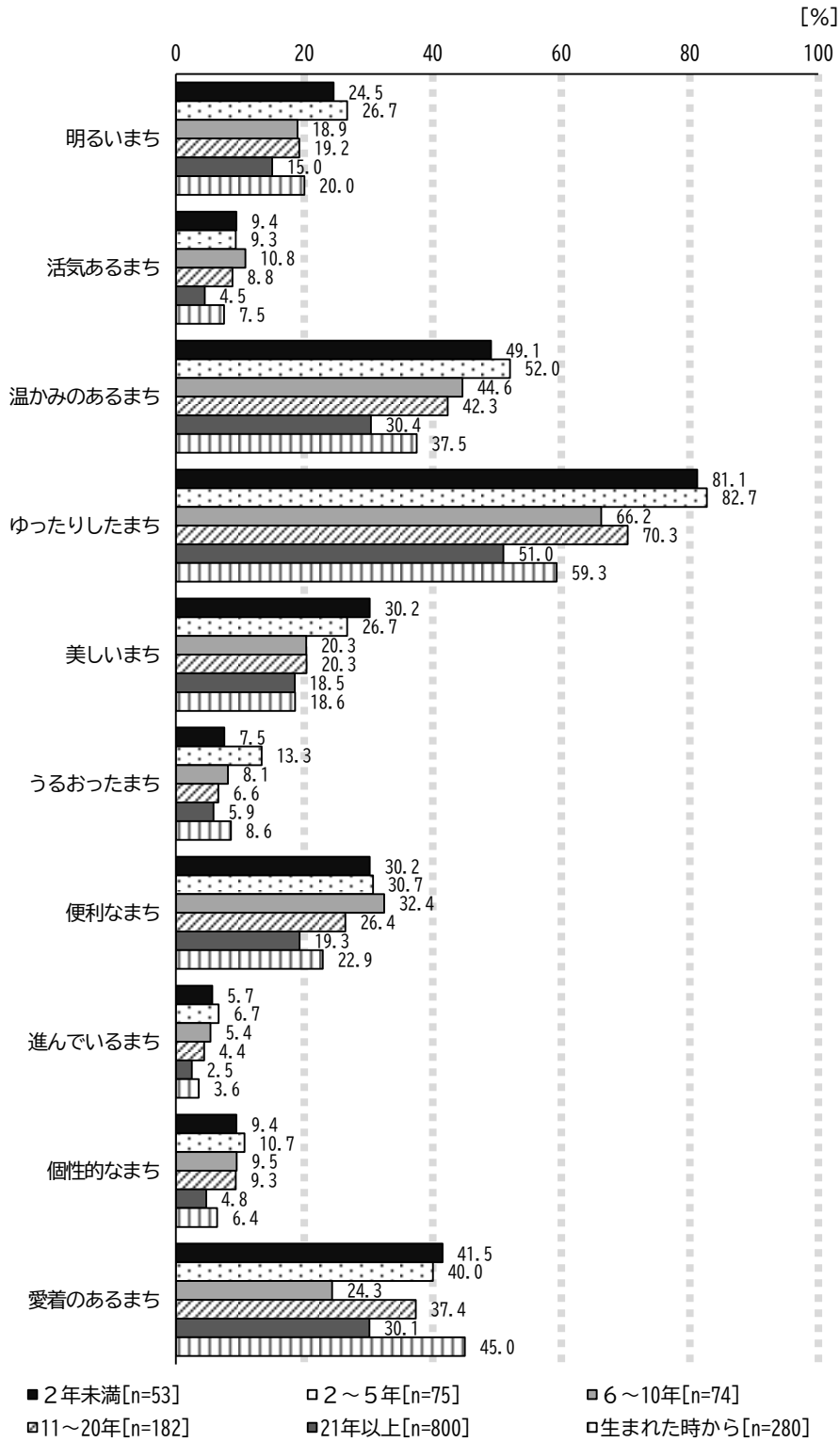
【年齢別】



まちのイメージを居住年数別にみると、すべての層において「ゆったりしたまち」が最も高くなっています。

まちのイメージ

【居住年数別】

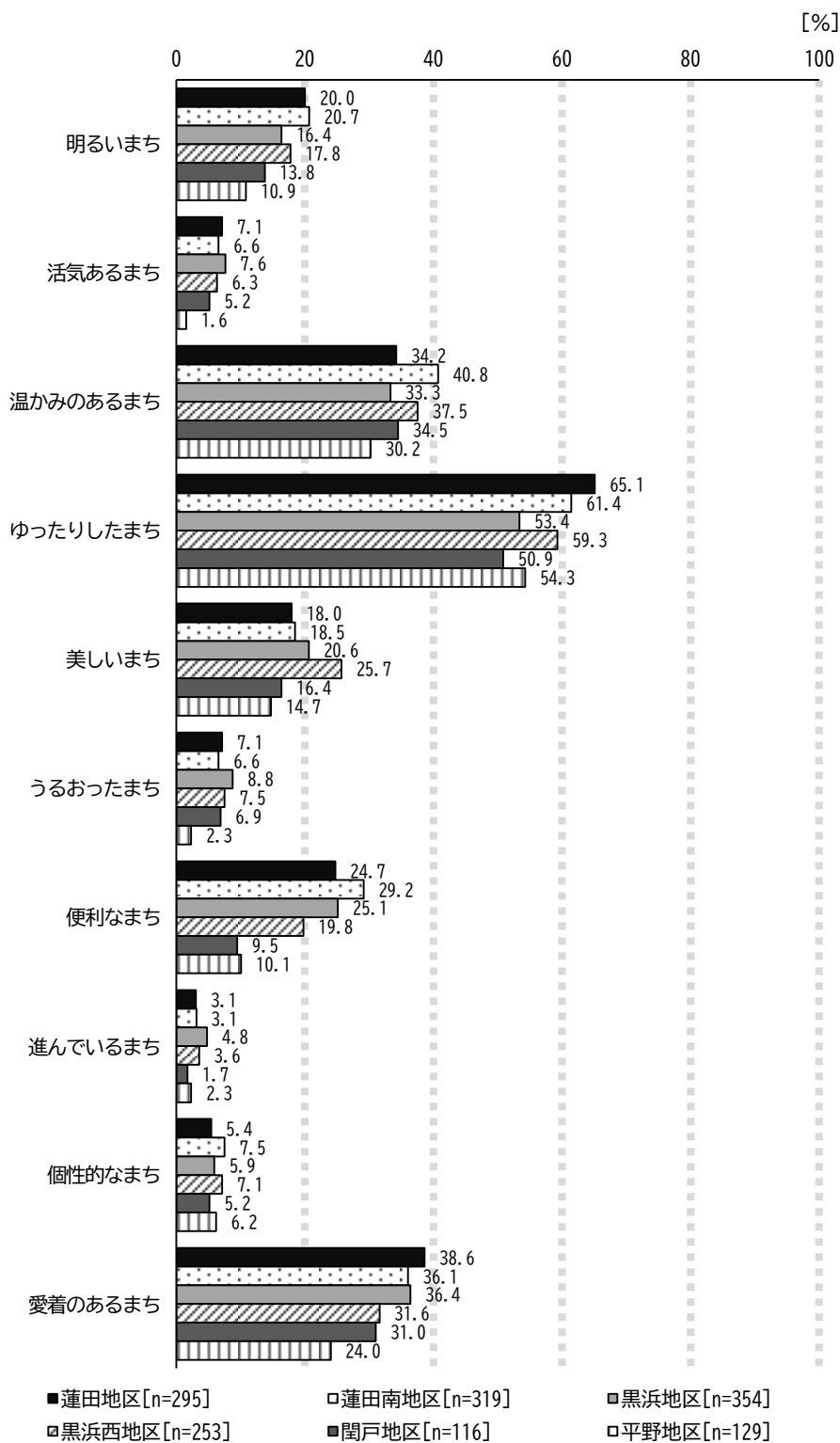


(※ 「イメージどおりである」、「イメージにややあてはまる」を合わせた割合)

まちのイメージを地区別にみると、すべての地区で「ゆったりしたまち」が最も高く、次いで「温かみのあるまち」が高くなっています。

まちのイメージ

【地区別】



(※ 「イメージどおりである」、「イメージにややあてはまる」を合わせた割合)

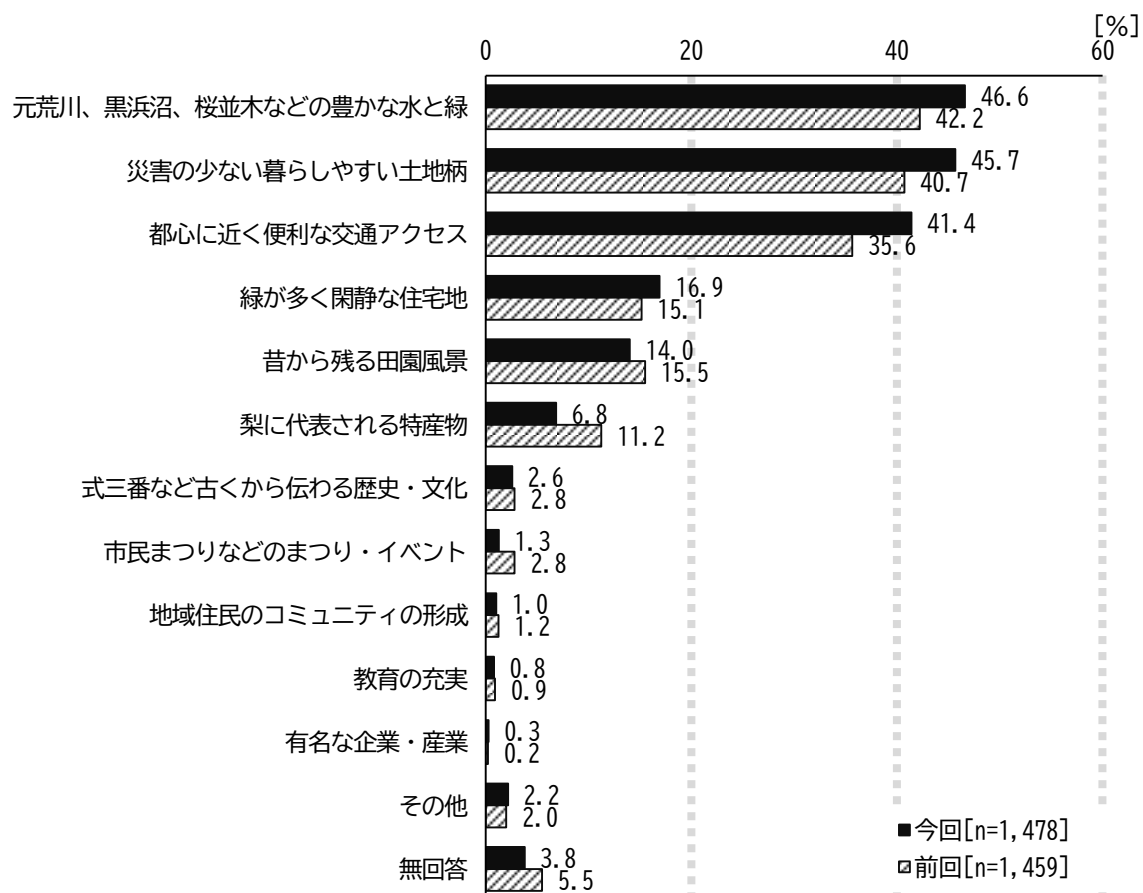
問 24 あなたは、蓮田市のまちの魅力は何と感じますか。(2つまでに○)

「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」が46.6%で最も高く、次いで「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が45.7%、「都心に近く便利な交通アクセス」が41.4%となっています。

前回調査と比較すると、「都心に近く便利な交通アクセス」が41.4%で5.8ポイント増加している一方で、「梨に代表される特産物」が6.8%で4.4ポイント減少しています。

蓮田市の魅力

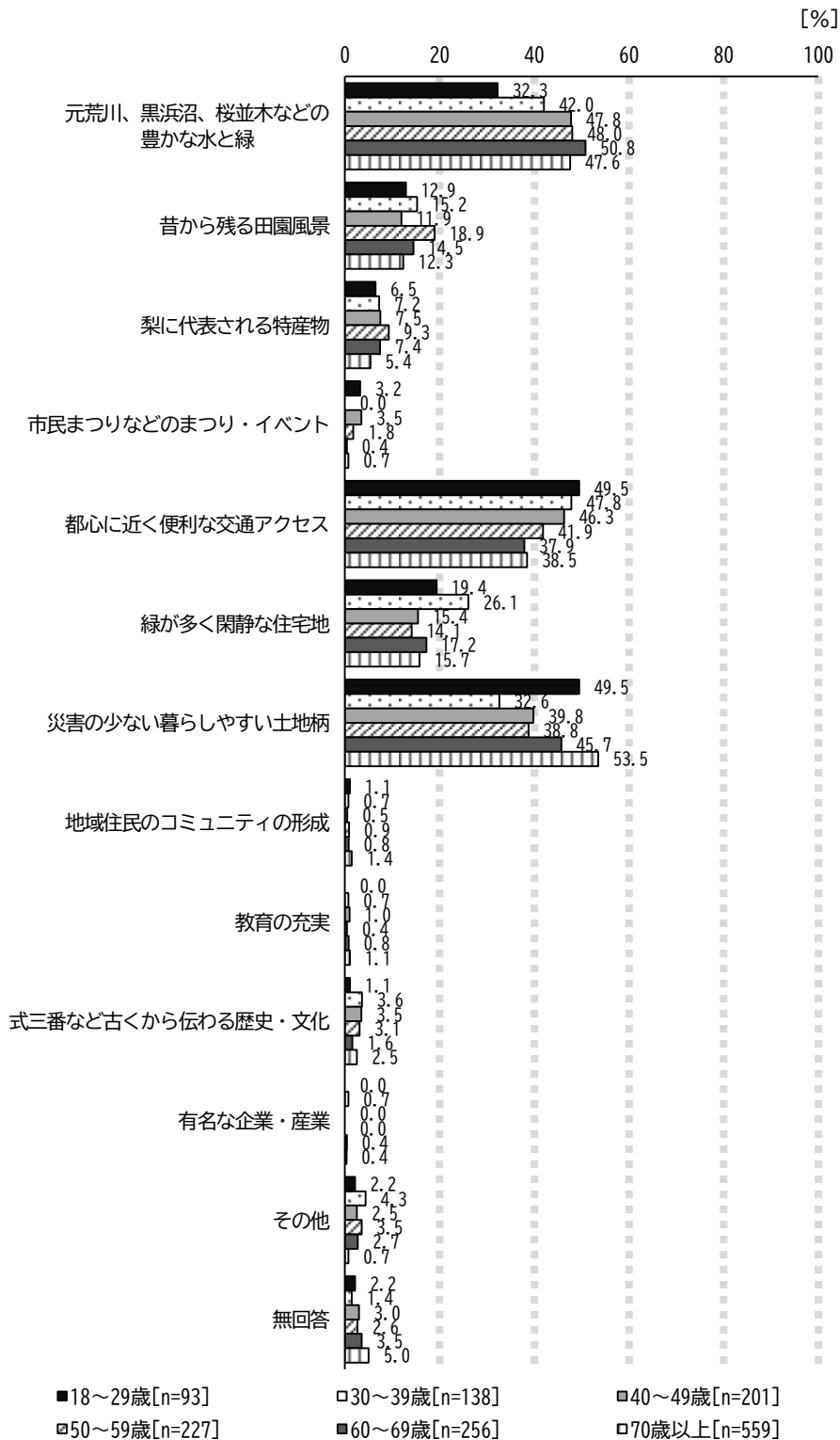
【全体・前回比較】



蓮田市の魅力を年齢別でみると、年齢が若いほど「都心に近く便利な交通アクセス」の割合が高く、年齢が高いほど「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」の割合が高くなっています。また、20歳代以下以外の年代では、年齢が上がるにつれて、「災害の少ない暮らしやすい土地柄」の割合が高くなっており、年齢によって魅力に違いが出ています。

蓮田市の魅力

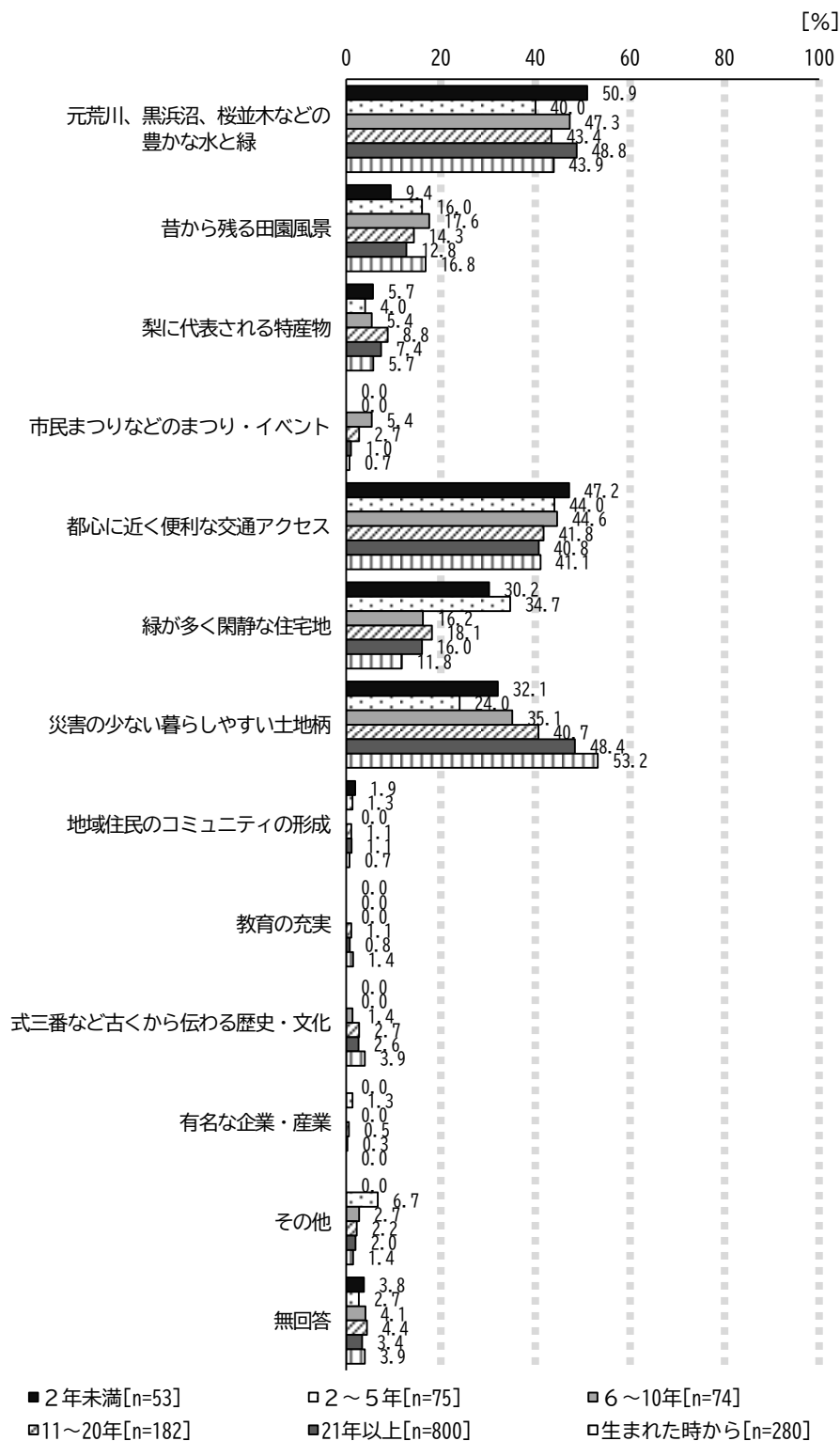
【年齢別】



蓮田市の魅力を居住年数別でみると、居住年数が短いほど「都心に近く便利な交通アクセス」の割合が高く、居住年数が長いほど「災害の少ない暮らしやすい土地柄」の割合が高くなる傾向が見られ、居住年数によって認識に違いが出ています。一方で、「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」の割合は、すべての層で4割を超え、共通の魅力となっています。

蓮田市の魅力

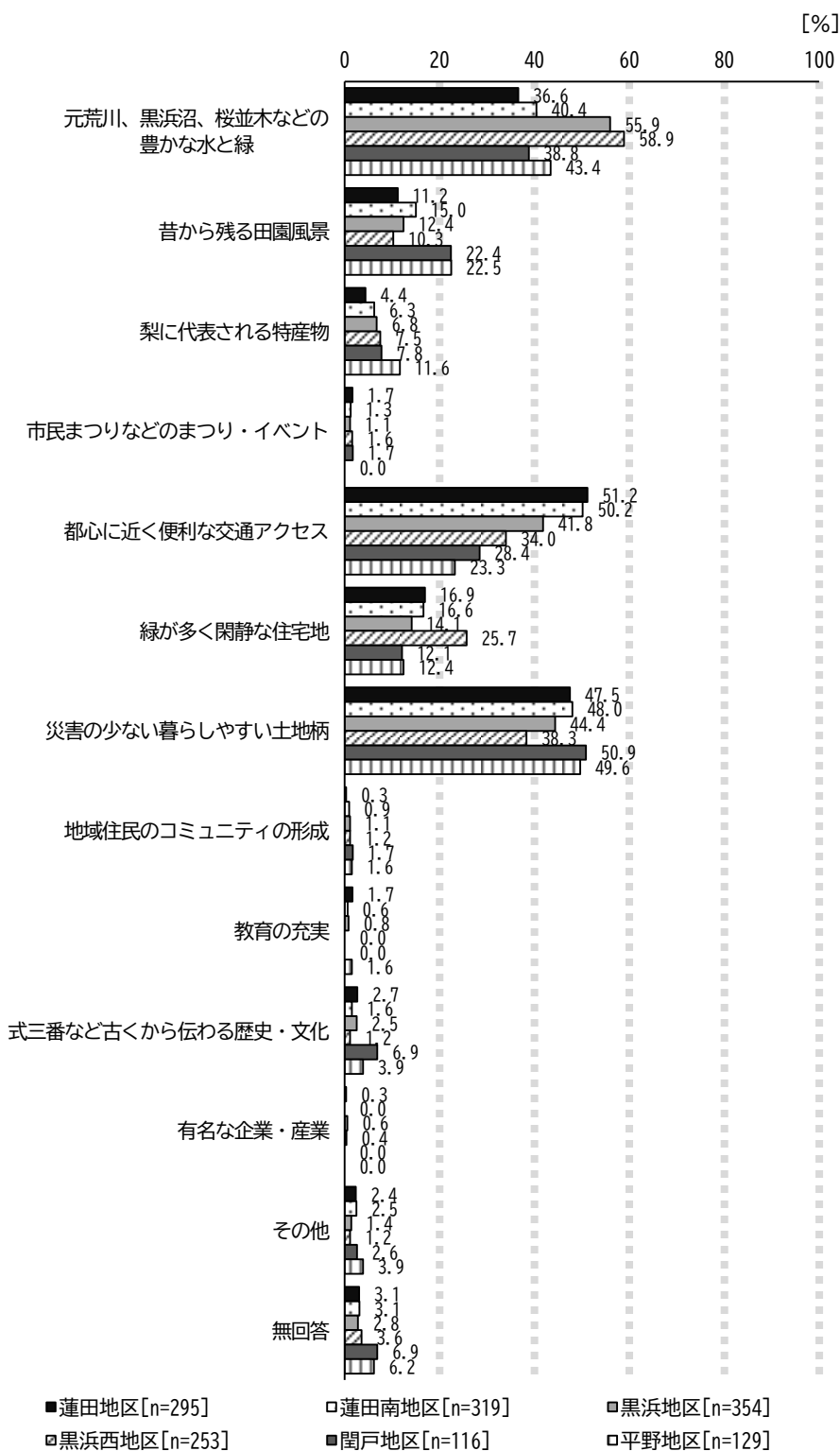
【居住年数別】



蓮田市の魅力を地区別でみると、「都心に近く便利な交通アクセス」については、最も高い『蓮田地区』の51.2%と最も低い『平野地区』の23.3%では、27.9ポイントの差があり、「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」については、最も高い『黒浜西地区』の58.9%と最も低い『蓮田地区』の36.6%では、22.3ポイントの差があるなど、居住地区によって魅力に違いが出ています。

蓮田市の魅力

【地区別】



2-6 これからのまちづくりについて

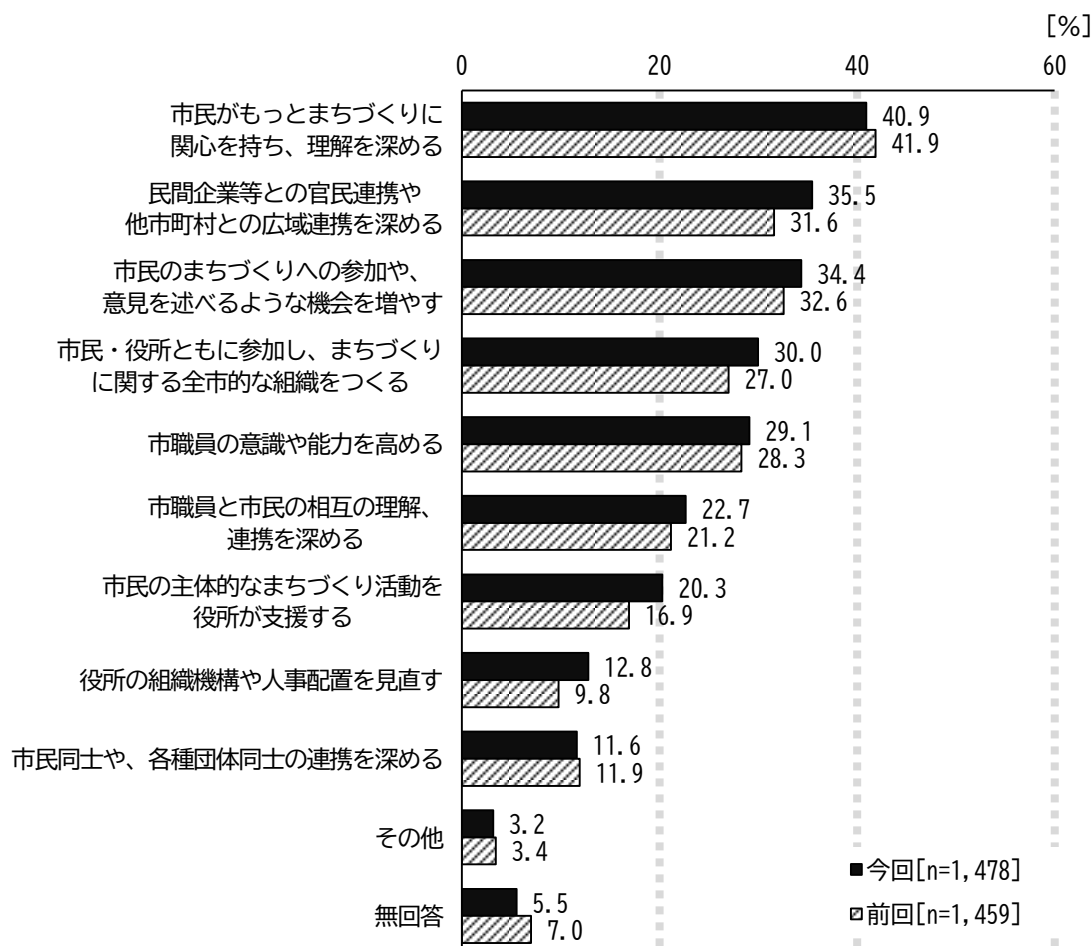
問 25 国や県に依存するだけでなく、市独自の力を発揮し行動力を高めるにはどのようなことが重要だと思いますか。(3つまでに○)

「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」が40.9%で最も高く、次いで「民間企業等との官民連携や他市町村との広域連携を深める」が35.5%、「市民のまちづくりへの参加や、意見を述べるような機会を増やす」が34.4%となっています。

前回調査から大きな変化はありませんが、「民間企業等との官民連携や他市町村との広域連携を深める」が35.5%で、3.9ポイント、「市民の主体的なまちづくり活動を役所が支援する」が20.3%で3.4ポイントそれぞれ増加しています。

市の行動力を高めるために重要なこと

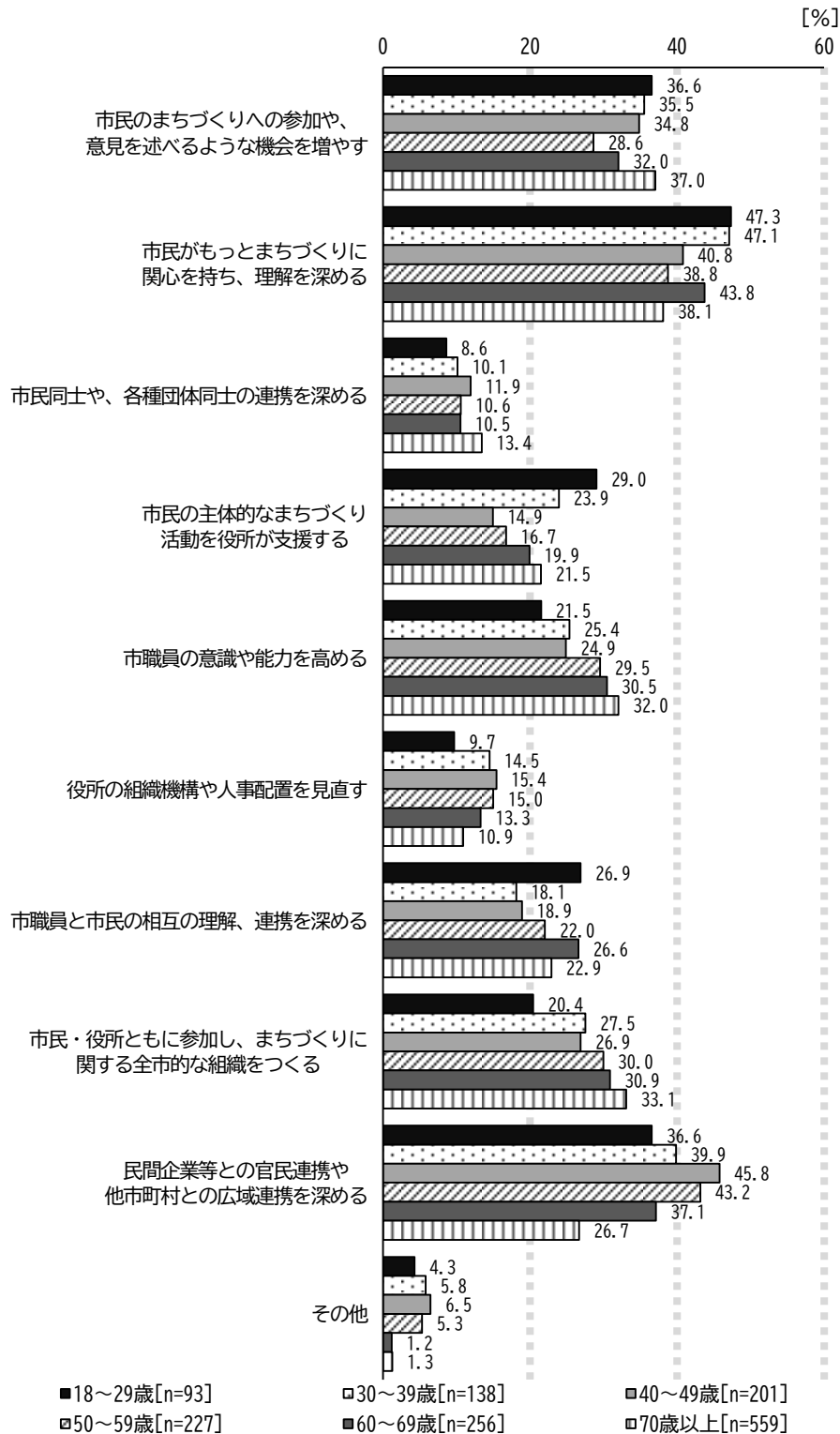
【全体・前回比較】



市の行動力を高めるために重要なことを年齢別でみると、すべての年代で「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」や「民間企業等との官民連携や他市町村との広域連携を深める」などの割合が比較的高くなっていますが、他の年代と比較して、20歳代以下の「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」が47.3%、40歳代の「民間企業等との官民連携や他市町村との広域連携を深める」が45.8%とやや高くなっています。

市の行動力を高めるために重要なこと

【年齢別】



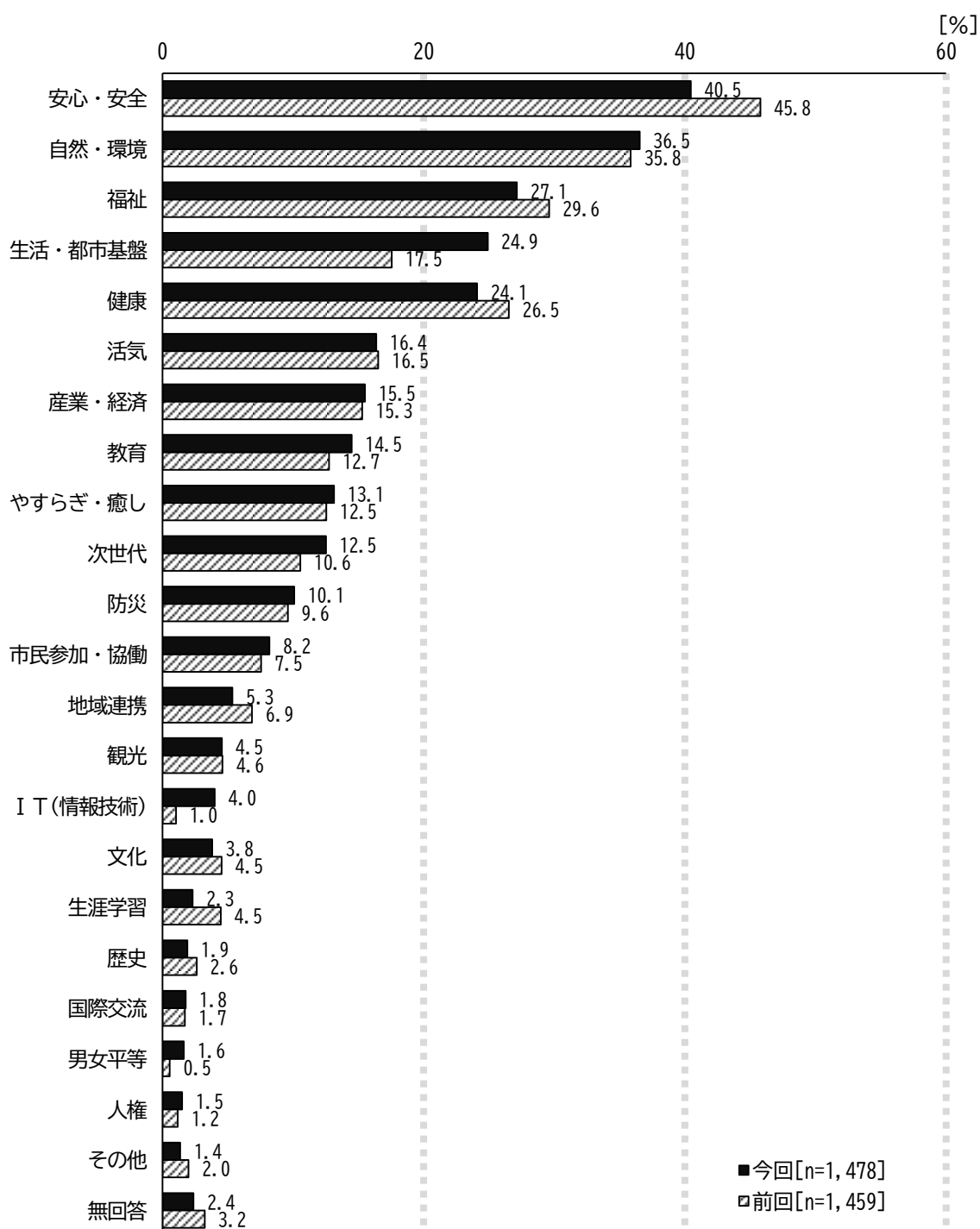
問 26 蓮田市が目指すまちづくりの将来像を表すキーワードとして、ふさわしいと思うものを選んでください。(3つまでに○)

「安心・安全」が40.5%で最も高く、次いで「自然・環境」が36.5%、「福祉」が27.1%となっています。

前回調査と比較すると、「生活・都市基盤」が24.9%で7.4ポイント増加している一方で、「安心・安全」が40.5%で5.3ポイント減少しています。

将来像を表すキーワード

【全体・前回比較】

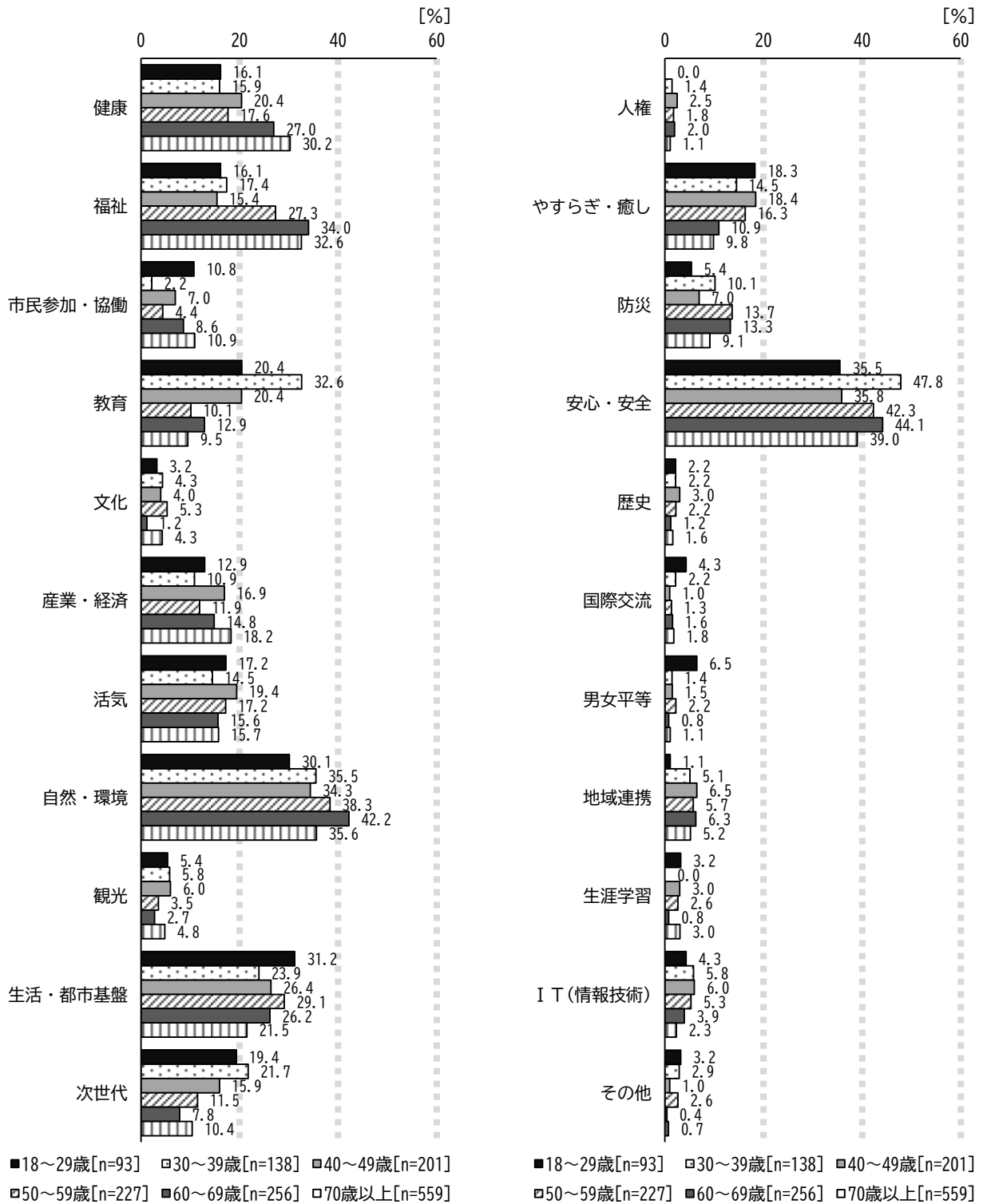


将来像を表すキーワードを年齢別で見ると、すべての年代で「安心・安全」が最も高くなっており、特に30歳代が47.8%と最も高くなっています。

また、他の年代と比較すると、30歳代では「教育」もやや高くなっています。

将来像を表すキーワード

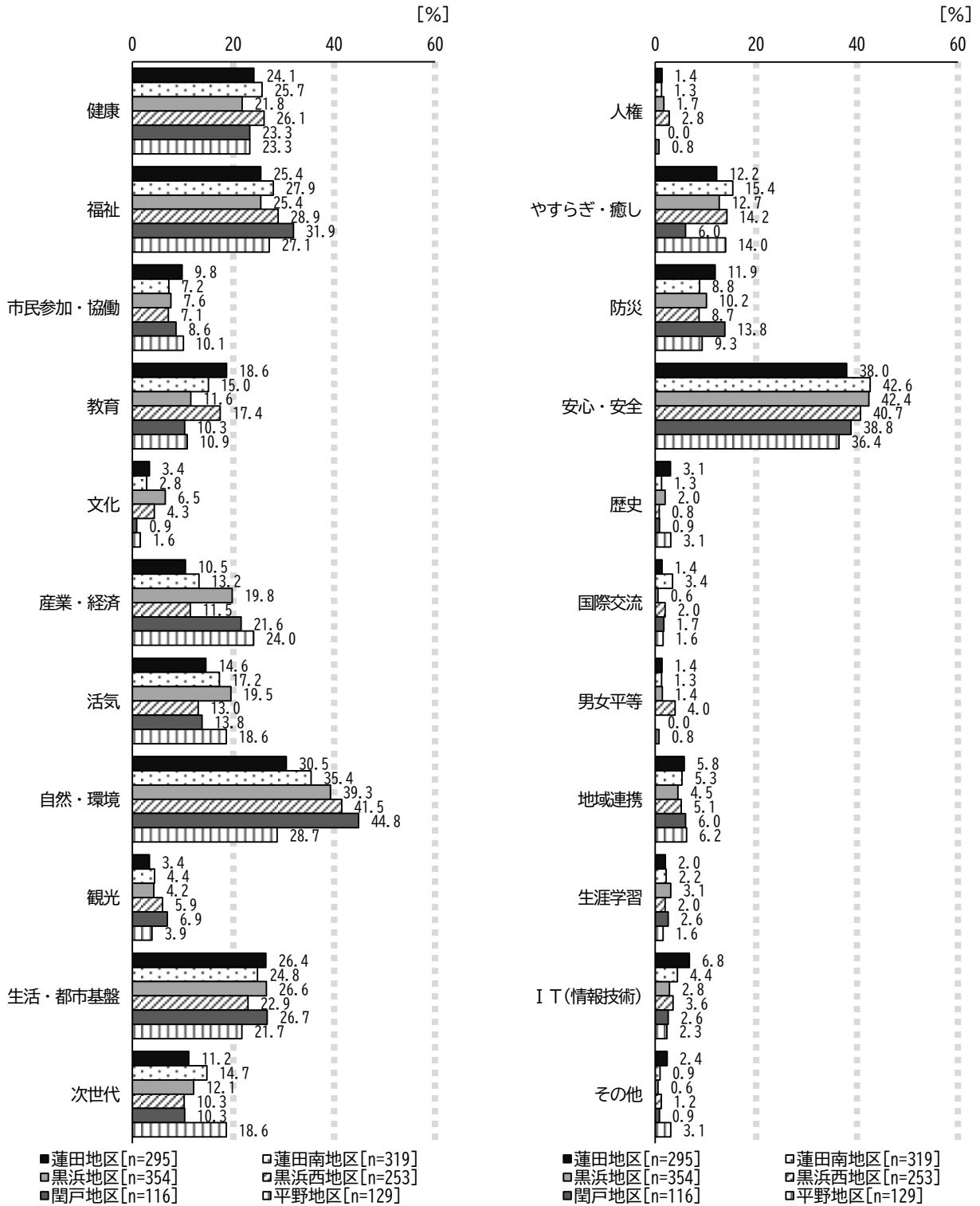
【年齢別】



将来像を表すキーワードを地区別でみると、すべての地区で「安心・安全」が将来像を表すキーワードとしてあげられています。一方で「自然・環境」については、最も高い『閩戸地区』の44.8%と最も低い『平野地区』の28.3%で、16.1ポイントの差があります。

将来像を表すキーワード

【地区別】



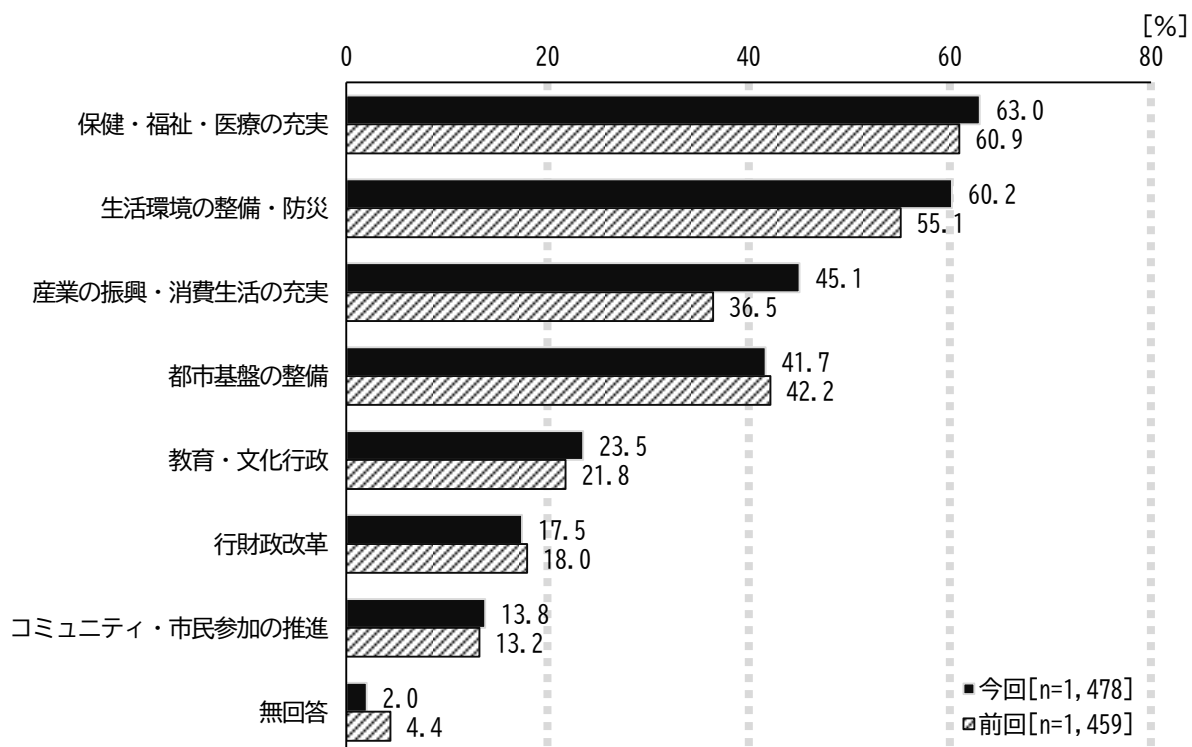
問 27 蓮田市が今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(3つに〇)

「保健・福祉・医療の充実」が63.0%で最も高く、次いで「生活環境の整備・防災」が60.2%、「産業の振興・消費生活の充実」が45.1%となっています。

前回調査と比較すると、「産業の振興・消費生活の充実」が8.6ポイント、「生活環境の整備・防災」が5.1ポイント、それぞれ増加しています。

重点的に取り組むべき施策

【全体・前回比較】

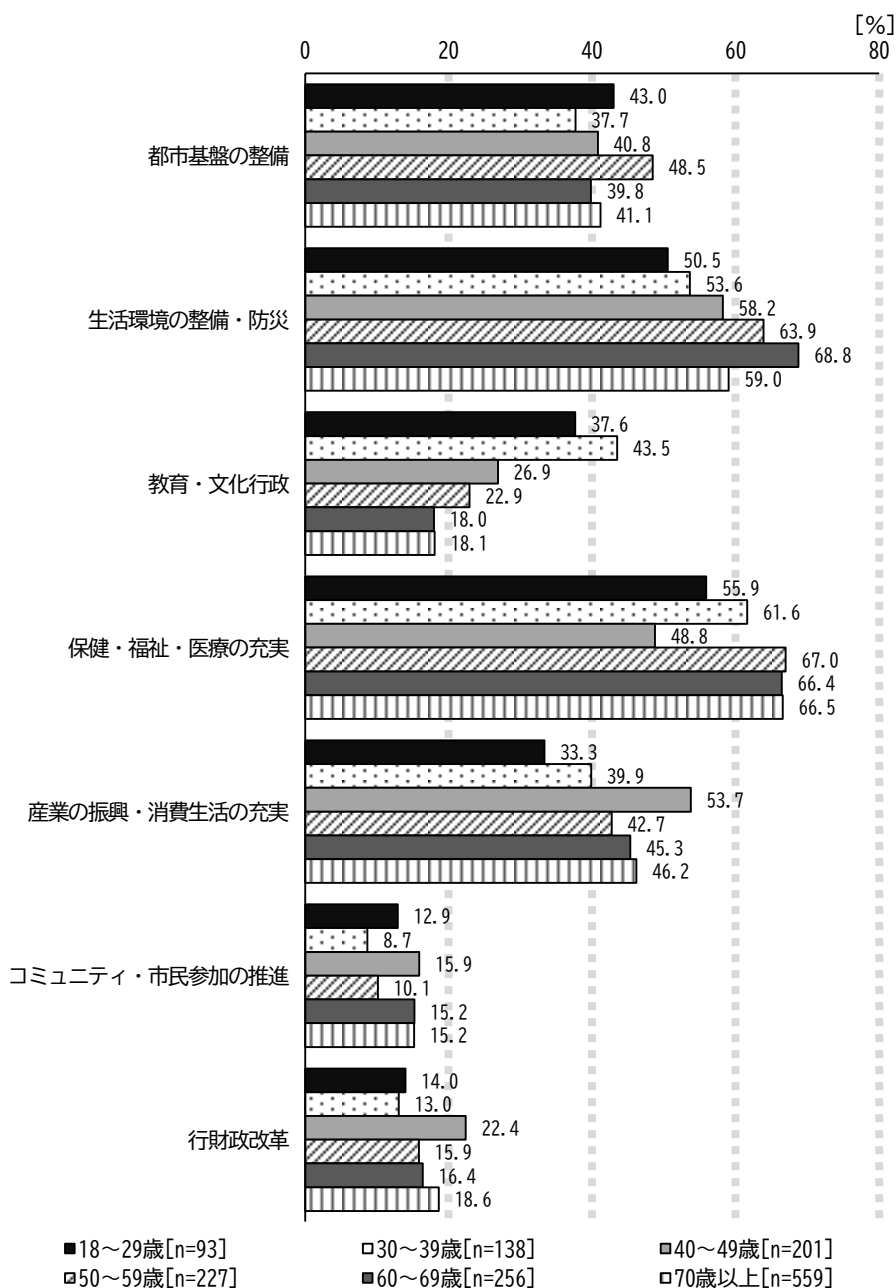


重点的に取り組むべき施策を年齢別で見ると、60歳代の「生活環境の整備・防災」が68.8%で最も高くなっています。

また、他の年代と比較すると、30歳代では「教育・文化行政」、40歳代では「産業の振興・消費生活の充実」もやや高くなっています。

重点的に取り組むべき施策

【年齢別】

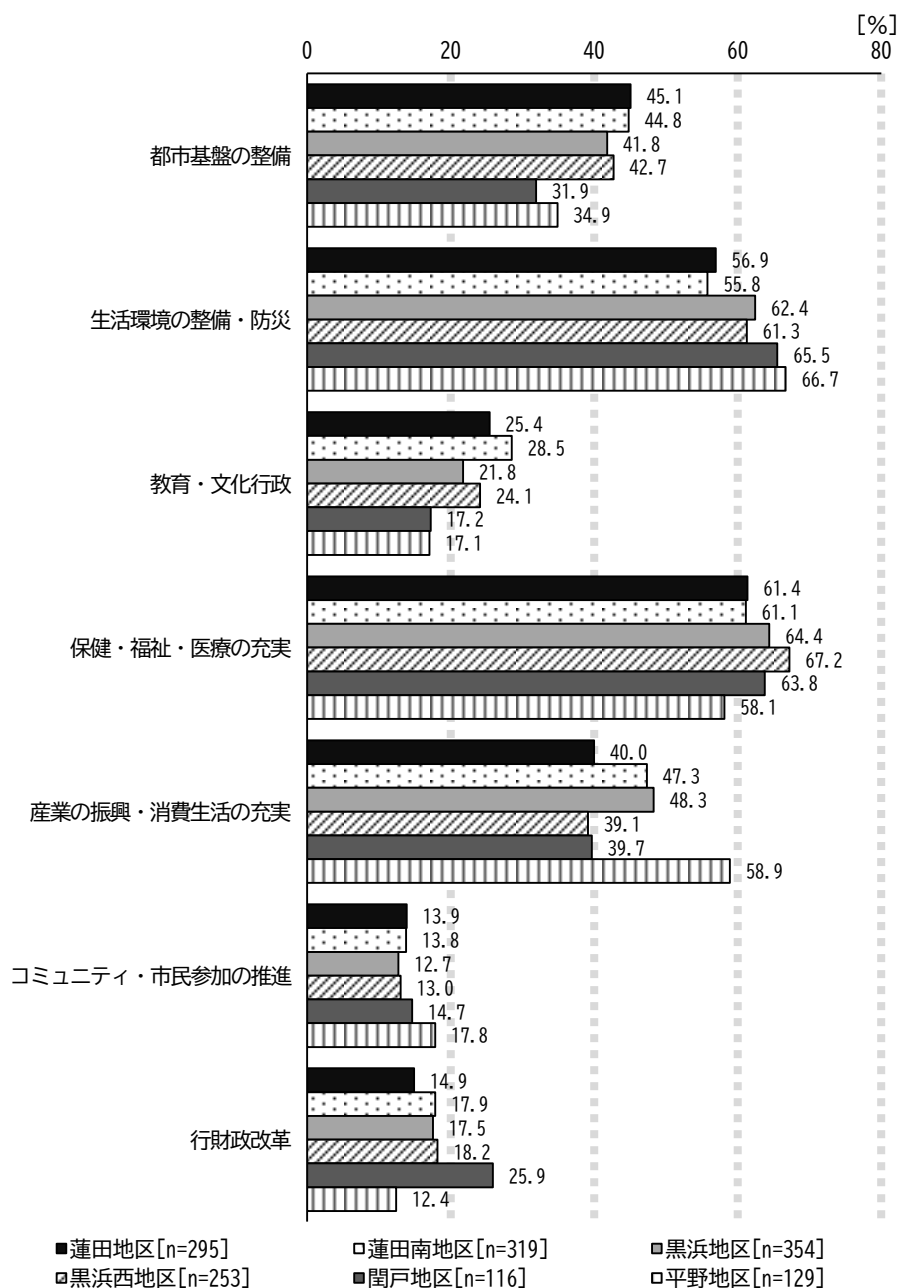


重点的に取り組むべき施策を地区別で見ると、『黒浜西地区』の「保健・福祉・医療の充実」が67.2%で最も高くなっています。

また、他の地区と比較すると、平野地区では「産業の振興・消費生活の充実」がやや高くなっています。

重点的に取り組むべき施策

【地区別】



問 28 子どもを産み育てる意欲を高め、安心して子育てしやすいまちにするために、あなたが特に効果があると思うものは何ですか。（3つまでに○）

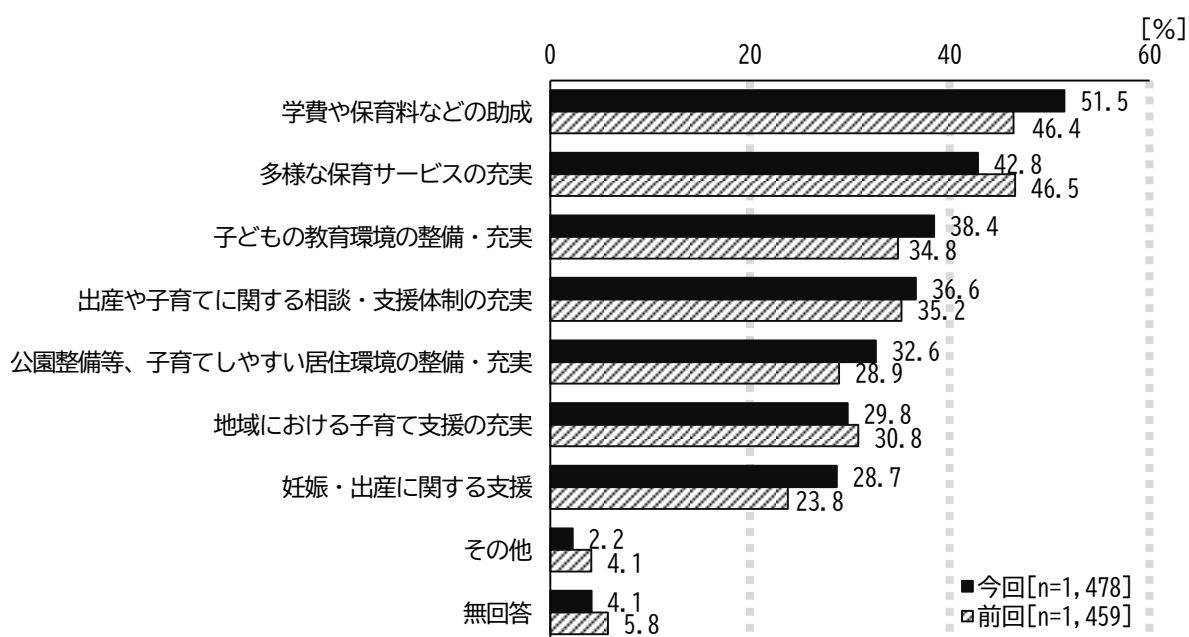
「学費や保育料などの助成」が51.5%で最も高く、次いで「多様な保育サービスの充実」が42.8%、「子どもの教育環境の整備・充実」が38.4%となっています。

前回調査と比較すると、「学費や保育料などの助成」が5.1ポイント、「妊娠・出産に関する支援」が4.9ポイント、それぞれ増加しています。

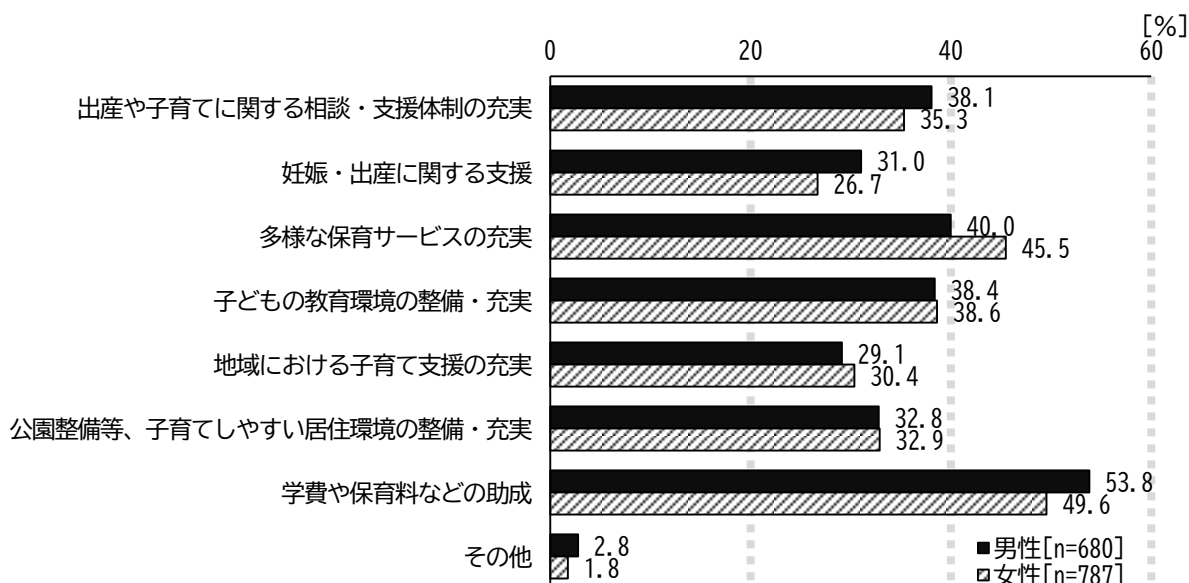
性別で見ると、「学費や保育料などの助成」は男性の方が3.4ポイント高く、「多様な保育サービスの充実」は女性の方が5.5ポイント高くなっています。

子育てしやすいまちへの効果的な取組

【全体・前回比較】



【性別】

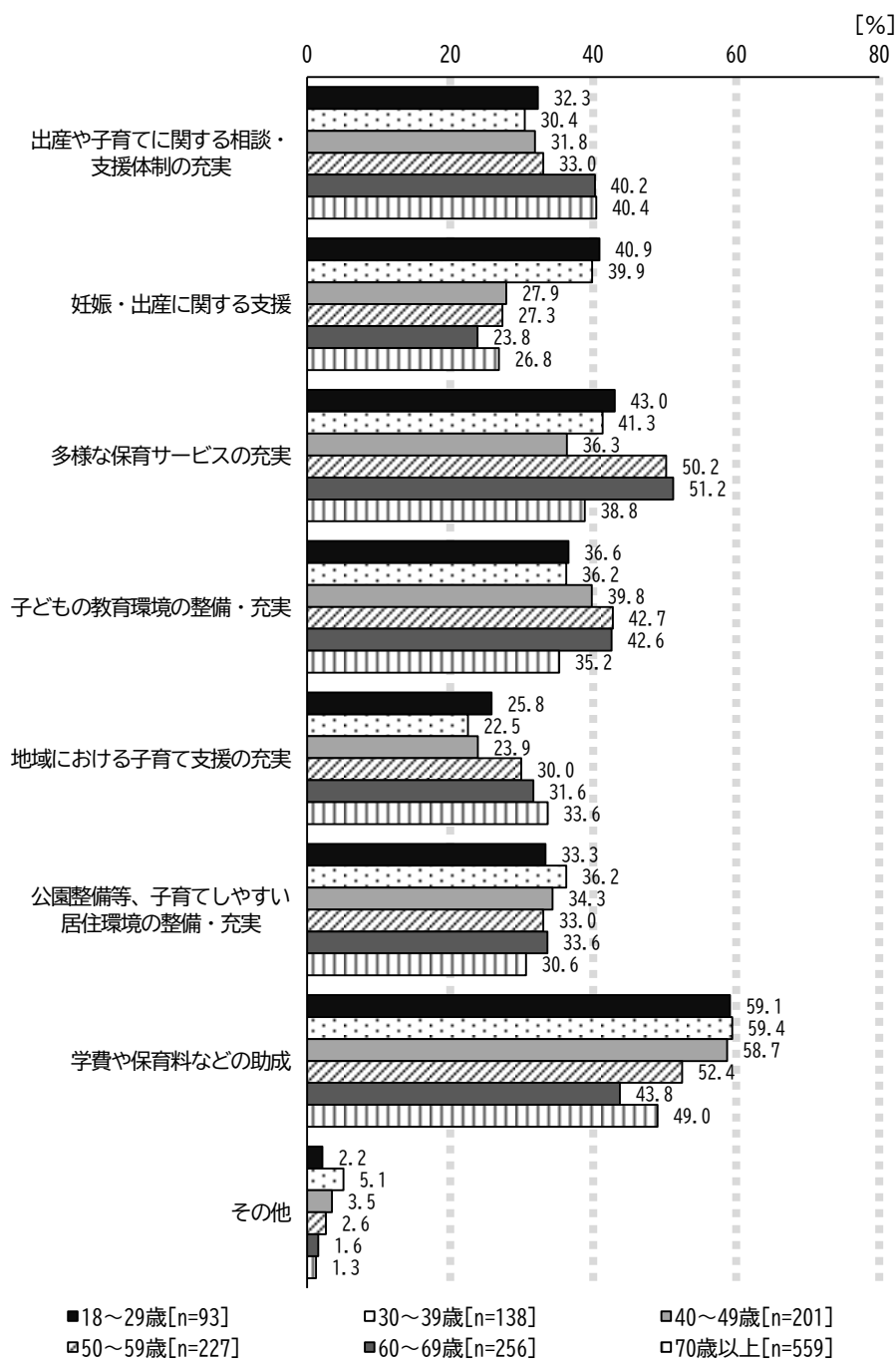


子育てしやすいまちへの効果的な取組を年齢別でみると、40歳代以下の各年代で「学費や保育料などの助成」の割合が約6割となっています。

また、他の年代と比較すると、30歳代以下で「妊娠・出産に関する支援」がやや高くなっています。

子育てしやすいまちへの効果的な取組

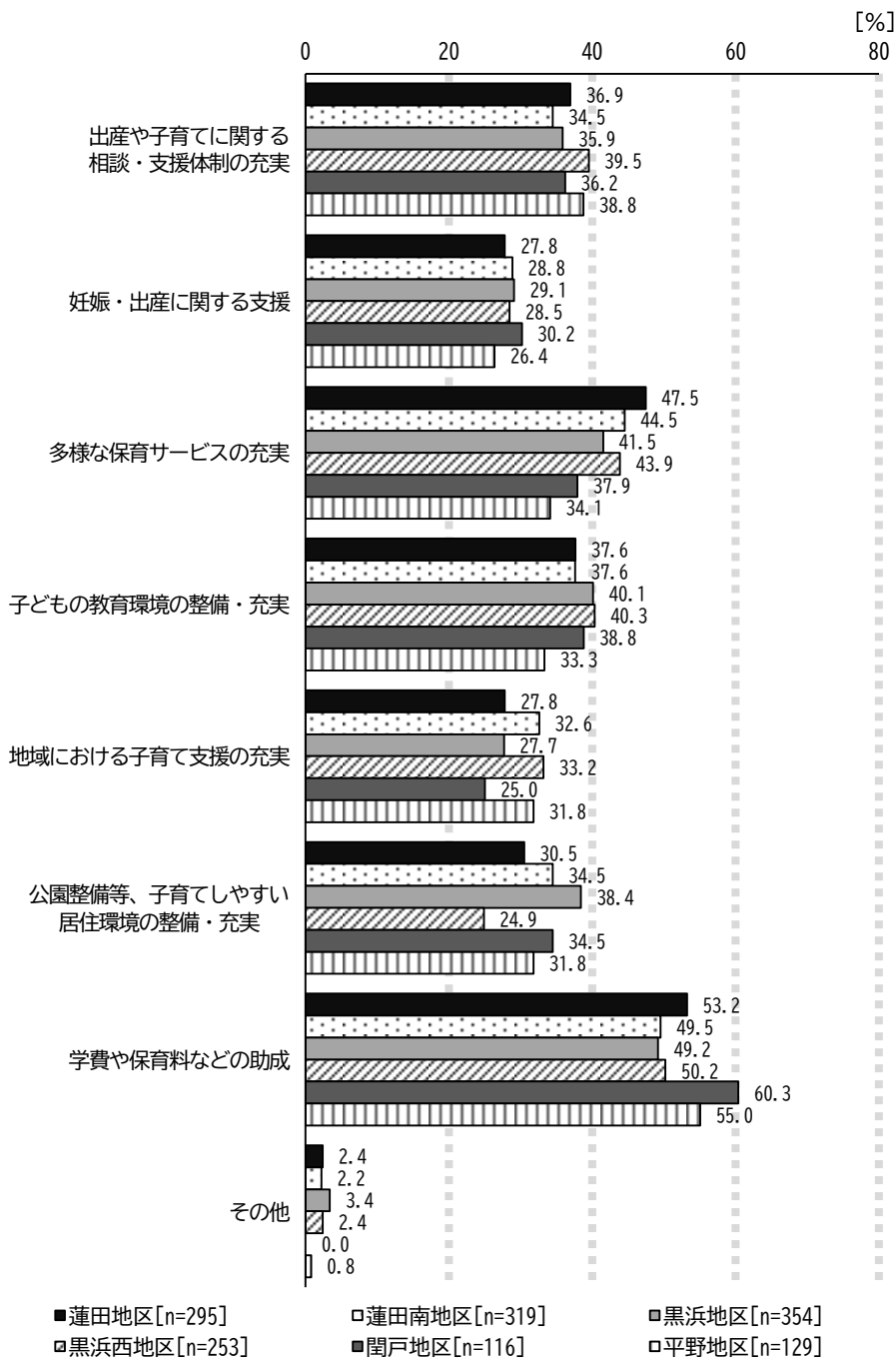
【年齢別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を地区別で見ると、『閩戸地区』の「学費や保育料などの助成」が60.3%で最も高くなっています。

子育てしやすいまちへの効果的な取組

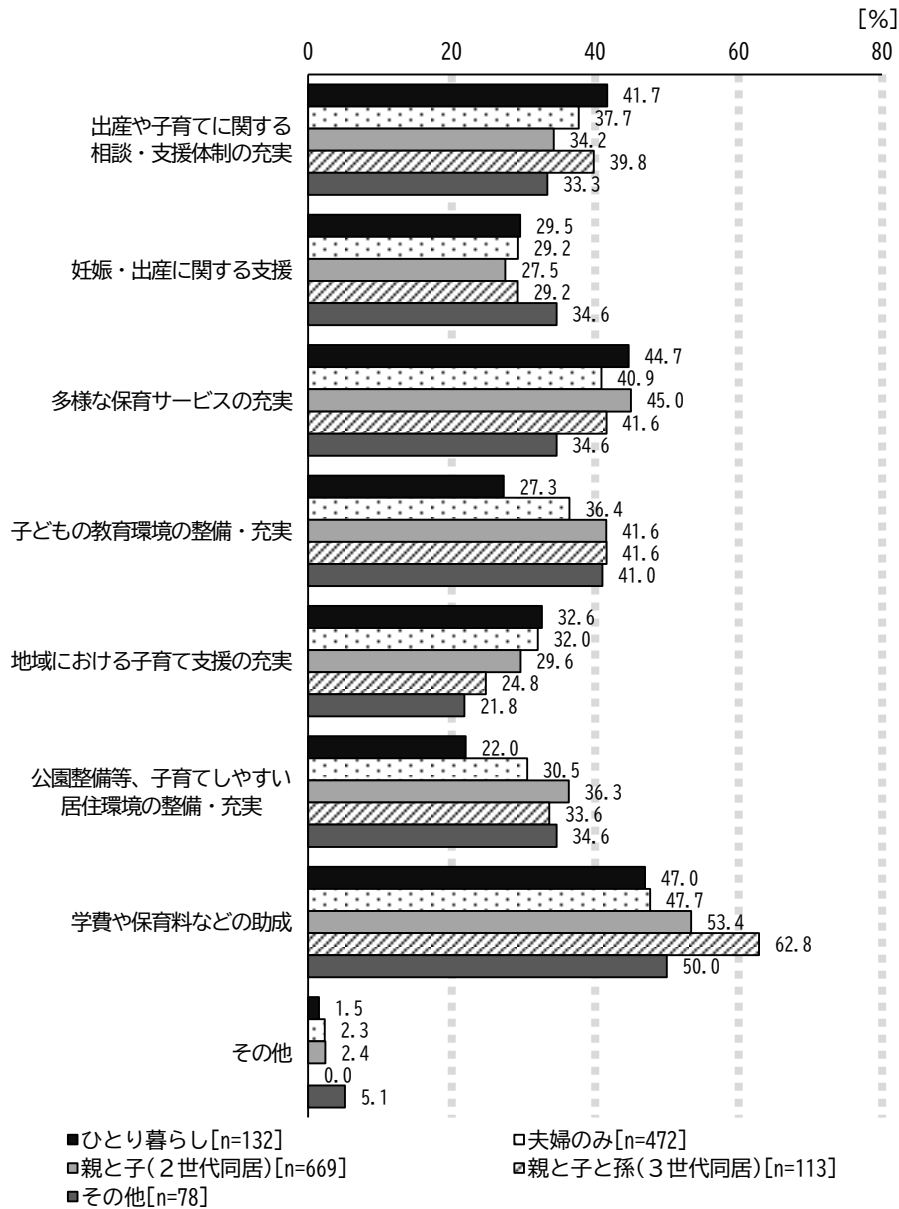
【地区別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を家族構成別でみると、親と子と孫（3世代同居）の「学費や保育料などの助成」が62.8%で最も高くなっています。

子育てしやすいまちへの効果的な取組

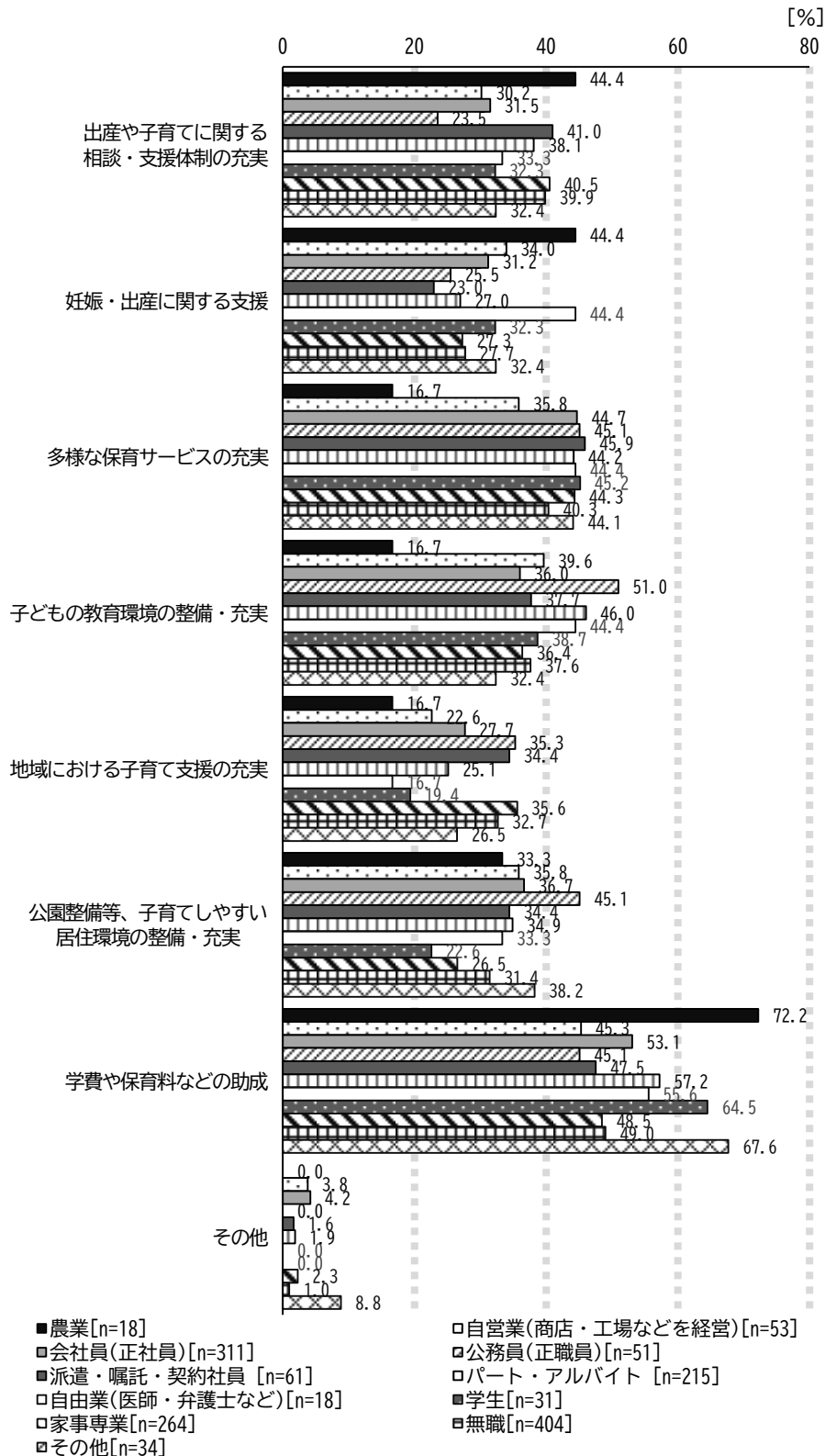
【家族構成別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を職業別でみると、農業の「学費や保育料などの助成」が72.2%で最も高くなっています。

子育てしやすいまちへの効果的な取組

【職業別】



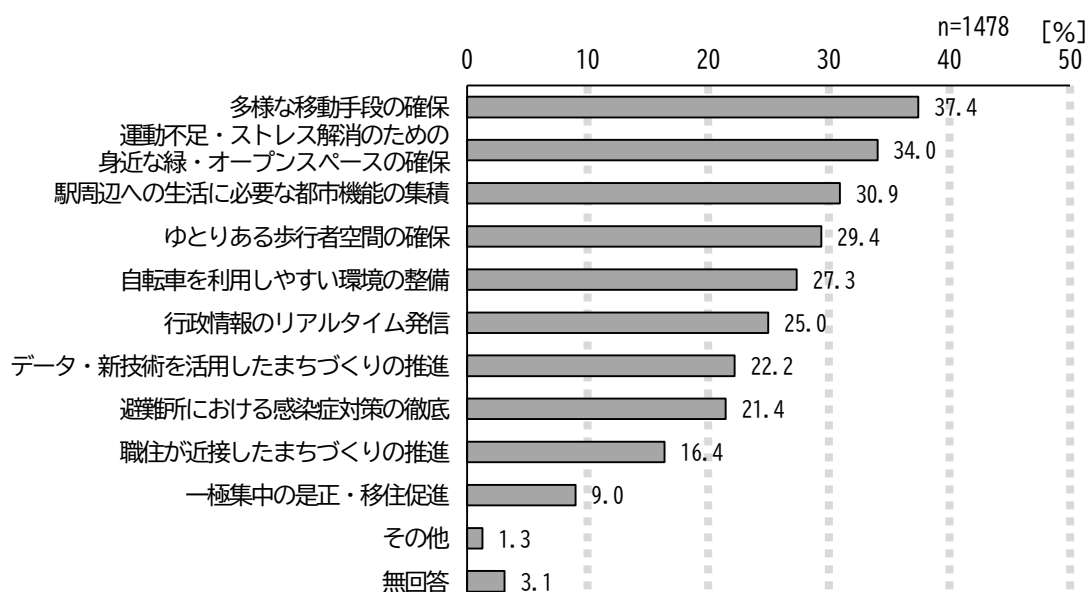
問 29 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、密を避けつつ、感染拡大防止と経済社会活動を両立するためのまちづくりに必要だと思うものは何ですか。
(3つまでに○)

「多様な移動手段の確保」が37.4%で最も高く、次いで「運動不足・ストレス解消のための身近な緑・オープンスペースの確保」が34.0%、「駅周辺への生活に必要な都市機能の集積」が30.9%となっています。

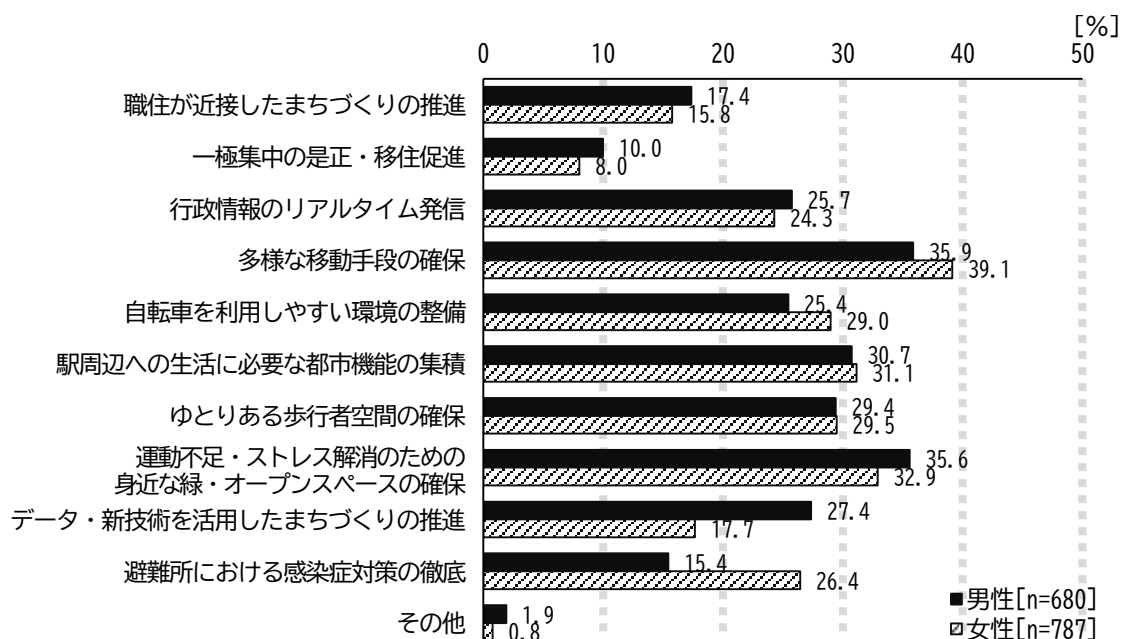
性別でみると、「データ・新技術を活用したまちづくりの推進」は男性の方が9.7ポイント高く、「避難所における感染症対策の徹底」は女性の方が11.0ポイント高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

【全体】



【性別】

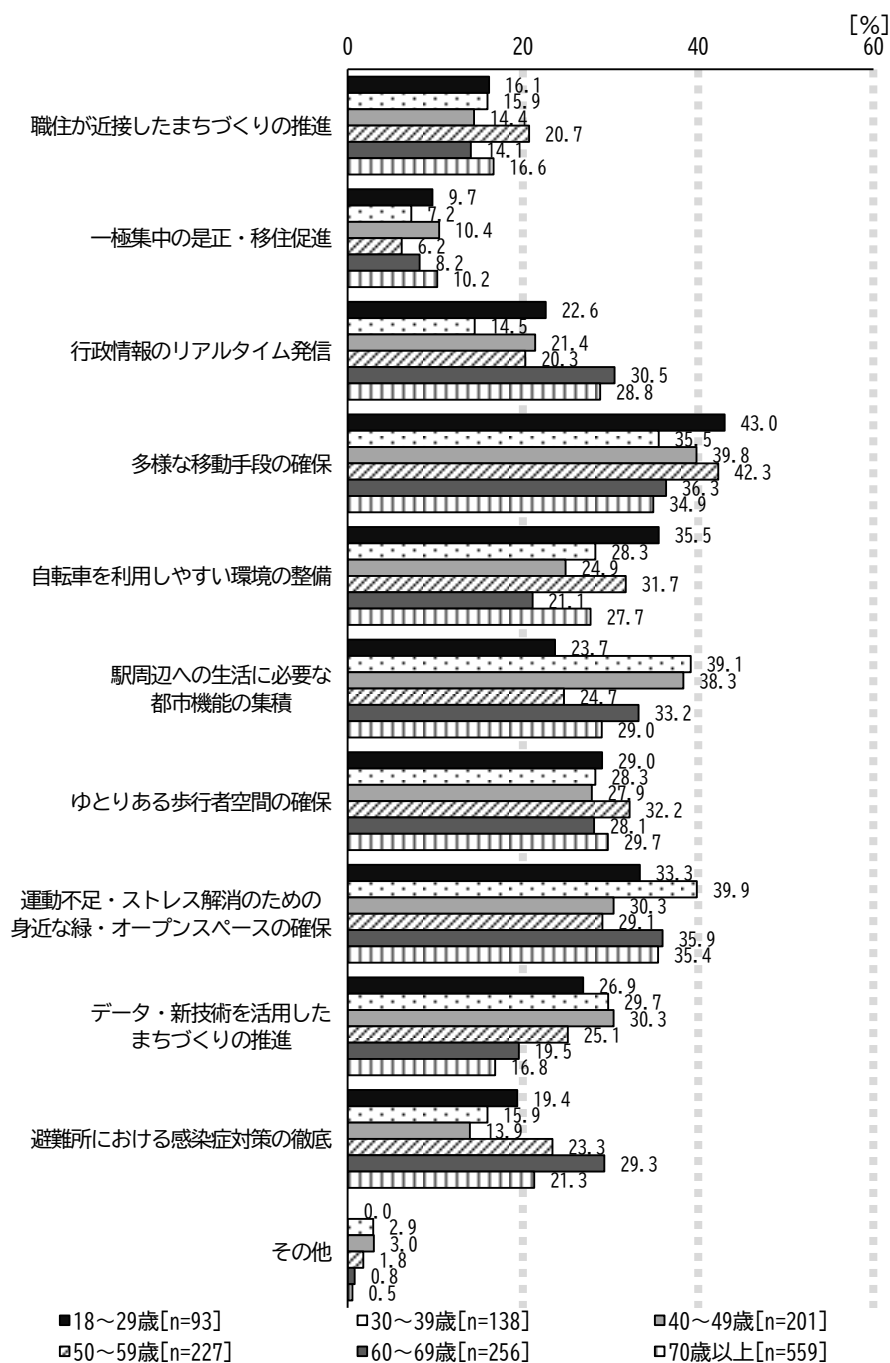


感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組を年齢別でみると、20歳代以下の「多様な移動手段の確保」が43.0%で最も高くなっています。

他の年代と比較すると、20歳代以下で「自転車を利用しやすい環境の整備」がやや高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

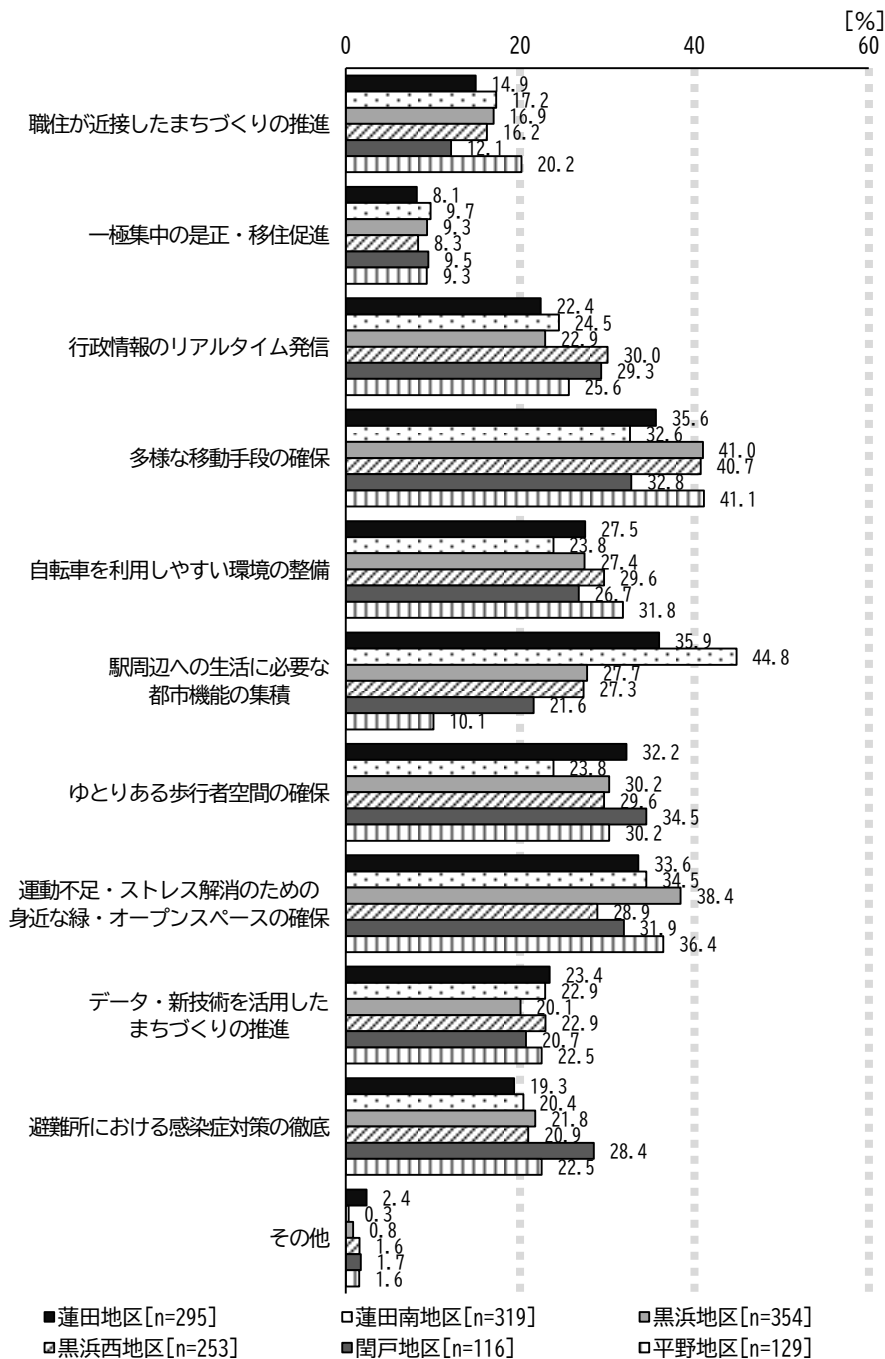
【年齢別】



感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組を地区別で見ると、『蓮田南地区』の「駅周辺への生活に必要な都市機能の集積」が44.8%で最も高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

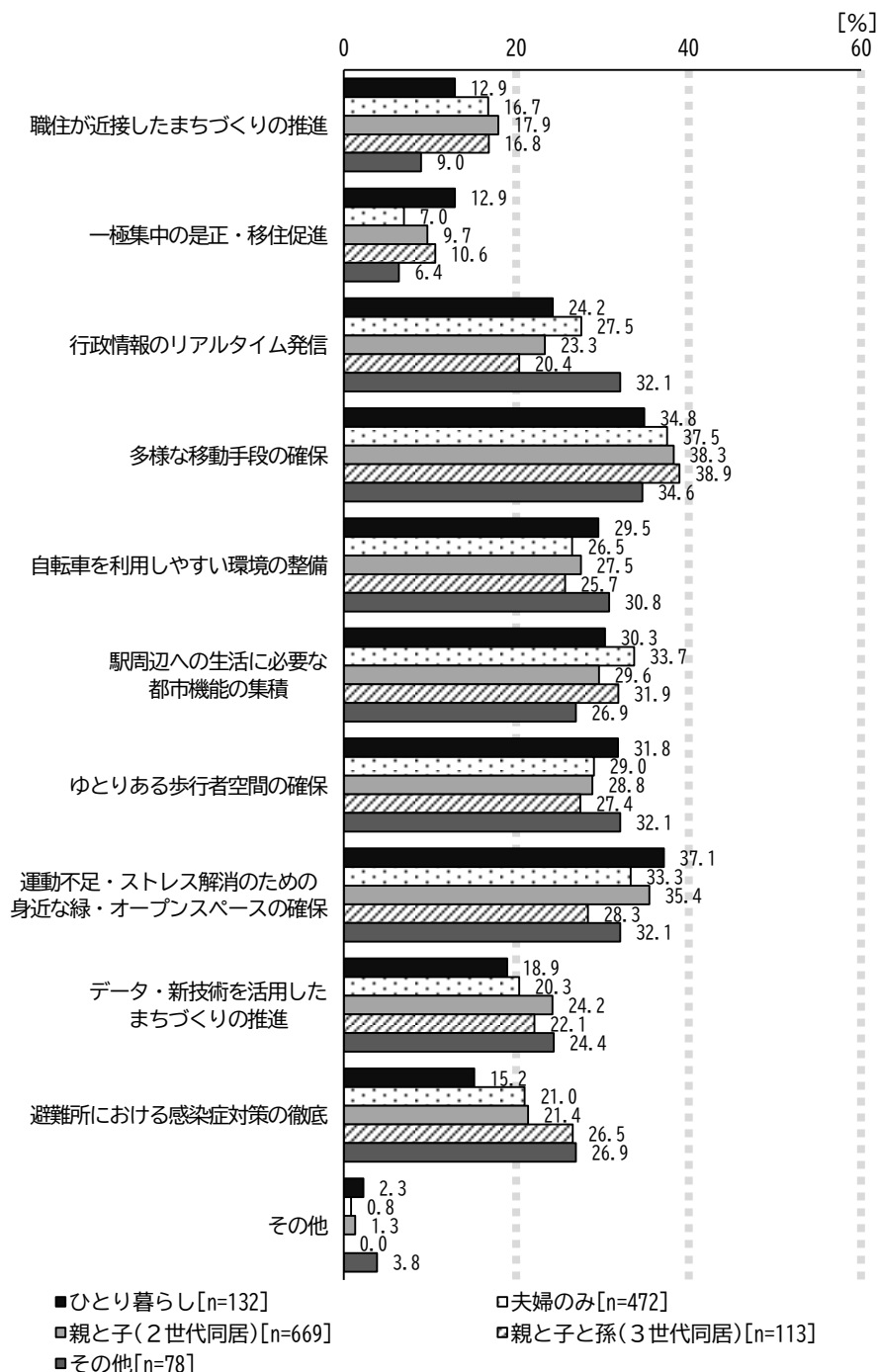
【地区別】



感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組を家族構成別でみると、親と子と孫（3世代同居）の「多様な移動手段の確保」が38.9%で最も高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

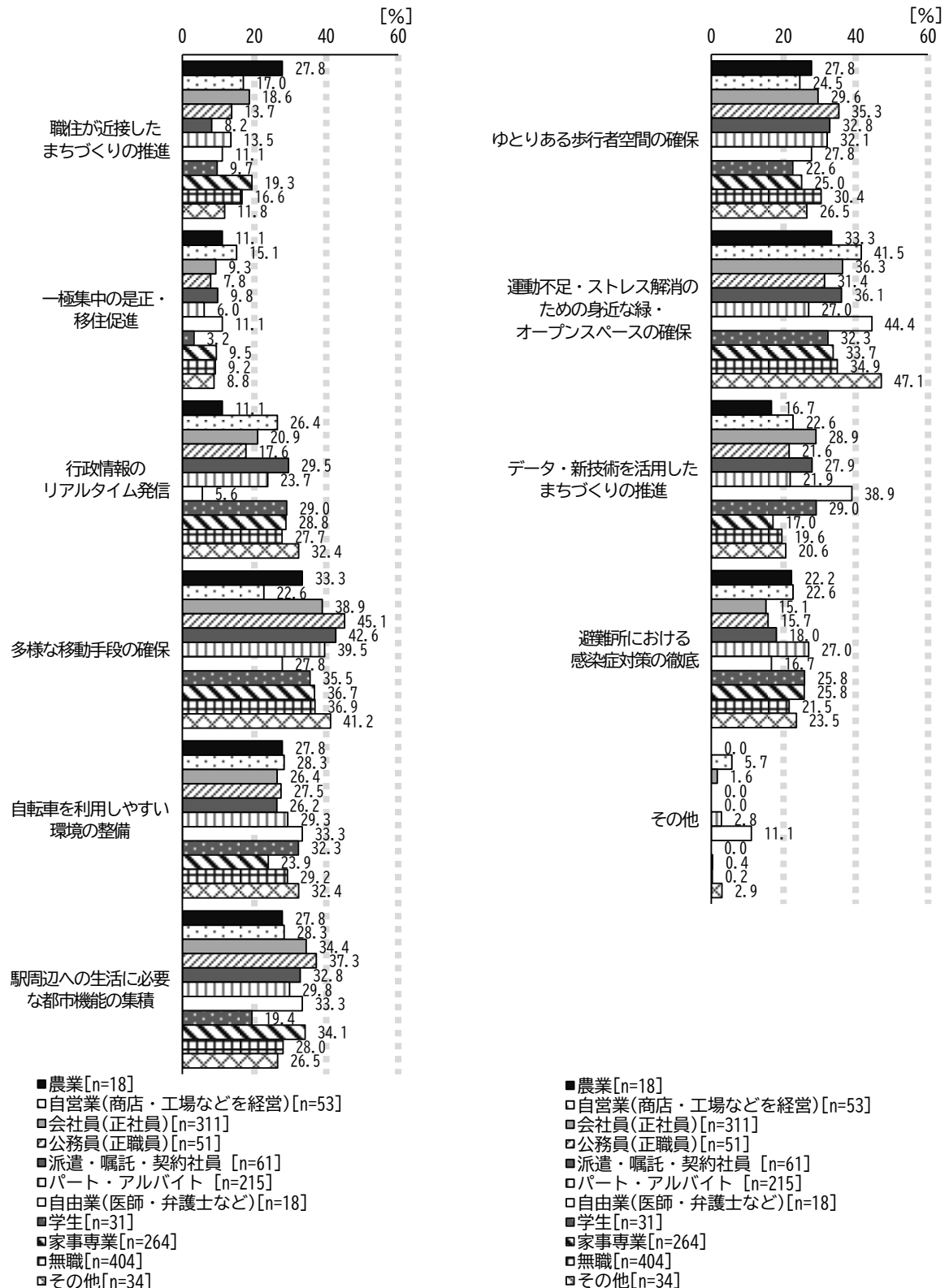
【家族構成別】



感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組を職業別でみると、その他の「運動不足・ストレス解消のための身近な緑・オープンスペースの確保」が47.1%で最も高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済社会活動の両立に効果的な取組

【職業別】



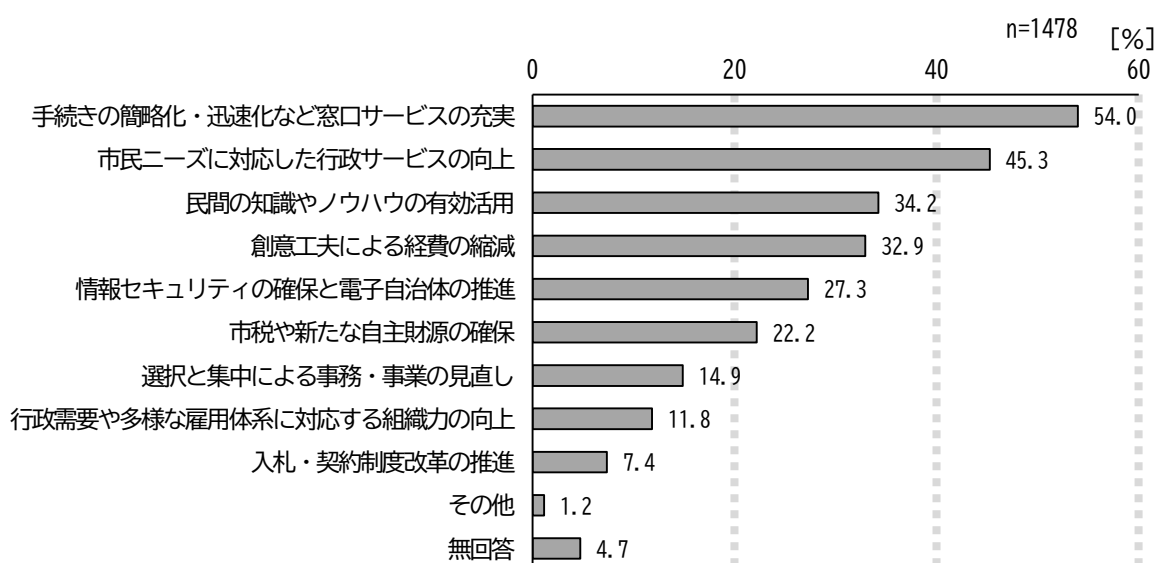
問 30 高度情報化の進展に伴い、計画的・効果的な行財政運営を図るために重要だと思うものは何ですか。(3つまでに○)

「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が54.0%で最も高く、次いで「市民ニーズに対応した行政サービスの向上」が45.3%、「民間の知識やノウハウの有効活用」が34.2%となっています。

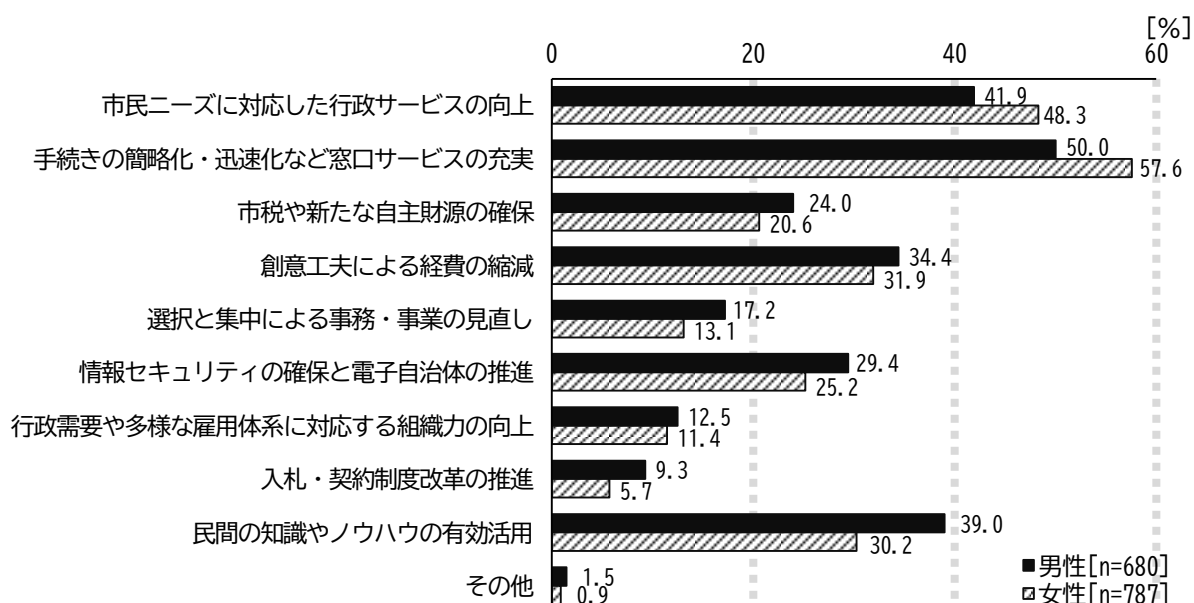
性別でみると、「民間の知識やノウハウの有効活用」は男性の方が8.8ポイント高く、「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」は7.6ポイント、「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」は6.4ポイント、それぞれ女性の方が高くなっています。

計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

【全体】



【性別】

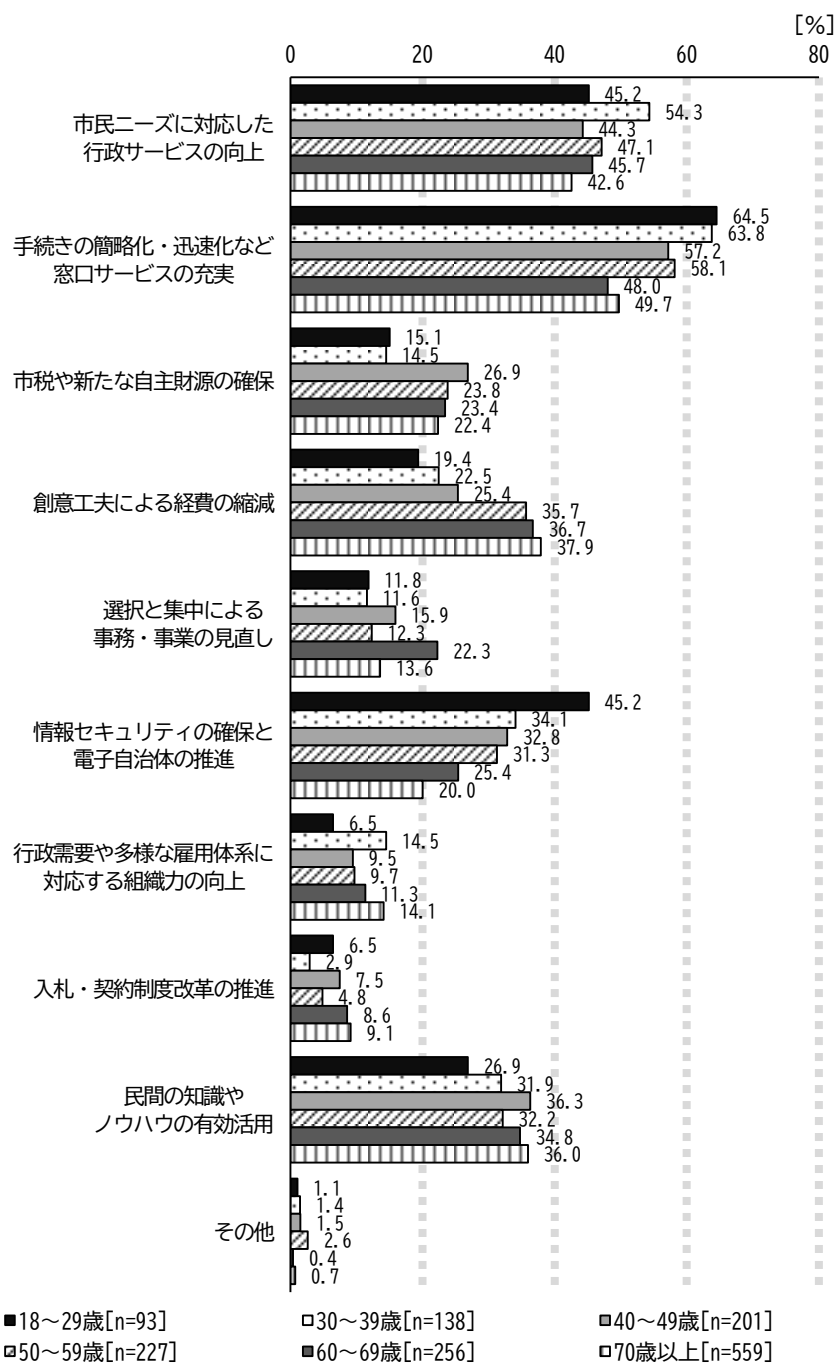


計画的・効率的な行政運営に効果的な取組を年齢別でみると、すべての年代において「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が最も高くなっています。

他の年代と比較すると、20歳代以下で「情報セキュリティの確保と電子自治体の推進」がやや高くなっています。

計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

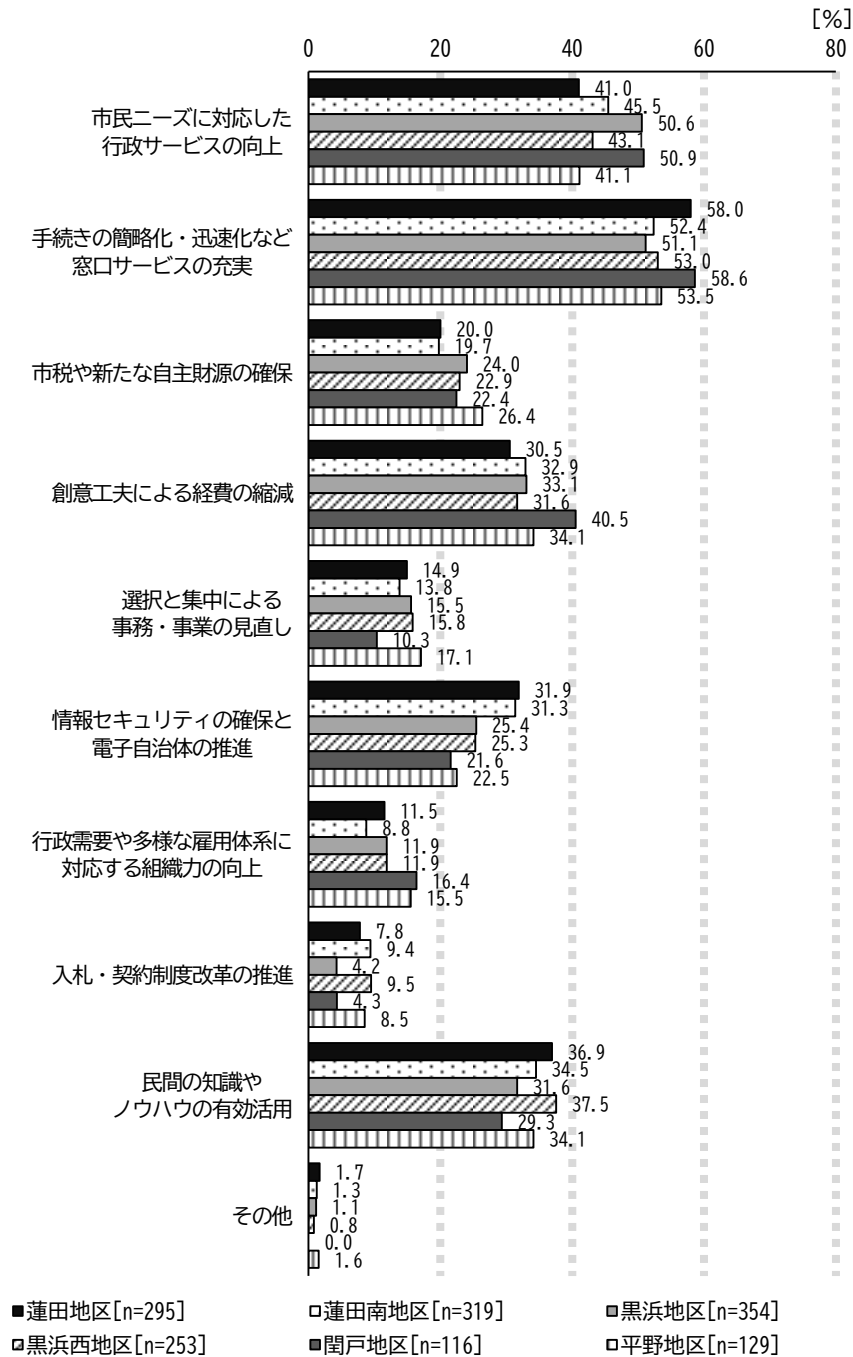
【年齢別】



計画的・効率的な行政運営に効果的な取組を地区別で見ると、全ての地区で「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が最も高くなっています。

計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

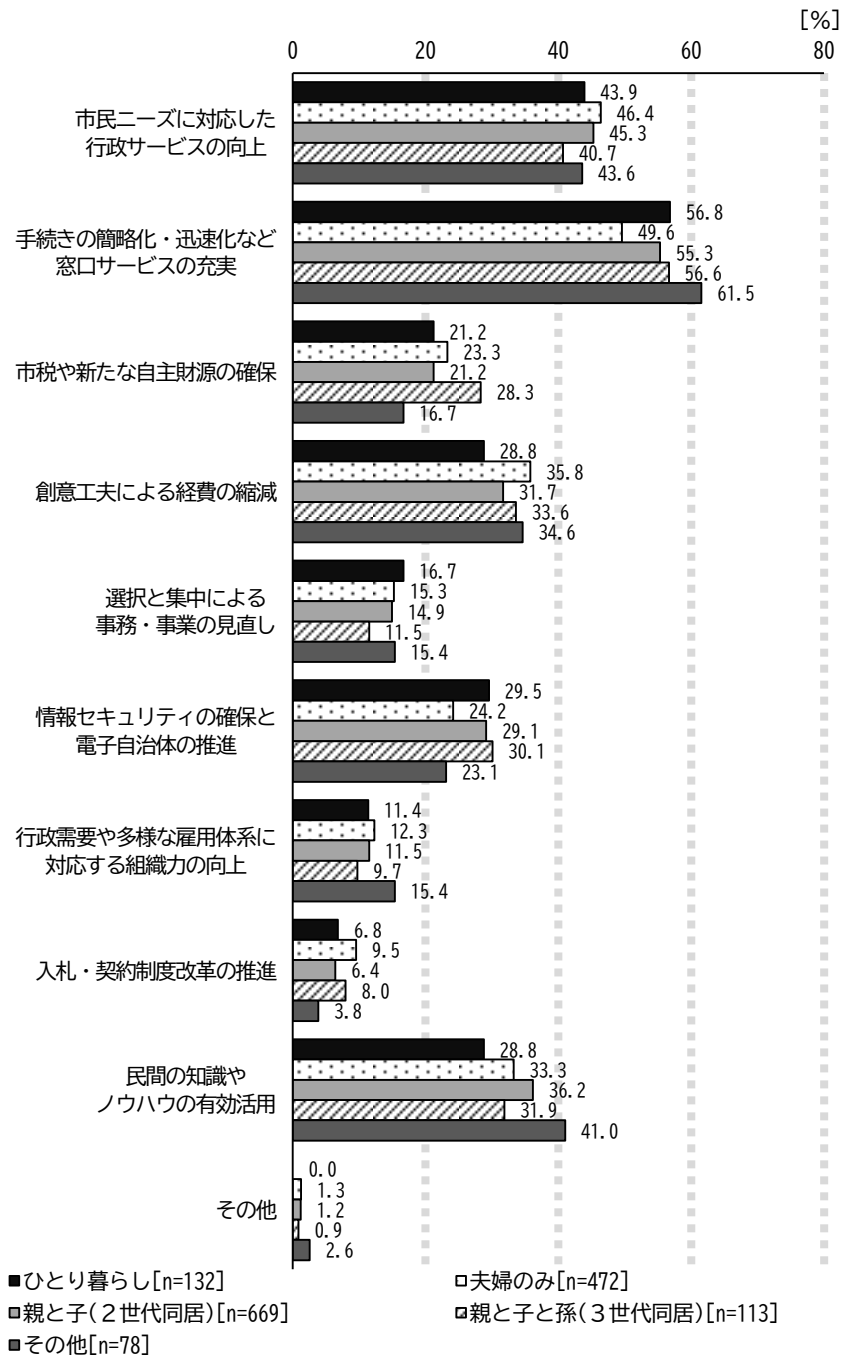
【地区別】



計画的・効率的な行政運営に効果的な取組を家族構成別で見ると、すべての家族構成で「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が最も高くなっています。

計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

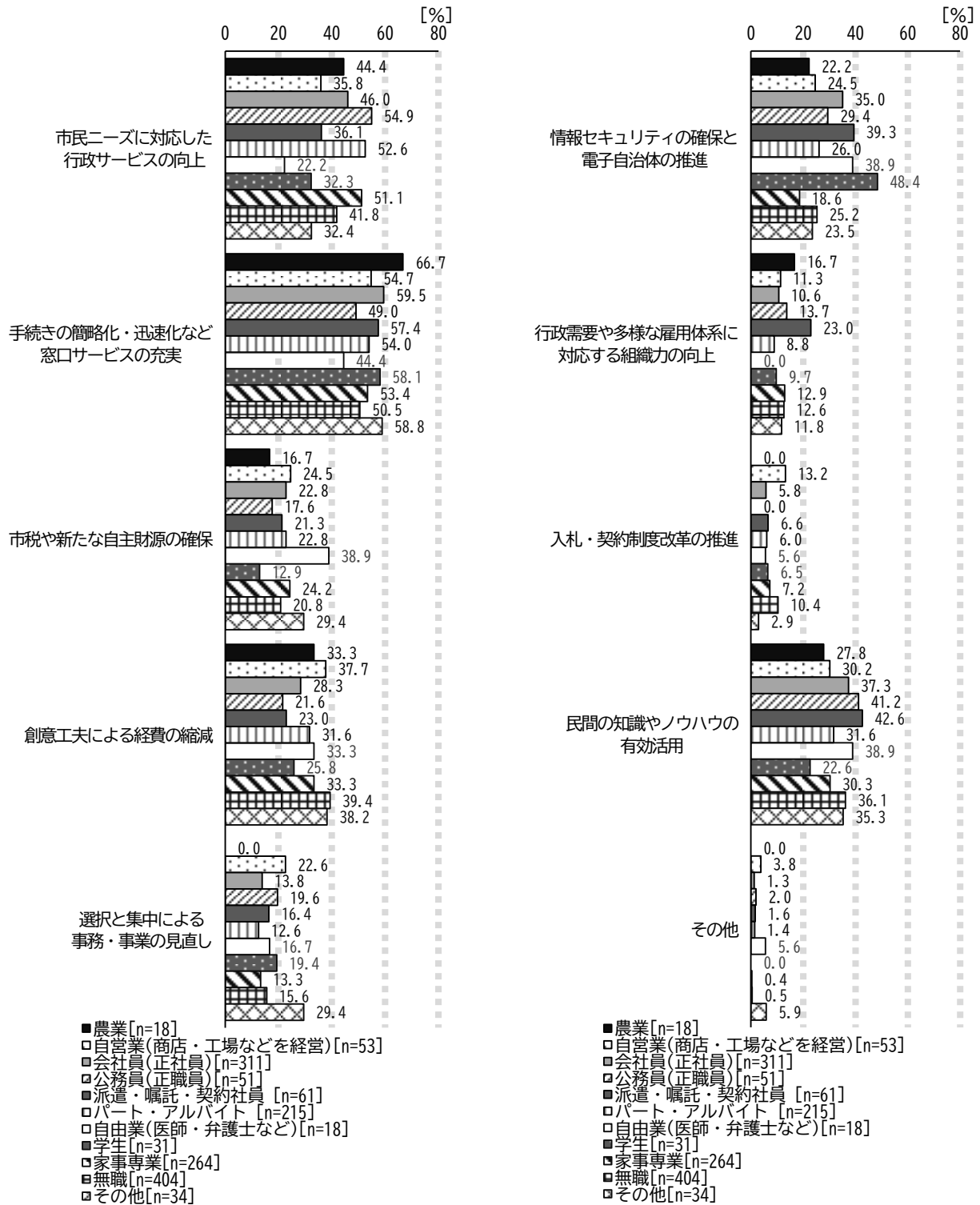
【家族構成別】



計画的・効率的な行政運営に効果的な取組を職業別でみると、農業の「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が66.7%で最も高くなっています。

計画的・効率的な行政運営に効果的な取組

【職業別】



2-7 市政への市民参加や関わり方について

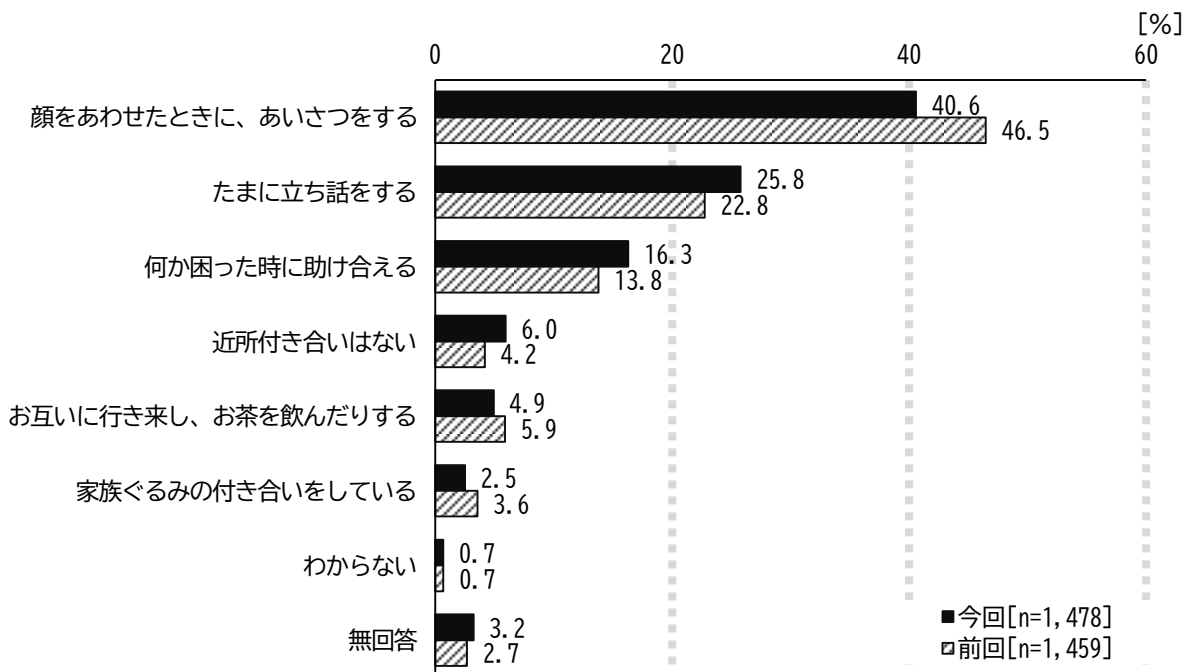
問 31 あなたは日頃となり近所と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに○)

「顔をあわせたときに、あいさつをする」が40.6%で最も高く、次いで「たまに立ち話をする」が25.8%、「何か困った時に助け合える」が16.3%となっています。

また、前回調査から大きな変化はみられませんが、「顔をあわせたときに、あいさつをする」が5.9ポイント減少し、「たまに立ち話をする」が3.0ポイント、「何か困った時に助け合える」が2.5ポイントそれぞれ増加しています。

近所との付き合いの程度

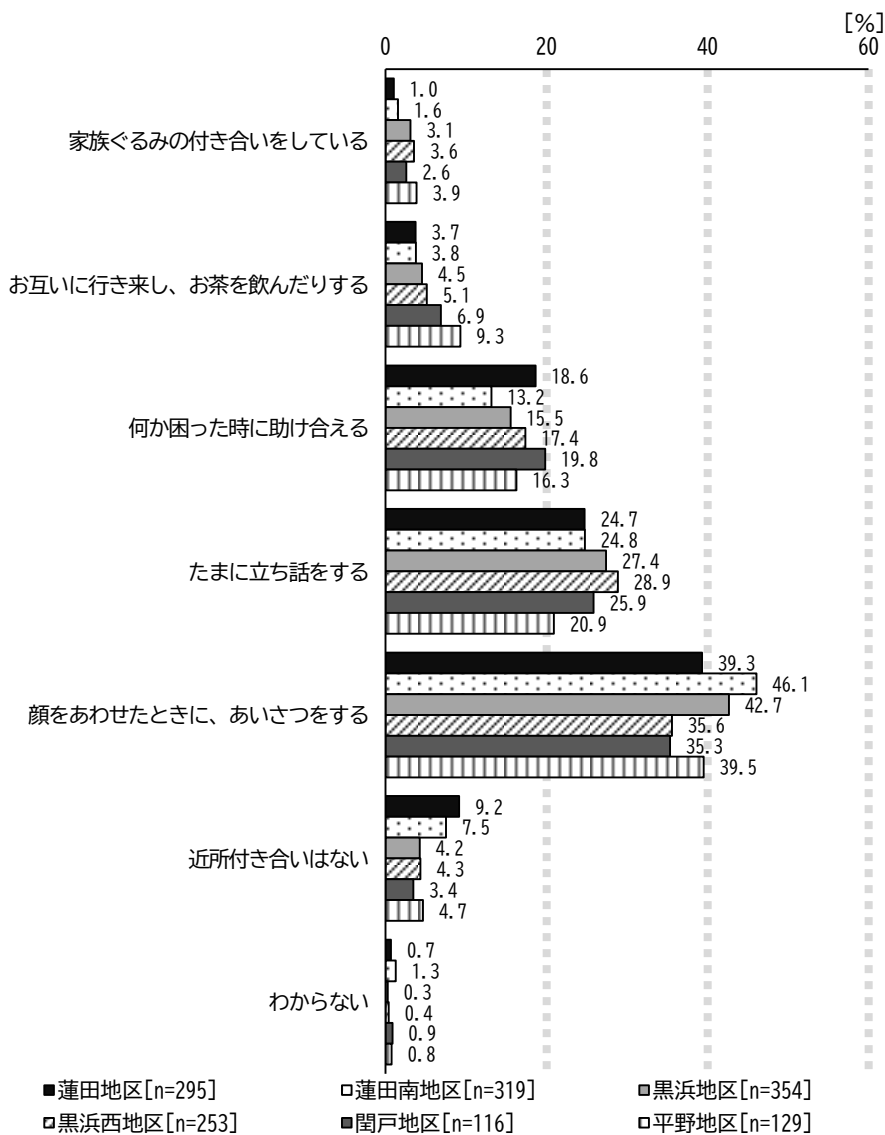
【全体・前回比較】



近所との付き合いの程度について地区別でみると、いずれの地区でも「顔をあわせたときに、あいさつをする」が最も高く、中でも蓮田南地区の46.1%が最も高くなっています。

近所との付き合いの程度

【地区別】



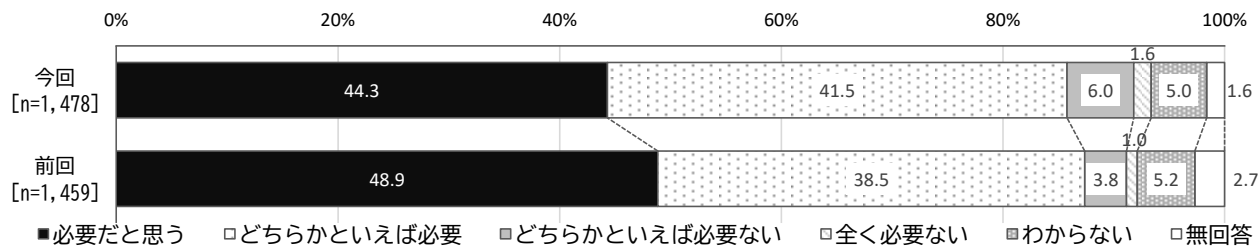
問32 あなたは近所付き合いや地域のまちづくり活動について、どのようにお考えですか。
(1つに○)

「必要だと思う」が44.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば必要」が41.5%で、合計すると8割以上の方が地域活動を“必要”と感じています。

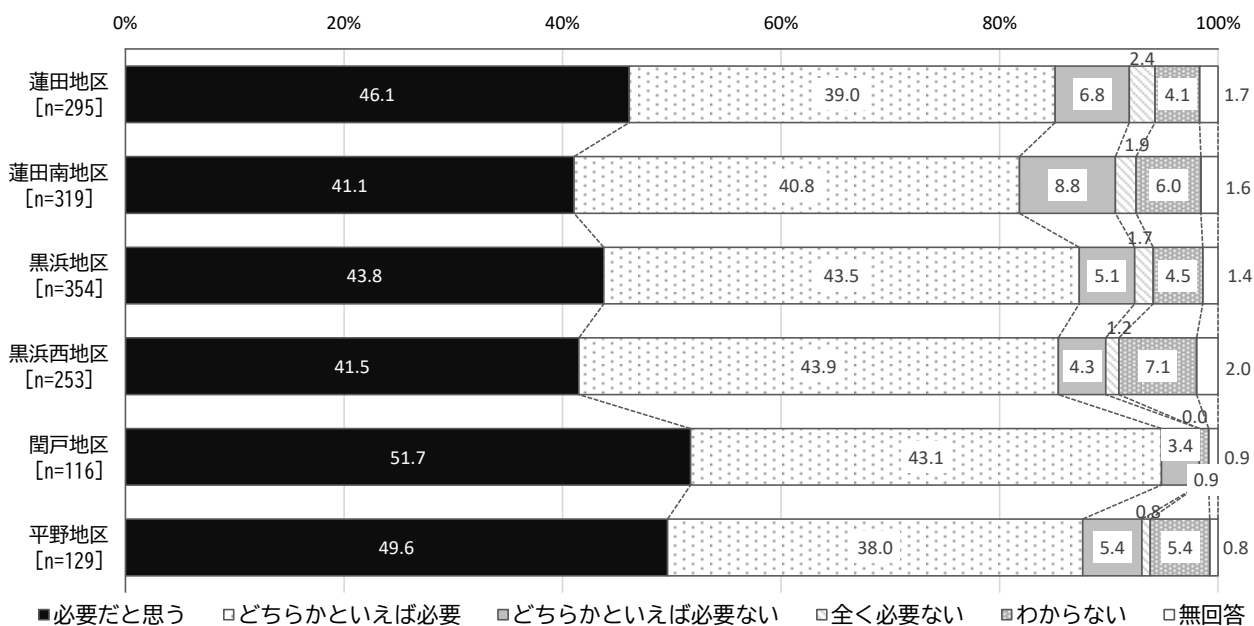
地区別でみると、閩戸地区の「必要だと思う」が51.7%で最も高くなっています。

地域活動の必要性

【全体・前回比較】



【地区別】

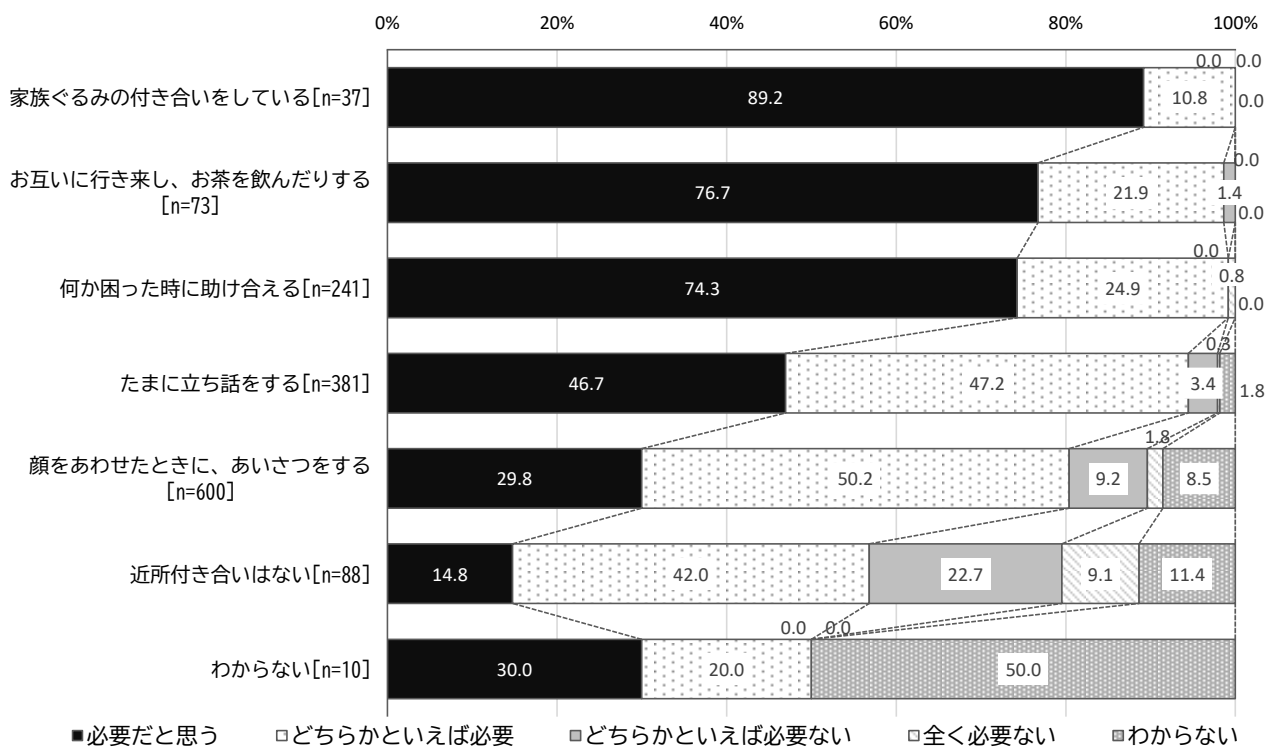


地域活動の必要性について、近所付き合いの程度別でみると「必要だと思う」層では、『家族ぐるみの付き合いをしている』が89.2%で最も高く、次いで『お互いに行き来し、お茶を飲んだりする』が76.7%、『何か困った時に助け合える』が74.3%となっています。

近所付き合いが緊密なほど、「必要だと思う」割合が高くなっています。

地域活動の必要性

【近所付き合いの程度（問31）別地域活動の必要性（問32）】



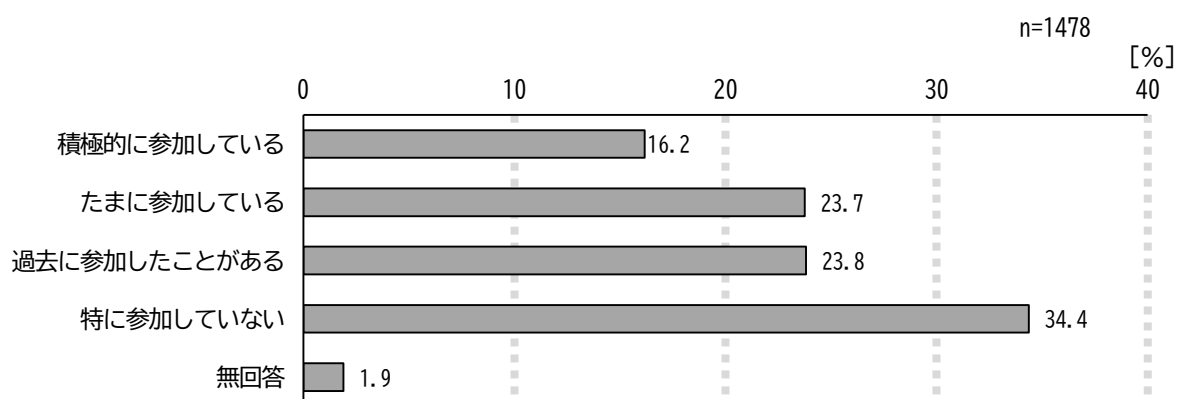
問 33 あなたは、地域活動(自治会、子ども会、老人会、市民ボランティア、NPO (非営利組織) などの活動)に参加していますか。(1つに○)

「特に参加していない」が 34.4%で最も高く、次いで「過去に参加したことがある」が 23.8%、「たまに参加している」が 23.7%となっています。

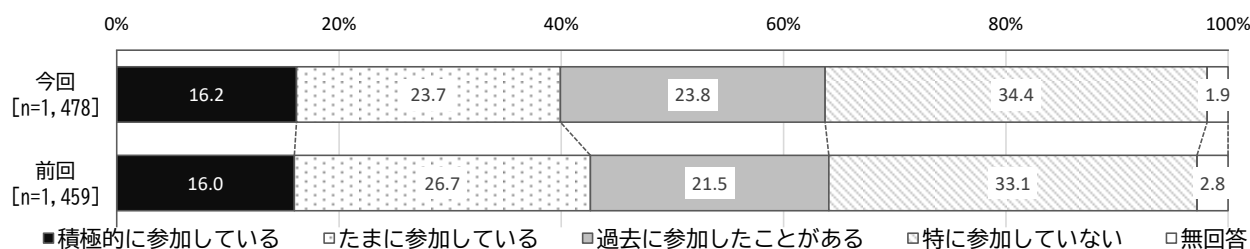
前回調査との比較では、「過去に参加したことがある」が 2.3 ポイント増加しており、「たまに参加している」が 3.0 ポイント減少しています。

地域活動の参加の有無

【全体】



【前回比較】

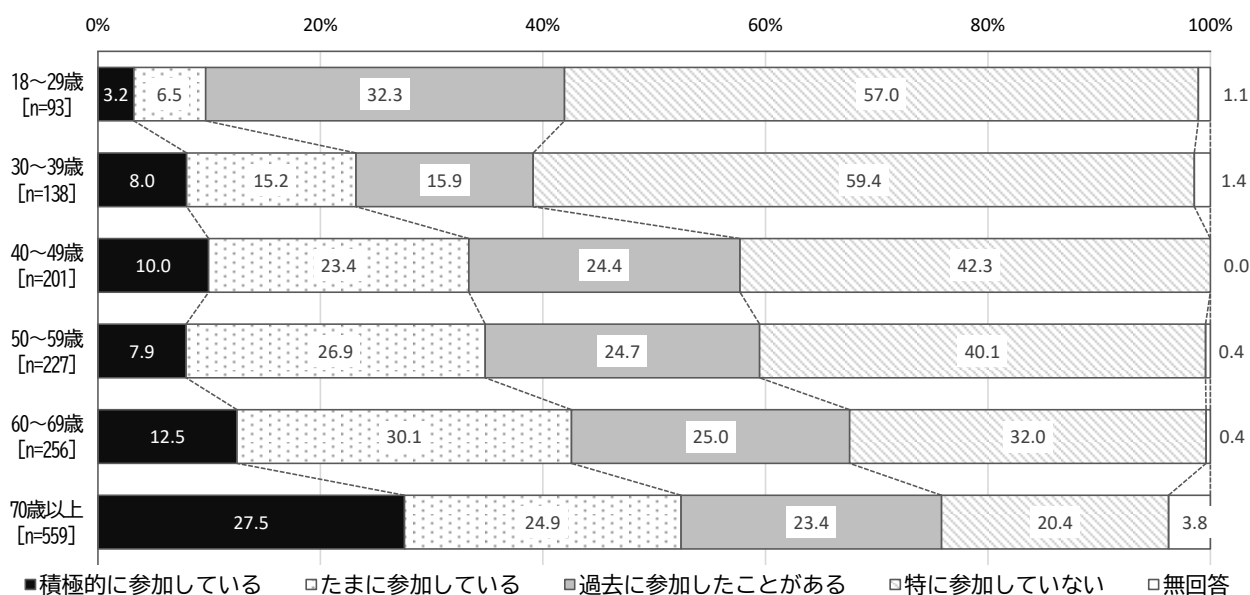


地域活動の参加の有無を年齢別にみると、おおよそ年代が上がるにつれて、地域活動への参加は増加する傾向が見られます。「積極的に参加している」と回答した層では、70歳以上の27.5%が最も高く、次いで60歳代が12.5%、40歳代が10.0%となっています。

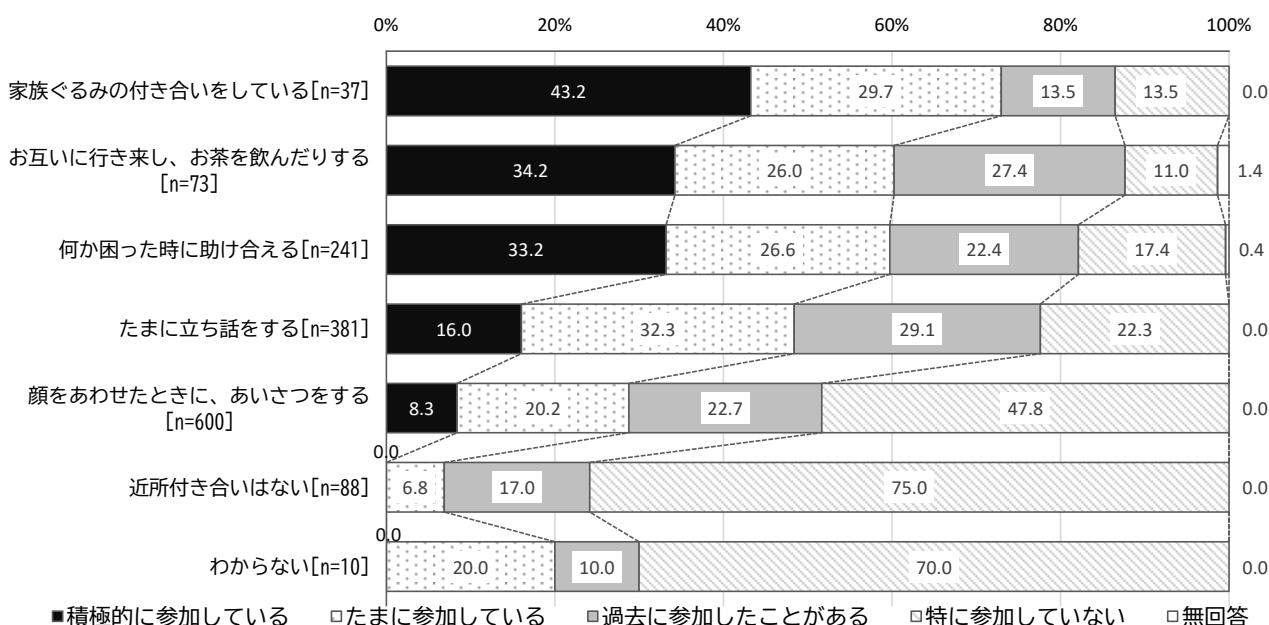
近所付き合いの程度別でみると、「積極的に参加している」層では、『家族ぐるみの付き合いをしている』が43.2%で最も高く、次いで『お互いに行き来し、お茶を飲んだりする』が34.2%、『何か困った時に助け合える』が33.2%となっています。一方で「特に参加していない」層のうち『近所付き合いはない』と回答した人は、75.0%となっています。

地域活動の参加の有無

【年齢別】



【近所付き合いの程度（問31）別地域活動の参加の有無（問33）】



問 34 あなたは市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。

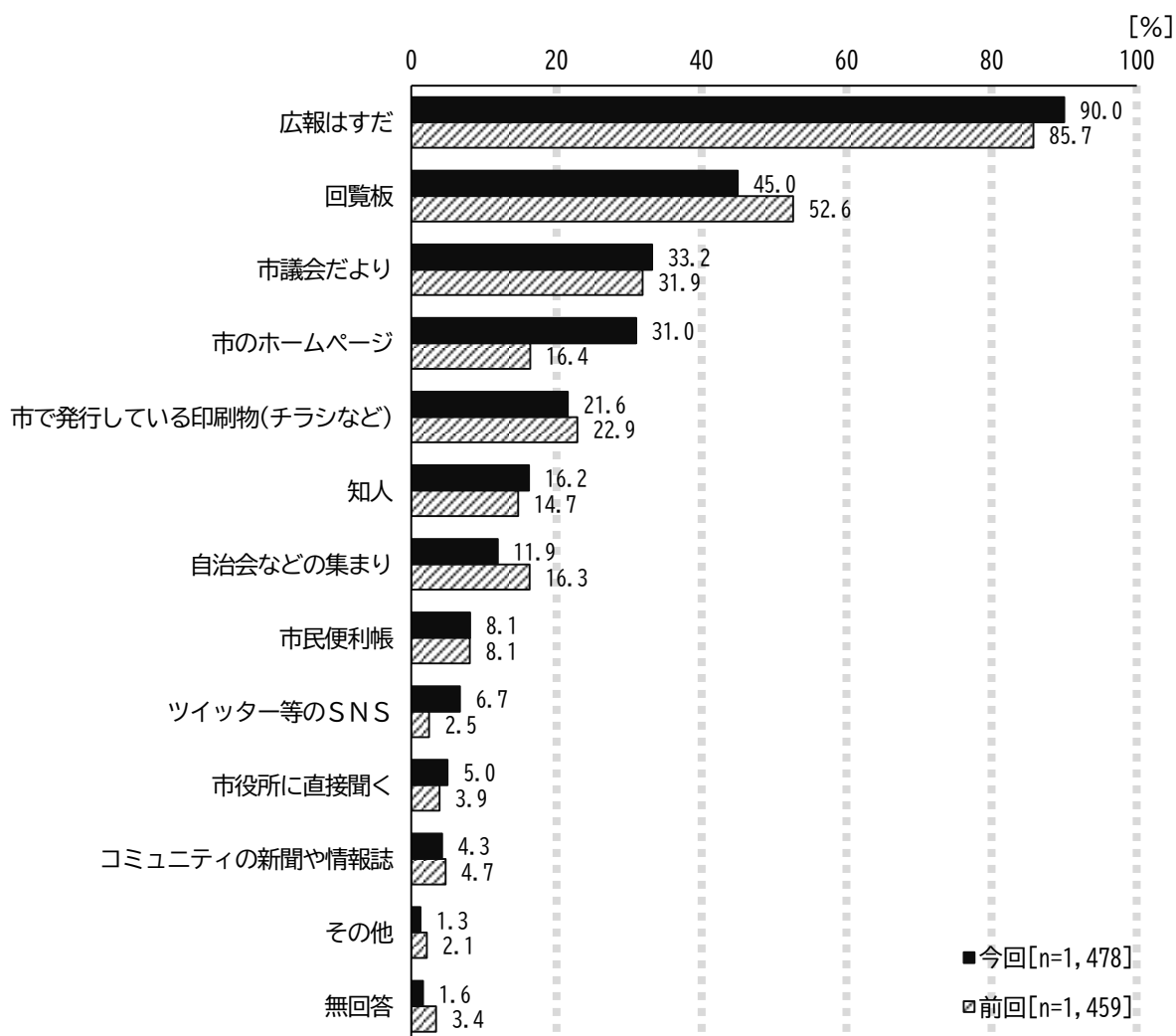
(あてはまるものすべてに○)

「広報はすだ」が90.0%で多数を占め、次いで「回覧板」が45.0%、「市議会だより」が33.2%となっています。

前回調査と比較し、増減が大きい項目をみると、「市のホームページ」が14.6ポイント増加している一方、「回覧板」が7.6ポイント減少しています。

市政情報の入手の手段

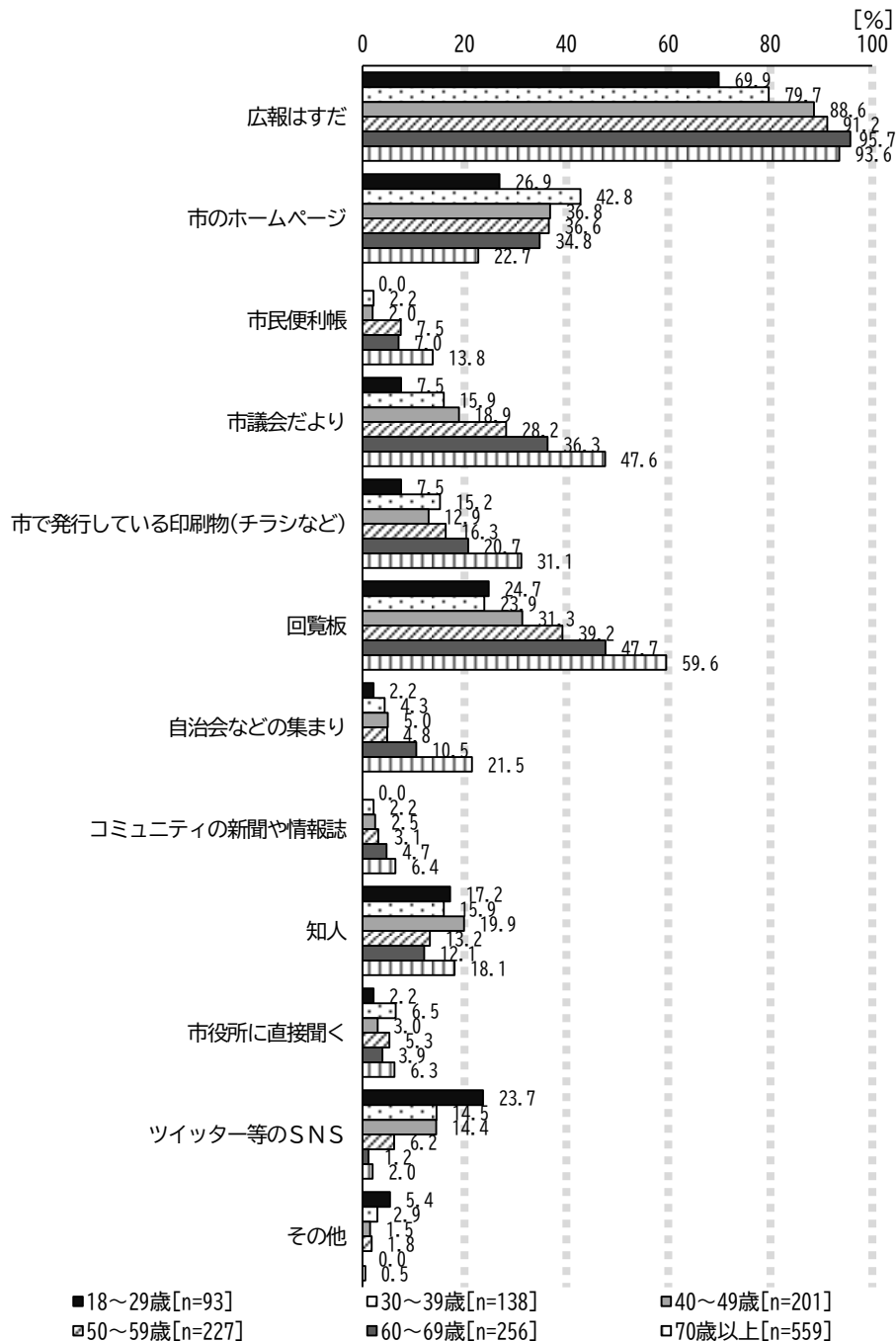
【全体・前回比較】



市政情報の入手の手段について年齢別でみると、おおむね年代が高いほど、「広報はすだ」、「回覧板」、「市議会だより」などの割合が高くなる傾向にあります。一方、おおむねは年代が低いほど、「市のホームページ」、「ツイッター等のSNS」の割合が高くなる傾向にあります。

市政情報の入手の手段

【年齢別】



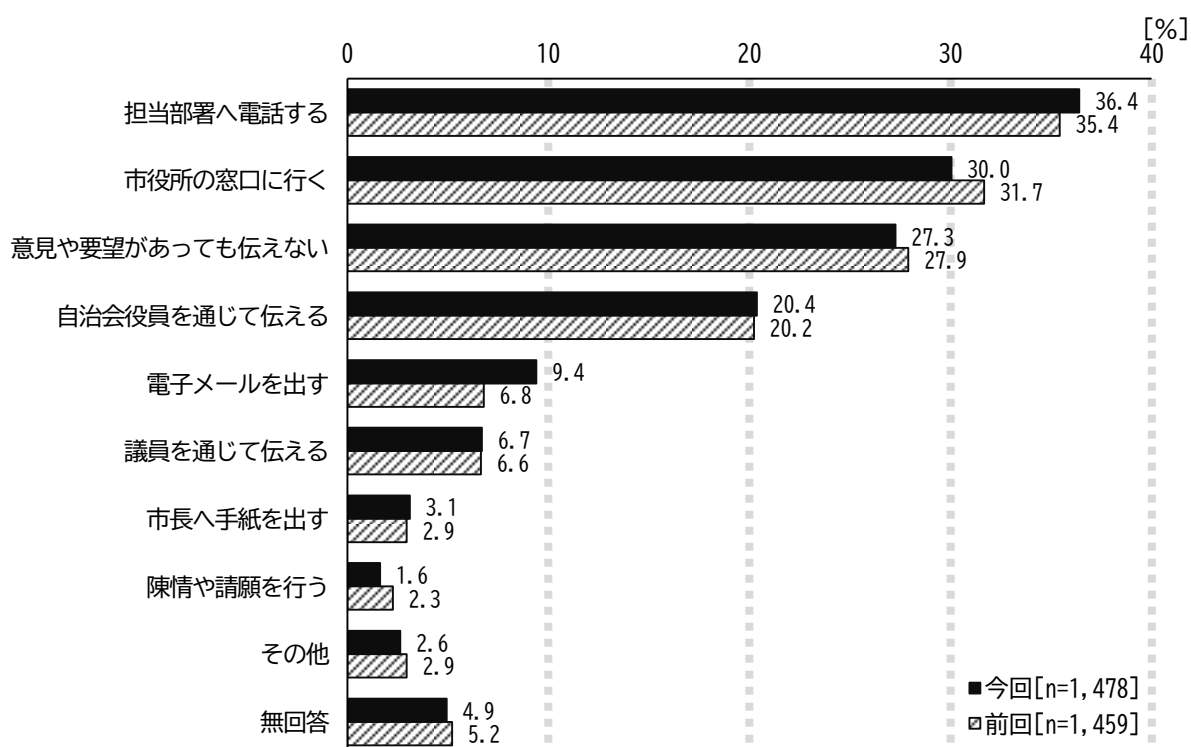
問 35 あなたは、市へ意見や要望を伝える場合、どのような方法で伝えますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「担当部署へ電話する」が 36.4%で最も高く、次いで「市役所の窓口に行く」が 30.0%、「意見や要望があっても伝えない」が 27.3%となっています。

また、前回調査から大きな変化はみられませんが、「電子メールを出す」が 2.6 ポイント増加し、「市役所の窓口に行く」が 1.7 ポイント減少しています。

意見・要望の伝達方法

【全体・前回比較】

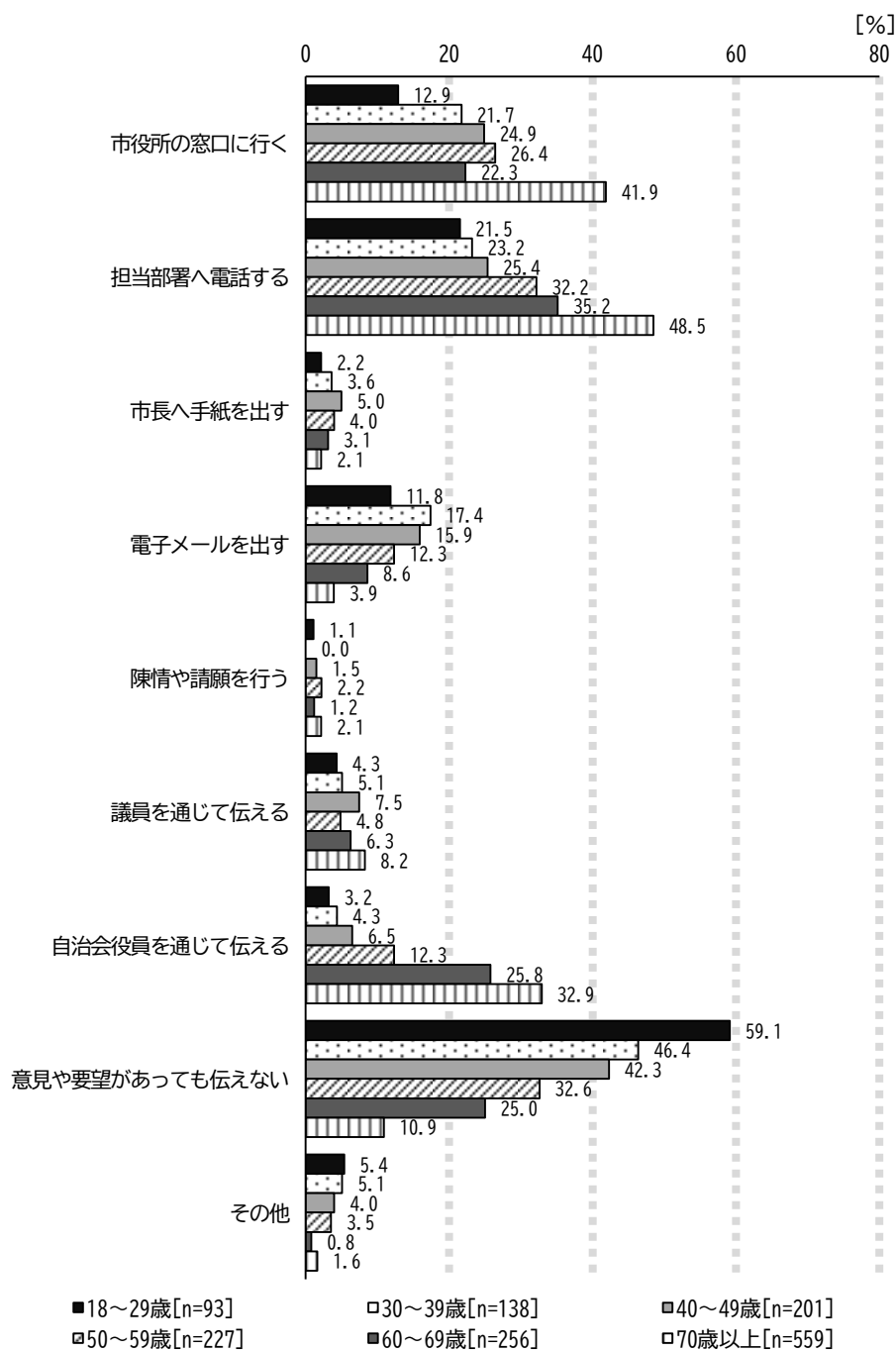


意見・要望の伝達方法を年齢別でみると、20歳代以下の「意見や要望があっても伝えない」が59.1%で最も高くなっています。

一方で、「市役所の窓口に行く」、「担当部署へ電話する」、「自治会役員を通じて伝える」と回答した割合は、70歳代以上で高くなっています。

意見・要望の伝達方法

【年齢別】



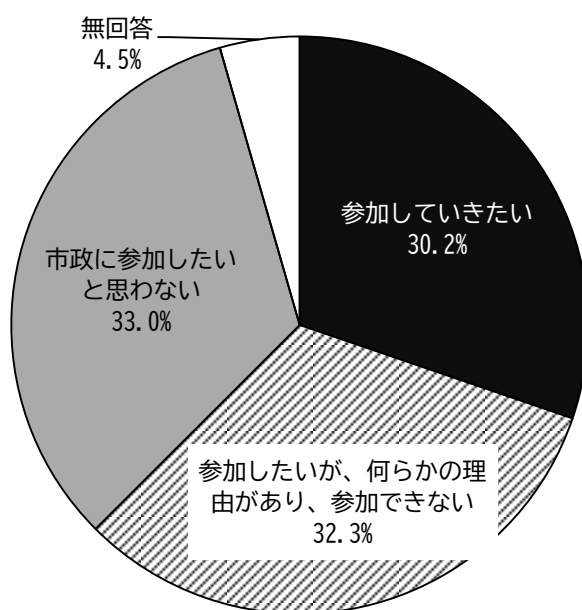
問 36 あなたは、今後、市政に参加（市の計画づくりや市の事業などへの参加）していき
たいと思いますか。（1つに○）

「市政に参加したいと思わない」が 33.0%で最も高く、次いで「参加したいが、何らかの理由が
あり、参加できない」が 32.3%、「参加していきたい」が 30.2%となっています。

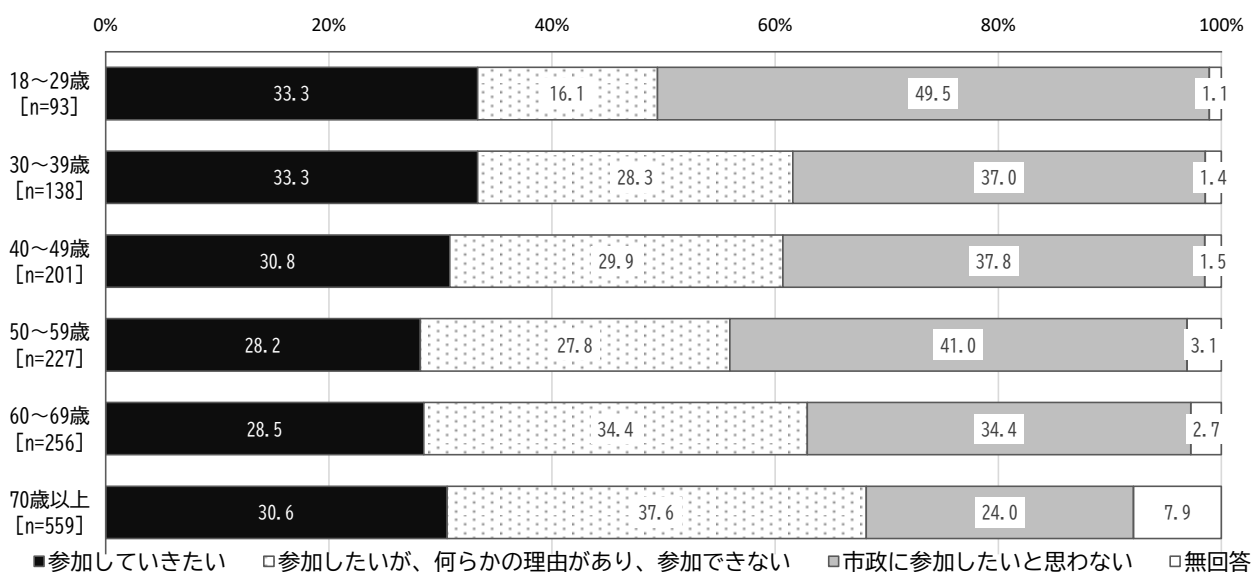
年齢別でみると、「市政に参加したいと思わない」では 20 歳代以下が 49.5%と最も高くなっており、70 歳代以上が 24.0%と最も少なくなっています。

市政への参加意向

【全体】



【年齢別】



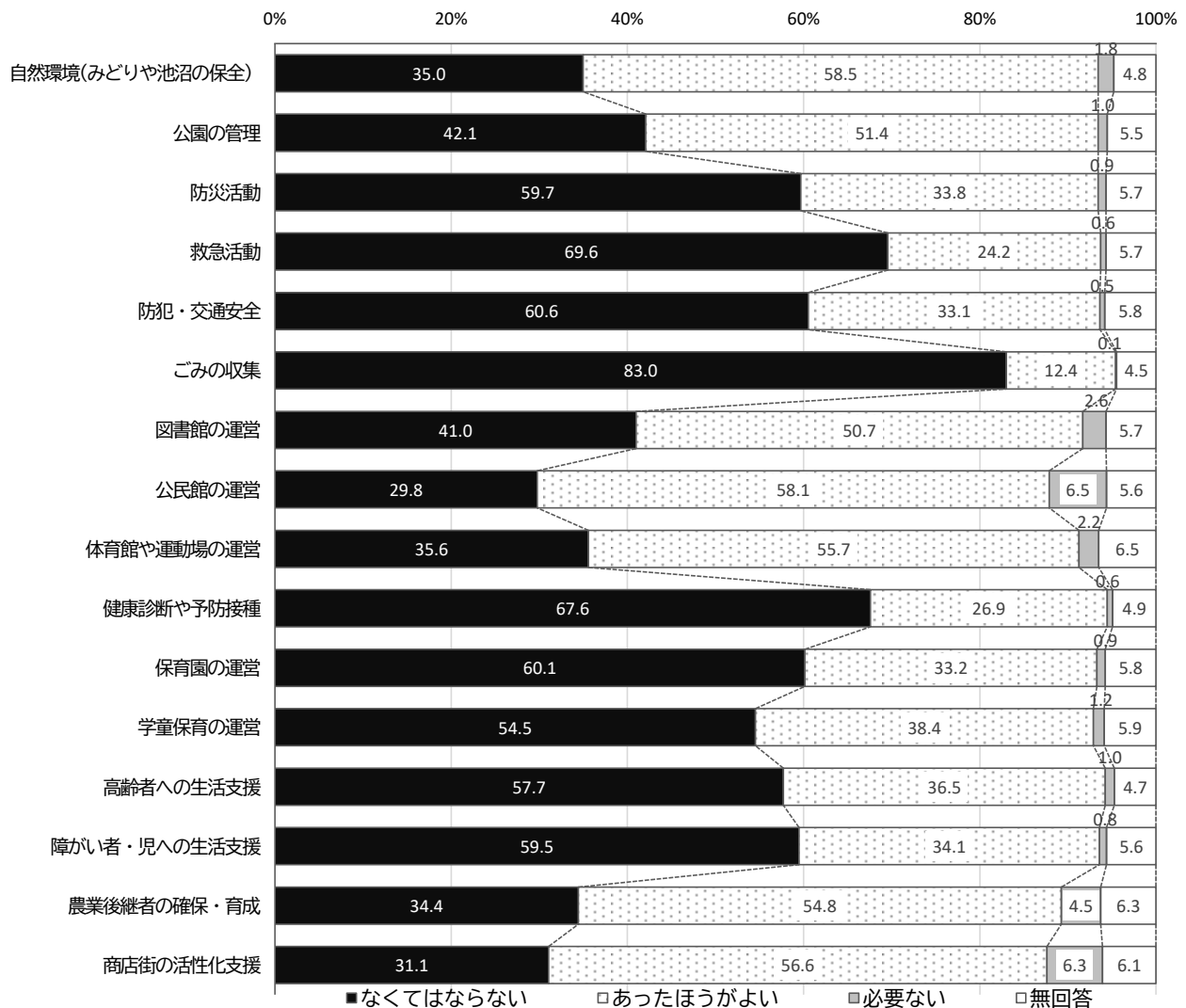
問37 市民生活に関わるサービスと費用負担のあり方についての考えをお聞かせください。

「なくてはならない」では『ごみの収集』が83.0%で最も高く、次いで『救急活動』が69.6%、『健康診断や予防接種』が67.6%となっています。

一方で「必要ない」では『公民館の運営』が6.5%で最も高く、次いで『商店街の活性化支援』が6.3%、『農業後継者の確保・育成』が4.5%となっています。

A サービスの必要性

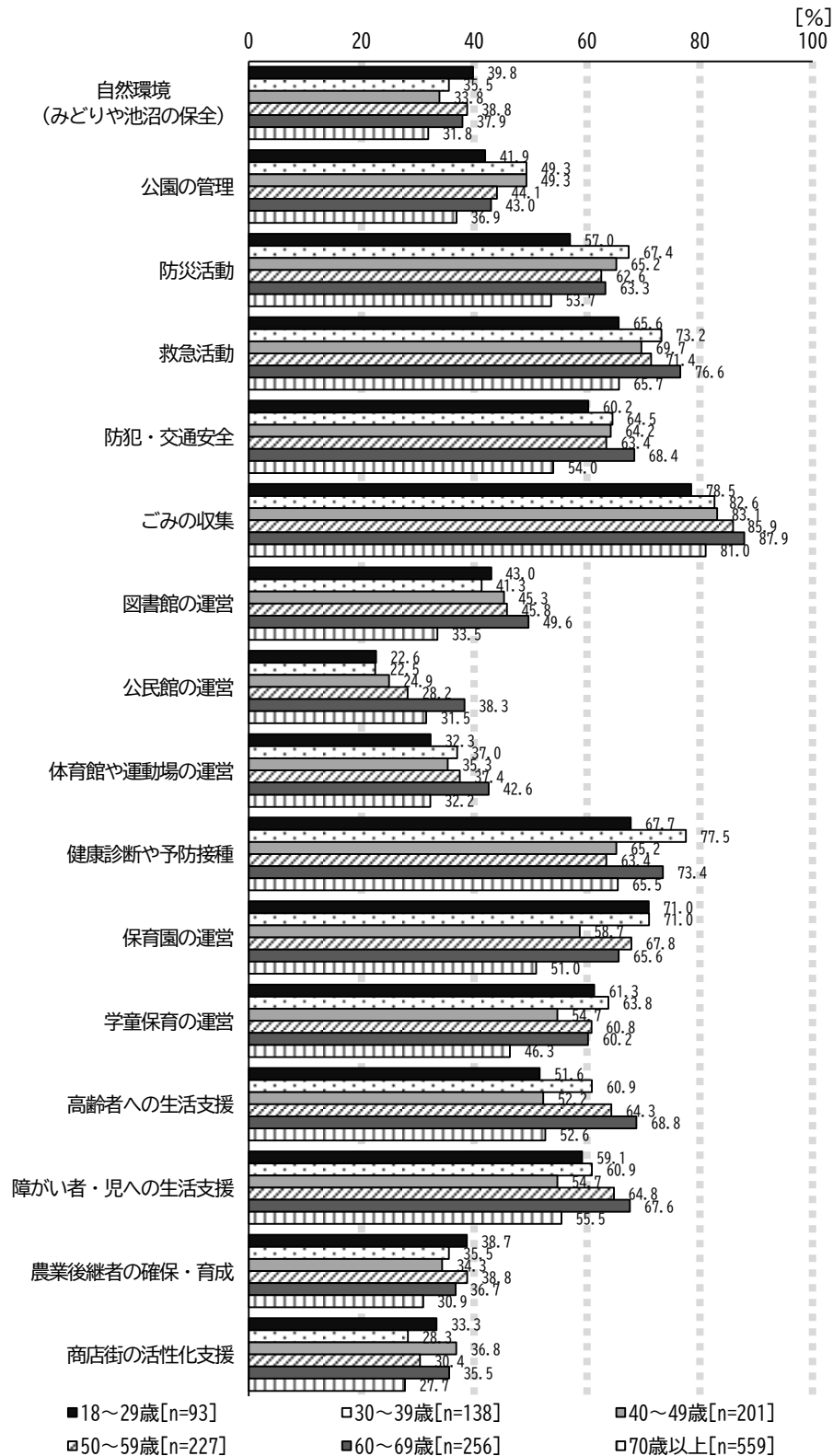
【全体】



なくてはならないサービスを年齢別で見ると、60歳代の「ごみの収集」が87.9%で最も高くなっています。

A サービスの必要性

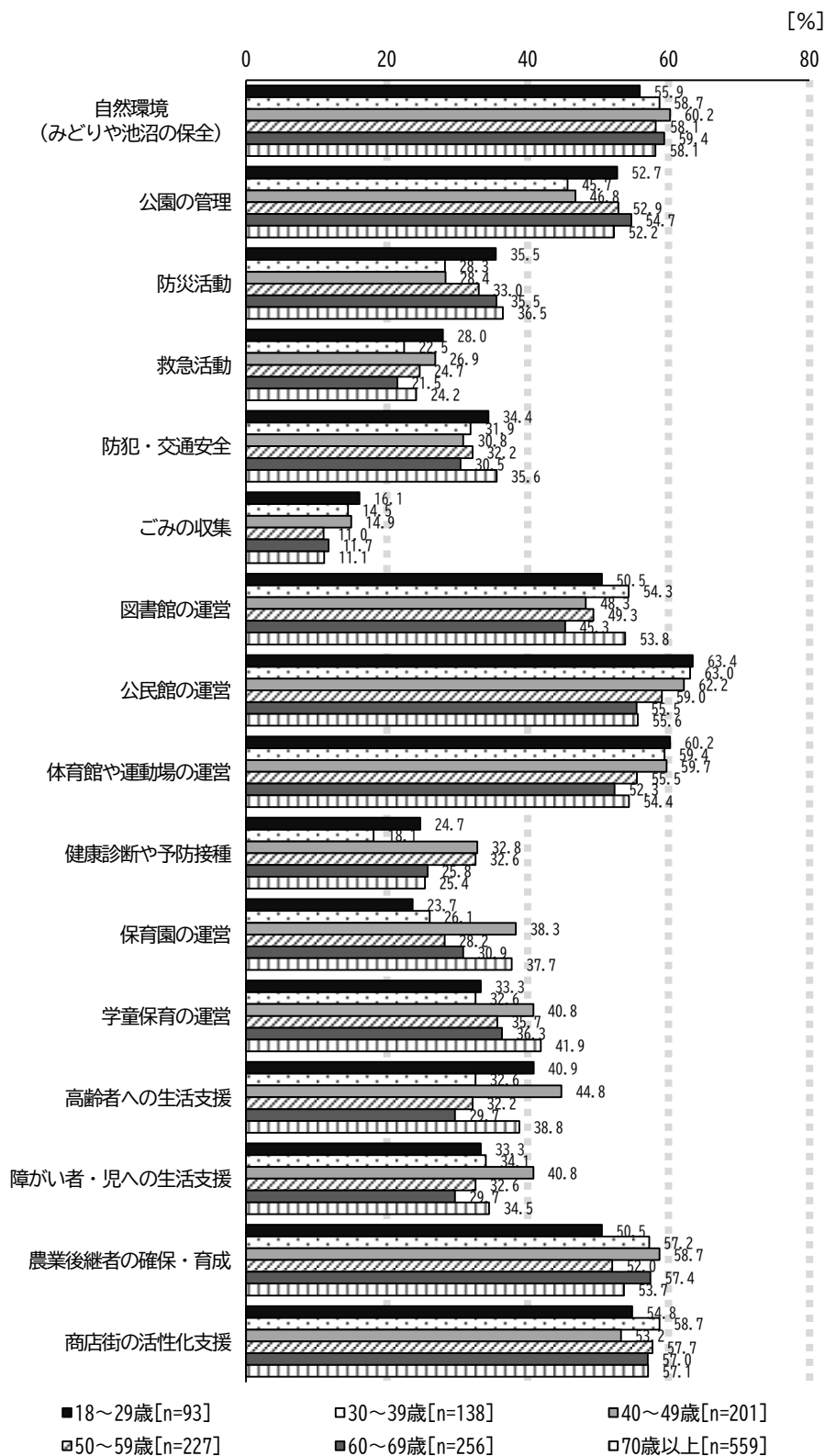
【年齢別】 ① なくてはならない



あったほうがよいサービスを年齢別でみると、20歳代以下の「公民館の運営」が63.4%で最も高くなっています。

A サービスの必要性

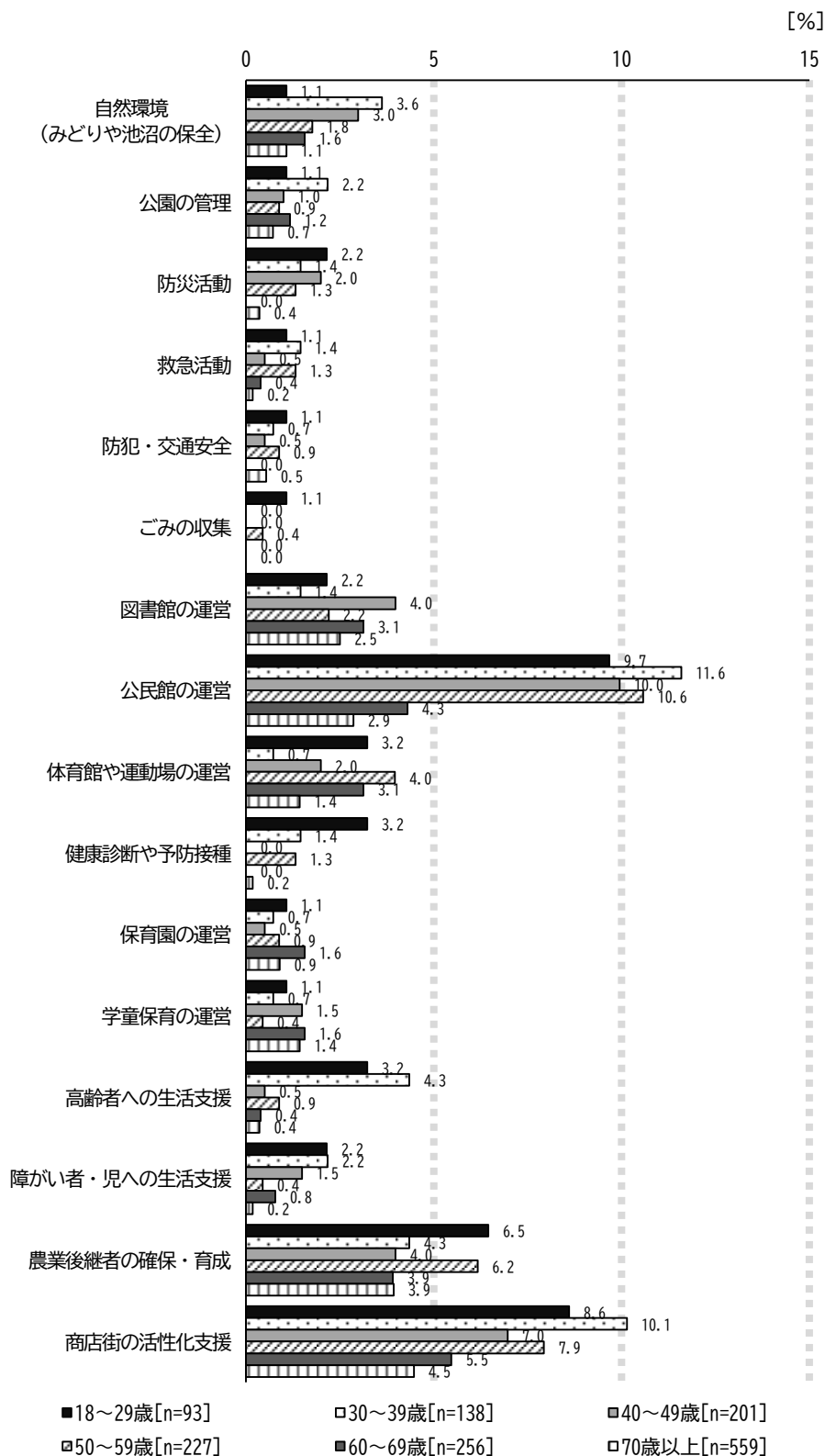
【年齢別】 ② あったほうがよい



必要ないサービスを年齢別でみると、30歳代の「公民館の運営」が11.6%で最も高くなっています。

A サービスの必要性

【年齢別】 ③ 必要ない



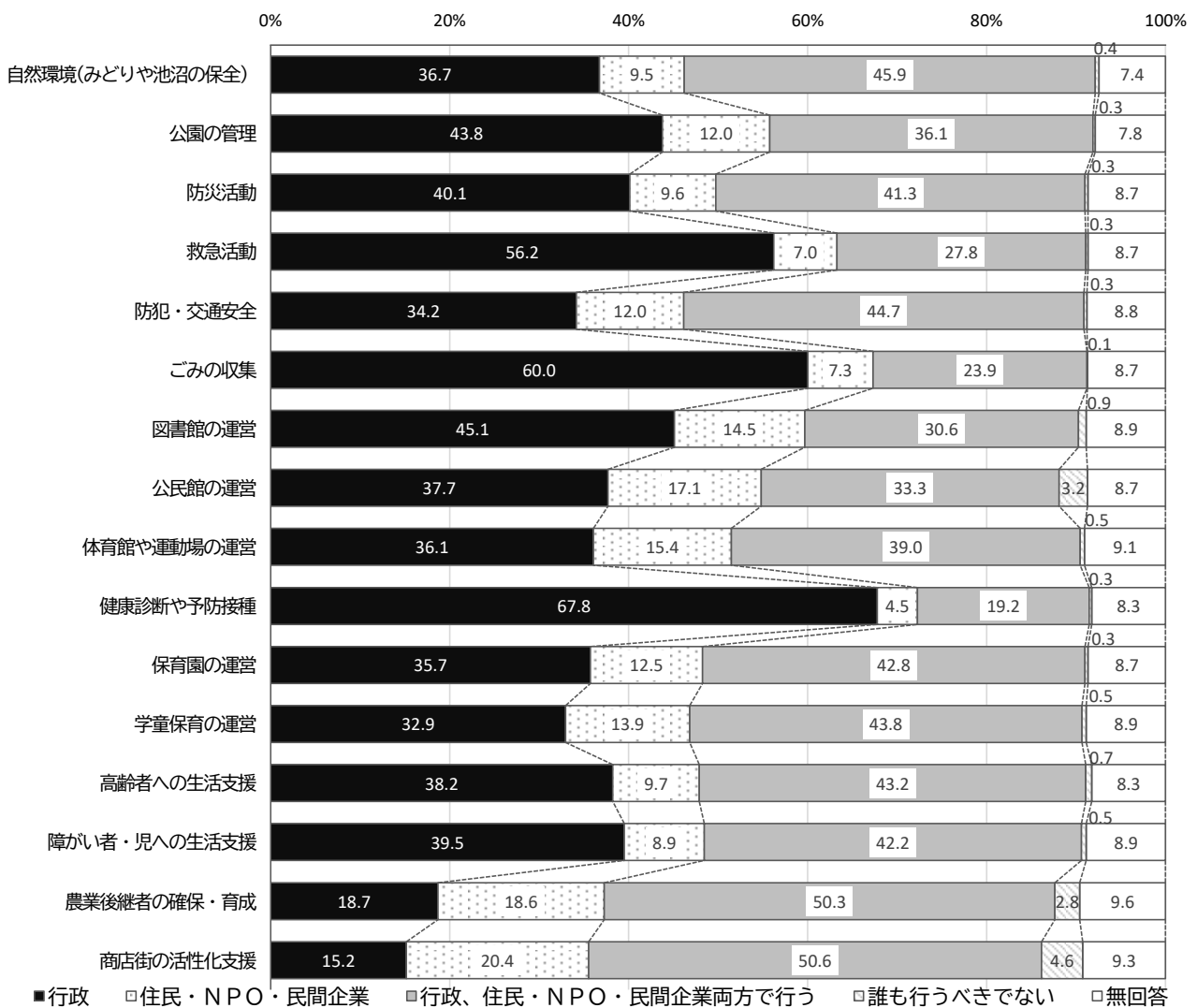
「行政」がサービスの実施主体となるものとしては、『健康診断や予防接種』が67.8%で最も高く、次いで『ごみの収集』が60.0%、『救急活動』が56.2%となっています。

「住民・NPO・民間企業」と「行政、住民・NPO・民間企業両方で行う」ものとしては、『公民館の運営』と『農業後継者の確保・育成』がそれぞれ最も高くなっています。

「誰も行うべきではない」ものとしては、『商店街の活性化支援』が4.6%で最も高く、次いで『公民館の運営』が3.2%、『農業後継者の確保・育成』が2.8%となっています。

B サービスの実施主体

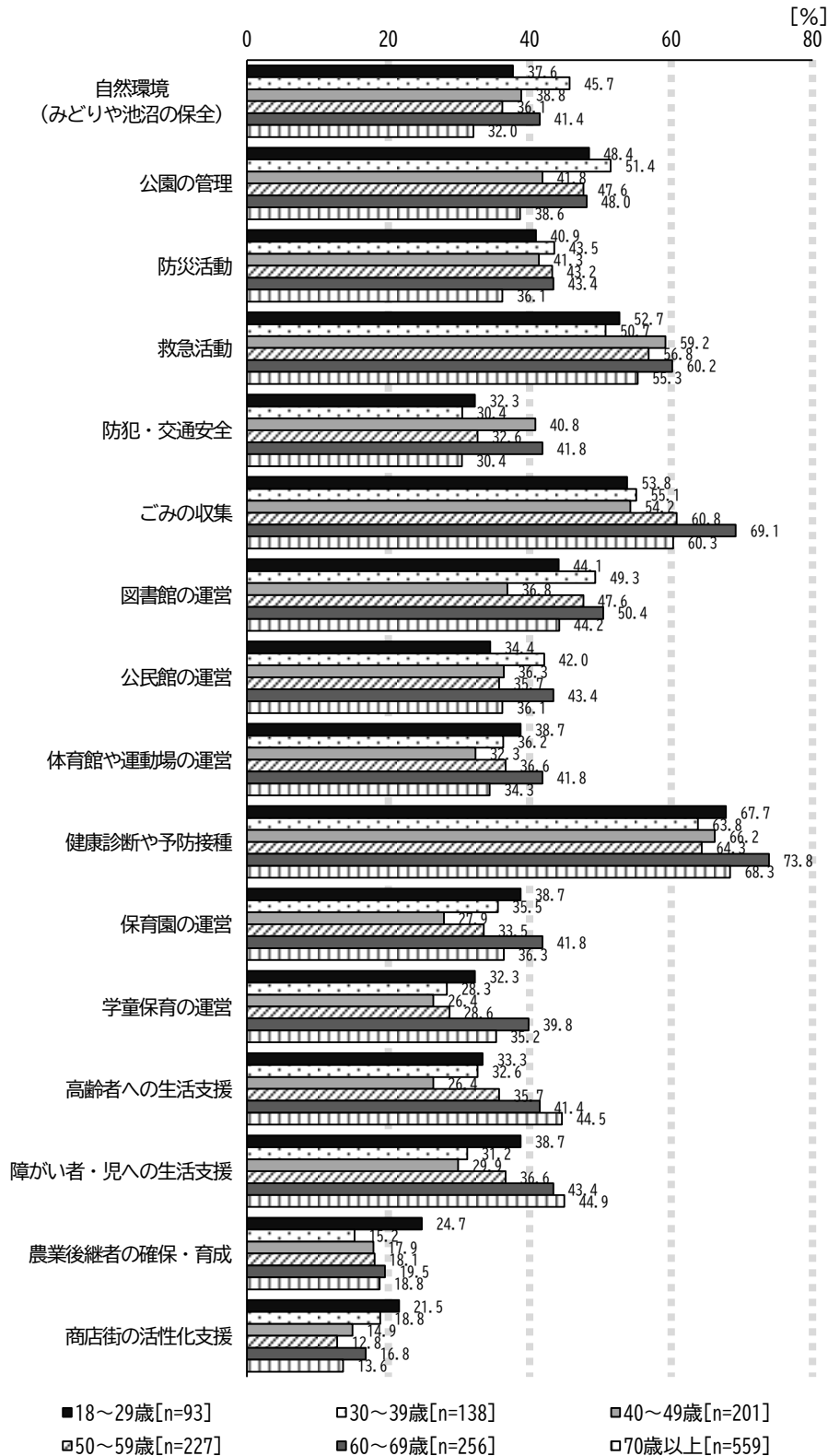
【全体】



行政が実施主体となるべきサービスを年齢別で見ると、60歳代の「健康診断や予防接種」が73.8%で最も高くなっています。

B サービスの実施主体

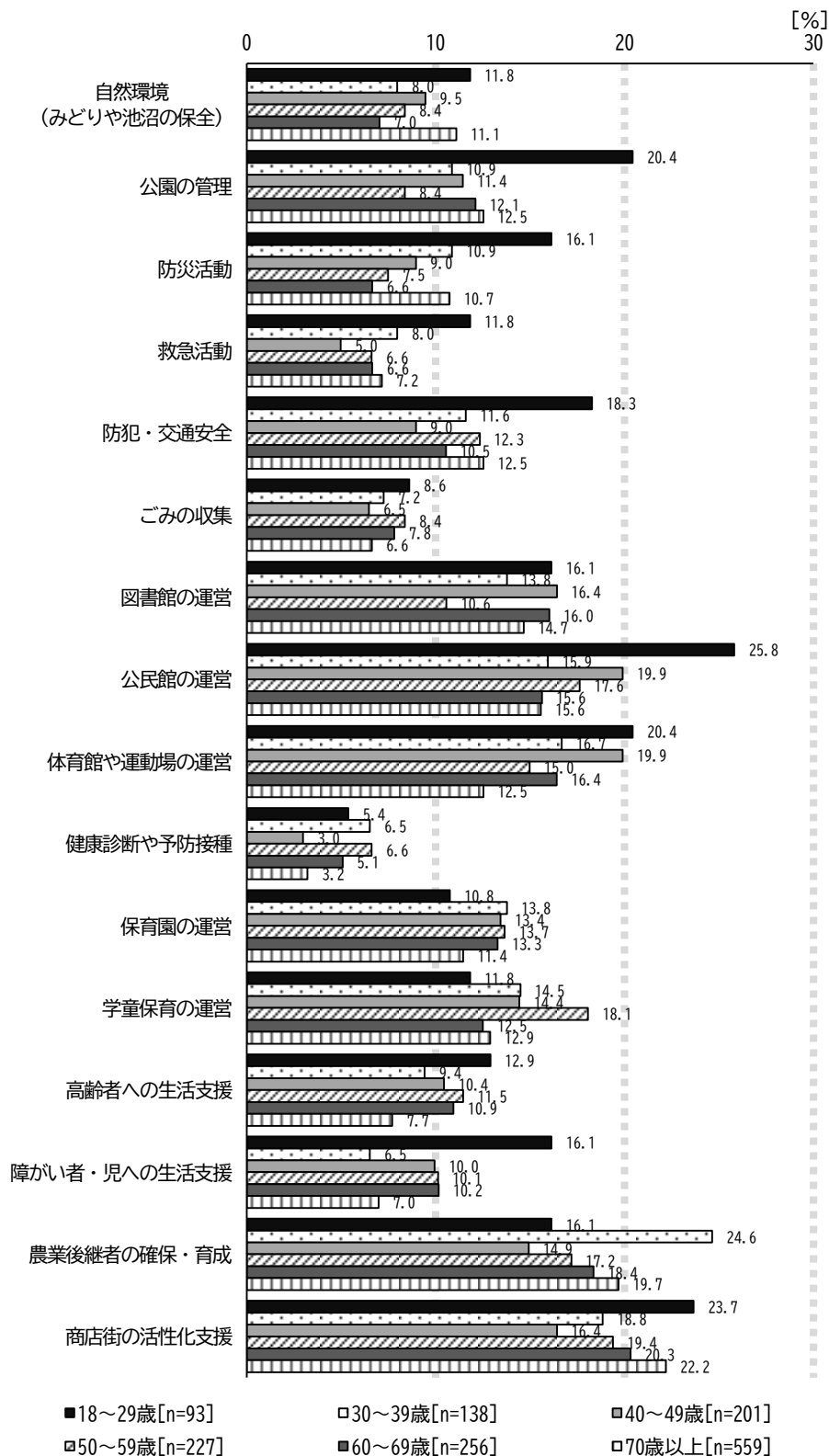
【年齢別】 ① 行政



住民・NPO・民間企業が実施主体となるべきサービスを年齢別でみると、20歳代以下の「公民館の運営」が25.8%で最も高くなっています。また、他の年代と比べて、全体的に20歳以下の割合が高くなっています。

B サービスの実施主体

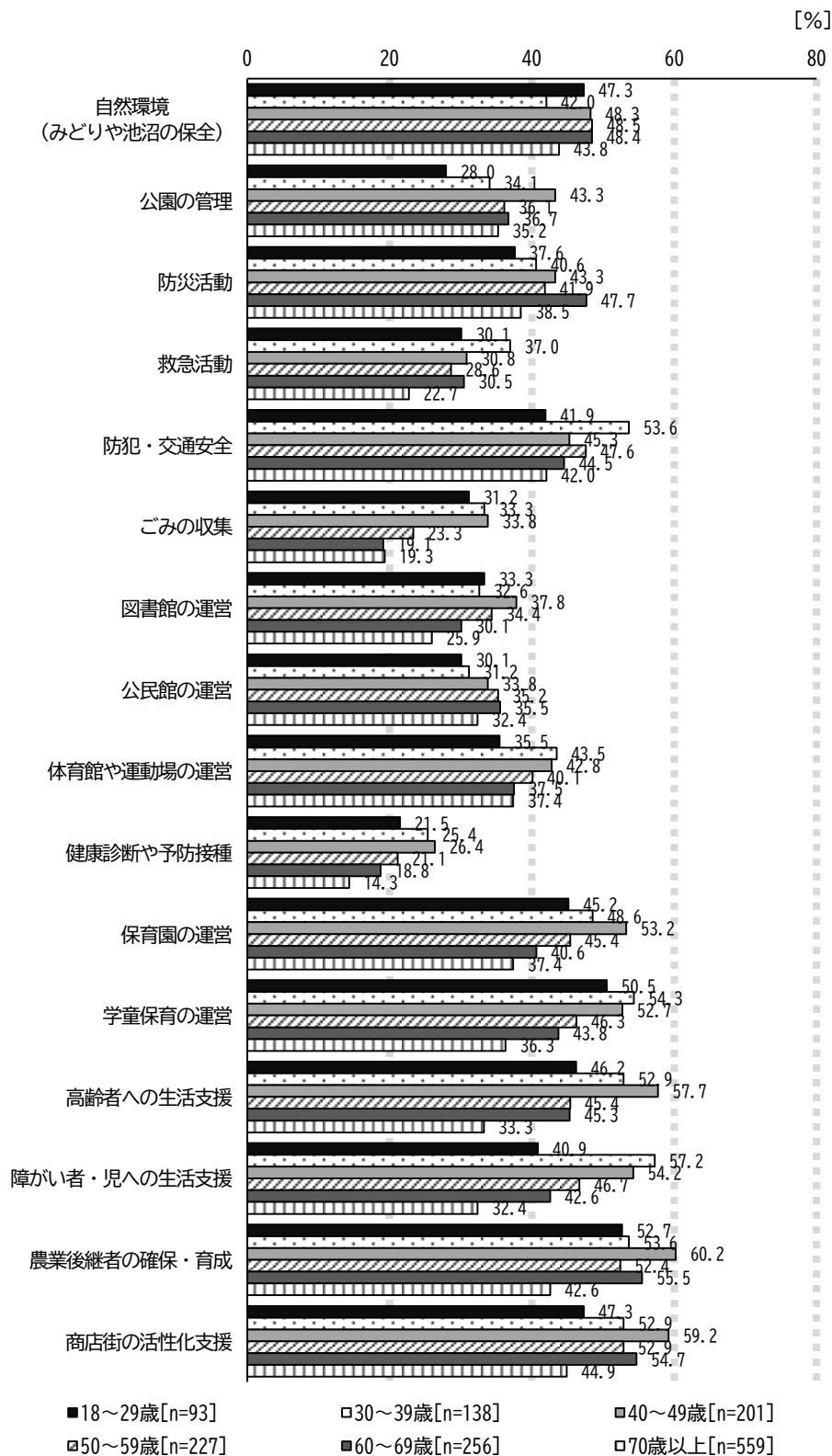
【年齢別】 ② 住民・NPO・民間企業



行政、住民・NPO・民間企業両方で行うべきサービスを年齢別でみると、30歳代の「農業後継者の確保・育成」が60.2%で最も高くなっています。

B サービスの実施主体

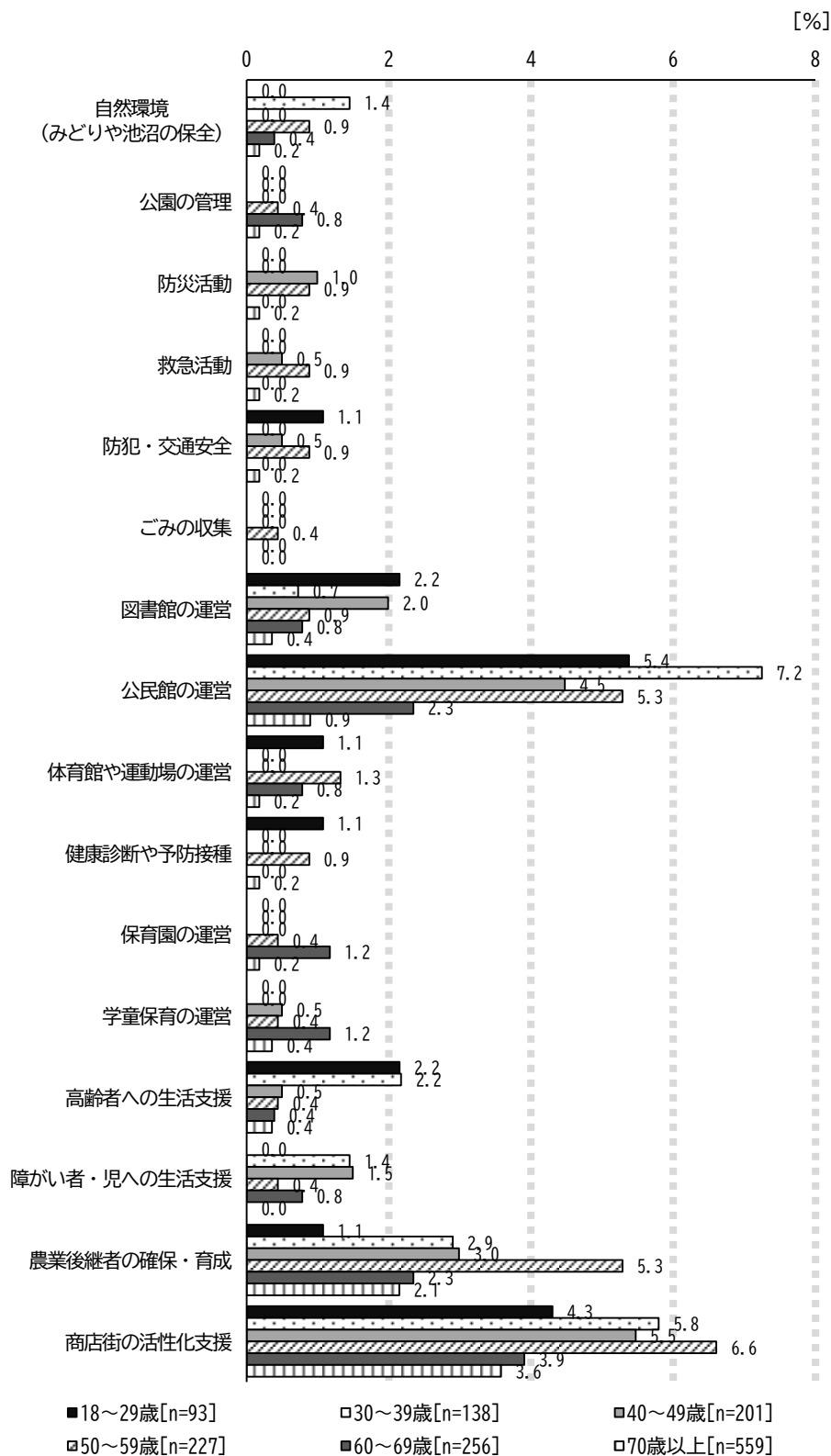
【年齢別】 ③ 住民・NPO・民間企業両方で行う



誰も行うべきでないとするサービスを年齢別で見ると、30歳代の「公民館の運営」が7.2%で最も高くなっています。

B サービスの実施主体

【年齢別】 ④誰も行うべきでない



「行政(税金)」で負担するものとしては、『救急活動』が62.5%で最も高く、次いで『防災活動』が60.1%、『公園の管理』が57.8%となっています。

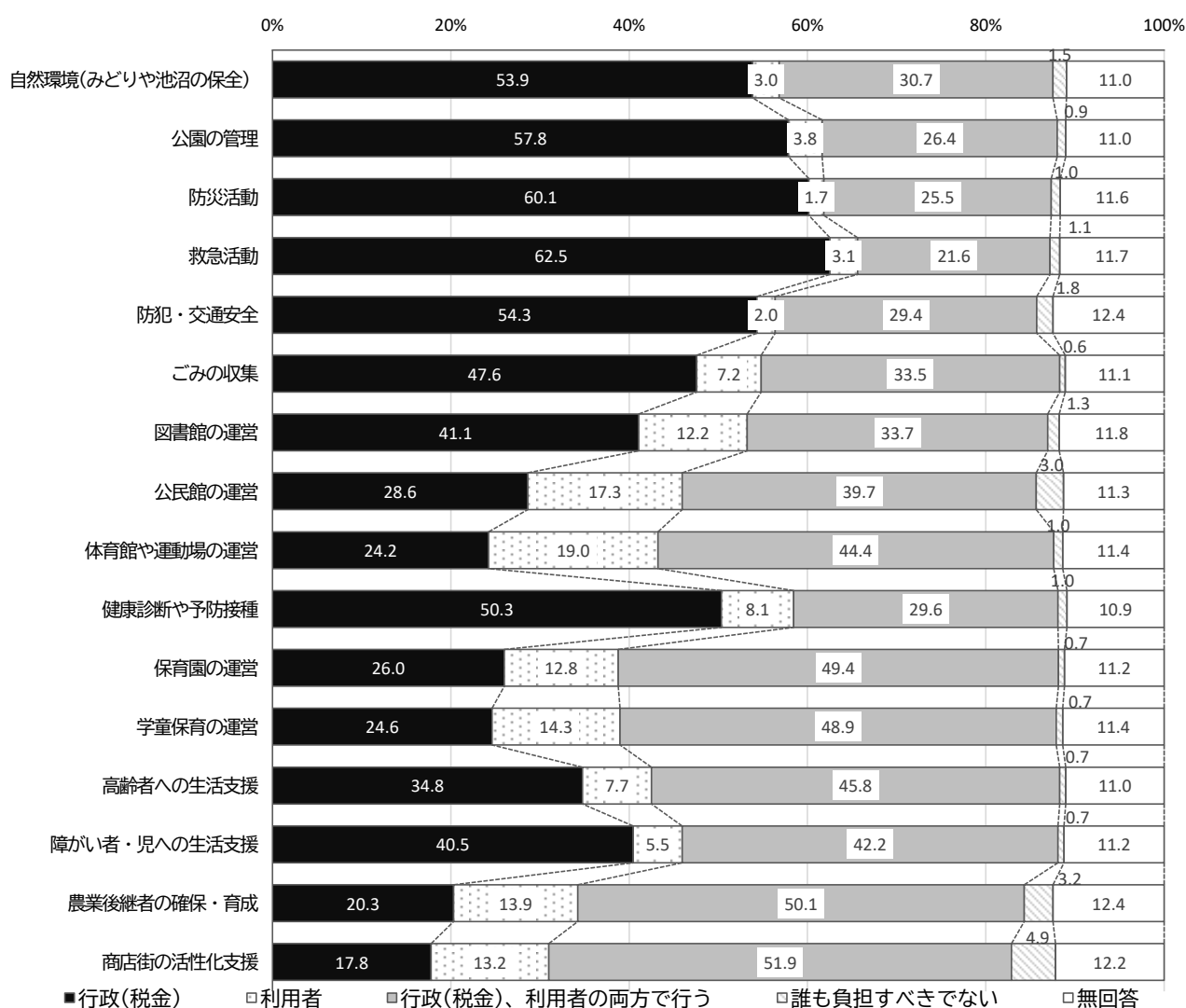
「利用者」で負担するものとしては、『体育館や運動場の運営』が19.0%、『公民館の運営』が17.3%となっています。

「行政(税金)、利用者の両方で行う」ものとしては、『商店街の活性化支援』が51.9%、『農業後継者の確保・育成』が50.1%となっています。

「誰も負担すべきでない」ものとしては、『商店街の活性化支援』が4.9%で最も高く、次いで『農業後継者の確保・育成』が3.2%、『公民館の運営』が3.0%となっています。

C サービスの費用負担

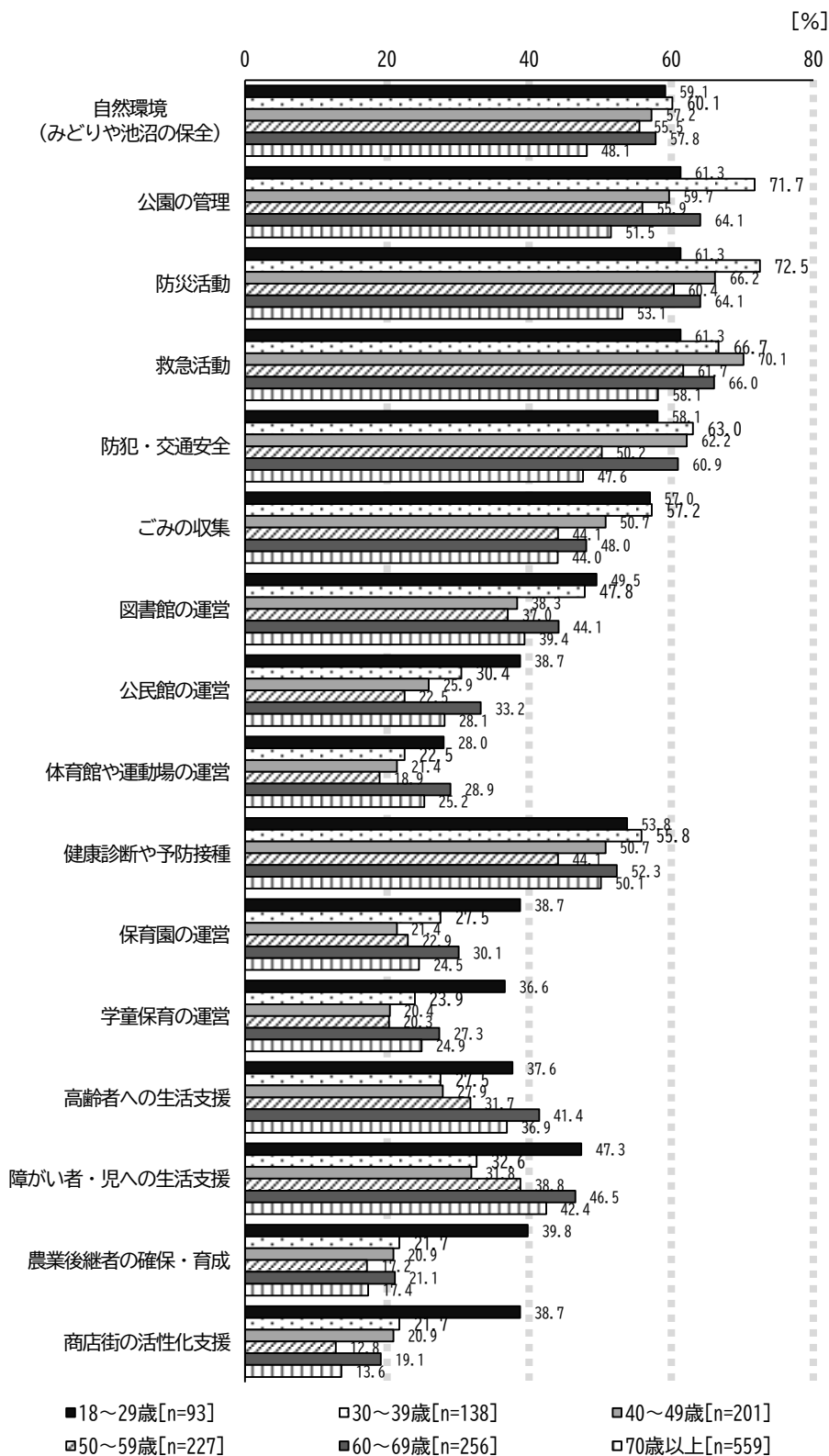
【全体】



行政（税金）が費用負担をするべきと考えるサービスを年齢別で見ると、30歳代の「防災活動」が72.5%で最も高くなっています。

C サービスの費用負担

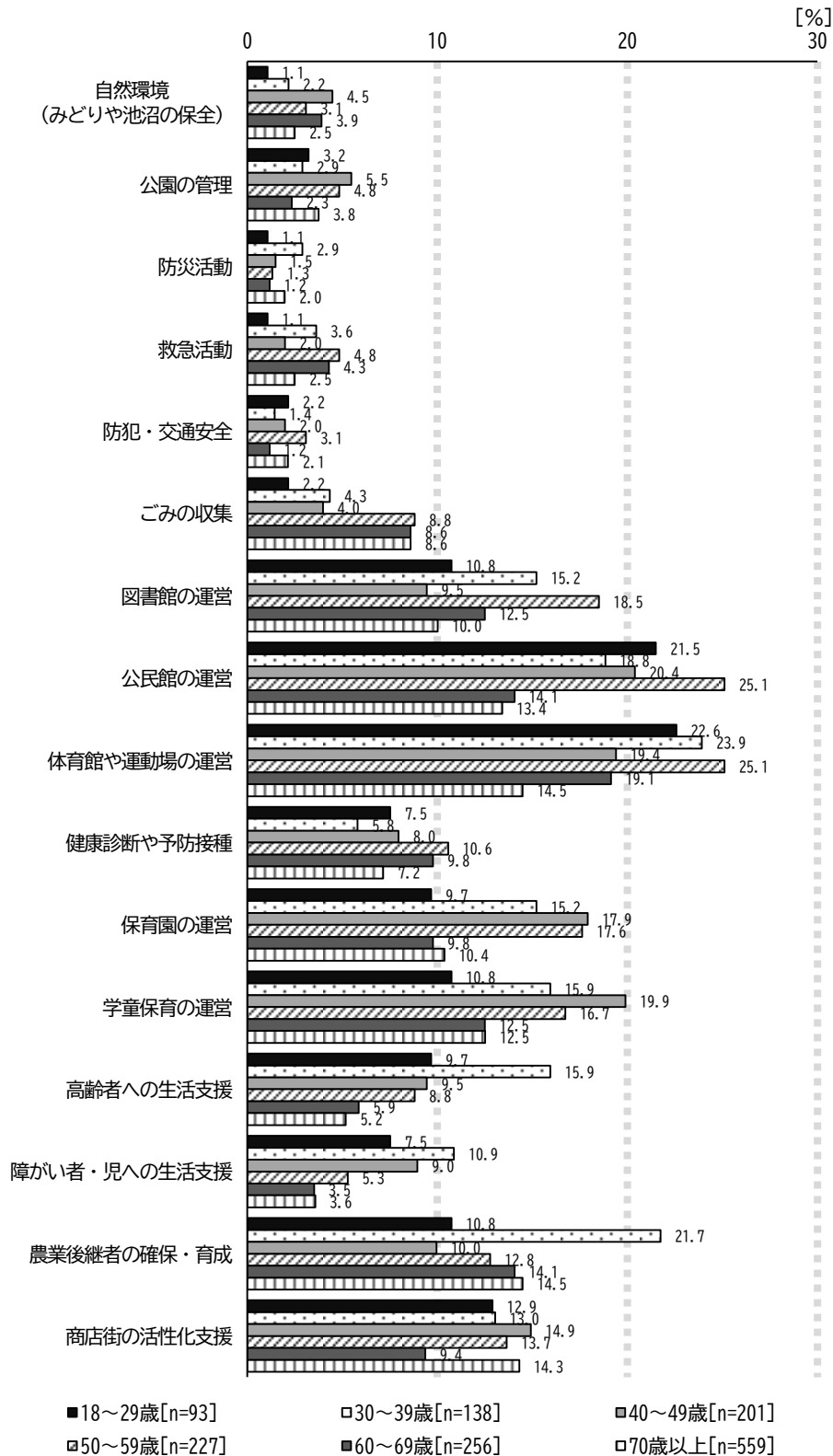
【年齢別】 ① 行政（税金）



利用者が費用負担をするべきと考えるサービスを年齢別で見ると、50歳代の「公民館の運営」と「体育館や運動場の運営」が25.1%と同率で最も高くなっています。

C サービスの費用負担

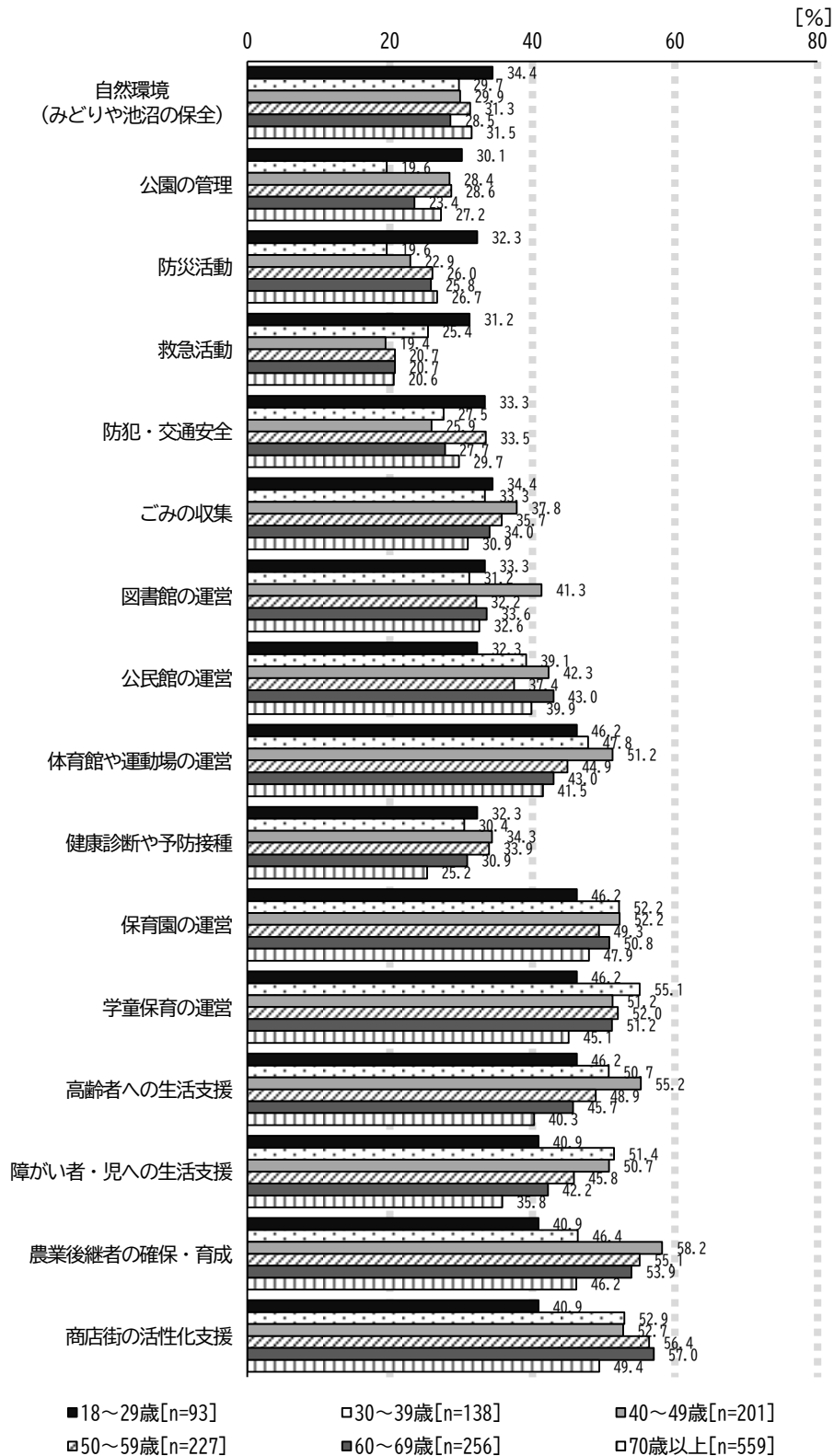
【年齢別】 ② 利用者



行政（税金）、利用者の両方で行うと考えるサービスを年齢別でみると、40歳代の「農業後継者の確保・育成」が58.2%で最も高くなっています。

C サービスの費用負担

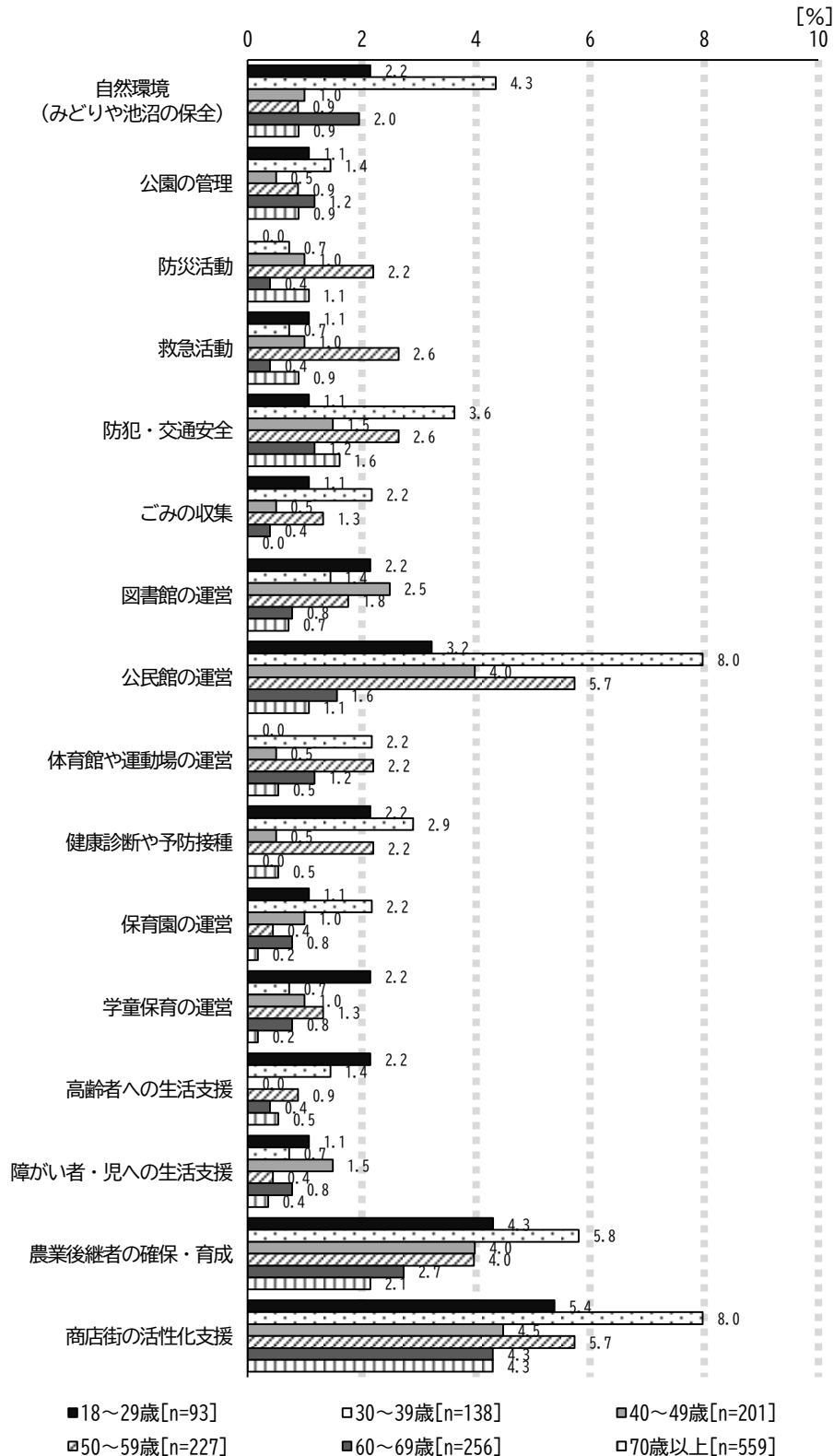
【年齢別】 ③ 行政（税金）、利用者の両方で行う



誰も負担すべきでないとするサービスを年齢別でみると、30歳代の「公民館の運営」と「商店街の活性化支援」が8.0%と同率で最も高くなっています。

C サービスの費用負担

【年齢別】 ④ 誰も負担すべきでない



2-8 防災対策について

問 38 あなたのお住まいの地域は、災害に対し安全だと思いますか。(1つに○)

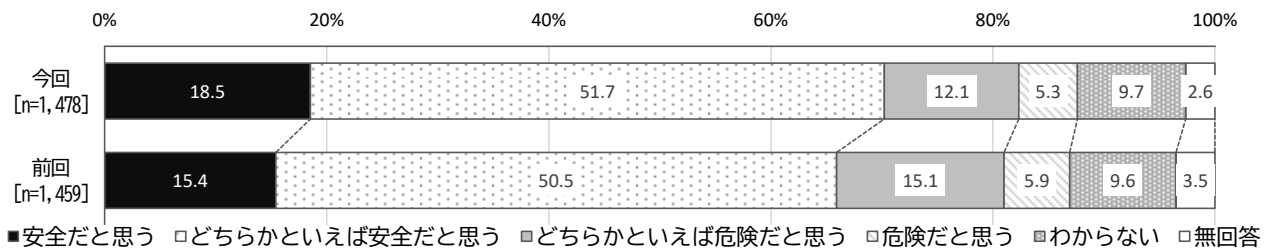
「どちらかといえば安全だと思う」が51.7%で最も高く、次いで「安全だと思う」が18.5%で、合計すると6割以上の方が居住地域を“安全”だと感じています。

前回調査と比較すると、「安全だと思う」と「どちらかといえば安全だと思う」を合わせた“安全”が4.3ポイント増加しており、「危険だと思う」と「どちらかといえば危険だと思う」を合わせた“危険”が3.6ポイント減少しています。

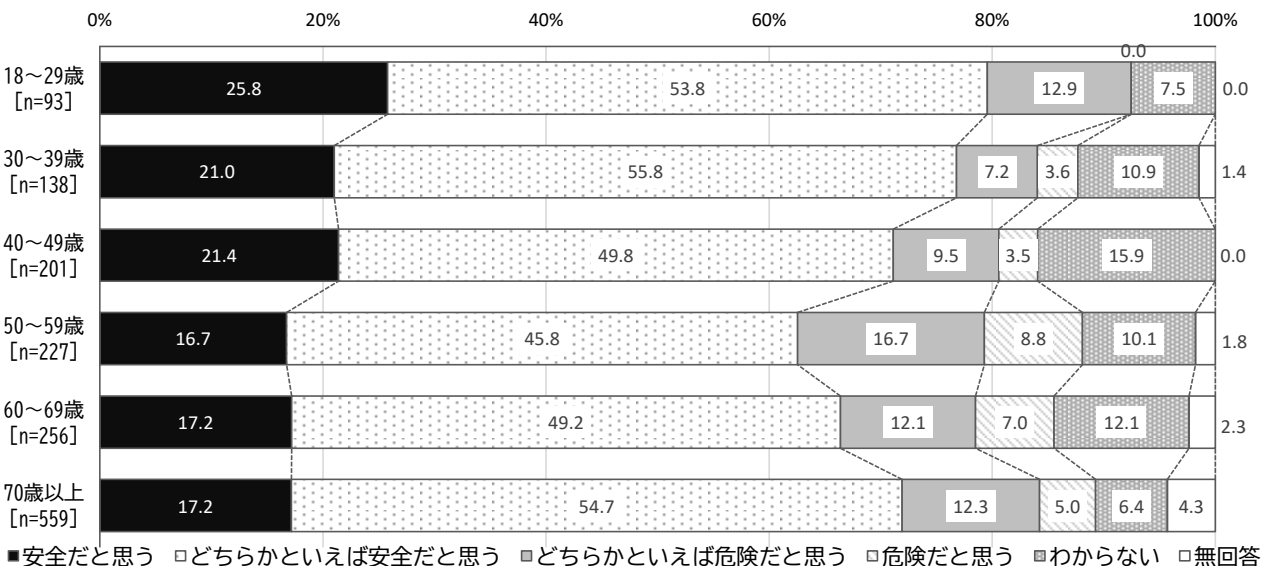
年齢別でみると、20歳代以下の“安全”が79.6%で最も高くなっている一方で、50歳代の62.5%が最も少なくなっています。

居住地域の安全性

【全体・前回比較】



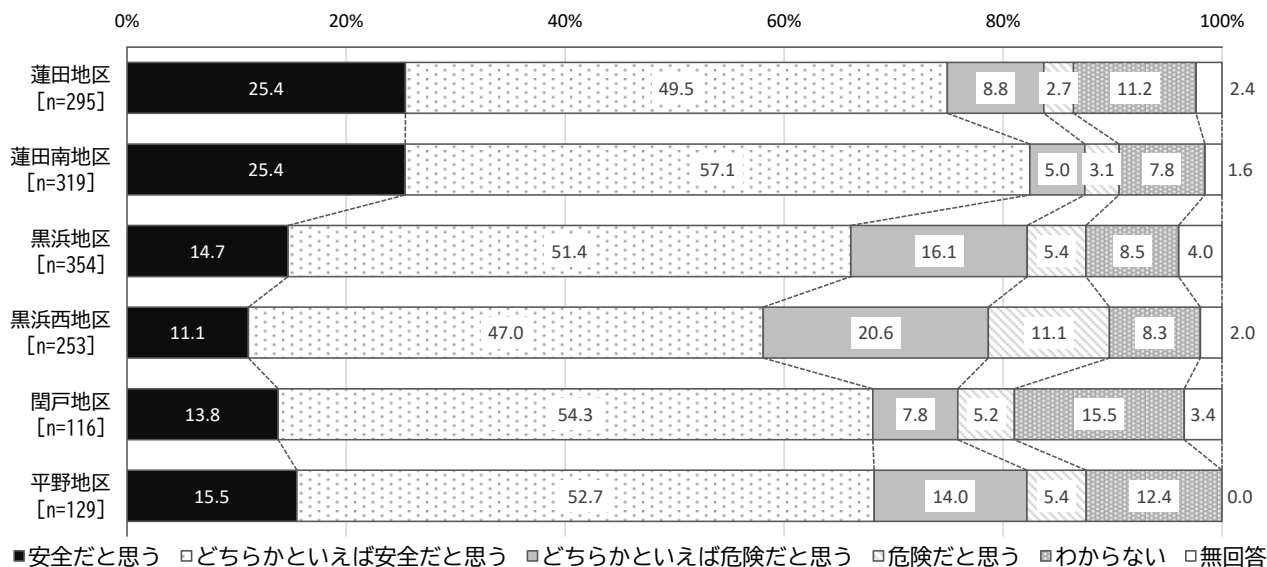
【年齢別】



居住地域の安全性について地区別でみると、「安全だと思う」の割合は蓮田地区と蓮田南地区で25.4%と同率で最も高くなっている一方、「危険」の割合は、黒浜西地区で最も高く、31.7%となっています。

居住地域の安全性

【地区別】



問 28-1 問 28 の選択肢を選んだ理由は何ですか。(主な意見)

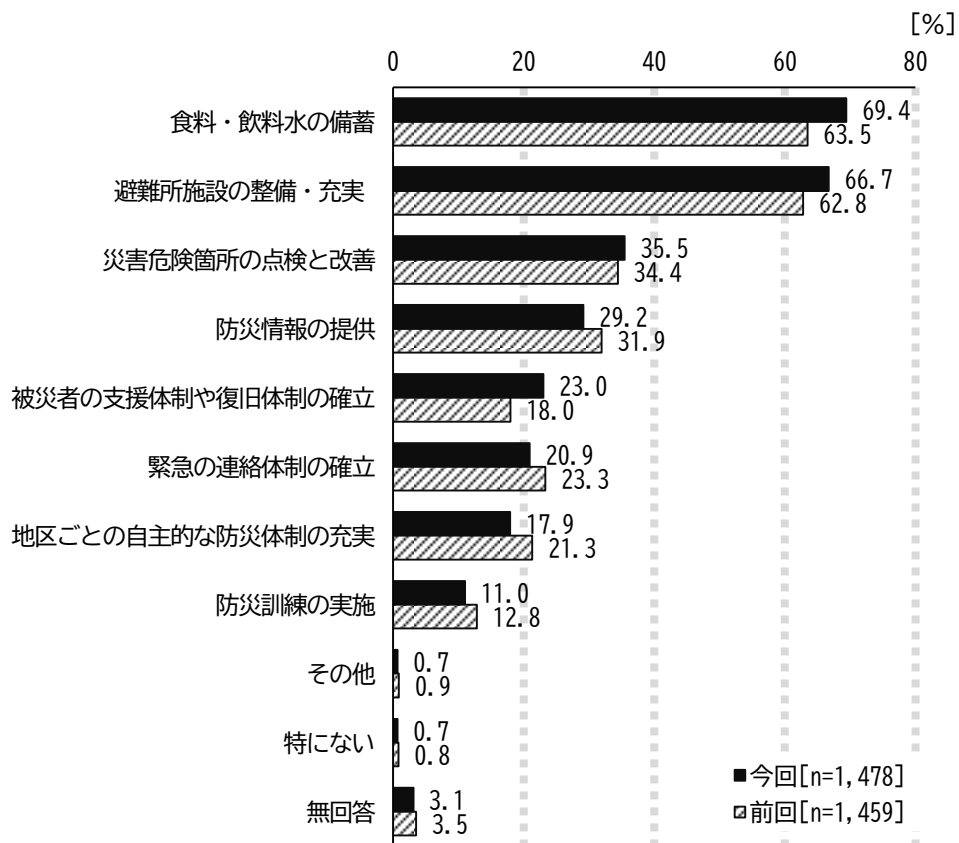
※選択肢を選んだ理由については、回答方法が記述式のため、現在、主な意見を整理中です。

問 39 あなたは、災害への備えにはどんなことが必要だと思いますか。(3つに○)

「食料・飲料水の備蓄」が 69.4%で最も高く、次いで「避難所施設の整備・充実」が 66.7%、「災害危険箇所の点検と改善」が 35.5%となっています。

災害への備えに必要なこと

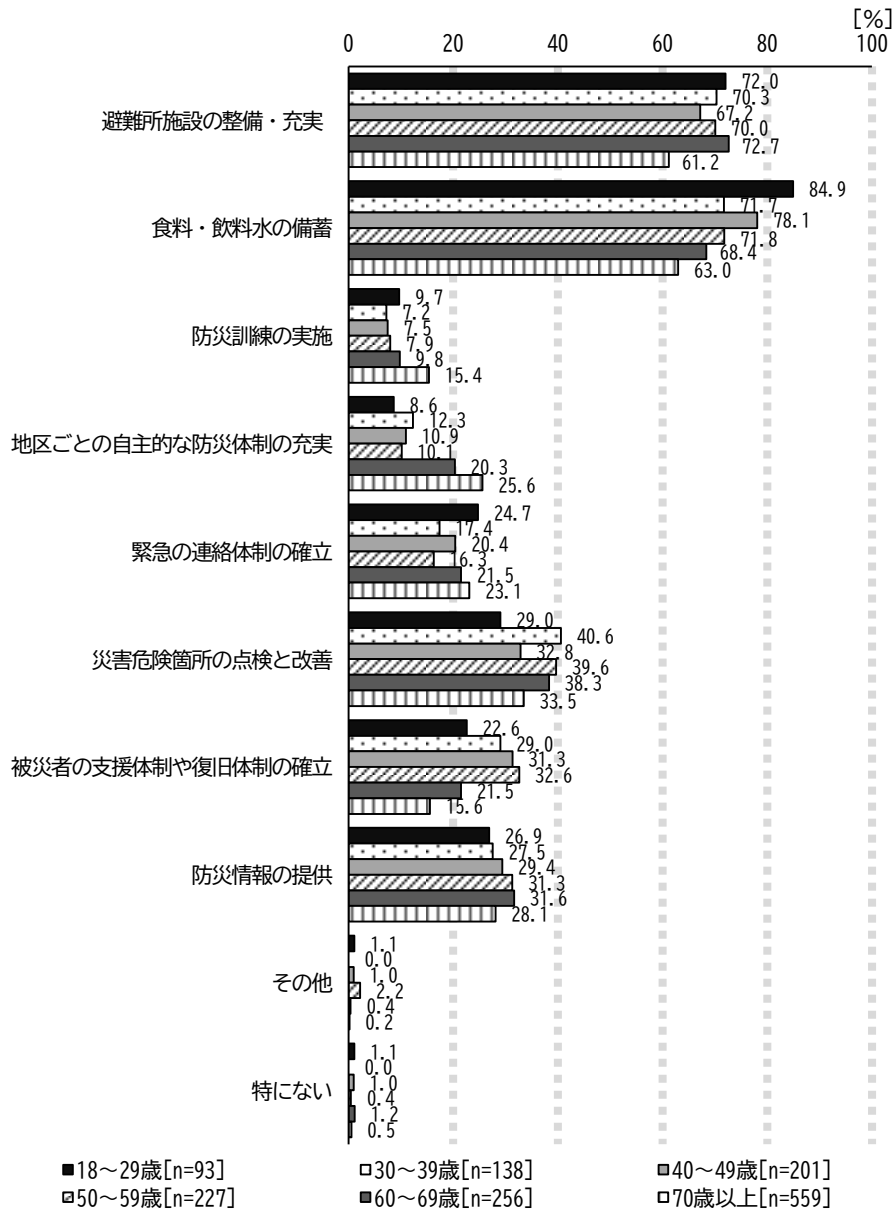
【全体・前回比較】



災害への備えに必要なことを年齢別でみると、20歳代以下の「食料・飲料水の備蓄」が84.9%で最も高くなっています。

災害への備えに必要なこと

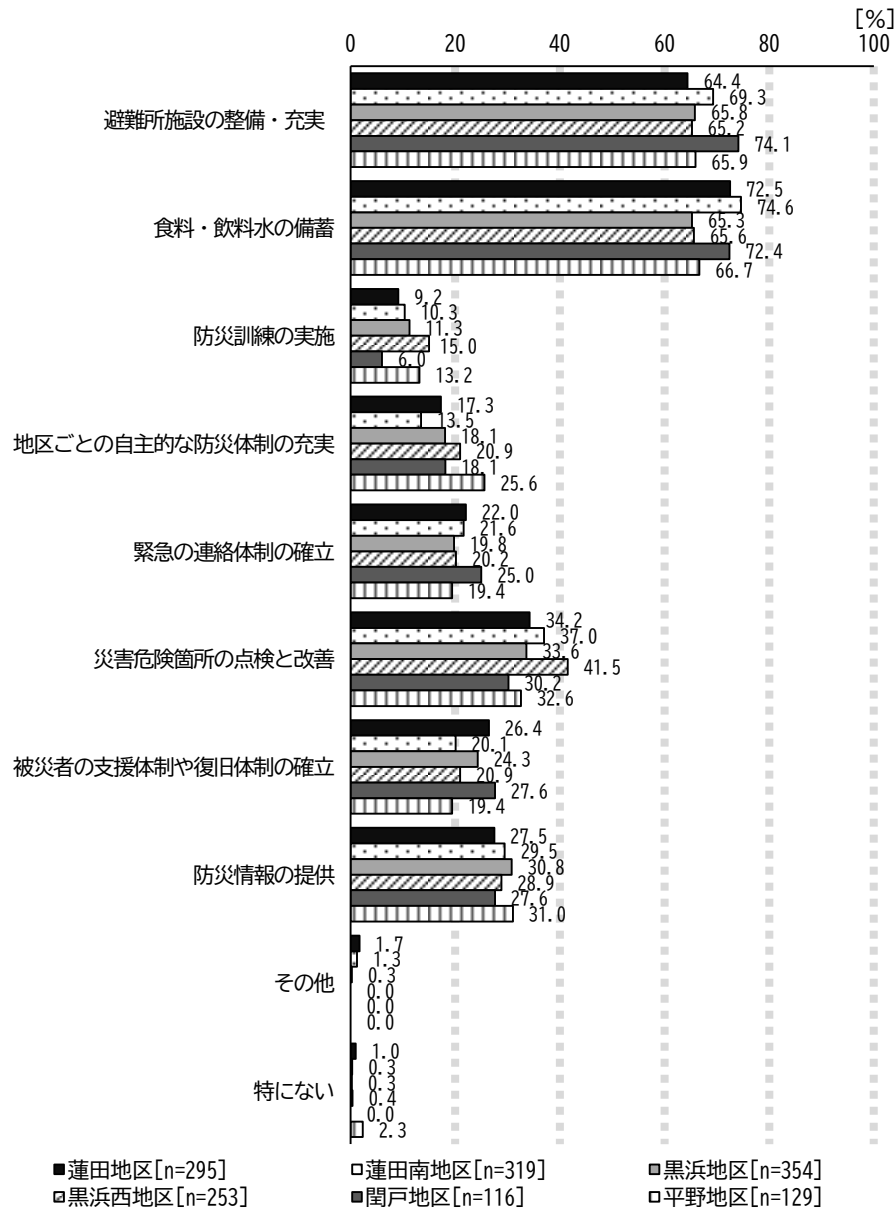
【年齢別】



災害への備えに必要なことを地区別でみると、蓮田南地区の「食料・飲料水の備蓄」が74.6%で最も高くなっています。

災害への備えに必要なこと

【地区別】



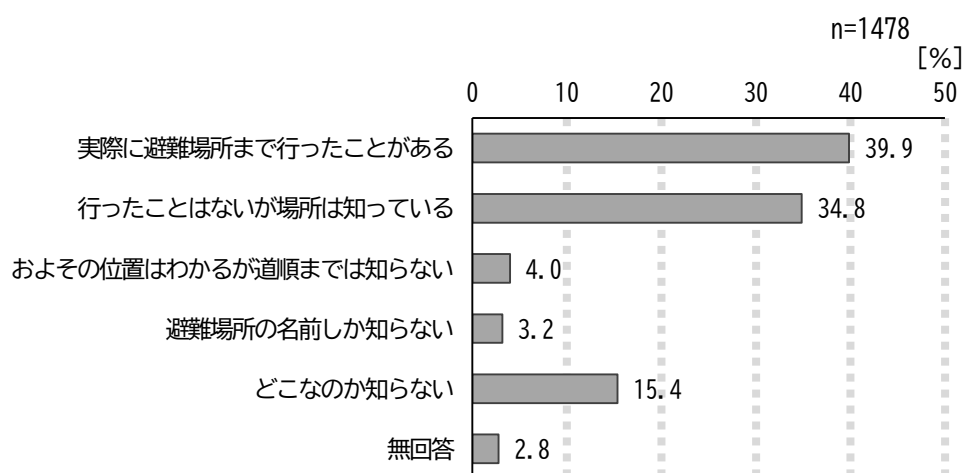
問 40 あなたは、地震などがおこった場合の避難場所を知っていますか。(1つに○)

「実際に避難場所まで行ったことがある」が39.9%で最も高く、次いで「行ったことはないが場所は知っている」が34.8%、「どこなのか知らない」が15.4%となっています。

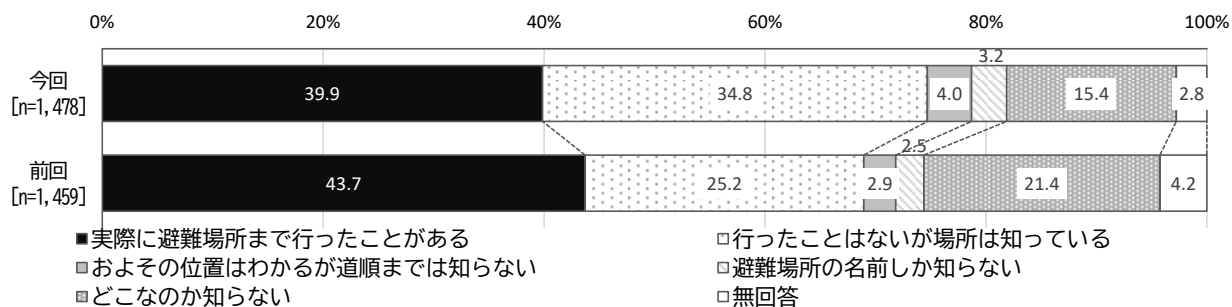
前回調査との比較では、「行ったことはないが場所は知っている」が9.6ポイント増加しています。一方、「どこなのか知らない」が6.0ポイント、「実際に避難場所まで行ったことがある」が3.8ポイント減少しています。

避難場所の認知度

【全体】



【前回比較】

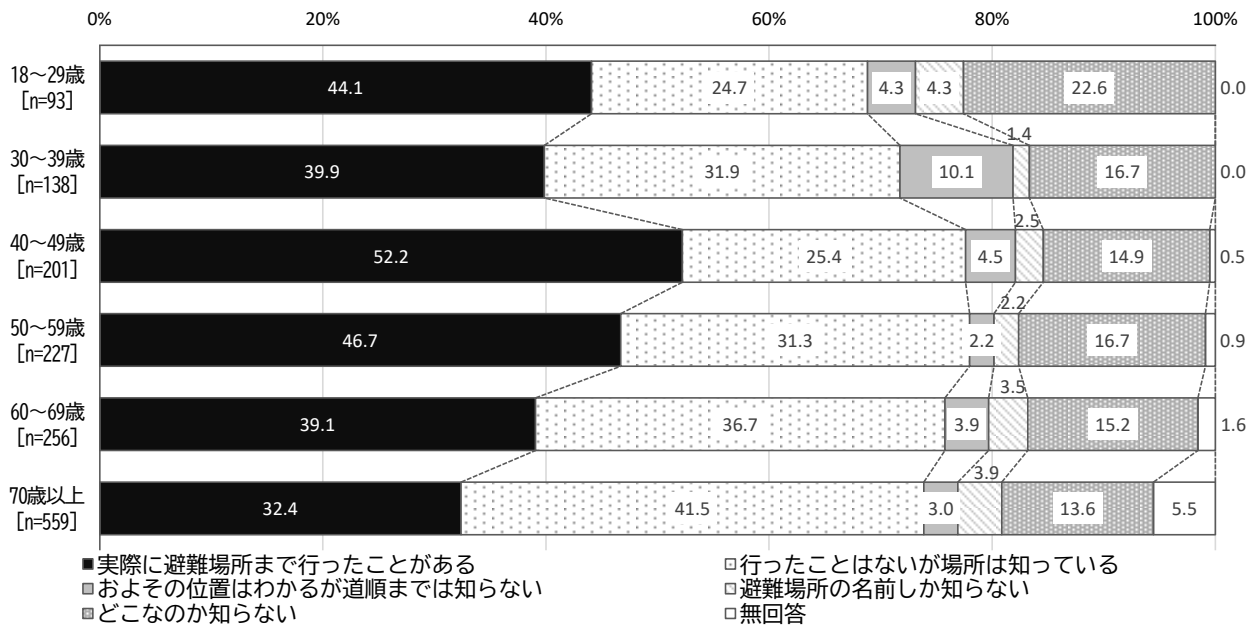


避難場所の認知度を年齢別で見ると、40歳代の「実際に避難場所まで行ったことがある」が52.2%で最も高くなっています。

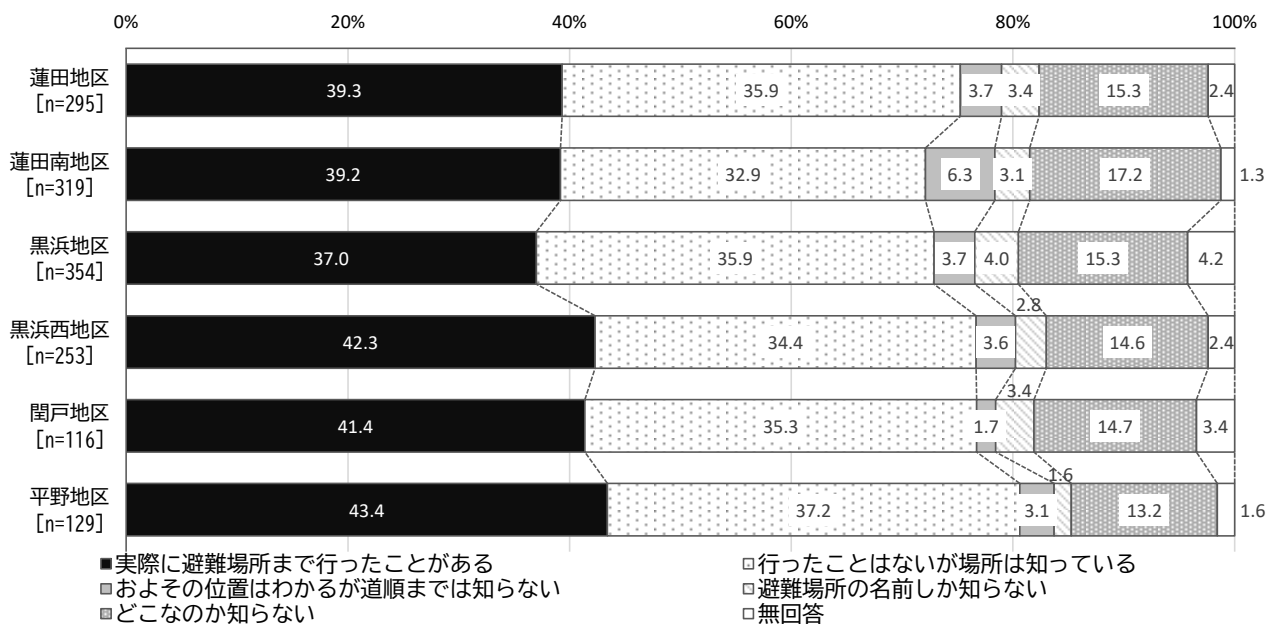
また、地区別で見ると、平野地区の「実際に避難場所まで行ったことがある」が43.4%で最も高くなっています。

避難場所の認知度

【年齢別】



【地区別】



問 41 あなたは、地震などの災害に備えてどのような準備をしていますか。

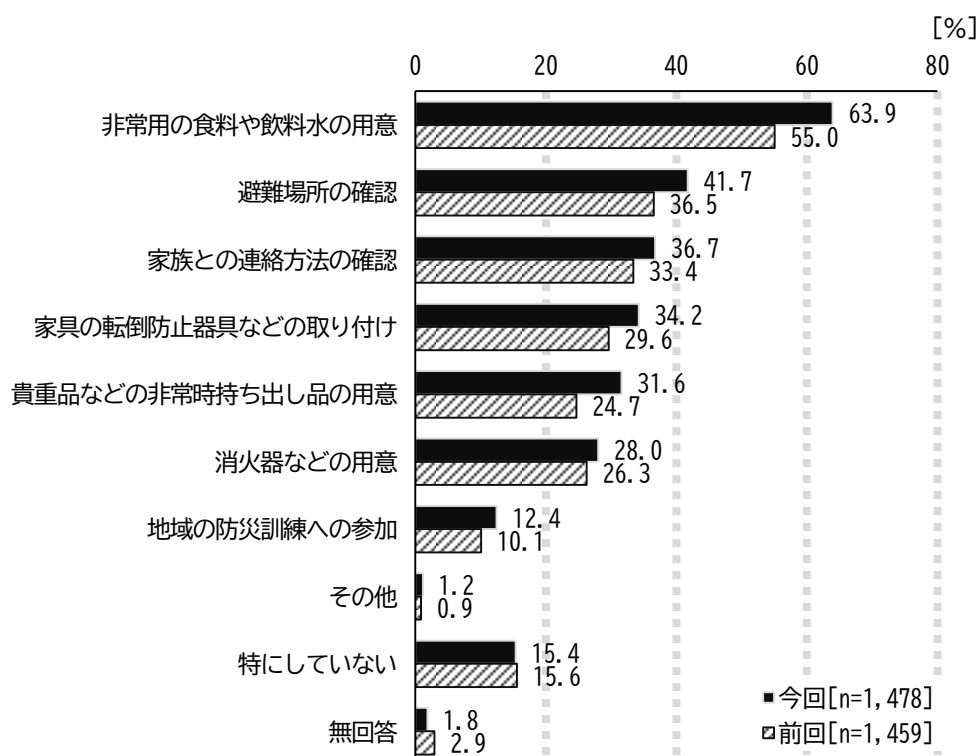
(あてはまるものすべてに○)

「非常用の食料や飲料水の用意」が 63.9%で最も高く、次いで「避難場所の確認」が 41.7%、「家族との連絡方法の確認」が 36.7%となっています。

前回調査と比較すると、「特にしていない」を除くすべての項目で増加しており、特に増加量の多い「非常用の食料や飲料水の用意」では 8.9 ポイント増加しています。

災害に備え行っている準備

【全体・前回比較】

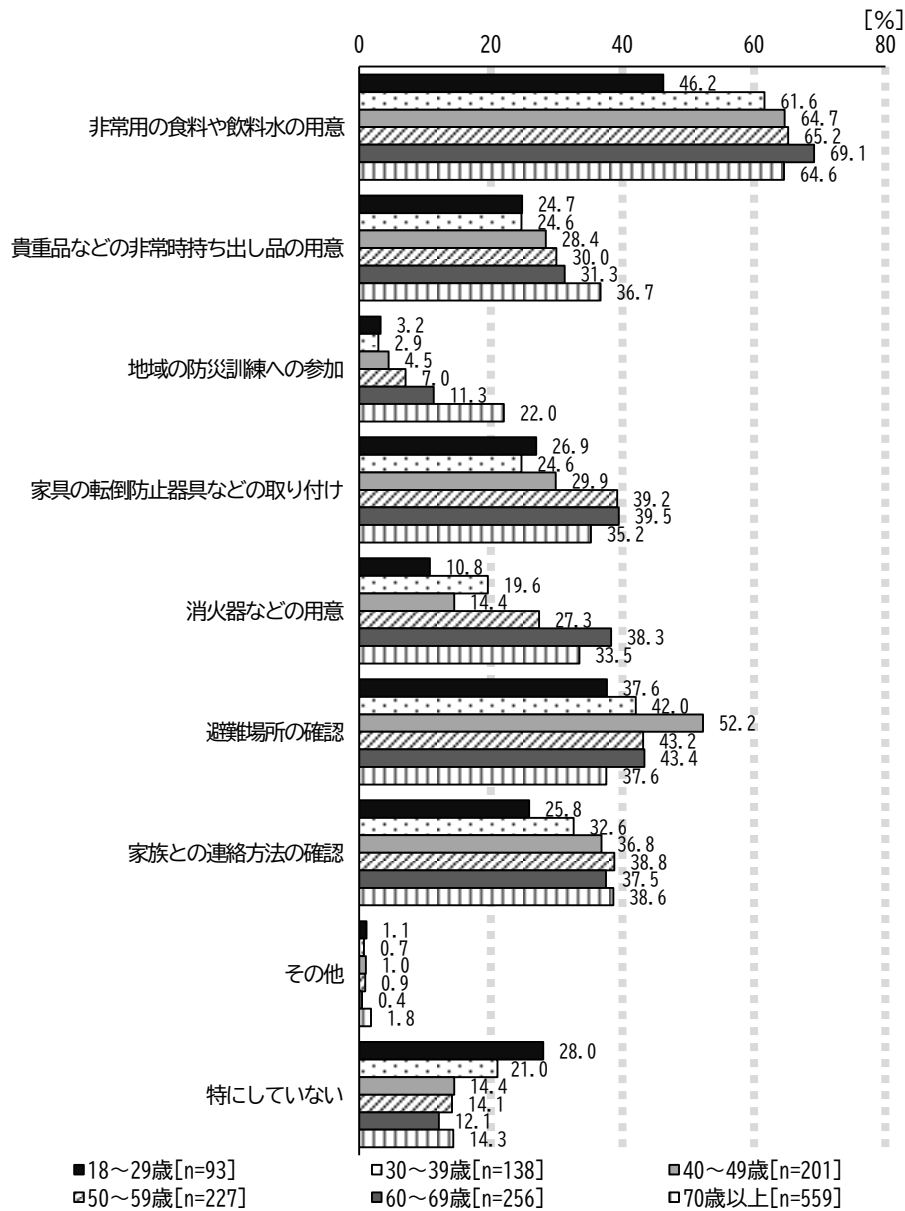


災害に備え行っている準備を年齢別でみると、60歳代の「非常用の食料や飲料水の用意」が69.1%で最も高くなっています。

また、「特にしていない」のは、20歳代以下が28.0%で最も高くなっています。

災害に備え行っている準備

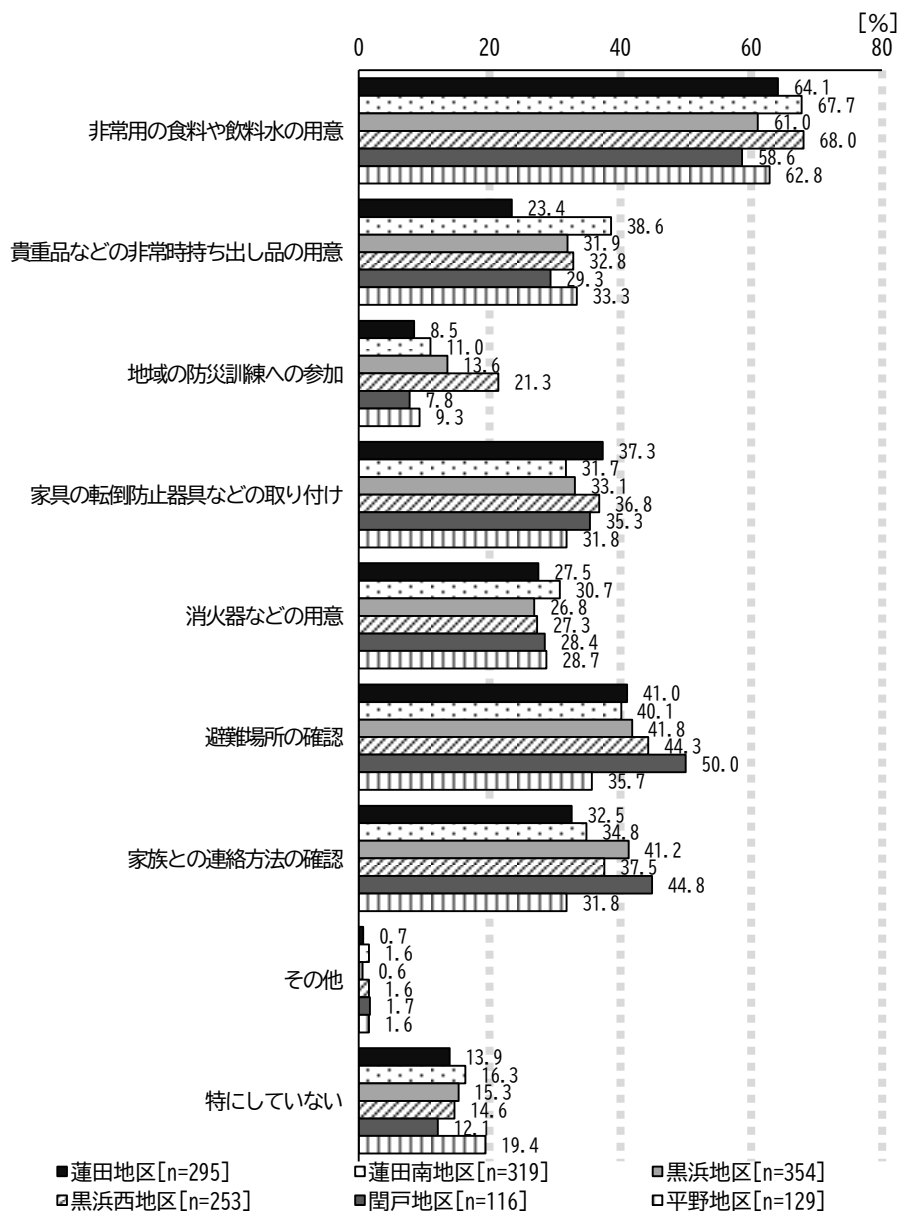
【年齢別】



災害に備え行っている準備を地区別でみると、黒浜西地区の「非常用の食料や飲料水の用意」が68.0%で最も高くなっています。

災害に備え行っている準備

【地区別】

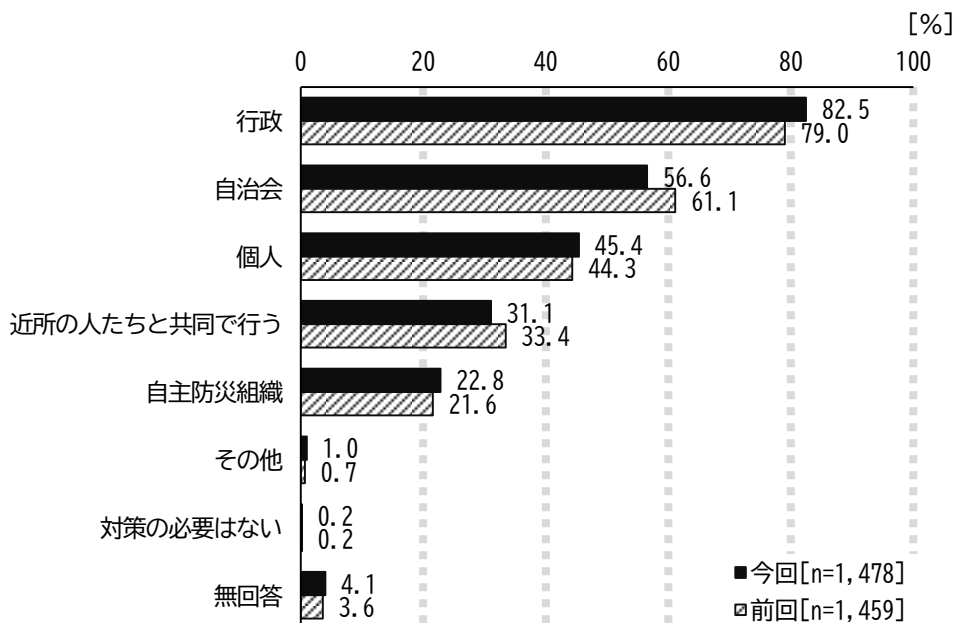


問 42 地域の防災対策は誰が、もしくはどの組織が担うべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「行政」が82.5%で最も高く、次いで「自治会」が56.6%、「個人」が45.4%となっています。

防災対策の担い先

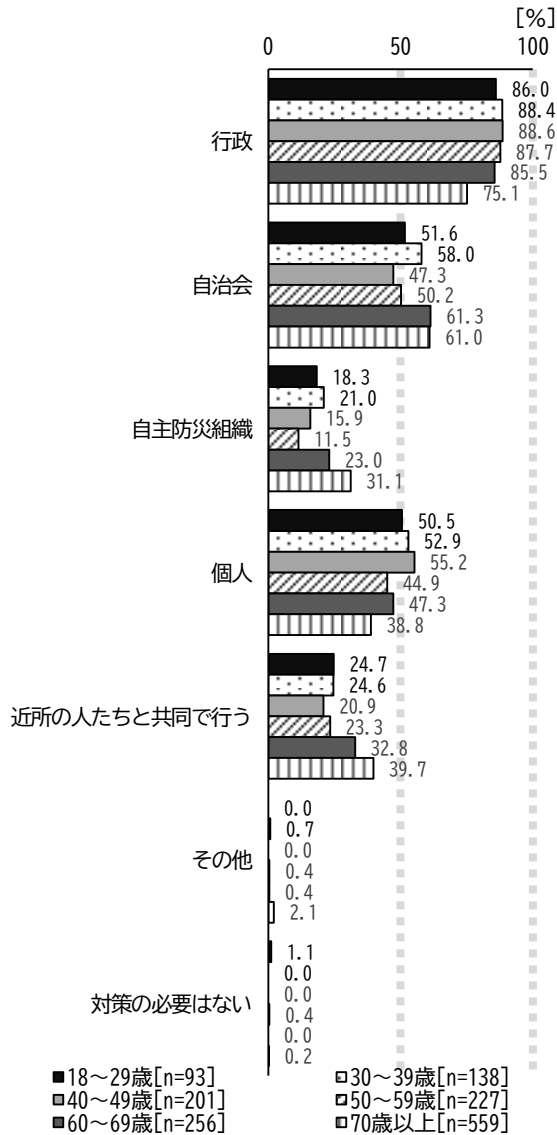
【全体】



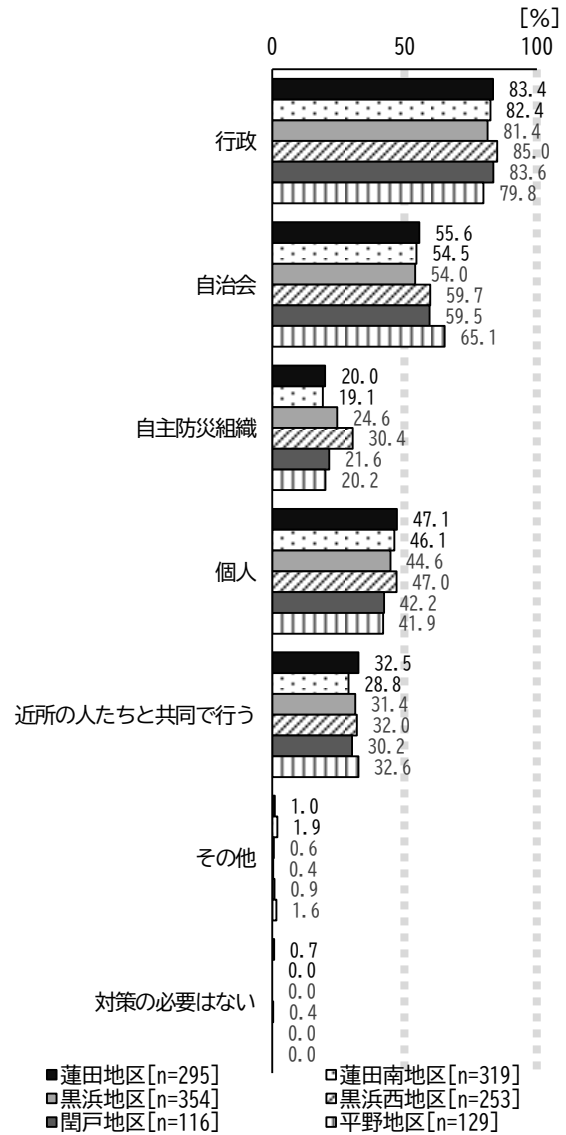
防災対策の担い先を年齢別で見ると、40歳代の「行政」が88.6%で最も高くなっています。
 また、地区別で見ると、黒浜西地区の「行政」が85.0%で最も高くなっています。

防災対策の担い先

【年齢別】



【地区別】



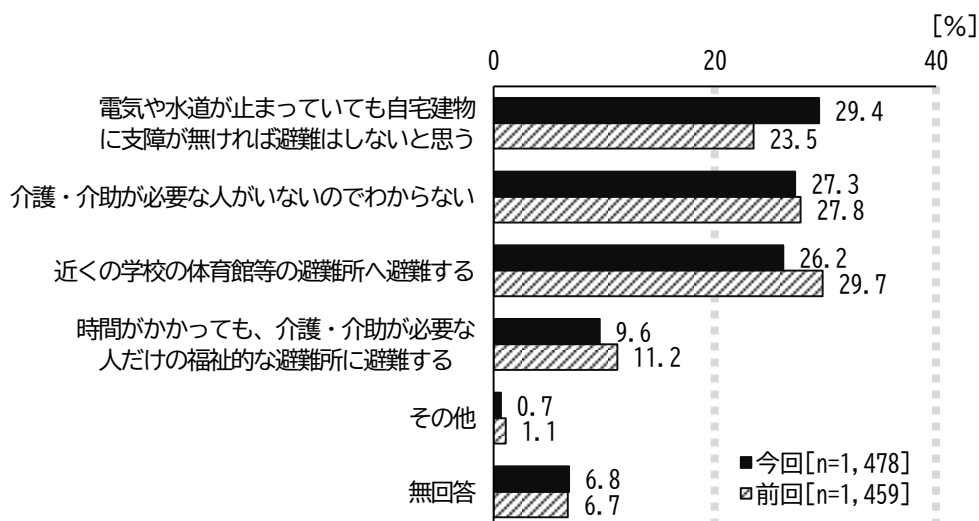
問 43 災害発生直後の避難が必要な時、あなた自身や同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合、避難所についてどのようにお考えですか。
(1つに○)

「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が 29.4%で最も高く、次いで「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」が 27.3%、「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が 26.2%となっています。

前回調査と比較すると、「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が 5.9 ポイント増加している一方、「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が 3.5 ポイント減少しています。

家族に手助けが必要な人がいる場合の避難

【全体・前回比較】

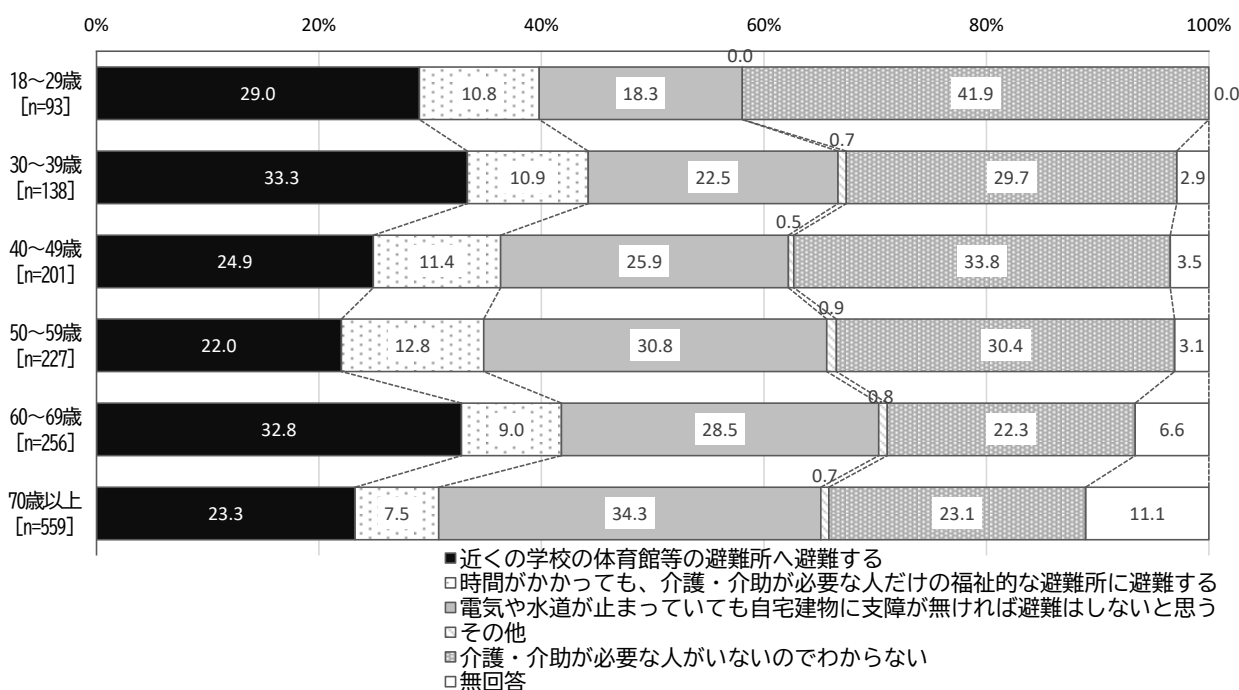


家族に手助けが必要な人がいる場合の避難について年齢別で見ると、20歳代以下の「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」が41.9%で最も高くなっています。

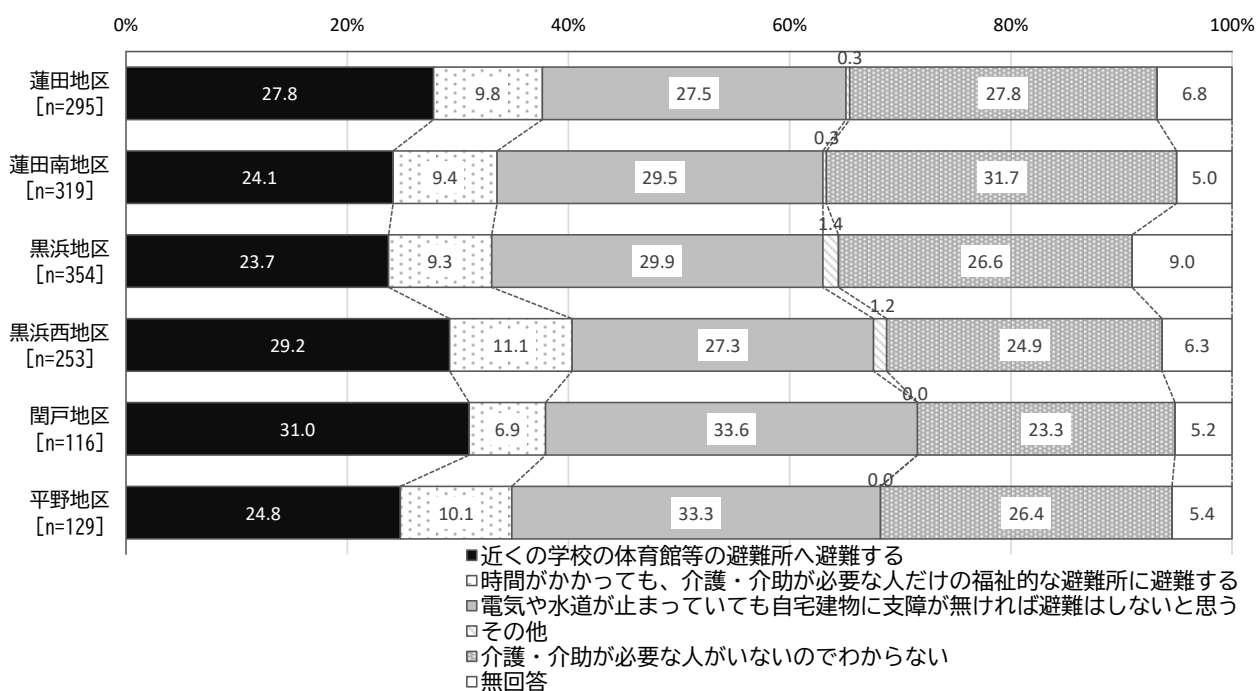
また、地区別で見ると、閩戸地区の「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が33.6%で最も高くなっています。

家族に手助けが必要な人がいる場合の避難

【年齢別】



【地区別】

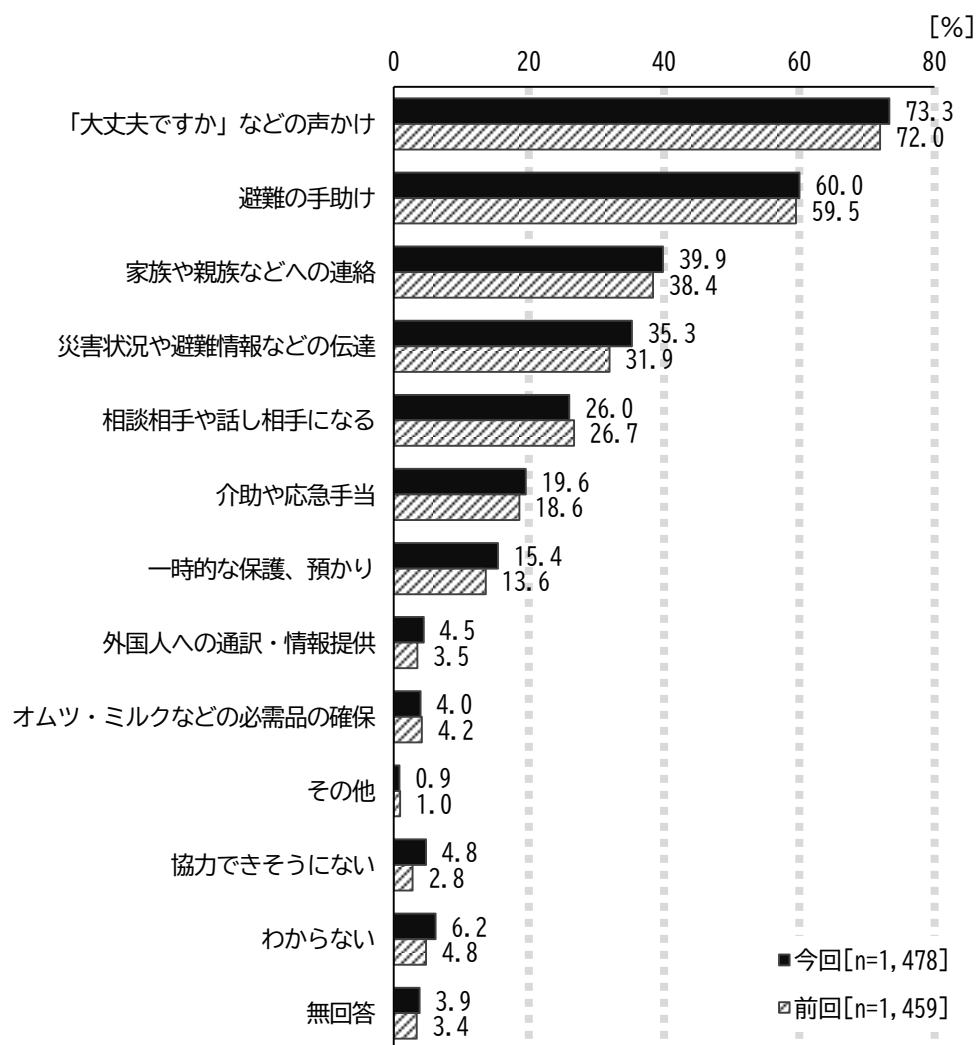


問 44 避難時に家族以外の手助けが必要な人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

『「大丈夫ですか」などの声かけ』が73.3%で最も高く、次いで「避難の手助け」が60.0%、「家族や親族などへの連絡」が39.9%となっています。

手助けが必要な人への避難時の協力

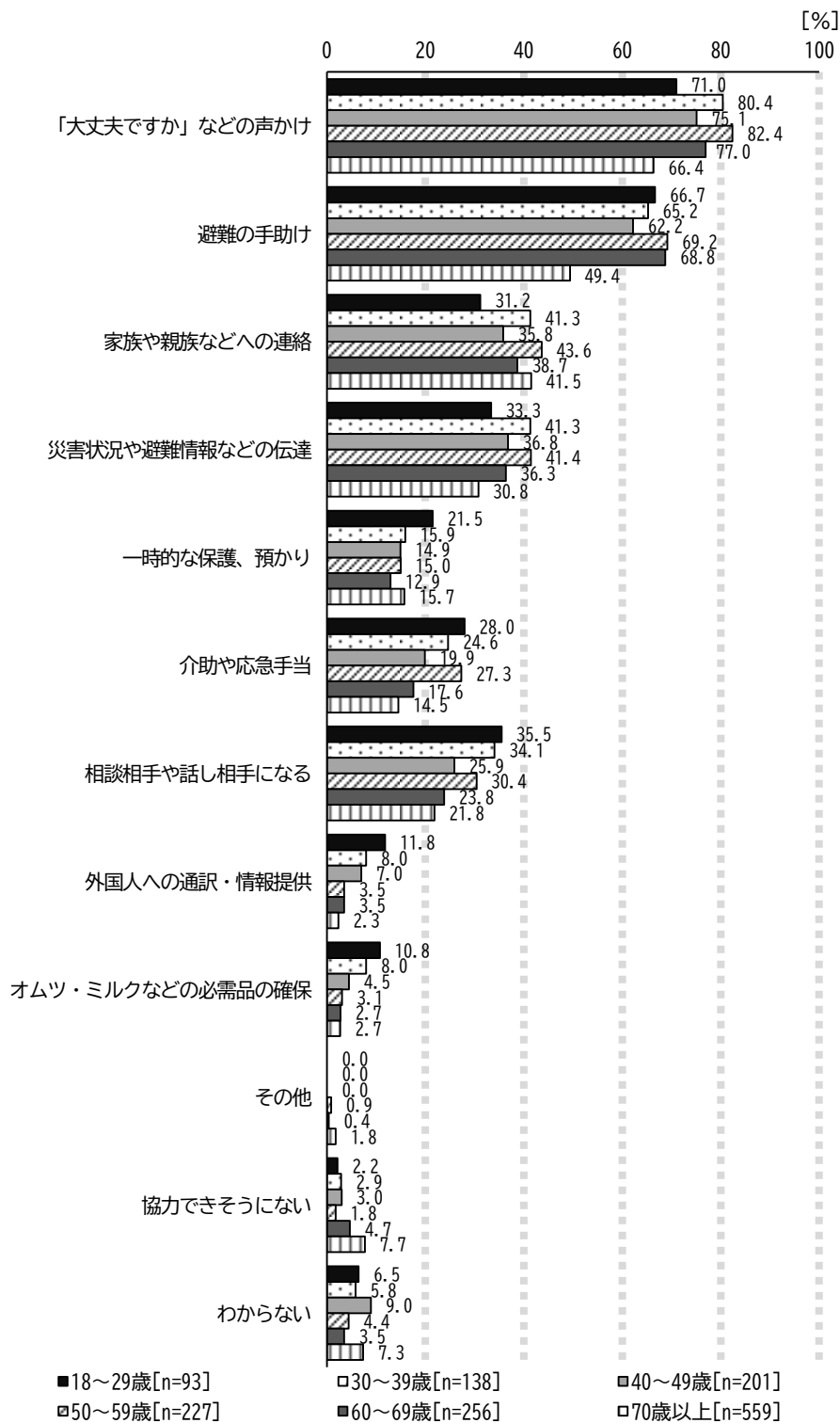
【全体】



手助けが必要な人への避難時の協力について年齢別でみると、50歳代の『大丈夫ですか』などの声かけ』が82.4%で最も高くなっています。

手助けが必要な人への避難時の協力

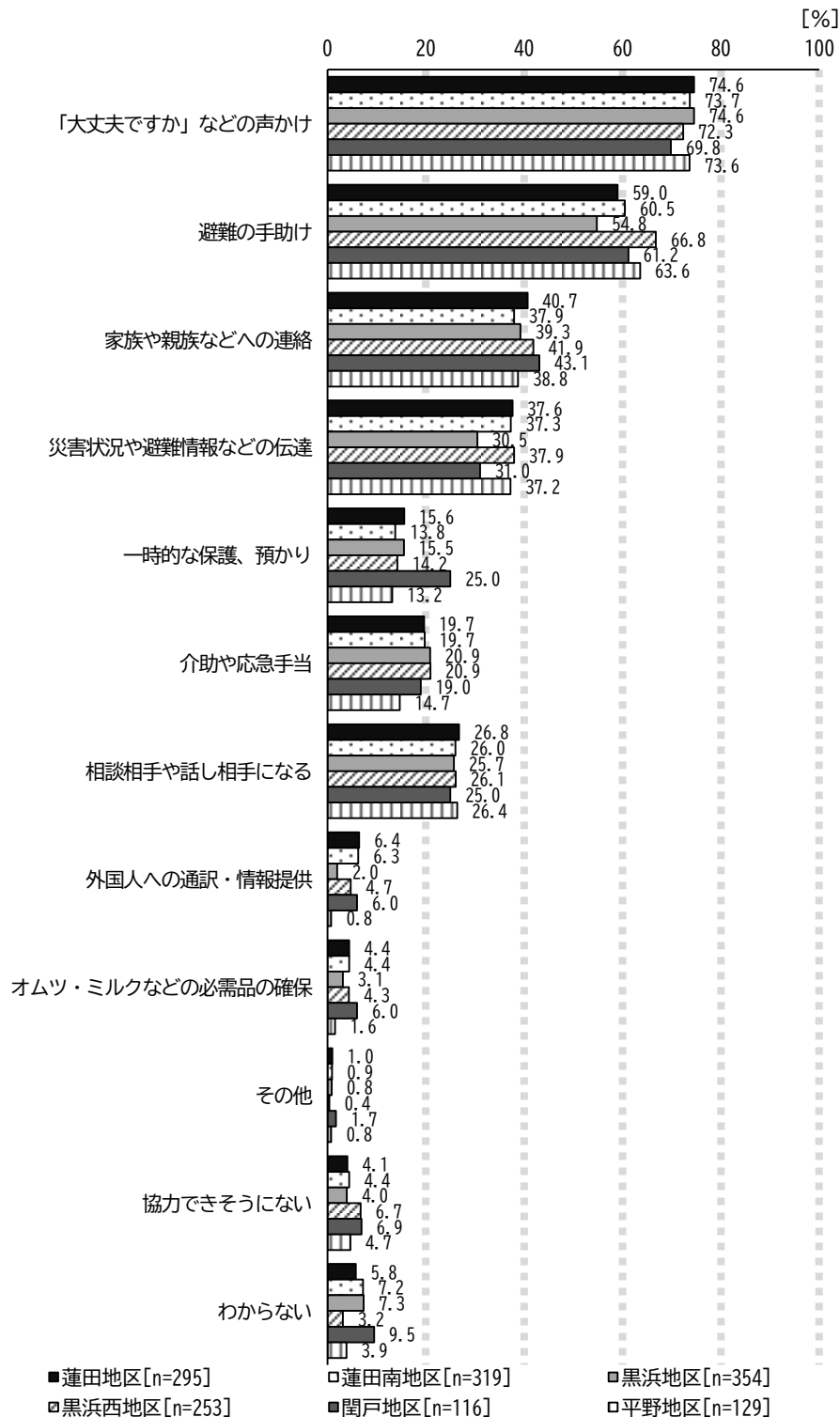
【年齢別】



手助けが必要な人への避難時の協力について地区別でみると、蓮田地区と黒浜地区の『「大丈夫ですか」などの声かけ』が74.6%と同率で最も高くなっています。

手助けが必要な人への避難時の協力

【地区別】



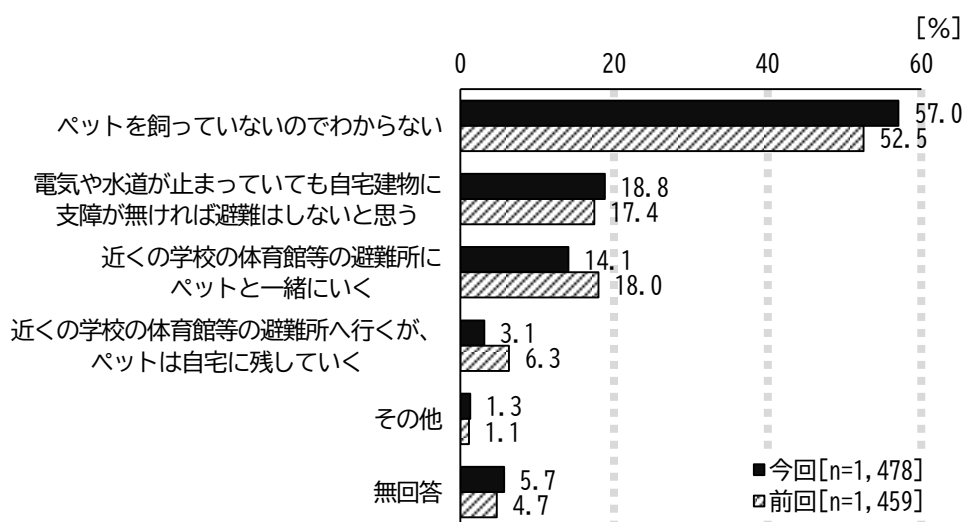
問 45 避難が必要な際のペットについてどのようにお考えですか。(1つに○)

「ペットを飼っていないのでわからない」が57.0%で最も高く、次いで「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が18.8%、「近くの学校の体育館等の避難所にペットと一緒にいく」が14.1%となっています。

前回調査と比較すると、「ペットを飼っていないのでわからない」が4.5ポイント増加している一方、「近くの学校の体育館等の避難所にペットと一緒にいく」が3.9ポイント、「近くの学校の体育館等の避難所へ行くが、ペットは自宅に残していく」が3.2ポイントそれぞれ減少しています。

ペットの避難

【全体】



2-9 市の広報（シティセールス）について

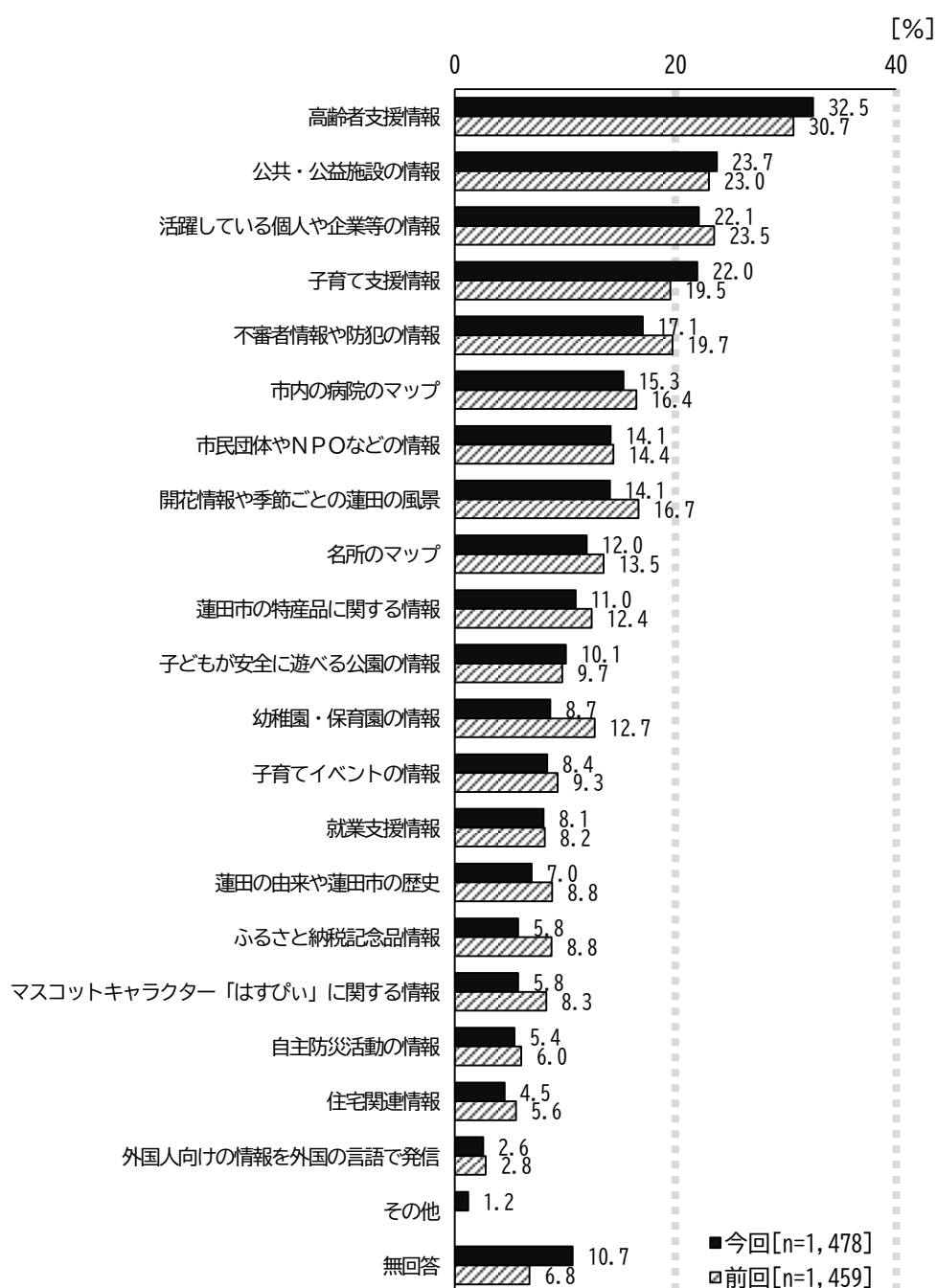
問 46 あなたは、市をPRするために、広報はすだや市のホームページ、ツイッターなどでどのような情報を充実させたらよいと思いますか。（3つに○）

※「その他」の選択肢は前回の自由記入欄を統合

「高齢者支援情報」が32.5%で最も高く、次いで「公共・公益施設の情報」が23.7%、「活躍している個人や企業等の情報」が22.1%となっています。

市のPRのために充実させたらよい情報

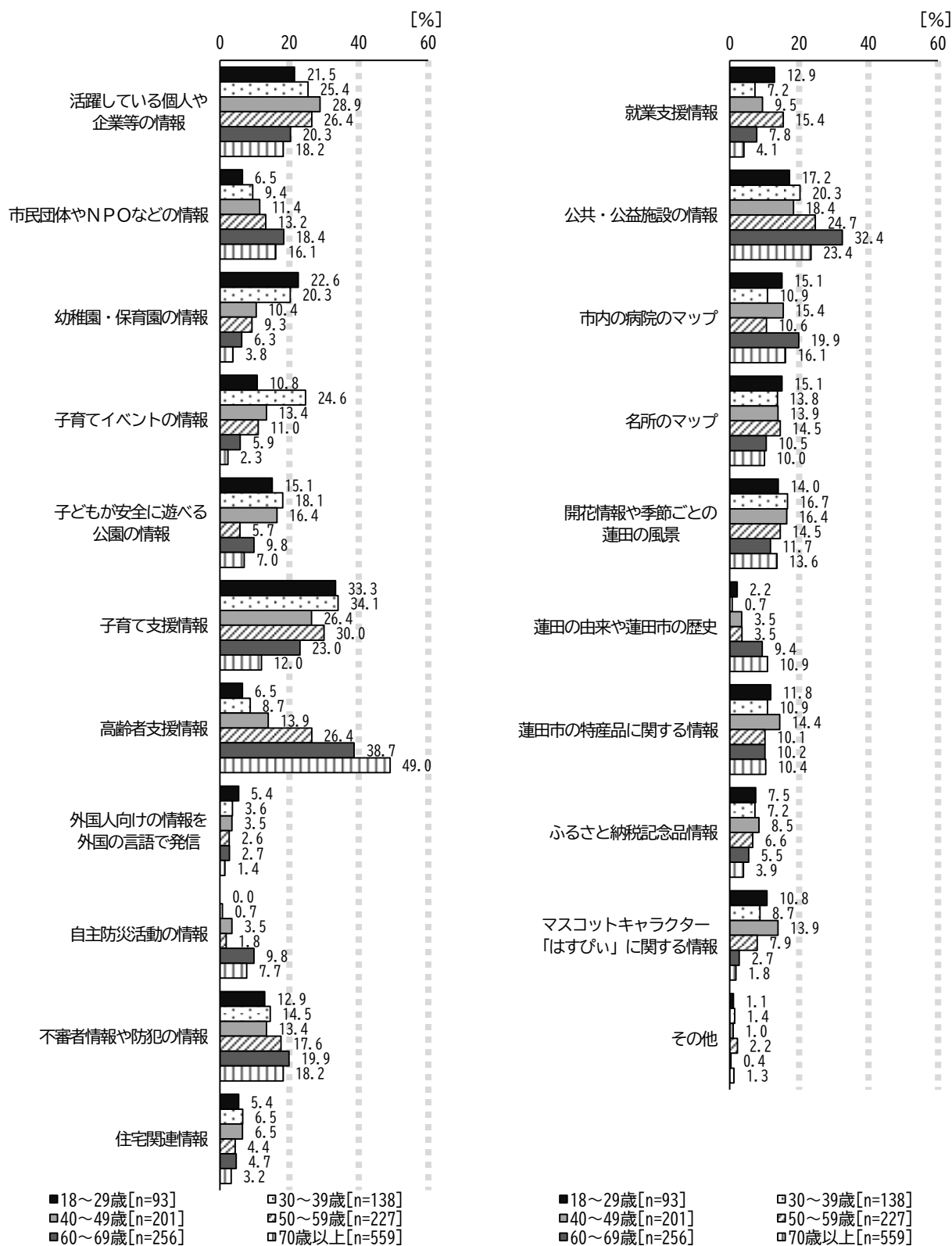
【全体】



市のPRのために充実させたらよい情報を年齢別で見ると、70歳以上の「高齢者支援情報」が49.0%で最も高く、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあります。一方で、30歳代以下では「子育て支援情報」が3割以上で最も高くなっています。

市のPRのために充実させたらよい情報

【年齢別】



問 47 あなたは、市をPRするための蓮田ブランドや地域資源として、どのようなものがふさわしいと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

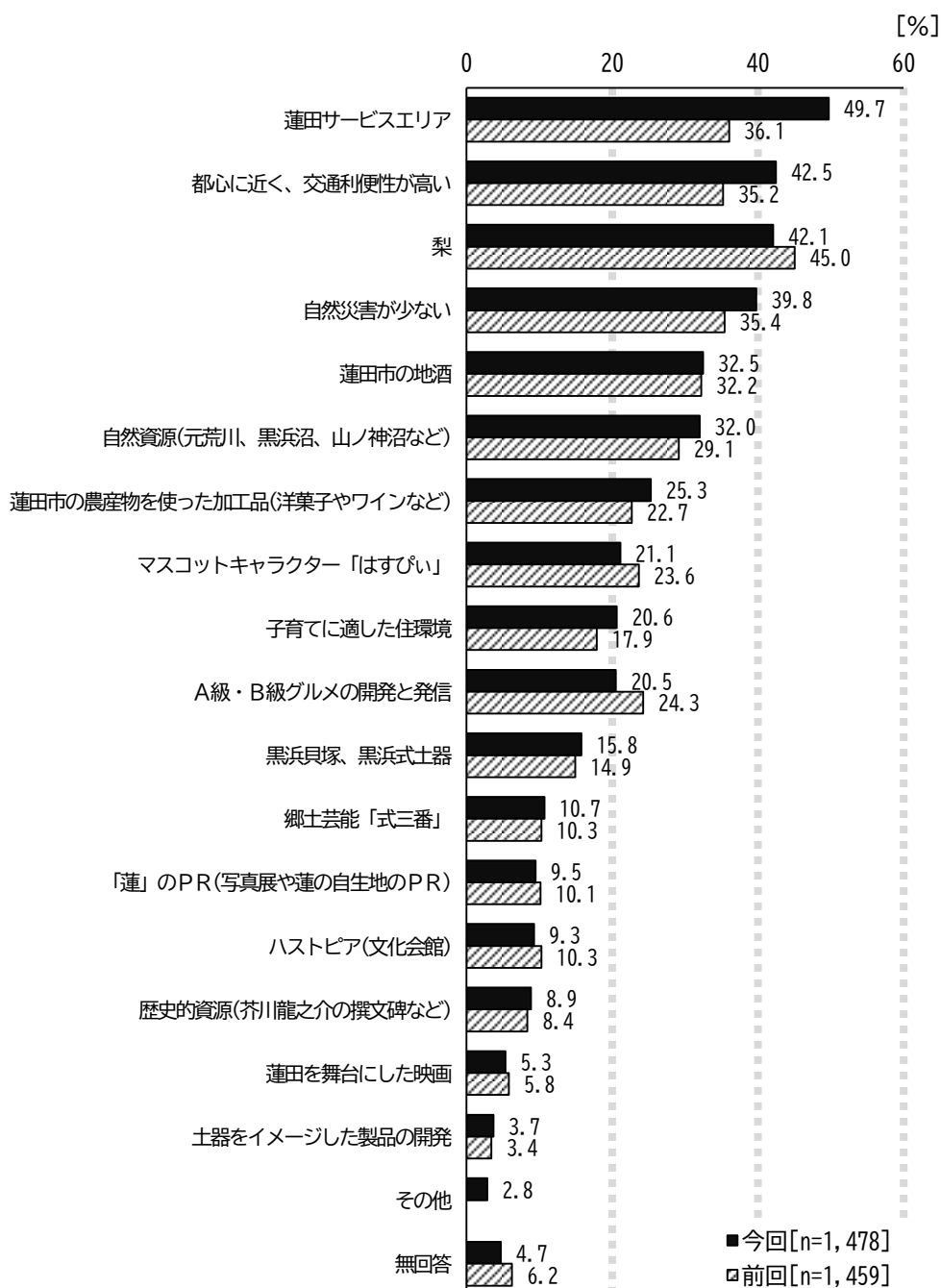
※「その他」の選択肢は前回の自由記入欄を統合

「蓮田サービスエリア」が49.7%で最も高く、次いで「都心に近く、交通利便性が高い」が42.5%、「梨」が42.1%となっています。

前回調査と比較すると、「蓮田サービスエリア」が13.6ポイント、「都心に近く、交通利便性が高い」が7.3ポイントそれぞれ増加している一方、「A級・B級グルメの開発と発信」が3.8ポイント、「梨」が2.9ポイントそれぞれ減少しています。

蓮田ブランドにふさわしい地域資源

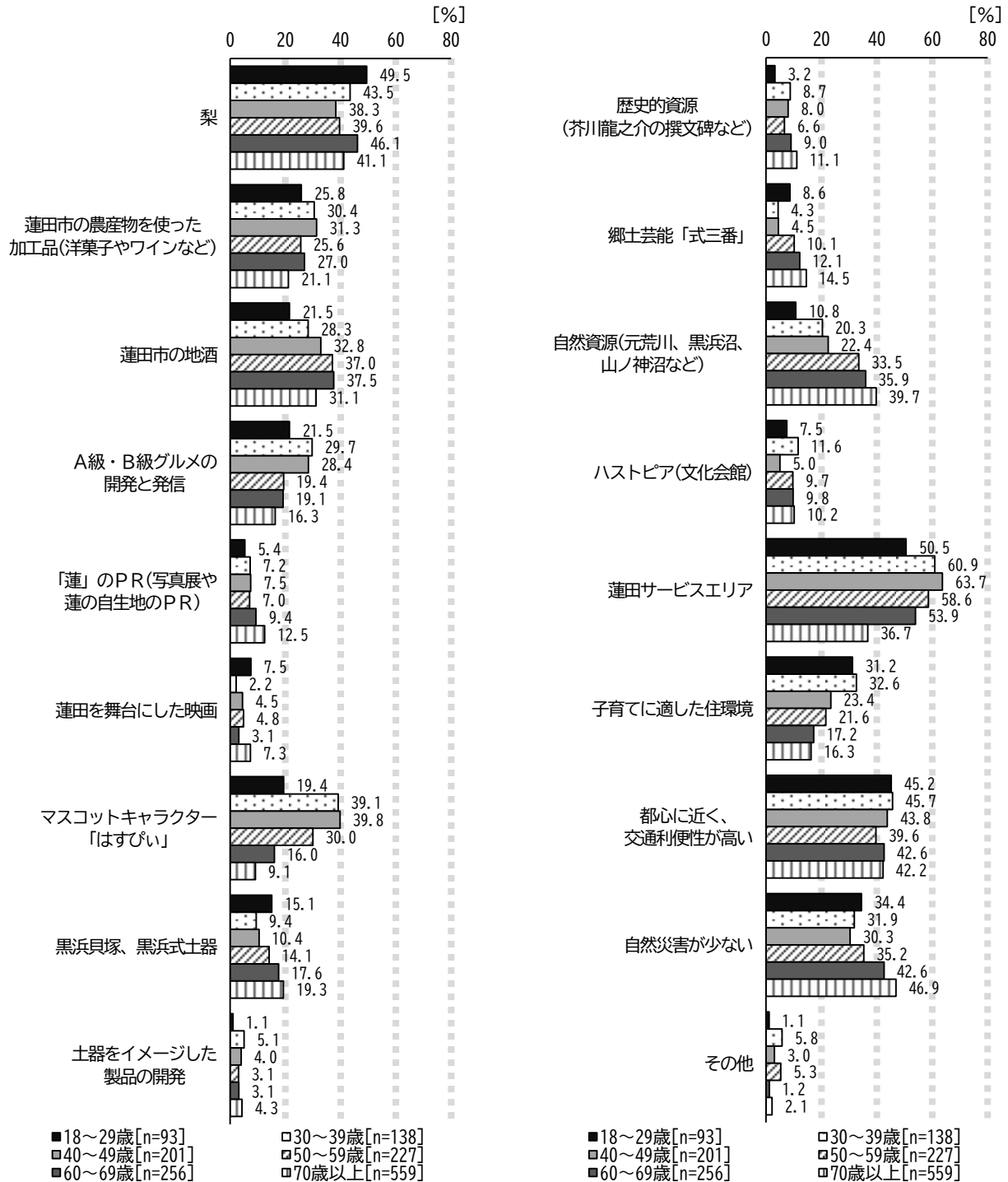
【全体】



蓮田ブランドにふさわしい地域資源を年齢別でみると、40歳代の「蓮田サービスエリア」が63.7%で最も高くなっています。また、70歳代以上では「自然災害が少ない」が46.9%で最も高くなっています。

蓮田ブランドにふさわしい地域資源

【年齢別】



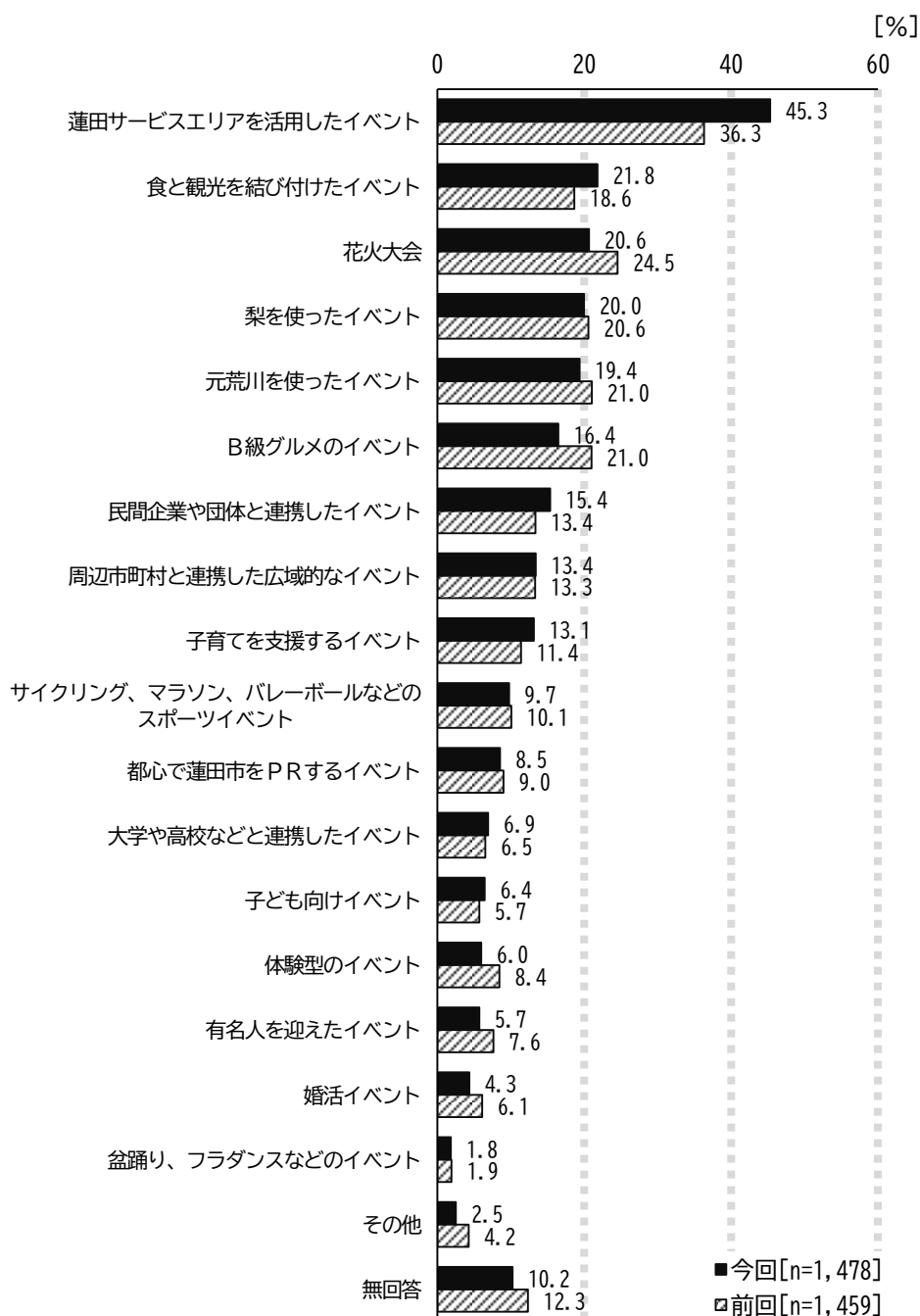
問 48 あなたは、市をPRするためにどのようなイベントが必要と考えますか。
(3つまでに○)

「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が45.3%で最も高く、次いで「食と観光を結び付けたイベント」が21.8%、「花火大会」が20.6%となっています。

前回調査と比較すると、「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が9.0ポイント、「食と観光を結び付けたイベント」が3.2ポイントそれぞれ増加している一方、「B級グルメのイベント」が4.6ポイント、「花火大会」が3.9ポイントそれぞれ減少しています。

市のPRのために必要なイベント

【全体】

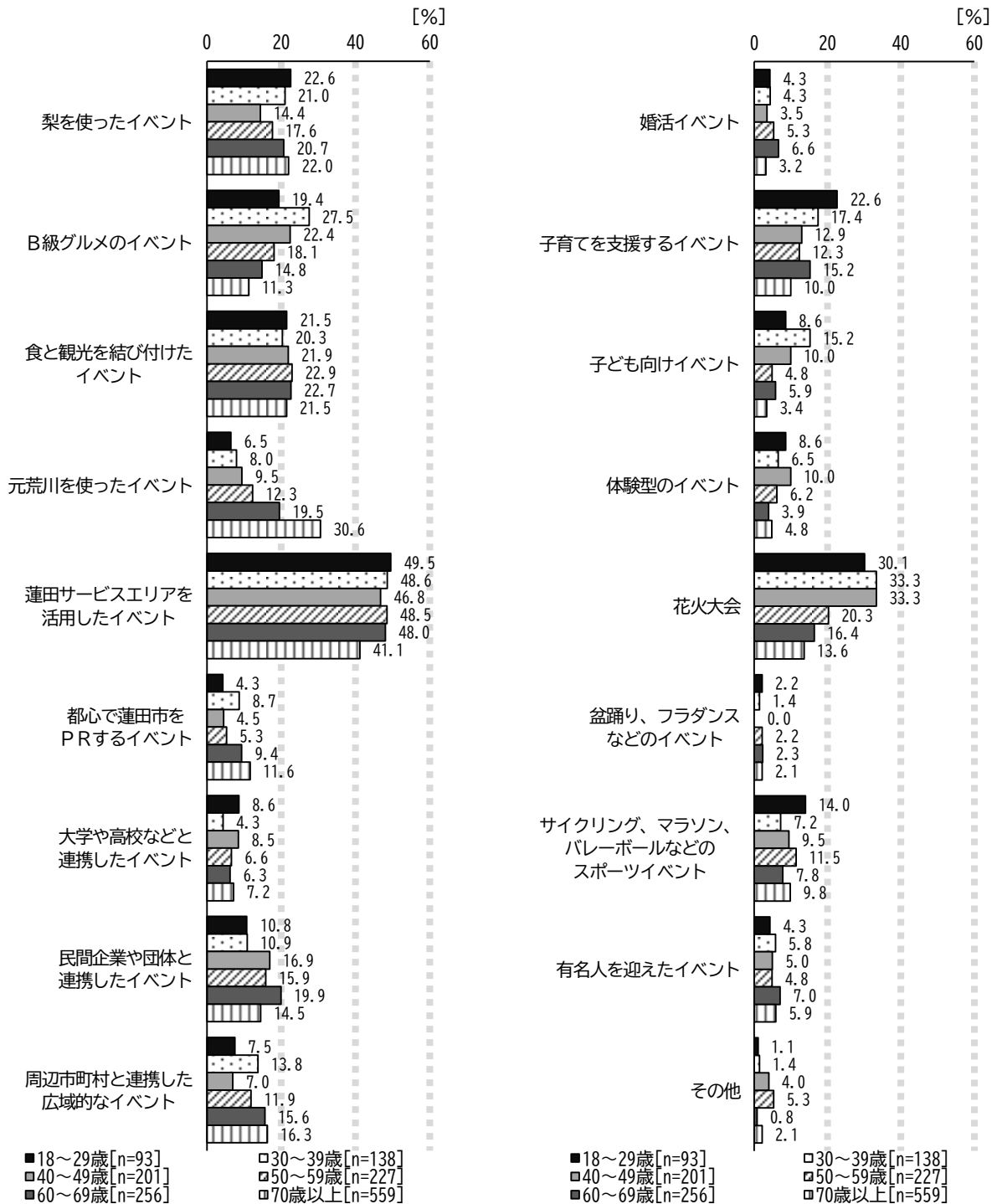


市のPRのために必要なイベントを年齢別でみると、20歳代以下の「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が49.5%で最も高くなっています。

また、他の年代と比較して、40歳代以下では「花火大会」、70歳代以上では「元荒川を使ったイベント」がそれぞれ約3割でやや高くなっています。

市のPRのために必要なイベント

【年齢別】



2-10 自由意見

※自由意見については、回答方法が記述式のため、現在、主な意見を整理中です。

(1) 記入者数と意見数

- 自由意見として、全回答者 1,478 人のうち、623 人 (42.2%) から

(2) 調査対象

- 市内にお住まいの 18 歳以上の方 4,000 人 (住民基本台帳による無作為抽出)